#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 5 年 5 月 1 1 日現在

機関番号: 12601

研究種目: 国際共同研究加速基金(国際活動支援班)

研究期間: 2016~2022 課題番号: 16K21723

研究課題名(和文)「ネオウイルス学」の国際活動支援

研究課題名(英文)Neo-virology: the raison d'etre of viruses

#### 研究代表者

河岡 義裕 (Kawaoka, Yoshihiro)

東京大学・医科学研究所・特任教授

研究者番号:70135838

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 36,000,000円

研究成果の概要(和文): 国際活動支援班では、国際研究ネットワークの整備および強化、円滑な海外での研究 試料の採取支援・提供、国際シンポジウムの開催および海外研究者の招聘による人的連携の促進、サンプル収集 のための海外への研究者の派遣の支援、最先端研究を行う先進諸国への若手研究者の中長期的派遣の支援、国際研究者ネットワークへの積極的な情報発信を通じて、本領域の海外における研究活動を促進して、領域全体の研究を加速度的に発展させた。その成果は、多数の注目すべき論文発表に表れ、また国際的な若手人材が多く育成されたことにより、今後のネオウイルス学の継続的な発展にも結びついた。

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究領域では、生物や生態系におけるウイルスの役割を解析することによって、ウイルスというキープレイヤーを加えた地球生態系の機能を解明するという新たな学問分野の創出を目指した。今後さらに「ネオウイルス学」を発展させることは、我が国の学術水準の格段の向上・強化に大いに貢献することが期待されるとともに、生態系を制御するウイルスの新しい利用法の発見にもつながる。今後、地球生態系とウイルスとの相互作用を研究する学術分野は非常に重要となっていくことが期待される。

研究成果の概要(英文): We have developed and strengthened an international research network, supported and provided smooth overseas collection of research samples, promoted collaborations with overseas researchers by hosting international symposia, supported sending researchers overseas to collect samples, and supported sending young researchers to cutting-edge research institutes for medium- to long-term study opportunities. Through these endeavors, we have promoted overseas research activities in this field and accelerated research efforts across the entire field. Our efforts have produced numerous noteworthy publications and have helped develop many young investigators, who will continue the growth of Neo-Virology into the future.

研究分野: ウイルス学

キーワード: ウイルス 国際共同研究 ネットワーク構築

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

#### 1.研究開始当初の背景

地球上には膨大な数のウイルスが存在しており、多くのウイルスが宿主において病気を起こすことなく共存している。これまで宿主にとって「害」であると見なされてきたウイルスの感染が、宿主のゲノム進化や生体機能に有利に働くことを示唆する最近の研究結果は、ウイルス学の既成概念を大きく覆そうとしている。本新学術領域研究では、ウイルスを地球生態系の構成要素として捉え、ウイルスが生物の生命活動や生態系に及ぼす影響やその機能メカニズムを解明することによって、地球生態系の恒常性維持機構の理解につなげ、「ウイルス生態システム制御学 = ネオウイルス学」という全く新しい概念に基づく学術領域を創出することを目指す。

#### 2. 研究の目的

国際活動支援班は、本領域の目標を達成するために、各研究班の海外における研究活動を促進し、本領域を日本が牽引する国際的に重要な学術分野に発展させることを目的とする。

#### 3. 研究の方法

本領域の研究戦略として、A01「共進化」、A02「共生」、A03「多様性」の3つの研究 ユニットを設置し、計画研究、公募研究を配置する。国際活動支援班は、国際研究ネットワークの整備および強化、円滑な海外での研究試料の採取支援・提供、国際シンポジウムの開催および海外研究者の招聘による人的連携の促進、サンプル収集のための海外への研究者の派遣の支援、最先端研究を行う先進諸国への若手研究者の中長期的派遣の支援、国際研究者ネットワークへの積極的な情報発信を行う。

#### 4. 研究成果

国際活動支援班は、本領域の目標を達成するために、各研究班の海外における研究活動を促進し、研究推進を図った。以下に、主な国際活動支援班の活動内容について述べる。

### 国際研究ネットワークの整備および強化

数十カ所の海外研究拠点および共同研究先の情報を本研究班内で共有し、国際共同研究を実施するスキームを構築し、海外試料へのアクセスを強化した。また、実際に国際研究ネットワークの整備のための研究者の派遣と招聘、および海外試料を用いた共同研究を行なった。

### 国際シンポジウムの開催および海外研究者の招聘による人的連携の促進

多くの研究集会を主催・共催しており、平成 28 年 9 月にネオウイルス学領域キックオフシンポジウム(一般公開:東京) 平成 29 年 9 月に第 16 回あわじしま感染症・免疫フォーラムを主催した。また第 8 回グローバルウイルスネットワーク会議(平成 28 年 10 月) The 6<sup>th</sup> China-Japan Bilateral Symposium on All Influenza Viruses(平成 29 年 3 月)を共催し、国際的な研究者コミュニティに「ネオウイルス学」を認知させた。平成

29 年 10 月の第 65 回日本ウイルス学会学術集会(大阪) 平成 30 年には、第 17 回あわじしま感染症・免疫フォーラム、および第 66 回日本ウイルス学会学術集会、令和元年には、第 18 回あわじしま感染症・免疫フォーラム、第 67 回日本ウイルス学会学術集会、The 15th International Congress on Thermophiles、Asian Mycological Congress 2019 を共催することにより、新たな共同研究を促し、より広い地域における研究拠点の展開を進めた。海外から卓越した研究者を講師として招聘することによって、情報交換を促進し、また新たな共同研究を開始した班もあった。令和 3 年度は、国内で国際学会を 1 回(第19 回あわじ感染と免疫国際フォーラム)を共催し、また、同学会の直後に国際シンポジウムを主催した。これらの学会およびシンポジウムを通じて、海外から総計 12 名の研究者をオンライン招聘したほか、班員 12 名が発表した。招聘した研究者と計画研究班、および公募研究班班員はオンライン交流を通じて人的連携を構築した。

# サンプル収集のための海外への研究者の派遣の支援、最先端研究を行う先進諸国への若手研究者の中長期的派遣の支援

最先端研究を行う先進諸国への若手研究者の中長期的派遣の支援として、米国でのNanopore Community Meeting 2016 での最先端技術研修(1名)第36回アメリカウイルス学会年会(ASV2017)への参加と研究打ち合わせ(2名)、オランダ王国・ワーゲニンゲン大学における共同研究実施(1名)において、総計4名の若手研究者を海外に派遣して、国際的な交流を促し、また専門的な知識を深めさせた。平成30年度には、アフリカのシエラレオネに、サンプル収集のため、計画研究班の若手研究者を2名派遣した。令和元年度には、南米のボリビア共和国に生息する節足動物の採集とウイルス調査を目的として、計画研究班の若手研究者を2名派遣して、サンプルの収集を実施させた。本活動には、計画研究班からさらに2名の研究者も参加して、蚊、ダニを採集した。また、本活動によるガブリエル・レネ・モレノ国立自治大学のJuan Antonio Pereira 博士との共同研究に基づいて、計画研究班の若手研究者の研究室に所属する大学院生が、文部科学省の官民協働海外留学創出プロジェクト「トビタテ!留学JAPAN」を活用し、ガブリエル・レネ・モレノ国立自治大学に短期留学を実施し、現地での共同研究を推進した。

## 国際研究者ネットワークへの積極的な情報発信

本領域のホームページの英語版を作成し、海外の研究者に本領域の活動を発信した。 また本領域における研究成果について、多くの国際学会や国際学術誌で発表した。

### 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計457件(うち査読付論文 439件/うち国際共著 208件/うちオープンアクセス 211件)

<b>[ 雑誌論文 ] 計457件 ( うち査読付論文 439件 / うち国際共著 208件 / うちオープンアクセス 211件 )</b>	
1. 著者名 Harima H, Sasaki M, Kajihara M, Gonzalez G, Simulundu E, Bwalya EC, Qiu Y,Okuya K, Isono M, Orba Y, Takada A, Hang'ombe BM, Mweene AS, Sawa H.	4.巻 101(10)
2.論文標題 Characterization of mammalian orthoreoviruses isolated from faeces of pigs in Zambia.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 J Gen Virol	6.最初と最後の頁 1027-1036.
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001476.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 K.S. Kim, K. Ejima, S. Iwanami, Y. Fujita, H. Ohashi, Y. Koizumi, Y. Asai, S. Nakaoka, K. Watashi, K. Aihara, R.N. Thompson, R. Ke, A.S. Perelson and S. Iwami.	4.巻 19
2.論文標題 A quantitative model used to compare within-host SARS-CoV-2, MERS-CoV and SARS-CoV dynamics provides insights into the pathogenesis and treatment of SARS-CoV-2	5.発行年 2021年
3.雑誌名 PLOS Biology	6 . 最初と最後の頁 e3001128
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.3001128	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1.著者名 S. Iwanami, K. Kitagawa, H. Ohashi, Y. Asai, K. Shionoya, W. Saso, K. Nishioka, H. Inaba, S. Nakaoka, T. Wakita, O. Diekmann, S. Iwami, and K. Watashi.	<b>4</b> .巻 18
2.論文標題 Should a viral genome stay in the host cell or leave? A quantitative dynamics study of how hepatitis C virus deals with this dilemma	5.発行年 2020年
3.雑誌名 PLOS Biology	6 . 最初と最後の頁 e3000562
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pbio.3000562	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1.著者名 A. Kato, S. Adachi, S. Kawano, K. Takeshima, M. Watanabe, S. Kitazume, R. Sato, H. Kusano, N. Koyanagi, Y. Maruzuru, J. Arii, T. Hatta, T. Natsume, and Y. Kawaguchi.	4.巻 11
2.論文標題 Identification of a Herpes Simplex Virus 1 Gene Encoding Neurovirulence Factor by Chemical Proteomics.	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Nat. Commun.	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-18718-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著

1.著者名	<del>,</del>
' • '김 유 나	4 . 巻
Albarracin L, Garcia-Castillo V, Masumizu Y, Indo Y, Islam MA, Suda Y, Garcia-Cancino A, Aso	11
H, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J	
2 . 論文標題	5.発行年
·······	
Efficient selection of new immunobiotic strains with antiviral effects in local and distal	2020年
mucosal sites by using porcine intestinal epitheliocytes.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Immunology	Article 543
Transfer in immensions	7.11.010.010
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木井の左無
	査読の有無
10.3389/fimmu.2020.00543	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
is some control (with control	may 0
4. ##4	4 244
1. 著者名	4 . 巻
Alzhanova D, Corcoran K, Bailey AG, Long K, Taft-Benz S, Graham RL, Broussard GS, Heise M,	17(1)
Neumann G, Halfmann P, Kawaoka Y, Baric RS, Damania B, Dittmer DP	
2.論文標題	5.発行年
Novel modulators of p53-signaling encoded by unknown genes of emerging viruses.	2021年
nover modulators or pos-signaring encoded by unknown genes of emerging viruses.	20214
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS Pathog	e1009033
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	本性の方無
	査読の有無
10.1371/journal.ppat.1009033.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
TO DESCRIPTION OF THE PARTY OF	
4 5 74	1 4 <del>**</del>
1 . 著者名	4 . 巻
Ando S, Jaskiewicz M, Mochizuki S, Koseki S, Miyashita S, Takahashi H, Conrath U	22
2 . 論文標題	5 . 発行年
······	5 . 発行年 2021年
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic	5 . 発行年 2021年
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.	2021年
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic	2021年 6 . 最初と最後の頁
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.	2021年
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3 . 雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology	2021年 6 . 最初と最後の頁 19-30
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 19-30 査読の有無
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology	2021年 6 . 最初と最後の頁 19-30
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3. 雑誌名 Molecular Plant Pathology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 19-30 査読の有無
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3. 雑誌名 Molecular Plant Pathology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 19-30 査読の有無
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005	2021年 6.最初と最後の頁 19-30 査読の有無 有
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3. 雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005	2021年 6.最初と最後の頁 19-30 査読の有無 有
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁 19-30 査読の有無 有 国際共著 該当する
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著  該当する
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3. 雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁 19-30 査読の有無 有 国際共著 該当する
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著  該当する
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3. 雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2.論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2.論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2.論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2.論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3. 雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2. 論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool  3. 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2.論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2.論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool  3.雑誌名 Microbiology and Immunology	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 17_27
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3 . 雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2 . 論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool  3 . 雑誌名 Microbiology and Immunology	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 17_27  査読の有無
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3.雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2.論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool  3.雑誌名 Microbiology and Immunology	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 17_27
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3 . 雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2 . 論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool  3 . 雑誌名 Microbiology and Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12862	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 17_27  査読の有無
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3 . 雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2 . 論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool  3 . 雑誌名 Microbiology and Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12862	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 17_27  査読の有無 有
Priming for enhanced ARGONAUTE2 activation accompanies induced resistance to cucumber mosaic virus in Arabidopsis thaliana.  3 . 雑誌名 Molecular Plant Pathology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/mpp.13005  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Andrew Soper, Yoshio Koyanagi, Kei Sato  2 . 論文標題 HIV-1 tracing method of systemic viremia in vivo using an artificially mutated virus pool  3 . 雑誌名 Microbiology and Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 19-30  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 65  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 17_27  査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Arai Y, Elgendy EM, Daidoji T, Ibrahim MS, Ono T, Sriwilaijaroen N, Suzuki Y, Nakaya T,	94
Matsumoto K, Watanabe Y	
2 . 論文標題	5 . 発行年
·····	
H9N2 influenza virus infections in human cells require a balance between NA sialidase activity	2020年
and HA receptor affinity	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	e01210-20
Journal of Vilology	601210-20
	<del>+++</del> <del>- + / -</del>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01210-20	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
オープンデッセスとしている(また、このデたてのる)	以当りる
1.著者名	4 . 巻
Arai Y, Kawashita N, Elgendy EM, Ibrahim MS, Daidoji T, Ono T, Takagi T, Nakaya T. Matsumoto K,	95
Watanabe Y	
2.論文標題	5.発行年
PA mutations inherited during viral evolution act cooperatively to increase replication of	2020年
contemporary H5N1 influenza virus with an expanded host range	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	e01582-20
Southar of virology	601302-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01582-20	有
	13
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Arai Y, Watanabe Y	-
Alai I, matanabe I	
o AA-LIEUT	= 7V./= h=
2.論文標題	5 . 発行年
Genetic tuning of avian influenza virus host adaptation from birds to humans	2020年
•	
3. 雑誌 <i>名</i>	6 最初と最後の百
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 Biosafety and Health	6.最初と最後の頁
Biosafety and Health	
Biosafety and Health	
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 査読の有無
Biosafety and Health	-
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006	- 査読の有無 有
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006 オープンアクセス	- 査読の有無
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006	- 査読の有無 有
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006 オープンアクセス	- 査読の有無 有
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- 査読の有無 有 国際共著 -
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- 査読の有無 有 国際共著 -
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H	- 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻
Biosafety and Health  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2 . 論文標題	- 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36 5.発行年
Biosafety and Health  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H	- 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36
Biosafety and Health  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2.論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold	- 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36 5.発行年 2020年
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2 . 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold  3 . 雑誌名	- - - - - - - - - -
Biosafety and Health  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2.論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold	- 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 36 5.発行年 2020年
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2 . 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold  3 . 雑誌名	- - - - - - - - - -
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2 . 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold  3 . 雑誌名	- - - - - - - - - -
Biosafety and Health  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2 . 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold  3 . 雑誌名 Bioinformatics	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2251-2252
Biosafety and Health  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2 . 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold  3 . 雑誌名 Bioinformatics	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2251-2252 査読の有無
Biosafety and Health  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2 . 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold  3 . 雑誌名 Bioinformatics	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2251-2252
Biosafety and Health 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2 . 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold  3 . 雑誌名 Bioinformatics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/btz859	- Taison有無 有 国際共著 - Taison
Biosafety and Health  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2. 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold  3. 雑誌名 Bioinformatics	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 2251-2252 査読の有無
Biosafety and Health  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bsheal.2020.11.006  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H  2 . 論文標題 KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold  3 . 雑誌名 Bioinformatics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/btz859	- Taison有無 有 国際共著 - Taison

1.著者名 Arjona-Lpez, J. M., Telengech, P., Suzuki, N., and Lpez-Herrera, C.	
Arjona-Lpez, J. M., Telengech, P., Suzuki, N., and Lpez-Herrera, C.	4 . 巻
' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	125
2 - Septiment	5 38/- F
2.論文標題	5 . 発行年
A moderate level of hypovirulence conferred by a hypovirus in the avocado white root rot	2021年
fungus, Rosellinia necatrix.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Fungal Biology	69-76
. w.ga. 2.0.0g)	00.10
   掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	
10.1016/j.funbio.2020.10.007	有
10.1016/j.1ulib10.2020.10.00/	79
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
	_
Arjona-Lpez, J. M., Telengech, P., Suzuki, N., and Lpez-Herrera, C.	158
2.論文標題	5 . 発行年
Coinfection of Rosellinia necatrix by a partitivirus and a virga-like virus is associated with	2020年
hypovirulence.	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
European Journal of Plant Pathology	111-119
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s10658-020-02058-x	有
+ d> = 1	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
	_
1 . 著者名 Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.	4.巻 10
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.	10
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題	5 . 発行年
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus,	10
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.	10 5.発行年 2021年
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.	10 5.発行年 2021年
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, Cryphonectria parasitica.	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.  2.論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, Cryphonectria parasitica.  3.雑誌名	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3. 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, Cryphonectria parasitica.	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.  2.論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, Cryphonectria parasitica.  3.雑誌名	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.  2.論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, Cryphonectria parasitica.  3.雑誌名 Current Research in Virological Science	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 100001
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3 . 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, Cryphonectria parasitica.  3 . 雑誌名 Current Research in Virological Science	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 100001
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2.論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3.雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.  2.論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, Cryphonectria parasitica.  3.雑誌名 Current Research in Virological Science	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 100001
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2 .論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3 . 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, Cryphonectria parasitica.  3 . 雑誌名 Current Research in Virological Science  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.crviro.2020.100001	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 100001 査読の有無 有
Aulia, A., Hyodo, K., Hisano, S., Kondo, H., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Identification of an RNA silencing suppressor encoded by a symptomless fungal hypovirus, Cryphonectria hypovirus 4.  3 . 雑誌名 Biology (Basel)  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biology10020100  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Aulia, A., Tabara, M., Telengech, P., Fukuhara, T., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Dicer monitoring in a model filamentous fungus host, Cryphonectria parasitica.  3 . 雑誌名 Current Research in Virological Science	10 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 100 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 1 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 100001

1.著者名	
	4 . 巻
Azekawa S, Namkoong H, Mitamura K, Kawaoka Y, Saito F	20
2.論文標題	5 . 発行年
Co-infection with SARS-CoV-2 and influenza A virus.	2020年
of infection with own out 2 and infraonza // virus.	2020—
3 . 雑誌名	6 早切と早後の百
	6.最初と最後の頁
IDCases	e00775
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.idcr.2020.e00775	無
10.10.07, 1.100.12020.100	<b>A</b>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	自然八百
オーノファクセスではない、又はオーノファクセスが困難	-
	T
1.著者名	4 . 巻
Blanc-Mathieu R, Dahle H, Hofgaard A, Brandt D, Ban H, Kalinowski J, Ogata H, Sandaa RA	3
2 . 論文標題	5 . 発行年
A persistent giant algal virus, with a unique morphology, encodes an unprecedented number of	2021年
genes involved in energy metabolism.	c = 27   = //: - T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Virol	02446-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.02446-20	有
10.1120/371.02440-20	FF.
+	<b>园</b> 娜 # 苯
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Braun KM, Moreno GK, Halfmann PJ, Hodcroft EB, Baker DA, Boehm EC, Weiler AM, Haj AK, Hatta M,	17(2)
	` '
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC	F 25/2/F
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC 2 . 論文標題	5 . 発行年
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC	5.発行年 2021年
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.	2021年
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC 2.論文標題	
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2.論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2.論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.	2021年
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2.論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2.論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3.雑誌名 PLoS Pathog	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373 査読の有無
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2.論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3.雑誌名 PLoS Pathog	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2. 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3. 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373 査読の有無 有
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2.論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3.雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373 査読の有無
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2.論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3.雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373 査読の有無 有
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2. 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3. 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373 査読の有無 有
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有  国際共著
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2.論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3.雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 -
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有  国際共著
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4.巻
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4.巻
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2 . 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4 5.発行年 2021年
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2 . 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.  3 . 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2 . 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4 5.発行年 2021年
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2 . 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.  3 . 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2 . 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4.巻 4.
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2. 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3. 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2. 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.  3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4.巻 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 504-512
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2 . 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4.巻 4.
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2. 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3. 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2. 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.  3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4.巻 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 504-512
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3 . 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2 . 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-809633-8.21275-2	2021年 6.最初と最後の頁e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4.巻 4 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁504-512  査読の有無 有
Chiba S, Maemura T, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC  2. 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in domestic cats imposes a narrow bottleneck.  3. 雑誌名 PLoS Pathog  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.16.384917.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Caston, J. R., Suzuki, N., and Ghabrial, S. A.  2. 論文標題 Structure of dsRNA Mycoviruses.  3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	2021年 6.最初と最後の頁 e1009373  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 4.巻 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 504-512

1 . 著者名 Chambaro HM, Sasaki M, Simulundu E, Silwamba I, Sinkala Y, Gonzalez G, Squarre D, Fandamu P, Lubaba CH, Munyeme M, Maseko A, Chimvwele C, Mataa L, Mooya LE, Mukubesa AN, Harima H, Samui	
KL, Munang'andu HM, Simuunza M, Nalubamba KS, Qiu Y, Carr MJ, Hall WW, Eshita Y, Sawa H, Orba Y.	4.巻 12(9)
2 . 論文標題 Co-Circulation of Multiple Serotypes of Bluetongue Virus in Zambia.	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Viruses	6.最初と最後の頁 963
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12090963.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Chambaro HM, Sasaki M, Sinkala Y, Gonzalez G, Squarre D, Fandamu P, Lubaba C, Mataa L, Shawa M Mwape KE, Gabri_ S, Chembensofu M, Carr MJ, Hall WW, Qiu Y, Kajihara M, TakadaA, Orba Y, Simulundu E, Sawa H	4.巻 I, 67(6)
2.論文標題 Evidence for exposure of asymptomatic domestic pigs to African Swine fever virus during an inter-epidemic period in Zambia.	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Transbound Emerg Dis	6.最初と最後の頁 2741-2752
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/tbed.13630.	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名 Chatanga E, Hayashida K, Muleya W, Kusakisako K, Moustafa MAM, Salim B, Katakura K, Sugimoto C Nonaka N, Nakao R	5, 9
2.論文標題	5 . 発行年
Genetic Diversity and Sequence Polymorphism of Two Genes Encoding Theileria parva Antigens Recognized by CD8+ T Cells among Vaccinated and Unvaccinated Cattle in Malawi.	2020年
	2020年 6.最初と最後の頁 334
Recognized by CDÉ+ T Cells among Vaccinated and Unvaccinated Cattle in Malawi. 3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Recognized by CDÉ+ T Cells among Vaccinated and Unvaccinated Cattle in Malawi.  3 . 雑誌名 Pathogens 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 334 査読の有無
Recognized by CDÉ+ T Cells among Vaccinated and Unvaccinated Cattle in Malawi.  3.雑誌名 Pathogens 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens9050334 オープンアクセス	6.最初と最後の頁 334 査読の有無 有 国際共著
Recognized by CDÉ+ T Cells among Vaccinated and Unvaccinated Cattle in Malawi.  3 . 雑誌名 Pathogens  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens9050334  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 334 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 12 5.発行年 2021年
Recognized by CD8+ T Cells among Vaccinated and Unvaccinated Cattle in Malawi.  3 . 雑誌名 Pathogens  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens9050334  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chatanga E, Kainga H, Maganga E, Hayashida K, Katakura K, Sugimoto C, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Molecular identification and genetic characterization of tick-borne pathogens in sheep and	6.最初と最後の頁 334 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 12 5.発行年
Recognized by CD8+ T Cells among Vaccinated and Unvaccinated Cattle in Malawi.  3 . 雑誌名 Pathogens  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens9050334  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chatanga E, Kainga H, Maganga E, Hayashida K, Katakura K, Sugimoto C, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Molecular identification and genetic characterization of tick-borne pathogens in sheep and goats at two farms in the central and southern regions of Malawi.  3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 334 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 12 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁

1 . 著者名	4.巻
Chatanga E, Kainga H, Razemba T, Ssuna R, Swennen L, Hayashida K, Sugimoto C, Katakura K,	120
Nonaka N, Nakao R	
2.論文標題	5 . 発行年
Molecular detection and characterization of tick-borne hemoparasites and Anaplasmataceae in	2021年
dogs in major cities of Malawi.	
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Parasitol Res	267-276
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00436-020-06967-y	有
·	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Chiba S, Halfmann PJ, Hatta M, Maemura T, Fan S, Armbrust T, Swartley OM, Crawford LK, Kawaoka	27(2)
Y Sharring and To, harra in, machine 1, rail of Almbridge 1, charring 21, harrange	( )
2 . 論文標題	5 . 発行年
Protective Immunity and Persistent Lung Sequelae in Domestic Cats after SARS-CoV-2 Infection.	2021年
Trotective inministry and reisistent bung sequence in pomestro dats diter SAKS-00V-2 infection.	2U21 <del>1</del>
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Emerg Infect Dis	660-663
	****
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.3201/eid2702.203884.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Chiba Y, Oiki S, Yaguchi T, Urayama S, Hagiwara D	7
2.論文標題	5.発行年
Discovery of divided RdRp sequences and a hitherto unknown genomic complexity in fungal	2021年
viruses.	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus evolution	veaa101
Vitas eveletion	Voucitor
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/ve/veaa101	有
10.1033/ ve/ veaa101	H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	四际六名
オープンチケビ人としている(また、その)をこのも)	-
. ***	. 24
1 . 著者名	4 . 巻
Chiba Y, Tomaru Y, Shimabukuro H, Kimura K, Hirai M, Takaki Y, Hagiwara D, Nunoura T, Urayama S	35
2.論文標題	5 . 発行年
Viral RNA genomes identified from marine macroalgae and a diatom.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 Microbes and environments	6 . 最初と最後の頁 ME20016
Microbes and environments	ME20016
Microbes and environments 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	ME20016 査読の有無
Microbes and environments	ME20016
Microbes and environments 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME20016	ME20016 査読の有無 有
Microbes and environments 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME20016 オープンアクセス	ME20016 査読の有無
Microbes and environments 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME20016	ME20016 査読の有無 有

	1 4 <del>**</del>
1 . 著者名	4.巻   4
Das, S. and Suzuki, N.	4
2 244-44-115	F 整件
2 . 論文標題	5.発行年
Yado-kari virus 1 and yado-nushi virus 1 (Unassigned).	2021年
AND 2	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	658-663
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/B978-0-12-814515-9.20949-1	有
オープンアクセス	<b>国際共業</b>
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1	A **
1 . 著者名	4 . 巻
Duic I, Tadakuma H, Harada Y, Yamaue R, Deguchi K, Suzuki Y, Yoshimura SH, Kato H, Takeyasu K,	48
Fujita T	
2.論文標題	5.発行年
Viral RNA recognition by LGP2 and MDA5, and activation of signaling through step-by-step	2020年
conformational changes.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nuc. Acids Res.	11664-11674
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/nar/gkaa935	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>
1 . 著者名	4 . 巻
E Sano, S Deguchi, A Sakamoto, N Mimura, A Hirabayashi, Y Muramoto, T Noda, T Yamamoto, K	-
Takayama	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Modeling SARS-CoV-2 infection and its individual differences with ACE2-expressing human iPS	2021年
cells	
	6.最初と最後の頁
3	
3.維誌名 iScience	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
i Sc i ence	-
iScience 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	- 査読の有無
i Sc i ence	-
i Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428	- 査読の有無 有
iScience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス	- 査読の有無
i Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428	- 査読の有無 有
iScience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- 査読の有無 有 国際共著
iScience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻
iScience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim	- 査読の有無 有 国際共著
iScience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 144
iScience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B	- ***
iScience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 144
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B 2.論文標題 Distinct haplotypes and free movement of Aedes aegypti in Port Sudan, Sudan.	- ***
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B 2.論文標題 Distinct haplotypes and free movement of Aedes aegypti in Port Sudan, Sudan. 3.雑誌名	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 144 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B 2.論文標題 Distinct haplotypes and free movement of Aedes aegypti in Port Sudan, Sudan.	- ***
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B 2.論文標題 Distinct haplotypes and free movement of Aedes aegypti in Port Sudan, Sudan. 3.雑誌名	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 144 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B 2.論文標題 Distinct haplotypes and free movement of Aedes aegypti in Port Sudan, Sudan. 3.雑誌名 J Appl Entomol	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 144 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 817_823
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B  2.論文標題 Distinct haplotypes and free movement of Aedes aegypti in Port Sudan, Sudan.  3.雑誌名 J Appl Entomol	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 144 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 817_823
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B 2 . 論文標題 Distinct haplotypes and free movement of Aedes aegypti in Port Sudan, Sudan.	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 144 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 817_823
iScience   掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 144 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 817_823
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102428  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Elnour MAB, Moustafa MAM, Khogali R, Azrag RS, Alanazi AD, Kheir A, Nakao R, de Meeus T, Salim B  2.論文標題 Distinct haplotypes and free movement of Aedes aegypti in Port Sudan, Sudan.  3.雑誌名 J Appl Entomol	- 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 144 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 817_823

. ***	A 244
1 . 著者名	4 . 巻
Endo H, Blanc-Mathieu R, Li Y, Salazar G, Henry N, Labadie K, de Vargas C, Sullivan MB, Bowler	4
C, Wincker P, Karp-Boss L, Sunagawa S, Ogata H	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Biogeography of marine giant viruses reveals their interplay with eukaryotes and ecological	2020年
functions.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nat Ecol Evol	1639-1649
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41559-020-01288-w	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Feng H, Nakatsu S, Lopes TJDS, Imai M, Yamayoshi S, Yamashita M, Watanabe T, Kawaoka Y	8
2 . 論文標題	5.発行年
Identification of Novel Adjuvants for Ebola Virus-Like Particle Vaccine.	2020年
Table The Table of Novel Majavante for Ebota Fillas Elike Tall tote Vaccine.	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Vaccines (Basel)	E215
racethos (baser)	LEIV
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/vaccines8020215	有
10.33307 vaccines0020213	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	四际六名
オープンデクセスとはない、 大はオープンデクセスが 四難	-
1.著者名	4 . 巻
	_
Fukuyama S, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Nakajima N, Gregg RW, Katsura H, Tomita Y, Maemura T, da Silva Lopes TJ, Watanabe T, Shoemaker JE, Hasegawa H, Yamayoshi S, Kawaoka Y	222(7)
da STIVa Lopes 15, watanabe 1, Shoemaker 5E, Haseyawa H, Yamayoshi 5, Kawaoka 1	r 翌/二左
	5.発行年
Pathogenesis of Influenza A(H7N9) Virus in Aged Nonhuman Primates.	2020年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
J Infect Dis	1155-1164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1093/infdis/jiaa267.	有
オープンアクセス	国際共著
	国际共 <b>省</b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1	л <del>У</del>
1 . 著者名	4 . 巻
Furuse Y	6
2	F 361-7-
2 . 論文標題	5.発行年
Identifying Potentially Beneficial Genetic Mutations Associated with Monophyletic Selective	2021年
Sweep and a Proof-of-Concept Study with Viral Genetic Data	6 B40   B// - T
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
mSystems	e01151-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/mSystems.01151-20.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
7 JULY COLUMN ( & L. COLUMN )	

1.著者名	
I . 者有右 Furuyama W, Reynolds P, Haddock E, Meade-White K, Le MQ, Kawaoka Y, Feldmann H, Marzi A	4.巻 <sup>5</sup>
2.論文標題 A single dose of a vesicular stomatitis virus-based influenza vaccine confers rapid protection	5.発行年 2020年
against H5 viruses from different clades.  3 . 雑誌名 NPJ Vaccines	6.最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41541-019-0155-z.	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Guthmiller JJ, Stovicek O, Wang J, Changrob S, Li L, Halfmann P, Zheng NY, Utset H, Stamper CT, Dugan HL, Miller WD, Huang M, Dai YN, Nelson CA, Hall PD, Jansen M, Shanmugarajah K, Donington JS, Krammer F, Fremont DH, Joachimiak A, Kawaoka Y, Tesic V, Madariaga ML, Wilson PC	4.巻 12(1)
2. 論文標題 SARS-CoV-2 Infection Severity Is Linked to Superior Humoral Immunity against the Spike.	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 mBio	6.最初と最後の頁 e02940-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.09.12.294066.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
***	
1.著者名 H Ohashi, K Watashi, W Saso, K Shionoya, S Iwanami, T Hirokawa, T Shirai, S Kanaya, Y Ito, KS Kim, T Nomura, T Suzuki, K Nishioka, S Ando, K Ejima, Y Koizumi, T Tanaka, S Aoki, K Kuramochi, T Suzuki, T Hashiguchi, K Maenaka, T Matano, M Muramatsu, M Saijo, K Aihara, S Iwami, M Takeda, JA McKeating, T Wakita.	4.巻 42
2. 論文標題 Potential anti-COVID-19 agents, Cepharanthine and Nelfinavir, and their usage for combination treatment	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 iScience	6.最初と最後の頁 335-337
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102367	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名	4.巻 383(6)
на Грана Нациан Нациа	303(0)
Halfmann PJ, Hatta M, Chiba S, Maemura T, Fan S, Takeda M, Kinoshita N, Hattori SI, Sakai-	5.発行年 2020年
Halfmann PJ, Hatta M, Chiba S, Maemura T, Fan S, Takeda M, Kinoshita N, Hattori SI, Sakai- Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y 2.論文標題	5.発行年
Halfmann PJ, Hatta M, Chiba S, Maemura T, Fan S, Takeda M, Kinoshita N, Hattori SI, Sakai- Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Transmission of SARS-CoV-2 in Domestic Cats.  3 . 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁

1. 著者名 Harima H, Orba Y, Torii S, Qiu Y, Kajihara M, Eto Y, Matsuta N, Hang'ombe BM, Eshita Y, Uemura K, Matsuno K, Sasaki M, Yoshii K, Nakao R, Hall WW, Takada A, Abe T, Wolfinger MT, Simuunza M, Sawa H.	
2.論文標題 An African tick flavivirus forming an independent clade exhibits unique exoribonuclease-resistant RNA structures in the genomic 3'-untranslated region	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Sci Rep	4883
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-021-84365-9.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4.巻
Hirai Y, Domae E, Yoshikawa Y, Tomonaga K.	168
2 . 論文標題	5 . 発行年
Differential roles of two DDX17 isoforms in the formation of membraneless organelles.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Biochem.	33-40
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvaa023.	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Hirofumi Aso, Shumpei Nagaoka, Eiryo Kawakami, Jumpei Ito, Saiful Islam, Benjy Jek Yang Tan, Shinji Nakaoka, Koichi Ashizaki, Katsuyuki Shiroguchi, Yutaka Suzuki, Yorifumi Satou, Yoshio Koyanagi, Kei Sato	4.巻 32
2 . 論文標題	5 . 発行年
Multiomics investigation revealing the characteristics of HIV-1-infected cells in vivo	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cell Reports	107887
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.celrep.2020.107887	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	4.巻
Hiroko Yahara, Akimitsu Hiraki, Yutaka Maruoka, Aki Hirabayashi, Masato Suzuki, Koji Yahara	15(11)
2 . 論文標題	5 . 発行年
Shotgun metagenome sequencing identification of a set of genes encoded by Actinomyces associated with medication-related osteonecrosis of the jaw	2020年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
PLOS One	e0241676
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.pone.0241676	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1 . 著者名 Honda S, Eusebio-Cope A, Miyashita S, Yokoyama A, Aulia A, Shahi S, Kondo H, Suzuki N	4.巻
2 . 論文標題	5 . 発行年
Establishment of Neurospora crassa as a model organism for fungal virology.	2020年
B.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature communications	5627
載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.1038/s41467-020-19355-y	   査読の有無   有
ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
I.著者名 Hou YJ, Chiba S, Halfmann P, Ehre C, Kuroda M, Dinnon KH 3rd, Leist SR, Sch_fer A, Nakajima N, Takahashi K, Lee RE, Mascenik TM, Graham R, Edwards CE, Tse LV, Okuda K, Markmann AJ, Bartelt L, de Silva A, Margolis DM, Boucher RC, Randell SH, Suzuki T, Gralinski LE, Kawaoka Y, Baric R	
2 . 論文標題	5 . 発行年
SARS-CoV-2 D614G variant exhibits efficient replication ex vivo and transmission in vivo.	2020年
B.雑誌名	6.最初と最後の頁
Science	1464-1468
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.abe8499.	   査読の有無   有
tープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Huapeng Feng,Sumiho Nakatsu,Tiago Jose da Silva Lopes,Masaki Imai,Seiya Yamayoshi,Makoto Yamashita,Tokiko Watanabe,Yoshihiro Kawaoka	4.巻
2 . 論文標題	5 . 発行年
Identification of novel adjuvants for ebola virus-like particle vaccine	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Vaccines	215
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/vaccines8020215	有
tープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
l . 著者名	4.巻
Hyodo, K., Okuno, T.	107
2 . 論文標題	5 . 発行年
Hijacking of host cellular components as proviral factors by plant-infecting viruses.	2020年
B.雑誌名 Advances in Virus Research	6.最初と最後の頁 37-86
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/bs.aivir.2020.04.002	有
tープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	. "
	4 . 巻
Hyodo, K., Kaido, M.	4
2.論文標題	5.発行年
	2021年
Dianthovirus (Tombusviridae).	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	383-387
	333 33.
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/B978-0-12-809633-8.21263-6	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンデクセスとはない、又はオープンデクセスが四共	-
	T
1.著者名	4 . 巻
Imai M, Iwatsuki–Horimoto K, Hatta M, Loeber S, Halfmann PJ, Nakajima N, Watanabe T et al	117(28)
	, ,
2 . 論文標題	F
	5.発行年
Syrian hamsters as a small animal model for SARS-CoV-2 infection and countermeasure	2020年
development.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proc Natl Acad Sci USA	16587-16595
THOC NATE ACAU OCT OUA	10007 - 10090
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1073/pnas.2009799117	有
10.10.0/p.tao.2000/0011	F
オープンアクセス	国際共著
· · · · · = · ·	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
	81
Imasato Y, Nakao R, Irie T, Kouguchi H, Yagi K, Nariaki N, Katakura K	01
2.論文標題	5.発行年
	_
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus	5.発行年 2021年
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.	2021年
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3 . 雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.	2021年
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3 . 雑誌名 Parasitol Int	2021年 6 . 最初と最後の頁 102247
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 102247 査読の有無
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3 . 雑誌名 Parasitol Int	2021年 6 . 最初と最後の頁 102247
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247	2021年 6.最初と最後の頁 102247 査読の有無 有
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247	2021年 6.最初と最後の頁 102247 査読の有無
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247	2021年 6.最初と最後の頁 102247 査読の有無 有
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247	2021年 6.最初と最後の頁 102247 査読の有無 有
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2.論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2.論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2.論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2.論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2.論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2.論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2.論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection  3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3 . 雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2 . 論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 575255
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2.論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection  3.雑誌名 Frontiers in Microbiology	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 575255  査読の有無
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3 . 雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2 . 論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 575255
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2.論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection  3.雑誌名 Frontiers in Microbiology	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 575255  査読の有無
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3 . 雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2 . 論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 575255  査読の有無 有
Characterization of microRNAs expressed in the cystic legion of the liver of Mus musculus perorally infected with Echinococcus multilocularis Nemuro strain.  3 . 雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102247  オーブンアクセス  オーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Inagaki T, Sato Y, Ito J, Takaki M, Okuno Y, Yaguchi M, Masud MHAA, Watanabe T, Sato K, Iwami S, MurataT, Kimura H  2 . 論文標題 Direct evidence of abortive lytic infection-mediated establishment of Epstein-Barr virus latency during B-cell infection  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255	2021年 6.最初と最後の頁 102247  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 11 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 575255  査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Iwamoto M, Shibata Y, Kawasaki J, Kojima S, Li YT, Iwami S, Muramatsu M, Wu HL, Wada	7
K,_Tomonaga K, Watashi K, Horie M.	
	F 25/=/=
2.論文標題	5 . 発行年
Identification of novel avian and mammalian deltaviruses provides new insights into deltavirus	2021年
evolution.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Evol	veab003.
VITUS EVOT	veabuus.
Termina 1	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/ve/veab003	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カープン・プロストにはない。 人はカープン・プロスカー	-
	I . w
1.著者名	4 . 巻
J. Arii, A. Fukui, Y. Shimanaka, N. Kono, H. Arai, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato, Y. Mori	94
and Y. Kawaquchi.	
2 . 論文標題	5.発行年
Role of phosphatidylethanolamine biosynthesis in herpes simplex virus 1-infected cells on	2020年
progeny virus morphogenesis in the cytoplasm and on viral pathogenicity in vivo.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J. Virol.	e01572-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01572-20	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
3 3 3 3 3 5 5 7 6 5 6 7 6 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7 7 6 7	
4 15 15 15	4 *
1 . 著者名	4.巻
I Arii E Maeda V Maruzuru N Kovanadi A Kata V Mari and V Kawaduchi	
J. Arii, F. Maeda, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato, Y. Mori and Y. Kawaguchi.	10
J. ATTI, I. Waeua, I. WaTuzutu, N. Noyahayi, A. Natu, I. Muli ahu I. Nawayuchi.	10
J. ATTI, F. Maeda, T. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato, T. Mori and T. Kawaguchi.  2 . 論文標題	
2 . 論文標題	5.発行年
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.	5 . 発行年 2020年
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.	5 . 発行年 2020年
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
2. 論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3. 雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 -
2. 論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3. 雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
2. 論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3. 雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka,	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka,	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression  3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression  3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression  3.雑誌名 Science Advances	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 eabc3020
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression  3.雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression  3.雑誌名 Science Advances	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression  3.雑誌名 Science Advances	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 eabc3020
2. 論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3. 雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2. 論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression  3. 雑誌名 Science Advances  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abc3020.	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 eabc3020
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression  3.雑誌名 Science Advances  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abc3020.	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 eabc3020 査読の有無 有
2.論文標題 ESCRT-III controls nuclear envelope deformation induced by progerin.  3.雑誌名 Sci. Rep.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-75852-6  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Izumi Kimura, Andrew Soper, Alexandre Coudray, Yoshio Koyanagi, Hirofumi Nakaoka, Ituro Inoue, Priscilla Turelli, Didier Trono, Kei Sato  2.論文標題 Endogenous retroviruses drive KRAB zinc-finger protein family expression for tumor suppression  3.雑誌名 Science Advances  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abc3020.	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 6 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 eabc3020

1.著者名	4 . 巻
Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato	117
damper red, Robert S. Stricta, Ref Sate	
A A A TOTAL	_ 70 /= -
2.論文標題	5.発行年
Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes	2020年
3-10	
2. 1845-67	6 見知し目然の否
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	610-618
, ,	
	本はの大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1073/pnas.1914183116	有
·	
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
	_
Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Yahiro Mukai, Keizo Tomonaga, Masayuki Horie	-
2.論文標題	5 . 発行年
One hundred million years history of bornavirus infections hidden in vertebrate genomes	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	<del>-</del>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1101/2020.12.02.408005	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンアグピス こはない、 又はオープンアグピスが 四無	-
│ 1 . 著者名	4 . 巻
K. Ejima, Y. Koizumi, N. Yamamoto, M. Rosenberg, C. Ludema, A.I. Bento, D. Yoneoka, S.	-
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.	
	5.発行年
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami. 2 . 論文標題	
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19	5.発行年 2020年
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami. 2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan	2020年
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19	
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名	2020年
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami. 2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan	2020年 6 . 最初と最後の頁
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes	2020年 6.最初と最後の頁 -
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes	2020年 6.最初と最後の頁 -
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2. 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3. 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2. 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3. 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2 . 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3 . 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 16 5.発行年
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2. 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3. 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2. 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 16 5.発行年
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2. 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3. 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2. 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 16 5.発行年
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16  5.発行年 2020年
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2 . 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3 . 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2 . 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2. 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3. 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2. 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16  5.発行年 2020年
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2 . 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3 . 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2 . 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2 . 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3 . 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2 . 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2 . 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3 . 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2 . 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3 . 雑誌名 PLOS Computational Biology	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e1007612
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2 . 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3 . 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2 . 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3 . 雑誌名 PLOS Computational Biology	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e1007612
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2 . 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3 . 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2 . 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3 . 雑誌名 PLOS Computational Biology	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e1007612
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2 . 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3 . 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著書名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2 . 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3 . 雑誌名 PLOS Computational Biology	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e1007612
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2 . 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3 . 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2 . 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3 . 雑誌名 PLOS Computational Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pcbi.1007612	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e1007612  査読の有無 有
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2.論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3.雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2.論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3.雑誌名 PLOS Computational Biology  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1371/journal.pcbi.1007612  オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e1007612
Ichikawa, D. Mizushima and S. Iwami.  2. 論文標題 HIV testing by public health centers and municipalities and new HIV cases during the COVID-19 pandemic in Japan  3. 雑誌名 Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.10.16.20213959  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 K.S. Kim, T. Kondoh, Y. Asai, A. Takada, S. Iwami.  2. 論文標題 Modeling the efficiency of filovirus entry into cells in vitro: Effects of SNP mutations in the receptor molecule  3. 雑誌名 PLOS Computational Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pcbi.1007612	2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 16 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e1007612  査読の有無 有

1.著者名	4 <del>**</del>
	4 . 巻
K.S. Kim, Y. Yamamoto, S. Nakaoka, K. Tomonaga, S. Iwami,	-
2	r 政治左
2 . 論文標題	5.発行年
T. Honda. Modeling Borna disease virus in vitro spread reveals the mode of antiviral effect	2020年
conferred by an endogenous bornavirus-like element	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	e01204-20
countries of the countr	00.20. 20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01204-20	有
10.1120/301.01204-20	ļ Ħ
オープンアクセス	国際共著
=	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1.著者名	4 . 巻
Kabir MHB, Ceylan O, Ceylan C, Shehata AA, Bando H, Essa MI, Xuan X, Sevinc F, Kato K	79
2 . 論文標題	5 . 発行年
Molecular detection of genotypes and subtypes of Cryptosporidium infection in diarrheic calves,	
lambs, and goat kids from Turkey.	2020-
	6 見知し見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Parasitol Int	102163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.parint.2020.102163	有
, ·	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
カープンプラビスでは多い、人間カープンプラビスが四葉	M 7 0
1 节20	1 4 <del>*</del>
1 . 著者名	4.巻
Kabir MHB, Itoh M, Shehata AA, Bando H, Fukuda Y, Murakoshi F, Fujikura A, Okawa H, Endo T,	78
Goto A, Kachi M, Nakayama T, Kano Y, Oishi S, Otomaru K, Essa MI, Kazama K, Xuan X, Kato K	
2 . 論文標題	5 . 発行年
2.論文標題 Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.	5.発行年   2020年
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.	2020年
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3 . 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int	2020年 6.最初と最後の頁 102153
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 102153 査読の有無
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int	2020年 6.最初と最後の頁 102153
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153	2020年 6.最初と最後の頁 102153 査読の有無 有
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153	2020年 6.最初と最後の頁 102153 査読の有無 有
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153	2020年 6.最初と最後の頁 102153 査読の有無 有
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153	2020年 6.最初と最後の頁 102153 査読の有無 有
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153	2020年 6.最初と最後の頁 102153 査読の有無 有
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 102153 査読の有無 有 国際共著 該当する
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 102153 査読の有無 有 国際共著 該当する
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 -
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2.論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 - 5.発行年
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2.論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 -
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2.論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2.論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2.論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2.論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2.論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2.論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 110475
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3 . 雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2 . 論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.  3 . 雑誌名 Plant Science	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 110475
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3 . 雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2 . 論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.  3 . 雑誌名 Plant Science	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 110475
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3.雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2.論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.  3.雑誌名 Plant Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.plantsci.2020.110475	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 110475  査読の有無 有
Distribution of Cryptosporidium species isolated from diarrhoeic calves in Japan.  3 . 雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102153  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kadono T, Tomaru Y, Suzuki K, Yamada K, Adachi M  2 . 論文標題 The possibility of using marine diatom-infecting viral promoters for the engineering of marine diatoms.  3 . 雑誌名 Plant Science	2020年 6.最初と最後の頁 102153  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 110475

1. 著者名 Kadoya S, Urayama S, Nunoura T, Hirai M, Takaki Y, Kitajima M, Nakagomi T, Nakagomi O, Okabe S,	4.巻 94
Nishi-mura 0, Sano D 2.論文標題	5.発行年
Bottleneck size-dependent changes in the genetic diversity and specific growth rate of a Rotavirus A strain.	2020年
3.雑誌名 J Virol	6.最初と最後の頁 e02083-19
3 11101	002003 13
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.02083-19	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
	4 34
1.著者名 Kanai Y, Onishi M, Kawagishi T, Pimfhun P, Nurdin J, Nouda R, Yamasaki M, Tina L, Pattara K, Okitsu S, Hayakawa S, Ebina H, Ushijima H, Kobayashi T	4.巻 95
2.論文標題 Reverse Genetics Approach for Developing Rotavirus Vaccine Candidates Carrying VP4 and VP7	5 . 発行年 2021年
Genes Cloned from Clinical Isolates of Human Rotavirus 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	e01374-20
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1128/JVI.01374-20	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1.著者名	4 . 巻
Kaneko H, Blanc-Mathieu R, Endo H, Chaffron S, Delmont TO, Gaia M, Henry N, Hern_ndez-Vel_zquez R, Nguyen CH, Mamitsuka H, Forterre P, Jaillon O, de Vargas C, Sullivan MB, Suttle CA, Guidi L, Ogata H	24
2.論文標題 Eukaryotic virus composition can predict the efficiency of carbon export in the global ocean.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 iScience	6.最初と最後の頁 102002
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.isci.2020.102002	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
	#X ⊒ 9 €
1. 著者名 Kato-Miyashita, S, Sakai-Tagawa Y, Yamashita M, Iwatsuki-Horimoto K, Ito M, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Yotsuyanagi H, kawaoka Y, Imai M	4.巻 14
2.論文標題 Antigenic variants of influenza B viruses isolated in Japan during the 2017-2018 and 2018-2019 influenza seasons.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Influenza Other Respi Viruses	6.最初と最後の頁 311-319
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/i rv.12713	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	│ 4 . 巻
Kawagishi T, Kanai Y, Nouda R, Fukui I, Nurdin JA, Matsuura Y, Kobayashi T	94
Ranagroni I, Rana I, Roda II, Rara II or, marcula I, Rosayaon I	
0 *A-LEGE	5 387-F
2 . 論文標題	5.発行年
Generation of Genetically RGD-Modified Oncolytic Reovirus That Enhances JAM-A-Independent	2020年
Infection of Tumor Cells	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
*****	
Journal of Virology	e01703-20
-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01703-20	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
	13
Keiya Uriu, Yusuke Kosugi, Jumpei Ito, Kei Sato	13
2.論文標題	5 . 発行年
	2021年
The battle between viruses and APOBEC3 genes: its past and present	20214
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	124
V11 0000	127
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/y13010124	有
10.3390/ V13010124	, in
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
(3/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2/2	<u> </u>
# 1. E	T
1.著者名	4 . 巻
Kelava S, Mans BJ, Shao R, Moustafa MAM, Matsuno K, Takano A, Kawabata H, Sato K, Fujita H, Ze	12
C, Plantard O, Hornok S, Gao S, Barker D, Barker SC, Nakao R	
	5.発行年
2 . 論文標題	
·····	
	2020年
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of	
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.	2020年
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 維誌名	
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.	2020年
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雜誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雜誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis	2020年 6 . 最初と最後の頁 101577
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis	2020年 6.最初と最後の頁
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis	2020年 6 . 最初と最後の頁 101577
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 101577 査読の有無
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577	2020年 6.最初と最後の頁 101577 査読の有無 有
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577	2020年 6.最初と最後の頁 101577 査読の有無 有
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 94
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2 . 論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2.論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 94
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2.論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2 . 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2 . 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.  3 . 雑誌名	2020年  6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2 . 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有  国際共著  該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3. 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2. 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.  3. 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3. 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2. 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.  3. 雑誌名	2020年  6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2 . 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.  3 . 雑誌名 J Virol.	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 e01204-20
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2 . 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.  3 . 雑誌名 J Virol.	2020年  6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 e01204-20  査読の有無
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2.論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 e01204-20
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2 . 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.  3 . 雑誌名 J Virol.	2020年  6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 e01204-20  査読の有無
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2 . 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.  3 . 雑誌名 J Virol.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01204-20	2020年 6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01204-20  査読の有無 有
Phylogenies from mitochondrial genomes of 120 species of ticks: Insights into the evolution of the families of ticks and of the genus Amblyomma.  3 . 雑誌名 Ticks Tick Borne Dis  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2020.101577  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kim KS, Yamamoto Y, Nakaoka S, Tomonaga K, Iwami S, Honda T.  2 . 論文標題 Modeling Borna Disease Virus_In Vitro_Spread Reveals the Mode of Antiviral Effect Conferred by an Endogenous Bornavirus-Like Element.  3 . 雑誌名 J Virol.	2020年  6.最初と最後の頁 101577  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 94  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 e01204-20  査読の有無

4 # # # #	1 4 44
1 . 著者名	4.巻
Kimura I, Konno Y, Uriu K, Hopfensperge K, Sauter D, Nakagawa S, Sato K	34
2.論文標題	5.発行年
Sarbecovirus ORF6 proteins hamper the induction of interferon signaling	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cell Reports	108916
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.celrep.2021.108916	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Kingstad-Bakke B, Toy R, Lee W, Pradhan P, Vogel G, Marinaik CB, Larsen A, Gates D, Luu T, Pandey B, Kawaoka Y, Roy K, Suresh M	11
2 . 論文標題	5 . 発行年
Polymeric Pathogen-Like Particles-Based Combination Adjuvants Elicit Potent Mucosal T Cell Immunity to Influenza A Virus.	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Immunol	559382
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.3389/fimmu.2020.559382	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kishimoto M, Hang'ombe BM, Hall WW, Orba Y, Sawa H, Sasaki M.	102(3)
2 . 論文標題	5 . 発行年
Mastomys natalensis is a possible natural rodent reservoir for encephalomyocarditis virus	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Gen Virol	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
間載品間又のDOT (	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Kishimoto M, Uemura K, Sanaki T, Sato A, Hall WW, Kariwa H, Orba Y, Sawa H, Sasaki M.	13(3)
2 . 論文標題	5 . 発行年
TMPRSS11D and TMPRSS13 Activate the SARS-CoV-2 Spike Protein	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	384
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
	有
10.3390/v13030384.	13
10.3390/V13030384. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著該当する

1.著者名	4 . 巻
Kiso M, Yamayoshi S, Kawaoka Y	3(1)
2.論文標題	5 . 発行年
Triple combination therapy of favipiravir plus two monoclonal antibodies eradicates influenza virus from nude mice.	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Commun Biol	219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s42003-020-0952-y	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	4 44
1 . 著者名 Kiso M, Yamayoshi S, Murakami J, Kawaoka Y	4.巻 221
2 . 論文標題	5.発行年
Baloxavir marboxil treatment of nude mice infected with influenza A virus.	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
J Infect Dis	1699-1702
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/infdis/jiz665.	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Koji Yahara, Masato Suzuki, Aki Hirabayashi, Wataru Suda, Masahira Hattori, Yutaka Suzuki, Yusuke Okazaki	4.巻 12(1):27
2 . 論文標題	5 . 発行年
Long-read metagenomics using PromethION uncovers oral bacteriophages and their interaction with host bacteria	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Communications	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41467-020-20199-9	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Kojima S, Yoshikawa K, Ito J, Nakagawa S, Parrish NF, Horie M, Kawano S, Tomonaga K.	4.巻 118
<ol> <li>著者名         Kojima S, Yoshikawa K, Ito J, Nakagawa S, Parrish NF, Horie M, Kawano S, Tomonaga K.</li> <li>論文標題         Virus-like insertions with sequence signatures similar to those of endogenous non-retroviral</li> </ol>	
1 . 著者名 Kojima S, Yoshikawa K, Ito J, Nakagawa S, Parrish NF, Horie M, Kawano S, Tomonaga K. 2 . 論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 Kojima S, Yoshikawa K, Ito J, Nakagawa S, Parrish NF, Horie M, Kawano S, Tomonaga K.  2 . 論文標題 Virus-like insertions with sequence signatures similar to those of endogenous non-retroviral RNA viruses in the human genome.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	118 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e2010758118
<ol> <li>著者名         Kojima S, Yoshikawa K, Ito J, Nakagawa S, Parrish NF, Horie M, Kawano S, Tomonaga K.</li> <li>論文標題         Virus-like insertions with sequence signatures similar to those of endogenous non-retroviral RNA viruses in the human genome.</li> <li>雜誌名</li> </ol>	118 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁

オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.1016/j.coviro.2020.05.011.	有
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
3.雑誌名 Curr Opin Virol	6.最初と最後の頁 42-48
Reverse genetics approaches of Borna disease virus: applications in development of viral vectors and preventive vaccines.	2020年
2.論文標題	5.発行年
1 . 著者名 Komatsu Y, Tomonaga K.	4.巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセス	国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-62630-7.	   査読の有無   有
3.雑誌名 Sci Rep.	6.最初と最後の頁 5890
2 . 論文標題 In vivo biodistribution analysis of transmission competent and defective RNA virus-based episomal vector.	5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Komatsu Y, Tanaka C, Komorizono R, Tomonaga K.	4 . 巻 10
	1 , 14
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.1111/1348-0421.12831.	査読の有無   有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
tangential_flow_filtration 3 . 雑誌名 Microbiol_Immunol	6.最初と最後の頁 602-609
2 . 論文標題 Production of high-titer transmission-defective RNA virus-based episomal vector using	5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Komatsu Y, Kakuya Y, Tomonaga K.	4 . 巻 64
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセス	国際共著
掲載論文のDOⅠ(デジタルオプジェクト識別子) 10.1073/pnas.2010758118.	査読の有無 有
Proc Natl Acad Sci U S A.	e2010758118
Virus-like insertions with sequence signatures similar to those of endogenous nonretroviral RN viruses in the human genome. 3.雑誌名	IA 2021年 6.最初と最後の頁
2.論文標題	5.発行年
1 . 著者名 Kojima S, Yoshikawa K, Ito J, Nakagawa S, Parrish NF, Horie M, Kawano S, Tomonaga K.	4.巻   118

1.著者名	4 . 巻
r. 有自由 Komorizono R, Sassa Y, Horie M, Makino A, Tomonaga K.	12
Kollott Zotto K, Sassa T, Hotte W, Wakitto A, Tollottaga K.	12
2.論文標題	5 . 発行年
Evolutionary Selection of the Nuclear Localization Signal in the Viral Nucleoprotein Leads to	2020年
Host Adaptation of the Genus Orthobornavirus	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	1291
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/v12111291.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kondo, H., Caston, J. R., and Suzuki, N.	4
KONGO, H., CASTON, J. R., AND SUZUKI, N.	4
2 - 54-2-1-16日	F 整治生
2. 論文標題	5.発行年
Quadriviruses (Quadriviridae).	2021年
	6 847 1 877 - 7
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	642-647
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/B978-0-12-814515-9.20948-X	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kondo, H., Fujita, M., Hisano, H., Hyodo, K., Andika I. B., and Suzuki, N.	11
Kondo, II., Tujita, II., IIIsano, II., Ilyodo, K., Andria I. B., and odzuki, K.	
2.論文標題	5.発行年
	2020年
Virome analysis of aphid populations that infest the barley field: the discovery of two novel	2020年
groups of nege/kita-like viruses and other novel RNA viruses.	c ====================================
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Microbiology	509
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.00509	   査読の有無   有
10.3389/fmicb.2020.00509	有
10.3389/fmicb.2020.00509 オープンアクセス	有
10.3389/fmicb.2020.00509	有 国際共著
10.3389/fmicb.2020.00509 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 該当する
10.3389/fmicb.2020.00509 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	有 国際共著 該当する 4.巻
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith	有 国際共著 該当する
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名  Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y	有 国際共著 該当する 4.巻 12(1)
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名  Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題	有 国際共著 該当する 4.巻 12(1) 5.発行年
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名  Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y	有 国際共著 該当する 4.巻 12(1)
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.	有 国際共著 該当する 4.巻 12(1) 5.発行年 2021年
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 12(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名  Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.	有 国際共著 該当する 4.巻 12(1) 5.発行年 2021年
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 12(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.  3 . 雑誌名 mBio	有 国際共著 該当する 4 . 巻 12(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e03324-20
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 12(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.  3 . 雑誌名 mBio	有 国際共著 該当する 4 . 巻 12(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e03324-20
10.3389/fmicb.2020.00509 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.  3 . 雑誌名 mBio  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.03324-20.	有 国際共著 該当する 4 . 巻 12(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e03324-20 査読の有無 有
10.3389/fmicb.2020.00509  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Kong H, Burke DF, da Silva Lopes TJ, Takada K, Imai M, Zhong G, Hatta M, Fan S, Chiba S, Smith D, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Plasticity of the Influenza Virus H5 HA Protein.  3 . 雑誌名 mBio	有 国際共著 該当する 4 . 巻 12(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e03324-20

オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
10.1371/journal.ppat.1008900. オープンアクセス	有 有 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無   **
PLoS Pathog	0. 取例と取及の負 e1008900
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
2 . 論文標題 HER2-mediated enhancement of Ebola virus entry.	5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Kuroda M, Halfmann P, Kawaoka Y	4.巻
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
<b>曷載論文の</b> DOⅠ(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tpj.14728	   査読の有無   有
3.雑誌名 Plant Journal	6.最初と最後の頁 497-511
2.論文標題 Disturbance of floral colour pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia vein clearing virus, in aged petunia plants.	5 . 発行年 2020年
1 . 著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T	4 . 巻 103
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
掲載論文のD0Ⅰ(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/gigascience/giaa072	査読の有無 有
GigaScience	giaa072
Z. 論义信題 Sequence Compression Benchmark (SCB) database - A comprehensive evaluation of reference-free compressors for FASTA-formatted sequences  3. 雑誌名	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Kryukov, K., Ueda, M.T., Nakagawa, S. and Imanishi, T.	9
1 . 著者名	4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
10.1016/j.celrep.2020.108185	有
Cell Rep <b>号載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b>	108185
occuring elogation variant 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
2.論文標題 SARS-CoV-2 ORF3b is a potent interferon antagonist whose activity is increased by a naturally	5.発行年 2020年
I.著者名 Konno Y, Kimura I, Uriu K, Fukushi M, Irie T, Koyanagi Y, Sauter D, Gifford RJ, USFQ-COVID19 Consortium, Nakagawa S, Sato K	4.巻 32

1. 著者名 Kuroda M, Halfmann PJ, Hill-Batorski L, Ozawa M, Lopes TJS, Neumann G, Schoggins JW, Rice CM,	4.巻 11(1)
Kawaoka Y	
2.論文標題 Identification of interferon-stimulated genes that attenuate Ebola virus infection.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Nat Commun	6.最初と最後の頁 2953
	**************************************
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-020-16768-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
***	
1.著者名 Kuwahara T, Yamayoshi S, Noda T, Kawaoka Y	4.巻
2.論文標題	r 整仁左
G Protein Pathway Suppressor 1 Promotes Influenza Virus Polymerase Activity by Activating the NF-B Signaling Pathway.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Mbio	e02867-19
<u></u> 掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	<u></u> 査読の有無
拘載論又のDOT ( デンタルオ ) ジェクト 誠別子 )	宣読の有無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名   M. Shibazaki, A. Kato, K. Takeshima, J. Ito, M. Suganami, N. Koyanagi, Y. Maruzuru, K. Sato and   Y. Kawaguchi.	4.巻 94
2.論文標題	5.発行年
Phosphoregulation of a conserved herpesvirus tegument protein by a virally encoded protein kinase in viral pathogenicity and potential linkage between its evolution and viral phylogeny.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J. Virol.	e01055-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01055-20	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名   Mabuchi S, Hijioka F,Watanabe T, Yanagi Y, Okuno Y, Masud MHAA, Sato Y, Murata T, Kimura H	4.巻   13
2.論文標題	5.発行年
Z . 論义信題   Role of Epstein_Barr Virus C Promoter Deletion in Diffuse Large B Cell Lymphoma	2021年
	6.最初と最後の頁
Cancers	561
	本芸の左伽
掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13030561	査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

. ***	4 34
1 . 著者名	4.巻
Maemura T, Fukuyama S, Kawaoka Y	11
2.論文標題	
High Levels of miR-483-3p Are Present in Serum Exosomes Upon Infection of Mice With Highly	2020年
Pathogenic Avian Influenza Virus.	6 見知し見後の百
3.雑誌名 Frank Missabial	6.最初と最後の頁
Front Microbiol	144
<b>曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b>	査読の有無
10.3389/fmicb.2020.00144	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英名夕	л <b>ж</b>
1. 著者名	4 . 巻
Marinaik CB, Kingstad-Bakke B, Lee W, Hatta M, Sonsalla M, Larsen A, Neldner B, Gasper DJ, Kedl RM, Kawaoka Y, Suresh M	1
2. 論文標題	5.発行年
Programming Multifaceted Pulmonary T Cell Immunity by Combination Adjuvants.	2020年
g. amortification in a mortal y 1 out 1 minuting by combination halfwants.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cell Rep Med	100095
  弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1016/j.xcrm.2020.100095.	直 がの 日 無 有
10.1010/jxo1m.2020.100000.	Ħ
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u> </u>
1.著者名	4 . 巻
Mart M, Tu n-Molina A, Aachmann FL, Muramoto Y, Noda T, Takayama K, Serrano-Aroca.	13
2.論文標題	5 . 発行年
Protective Face Mask Filter Capable of Inactivating SARS-CoV-2, and Methicillin-Resistant	2021年
Staphylococcus aureus and Staphylococcus epidermidis.	2021 <del>1</del>
Staphyrococcus aureus and Staphyrococcus epideriindis.	6.最初と最後の頁
Polymers	207
1 OTYMOTO	<b>201</b>
∃栽給☆のDOL / ごごカリオブごったし始回フヽ	木羊の左無
引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/polym13020207.	有
トープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
***	. 14
1. 著者名	4 . 巻
Martinez-Sobrido L, Blanco-Lobo P, Rodriguez L, Fitzgerald T, Zhang H et al	16
2.論文標題	
	2020年
Characterizing Emerging Canine H3 Influenza Viruses.	2020 <del>T</del>
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS Pathog	e1008409
. 200 . atmog	31000 <del>1</del> 00
	<del>+++</del> - + +
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.ppat.1008409	有
10.13/1/Journal.ppat.1000409	
	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名 Masashi Iwamoto, Yukino Shibata, Junna Kawasaki, Shohei Kojima, Yung-Tsung Li, Shingo Iwami, Masamichi Muramatsu, Hui-Lin Wu, Kazuhiro Wada, Keizo Tomonaga, Koichi Watashi, Masayuki Horie	4.巻 7
2.論文標題	5.発行年
Identification of novel avian and mammalian deltaviruses provides new insights into deltavirus evolution	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Evolution	veab003
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/ve/veab003	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4.巻
Masayuki Horie, Hiroshi Akashi, Masakado Kawata, Keizo Tomonaga	57
2.論文標題 Identification of a reptile lyssavirus in Anolis allogus provided novel insights into lyssavirus evolution	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Virus Genes	6.最初と最後の頁 40-49
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11262-020-01803-y	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1. 著者名	4.巻
Mata, C. P., Rodr guez, J. M., Suzuki, N., and Caston, J. R.	108
2.論文標題	5 . 発行年
Structure and assembly of double-stranded RNA mycovirus.	2020年
3.雑誌名 Advances in Virus Research	6.最初と最後の頁 213-247
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/bs.aivir.2020.08.001	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 Matsunaga H, Makino A, Kato Y, Murakami T, Yamaguchi Y, Kumanogoh A, Oba Y, Fujimi S, Honda T, Tomonaga K.	4.巻 13
2.論文標題 Radioligand Assay-Based Detection of Antibodies against SARS-CoV-2 in Hospital Workers Treating Patients with Severe COVID-19 in Japan.	
3.雑誌名 Viruses	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v13020347	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1. 著者名 Mitake H, Yasuhara A, Lopes TJS, Tagawa-Sakai Y, Shimizu K, Ozawa H, Kawakami C, Morikawa S,	
	4.巻 12(2)
Sugaya N, Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Comparison of the Pathogenicity in Mice of A(H1N1)pdm09 Viruses Isolated between 2009 and 2015	5 . 発行年 2020年
in Japan.	6.最初と最後の頁
Viruses	pii: E155
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12020155.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Mitsuhashi S, Nakagawa S, Sasaki-Honda M, Sakurai H, Frith MC, Mitsuhashi H	4 . 巻
2 . 論文標題 Nanopore direct RNA sequencing detects DUX4-activated repeats and isoforms in human muscle cells	5.発行年 2021年
	6.最初と最後の頁
	査読の有無
10.1093/hmg/ddab063	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 - -
. ***	
1 . 著者名 Mizuno H, Arce L, Tomotsune K, Albarracin L, Funabashi R, Vera D, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Sasaki Y, Kitazawa H, Villena J	4.巻 11
2.論文標題 Lipoteichoic acid is involved in the ability of the immunobiotic strain Lactobacillus plantarum CRL1506 to modulatethe intestinal antiviral innate immunity triggered by TLR3 activation.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Frontiers in Immunology	6.最初と最後の頁 Artcle 571
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00571	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Mizuno H, Tomotsune K, Islam MA, Funabashi R, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Aso H, Takahashi H, Kimura K, Villena J, Sasaki Y, Kitazawa H	該当する 4.巻 11
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Mizuno H, Tomotsune K, Islam MA, Funabashi R, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Aso H, Takahashi H, Kimura K, Villena J, Sasaki Y, Kitazawa H  2 . 論文標題 Exopolysaccharides from Streptococcus thermophilus ST538 modulate the antiviral innate immune response in porcine intestinal epitheliocytes.	該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2020年
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Mizuno H, Tomotsune K, Islam MA, Funabashi R, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Aso H, Takahashi H, Kimura K, Villena J, Sasaki Y, Kitazawa H  2 . 論文標題 Exopolysaccharides from Streptococcus thermophilus ST538 modulate the antiviral innate immune response in porcine intestinal epitheliocytes.	該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Mizuno H, Tomotsune K, Islam MA, Funabashi R, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Aso H, Takahashi H, Kimura K, Villena J, Sasaki Y, Kitazawa H  2 . 論文標題 Exopolysaccharides from Streptococcus thermophilus ST538 modulate the antiviral innate immune response in porcine intestinal epitheliocytes.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology	該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 894
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Mizuno H, Tomotsune K, Islam MA, Funabashi R, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Aso H, Takahashi H, Kimura K, Villena J, Sasaki Y, Kitazawa H  2 . 論文標題 Exopolysaccharides from Streptococcus thermophilus ST538 modulate the antiviral innate immune response in porcine intestinal epitheliocytes.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology	該当する 4 . 巻 11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁

1. 著者名 Mohamed WMA, Ali AO, Mahmoud HYAH, Omar MA, Chatanga E, Salim B, Naguib D, Anders JL, Nonaka N, Moustafa MAM, Nakao R	4.巻 10
2. 論文標題 Exploring Prokaryotic and Eukaryotic Microbiomes Helps in Detecting Tick-Borne Infectious Agents in the Blood of Camels.	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Pathogens	6.最初と最後の頁 351
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens10030351	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1.著者名 Moreno GK, Braun KM, Riemersma KK, Martin MA, Halfmann PJ, Crooks CM, Prall T, Baker D, Baczenas JJ, Heffron AS, Ramuta M, Khubbar M, Weiler AM, Accola MA, Rehrauer WM, O'Connor SL, Safdar N, Pepperell CS, Dasu T, Bhattacharyya S, Kawaoka Y, Koelle K, O'Connor DH, Friedrich TC	4.巻 11
2.論文標題 Revealing fine-scale spatiotemporal differences in SARS-CoV-2 introduction and spread.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Nat Commun	6.最初と最後の頁 5558
	木柱の左無
掲載編又のDUT ( テンタルイプシェクト識別子 )	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Moustafa MAM, Chel HM, Thu MJ, Bawm S, Htun LL, Win MM, Oo ZM, Ohsawa N, Lahdenper M, Mohamed WMA, Ito K, Nonaka N, Nakao R, Katakura K	4.巻 11
2.論文標題 Anthropogenic interferences lead to gut microbiome dysbiosis in Asian elephants and may alter adaptation processes to surrounding environments.	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Sci Rep	6.最初と最後の頁 741
相事給かのDOL ( プンカルカプン	本芸の <b>ナ</b> 価
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-80537-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Munke A, Kimura K, Tomaru Y, Okamoto K	4.巻 94
2.論文標題 Capsid structure of a marine algal virus of the order Picornavirales.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 J Virol	6.最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01855-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Murakoshi F, Bando H, Sugi T, Adeyemi OS, Nonaka M, Nakaya T, Kato K	14
2 . 論文標題	5.発行年
Nullscript inhibits Cryptosporidium and Toxoplasma growth.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Int J Parasitol Drugs Drug Resist	159-166
THE O'THRUST BY AGE OF THE CONTROL O	100 100
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ijpddr.2020.10.004	有
ナープンファトフ	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Murakoshi F, Nakaya T, Kato K.	17
·	
2.論文標題	5 . 発行年
Detection and Epidemiological Analysis of Symbiotic Viruses from Protozoa.	2020年
Section and Epidemiological Analysis of Symbiotic Villages Hom Hoteled.	2020-
	6.最初と最後の頁
** *** * *	
J Integrated Field Sci.	15-17
	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4.巻
	4.官
	_
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.	773
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.	773
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題	5 . 発行年
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.	773
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients	773 5.発行年 2021年
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名	773 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients	773 5.発行年 2021年
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名	773 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145363
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	773 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145363
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145363
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	773 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145363
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	773 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145363
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363	773  5. 発行年 2021年  6. 最初と最後の頁 145363  査読の有無
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363	773  5. 発行年 2021年  6. 最初と最後の頁 145363  査読の有無
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  査読の有無 有  国際共著
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  査読の有無 有  国際共著  -  4.巻
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E,	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  査読の有無 有  国際共著
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  - 査読の有無  - 国際共著  - 4.巻 80
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2 . 論文標題	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  査読の有無 有  国際共著  -  4.巻 80  5.発行年
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2.論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3.雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2.論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  - 査読の有無  - 国際共著  - 4.巻 80
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2 . 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 80  5.発行年 2021年
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2 . 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.  3 . 雑誌名	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  査読の有無 有  国際共著  -  4.巻 80  5.発行年
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2 . 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  査読の有無  有  国際共著  -  4.巻 80  5.発行年 2021年
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2 . 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.  3 . 雑誌名	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  - 査読の有無  - 国際共著  - 4.巻 80  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2. 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3. 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2. 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.  3. 雑誌名 Parasitol Int	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  - 査読の有無  - 国際共著  - 4.巻 80  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2 . 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.  3 . 雑誌名	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  - 査読の有無  - 国際共著  - 4.巻 80  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2 . 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.  3 . 雑誌名 Parasitol Int	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145363 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 80 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 102209
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2. 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3. 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2. 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.  3. 雑誌名 Parasitol Int	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  査読の有無 有  国際共著  -  4.巻 80  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 102209
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 .論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 .雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2 . 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.  3 . 雑誌名 Parasitol Int  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parint.2020.102209	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363  査読の有無  有  国際共著  -  4.巻 80  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 102209  査読の有無  有
Nakagawa S, Kawashima M, Miyatake Y, Kudo K, Kotaki R, Ando K, Kotani A.  2 . 論文標題 Expression of ERV3-1 in leukocytes of acute myelogenous leukemia patients  3 . 雑誌名 Gene  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gene.2020.145363  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Nakao R, Shinjo K, Sakiyama T, Ogata S, Kusakisako K, Kinoshita G, Naguib D, Chatanga E, Mohamed WMA, Moustafa MAM, Matsuno K, Ito T, Nonaka N, Sashika M, Tsubota T, Shimozuru M  2 . 論文標題 Amblyomma testudinarium infestation on a brown bear (Ursus arctos yesoensis) captured in Hokkaido, a northern island of Japan.  3 . 雑誌名 Parasitol Int	773  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 145363   査読の有無  有  国際共著  -  4.巻 80  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 102209  査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Nishiyama H, Endo H, Blanc-Mathieu R, Ogata H	8
Trontyalia II, Elalo II, Stallo mattiroa II, Ogata II	,
A A NOTE	_ 70 /
2.論文標題	5 . 発行年
Ecological Structuring of Temperate Bacteriophages in the Inflammatory Bowel Disease-Affected	2020年
Gut.	
	6 見知し見後の吾
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Microorganisms	1663
ů	
	+++ - + m
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/microorganisms8111663	有
S .	
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · - · ·	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
	7.5
Noda T	-
2.論文標題	5 . 発行年
Selective Genome Packaging Mechanisms of Influenza A Viruses.	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cold Spring Harb Perspect Med	
cord opting natio retrapect med	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1101/cshperspect.a038497.	有
10.11017csilperspect.a030497.	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
13 JULY EXCITATION AND JULY EXTENSION	
# 1.5	
1.著者名	4 . 巻
Nojima S, Fujita Y, Kimura KT, Nomura N, Suno R, Morimoto K, Yamamoto M, Noda T, Iwata S,	29
Shigematsu H, Kobayashi T.	
	_ 70 /
2.論文標題	5 . 発行年
Cryo-EM Structure of the Prostaglandin E Receptor EP4 Coupled to G Protein.	2021年
. ,	•
그 사람선	6 見知に見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Structure	252-260
担事公立のDOI(デッカリーデット) かロフン	本柱の大畑
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.str.2020.11.007.	有
•	· •
オーゴンマクセフ	国際共革
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R	- 4.巻 9
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R 2 . 論文標題	- 4.巻 9 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical	- 4.巻 9
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R 2 . 論文標題	- 4.巻 9 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.	- 4.巻 9 5.発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.	- 4.巻 9 5.発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名 Microorganisms	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 333
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名 Microorganisms 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 333
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名 Microorganisms	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 333
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名 Microorganisms 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 333
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名 Microorganisms  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms9020333	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 333 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名 Microorganisms  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms9020333	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 333 査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ogata S, Mohamed WMA, Kusakisako K, Thu MJ, Qiu Y, Moustafa MAM, Matsuno K, Katakura K, Nonaka N, Nakao R  2 . 論文標題 Spiroplasma Infection among Ixodid Ticks Exhibits Species Dependence and Suggests a Vertical Pattern of Transmission.  3 . 雑誌名 Microorganisms  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms9020333	- 4 . 巻 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 333 査読の有無

1 . 著者名 Ohta M, Bannai H, Kambayashi Y, Tamura N, Tsujimura K, Yamayoshi S, Kawaoka Y, Nemoto M	4 . 巻 -
2 . 論文標題	5 . 発行年
Growth properties and immunogenicity of a virus generated by reverse genetics for an inactivated equine influenza vaccine.	2021年
3.雑誌名 Equine Vet J.(in press)	6.最初と最後の頁
Equilie vet 3.(iii press)	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/evj.13431	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 *******	4 <del>14</del>
1 . 著者名 Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami T, Phuong HT, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Shkamoto S, Tanaka K, Sarki Y, Fukai S, Tokunaga F	4.巻 3
2 . 論文標題 Molecular bases for HOIPINs-mediated inhibitino of LUBAC and innate immune responses	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Commun Biol	163
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s42003-020-0882-8	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
4 774	4 <del>1/4</del>
1 . 著者名 Ono C, Fukuhara T, Li S, Wang J, Sato A, Izumi T, Fauzyah Y, Yamamoto T, Morioka Y, Dokholyan NV, Standley DM, Matsuura Y.A3:J3	4.巻 16
2.論文標題 Various miRNAs compensate the role of miR-122 on HCV replication.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 PLoS Pathog	6.最初と最後の頁 e1008308
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.ppat.1008308. eCollection 2020 Jun.	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Orba Y, Matsuno K, Nakao R, Kryukov K, Saito Y, Kawamori F, Loza Vega A, Watanabe T, Maemura T, Sasaki M, Hall WW, Hall RA, Pereira JA, Nakagawa S, Sawa H.	4.巻 102(3)
2. 論文標題 Diverse Mosquito Specific Flaviviruses in the Bolivian Amazon basin	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Gen Virol	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1099/jgv.0.001518	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

1.著者名	
Orba, Y., Matsuno, K., Nakao, R., Kryukov, K., Saito, Y., Kawamori, F., Vega, A.L., Watanabe, T., Maemura, T., Sasaki, M., Hall, W.W., Hall, R.A., Pereira, J.A., Nakagawa, S., Sawa, H.	4 . 巻
2.論文標題	5 . 発行年
Diverse mosquito specific flaviviruses in the Bolivian Amazon basin.	2021年
3.雑誌名 Journal of General Virology	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1099/jgv.0.001518	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4.巻
Pimfhun P, Kanai Y, Kawagishi T, Nouda R, Nurdin J, Yamasaki M, Nomura K, Tina L, Kobayashi <sup>-</sup>	T 534
2 . 論文標題	5 . 発行年
Generation of recombinant rotaviruses encoding a split NanoLuc peptide tag	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Biochemical and Biophysical Research Communications	740-746
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.bbrc.2020.11.007	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Prodinger F, Endo H, Gotoh Y, Li Y, Morimoto D, Omae K, Tominaga K, Blanc-Mathieu R, Takano Y Hayashi T, Nagasaki K, Yoshida T, Ogata H	4.巻
2 . 論文標題	5 . 発行年
An Optimized Metabarcoding Method for Mimiviridae.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microorganisms	506
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/microorganisms8040506	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Qiu Y, Simuunza M, Kajihara M, Chambaro H, Harima H, Eto Y, Simulundu E, Squarre D, Torii S, Takada A, Hangmbe BM, Sawa H, Sugimoto C, Nakao R	4.巻 12
2.論文標題 Screening of tick-borne pathogens in argasid ticks in Zambia: Expansion of the geographic distribution of Rickettsia lusitaniae and Rickettsia hoogstraalii and detection of putative novel Anaplasma species.	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Ticks Tick Borne Dis	6.最初と最後の頁 101720
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ttbdis.2021.101720	有

1 . 著者名 Ravichandran S, Lee Y, Grubbs G, Coyle EM, Klenow L, Akasaka O, Koga M, Adachi E, Saito M, Nakachi I, Ogura T, Baba R, Ito M, Kiso M, Yasuhara A, Yamada S, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki- Horimoto K, Imai M, Yamayoshi S, Yotsuyanagi H, Kawaoka Y, Khurana S	4.巻 7(10)
2.論文標題 Longitudinal antibody repertoire in "mild" versus "severe" COVID-19 patients reveals immune markers associated with disease severity and resolution.	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Sci Adv	6 . 最初と最後の頁 eabf2467
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abf2467.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Ryuichi Kumata, Jumpei Ito, Kei Sato	4.巻 56
2.論文標題 Inherited chromosomally integrated HHV-6 possibly modulates human gene expression	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Virus Genes	6.最初と最後の頁 386-389
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-020-01745-5	査読の有無有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Ryuichi Kumata, Jumpei Ito, Kenta Takahashi, Tadaki Suzuki, Kei Sato	4.巻
2.論文標題 A tissue level atlas of the healthy human virome	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 BMC Biology	6.最初と最後の頁 55
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12915-020-00785-5	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Sadeghi M, Tomaru Y, Ahola T	4.巻 13
2 . 論文標題 RNA Viruses in Aquatic Unicellular Eukaryotes.	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Viruses	6.最初と最後の頁 362
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v13030362	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

4 T + C	T
1.著者名	4 . 巻
Saito M, Adachi E, Yamayoshi S, Koga M, Iwatsuki-Horimoto K, Kawaoka Y, Yotsuyanagi H	71
AAAA ITTIT	
2.論文標題	5.発行年
Gargle lavage as a safe and sensitive alternative to swab samples to diagnose COVID-19: a case	2020年
report in Japan.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Clin Infect Dis	893-894
OTHE INICOL DIS	090-094
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/cid/ciaa377.	有
トープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
******	I , 44
1. 著者名	4 . 巻
Sakai M, Fujita Y, Komorizono R, Kanda T, Komatsu Y, Noda T, Tomonaga K, Makino A.	95
. 論文標題	5 発行任
	5.発行年
Optimal Expression of the Envelope Glycoprotein of Orthobornaviruses Determines the Production of Mature Virus Particles.	2021年
	6 早初レ早後の百
B. 雑誌名	6.最初と最後の頁
J Virol.	e02221-20
  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
単Xiim 又のDOT ( ) クラババス フクエク ( intx /	有
10.1120/0V1.0ZZZ1-ZU	<del> </del>
·ープンアクセス	国際共著
ーフファッセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーフンティヒス Cladavi、 人はカーフンディ ヒヘル四無	-
· 著者名	4 . 巻
—	4.仓   <sub>-</sub>
Sasaki M, Itakura Y, Kishimoto M, Tabata K, Uemura K, Ito N, Sugiyama M, Wastika CE, Orba Y,	_
Sawa H.	F 78/= /T
2.論文標題	5.発行年
Host serine proteases TMPRSS2 and TMPRSS11D mediate proteolytic activation and trypsin-	2021年
independent infection in group A retoviruses	1
independent infection in group A rotaviruses.	
	6.最初と最後の頁
	6.最初と最後の頁
. 雑誌名	
5.雑誌名 J Virol	-
. 雑誌名 J Virol 載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	- 査読の有無
」,維誌名 J Virol	-
5.雑誌名 J Virol 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21.	-   査読の有無   有
. 雑誌名 J Virol	- 査読の有無 有 国際共著
. 雑誌名 J Virol 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21.	-   査読の有無   有
. 雑誌名 J Virol  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. 	- 査読の有無 有 国際共著 該当する
. 雑誌名 J Virol  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. 	- 査読の有無 有 国際共著 該当する
. 雑誌名 J Virol 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- 査読の有無 有 国際共著 該当する
. 雑誌名 J Virol 「載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. 「一プンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H.	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 17(1)
3.雑誌名 J Virol 郵輸文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. エープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H.	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 17(1) 5 . 発行年
3. 雑誌名 J Virol 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. エープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H. 2. 論文標題 SARS-CoV-2 variants with mutations at the S1/S2 cleavage site are generated in vitro during	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 17(1)
3. 雑誌名 J Virol 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. オープンアクセスとしている(また、その予定である) I. 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H. 2. 論文標題 SARS-CoV-2 variants with mutations at the S1/S2 cleavage site are generated in vitro during propagation in TMPRSS2-deficient cells	- - - - - - - - - - - - - -
3. 雑誌名 J Virol 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H. 2. 論文標題 SARS-CoV-2 variants with mutations at the S1/S2 cleavage site are generated in vitro during propagation in TMPRSS2-deficient cells 3. 雑誌名	- 音読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 17(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
はいます。 ・	- - - - - - - - - - - - - -
・雑誌名 J Virol   載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) ・著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H. ・論文標題 SARS-CoV-2 variants with mutations at the S1/S2 cleavage site are generated in vitro during propagation in TMPRSS2-deficient cells ・雑誌名	- 音読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 17(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
3. 雑誌名 J Virol の 10.1128/JVI.00398-21. ロープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) ・ 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H. 2. 論文標題 SARS-COV-2 variants with mutations at the S1/S2 cleavage site are generated in vitro during propagation in TMPRSS2-deficient cells 3. 雑誌名 PLOS Pathogens	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 17(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e1009233
3. 雑誌名 J Virol    調動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21.    オープンアクセス	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 17(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e1009233
3.雑誌名 J Virol 翻輸文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. エープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H. 2. 論文標題 SARS-CoV-2 variants with mutations at the S1/S2 cleavage site are generated in vitro during propagation in TMPRSS2-deficient cells 3. 雑誌名 PLOS Pathogens	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 17(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e1009233
3. 雑誌名 J Virol 調輸論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21. オープンアクセスとしている(また、その予定である) . 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H. 2. 論文標題 SARS-CoV-2 variants with mutations at the S1/S2 cleavage site are generated in vitro during propagation in TMPRSS2-deficient cells 3. 雑誌名 PLOS Pathogens	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 17(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e1009233 査読の有無 有
3. 雑誌名 J Virol  『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00398-21.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Sasaki M, Uemura K, Sato A, Toba S, Sanaki T, Maenaka K, Hall WW, Orba Y, Sawa H.  2. 論文標題 SARS-CoV-2 variants with mutations at the S1/S2 cleavage site are generated in vitro during propagation in TMPRSS2-deficient cells 3. 雑誌名 PLOS Pathogens	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 17(1) 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e1009233

1 . 著者名	4 . 巻
Sasaki R, Miyashita S, Ando S, Ito K, Fukuhara T, Kormelink R, Takahashi H	166
2.論文標題	5 . 発行年
Complete genomic sequence of a novel phytopathogenic Burkholderia phage isolated from fallen	2021年
leaf compost.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Archives of Virology	313-316
	1 + + + - + + + + + + + + + + + + + + +
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00705-020-04811-3	有
	13
	Figure 11 ++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
(With two files and the control of t	10.17.0
1.著者名	4 . 巻
	13
Sasaki R, Miyashita S, Ando S, Ito K, Fukuhara T, Takahashi H	13
2.論文標題	5 . 発行年
Isolation and characterization of a novel jumbo phage from leaf litter compost and its	2021年
suppressive effect on rice seedling rot diseases.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	Article 591
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/v13040591	有
10.3330/ ¥13040331	H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
カーファッピハビしている ( あた、てい ) た ( のる )	-
1.著者名	4 . 巻
—	_
Sato, Y., and Suzuki, N.	vol 4
2.論文標題	5.発行年
Megabirnaviruses (Megabirnaviridae).	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
*****	
Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	594-600
,	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/B978-0-12-814515-9.20947-8	有
オープンアクセス	国際共著
	日間ハロ
	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープファクセスではない、又はオープファクセスが困難	
	1 4 <del>*</del>
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名	4.巻
	. —
1.著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.	11
1 . 著者名	-
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N. 2 . 論文標題	5 . 発行年
<ol> <li>著者名         Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.</li> <li>論文標題         Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus</li> </ol>	11
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.	11 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.	11 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.	11 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 592789
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 592789
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 592789
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.592789	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 592789 査読の有無 有
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 592789
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.592789	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 592789 査読の有無 有
1 . 著者名 Sato, Y., Jamal, A., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Molecular characterization of a novel polymycovirus from Penicillium janthinellum with a focus on its genome-associated PASrp.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.592789	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 592789 査読の有無 有

1.著者名	4.巻
Sato, Y., Shamsi, W., Jamal, A., Bhatti, M. F., Kondo, H., and Suzuki, N.	11
Sato, 1., Shahor, 1., Sahari, 1., Hohao, 1., and Sazaki, 1.	
A A NOTE	_ 7/- /-
2.論文標題	5 . 発行年
Hadaka virus 1: A capsidless 11-segmented (+)RNA virus from a phytopathogenic fungus Fusarium	2020年
oxysporum.	-
	6 早知と早後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
mBlo	e0045-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/mBio.00450-20	有
10.1126/11101.00430-20	l H
オープンアクセス	
· · · · · · =· ·	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4.巻
Seki F, Ohishi K, Maruyama T, Takeda M	64
OCKLI, OHISHI K, WALUYAHA I, TAKEUA W	
2 *A-> 1# 0#	- 3v/- /-
2 . 論文標題	5.発行年
Phocine distemper virus uses phocine and other animal SLAMs as a receptor but not human SLAM.	2020年
,	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microbiol Immunol	578-583
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/1348-0421.12788	有
10	
ナープンフクセフ	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Seki F, Yamamoto Y, Fukuhara H, Ohishi K, Maruyama T, Maenaka K, Tokiwa H, Takeda M	11
Seki F, Talliallioto T, Fukuliata H, Ollisii K, Matuyalla T, Maeliaka K, Tokiwa H, Takeua M	
2.論文標題	5.発行年
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-	5 . 発行年 2020年
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N- Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.	2020年
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N- Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection. 3.雑誌名	2020年 6 . 最初と最後の頁
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N- Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.	2020年
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N- Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection. 3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N- Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3 . 維誌名 Front Microbiol	2020年 6.最初と最後の頁
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N- Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3 . 雑誌名 Front Microbiol	2020年 6.最初と最後の頁
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2020年 6.最初と最後の頁 1830 査読の有無
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N- Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3 . 雑誌名 Front Microbiol	2020年 6 . 最初と最後の頁 1830
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020	2020年 6.最初と最後の頁 1830 査読の有無 有
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020	2020年 6.最初と最後の頁 1830 査読の有無
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020	2020年 6.最初と最後の頁 1830 査読の有無 有
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020	2020年 6.最初と最後の頁 1830 査読の有無 有
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 1830 査読の有無 有 国際共著
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 1830 査読の有無 有 国際共著
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 17
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 -
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 17
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2.論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 17
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2.論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 17  5.発行年 2020年
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2.論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 17  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2.論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 17  5.発行年 2020年
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2.論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 17  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2 . 論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.  3 . 雑誌名 Virol J	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 107
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2 . 論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.  3 . 雑誌名 Virol J	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 17  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2 . 論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.  3 . 雑誌名 Virol J	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 107
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2.論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有  国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 107
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2 . 論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.  3 . 雑誌名 Virol J  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12985-020-01357-3.	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 107  査読の有無 有
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3. 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2. 論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.  3. 雑誌名 Virol J  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12985-020-01357-3.	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 107  査読の有無 有
Measles Virus Hemagglutinin Protein Establishes a Specific Interaction With the Extreme N-Terminal Region of Human Signaling Lymphocytic Activation Molecule to Enhance Infection.  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.01830. eCollection 2020  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sha TW, Weber M, Kasumba DM, Noda T, Nakano M, Kato H, Fujita T.  2 . 論文標題 Influenza A virus NS1 optimises virus infectivity by enhancing genome packaging in a dsRNA-binding dependent manner.  3 . 雑誌名 Virol J  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12985-020-01357-3.	2020年 6.最初と最後の頁 1830  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 17 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 107  査読の有無 有

1.著者名	4.巻
Shahi, S., Chiba, S., Kondo, H., and Suzuki, N.	554
つ *Δ-Δ	p がんこ ケ
2.論文標題	5 . 発行年
Cryphonectria nitschkei chrysovirus 1 with unique molecular features and a very narrow host	2021年
range.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virology	55-65
<u></u>   掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	 査読の有無
10.1016/j.virol.2020.11.011	有
10.1010/j.v1101.2020.11.011	1
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
2 2 2 2 2 2 1 Class Co. ( 2010) 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
1.著者名	4 . 巻
Shehata AA, Bando H, Fukuda Y, Kabir MHB, Murakoshi F, Itoh M, Fujikura A, Okawa H, Endo T,	68
Goto A, Kachi M, Nakayama T, Kano Y, Oishi S, Otomaru K, Kazama K, Essa MI, Kato K	55
2.論文標題	5.発行年
Development of a highly sensitive method for the detection of Cryptosporidium parvum virus type	2020年
1 (CSpV1).	_0_0_
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Jap J Vet Res	159-170
	.33
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.14943/jjvr.68.3.159	有
	13
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
	***
1.著者名	4 . 巻
Shinoda H, Taguchi Y, Nakagawa R, Makino A, Okazaki S, Nakano M, Muramoto Y, Takahashi C,	4
Takahashi I, Ando J, Noda T, Nureki O, Nishimasu H, Watanabe R.	
2.論文標題	5 . 発行年
Amplification-free RNA detection with CRISPR-Cas13.	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Commun Biol	476
	-
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-021-02001-8.	査読の有無 有
10.1038/s42003-021-02001-8.	
10.1038/s42003-021-02001-8. オープンアクセス	
10.1038/s42003-021-02001-8.	有
10.1038/s42003-021-02001-8. オープンアクセス	有
10.1038/s42003-021-02001-8. オープンアクセス	有
10.1038/s42003-021-02001-8. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 - 4.巻
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N,	有 国際共著 - 4.巻
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.	有 国際共著 - 4.巻 16
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 16 5.発行年
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2 . 論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces	有 国際共著 - 4.巻 16 5.発行年
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2.論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces cerevisiae possesses an anti-influenza A virus activity.	有 国際共著 - 4.巻 16 5.発行年 2021年
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2 . 論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces cerevisiae possesses an anti-influenza A virus activity.  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 16 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2.論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces cerevisiae possesses an anti-influenza A virus activity.  3.雑誌名 PLos One	有 国際共著 - 4 . 巻 16 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e0244885
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2 . 論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces cerevisiae possesses an anti-influenza A virus activity.  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 16 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2.論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces cerevisiae possesses an anti-influenza A virus activity.  3.雑誌名 PLos One	有 国際共著 - 4 . 巻 16 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e0244885
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2. 論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces cerevisiae possesses an anti-influenza A virus activity.  3. 雑誌名 PLoS One  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0244885.	有 国際共著 - 4 . 巻 16 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e0244885 査読の有無
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2 . 論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces cerevisiae possesses an anti-influenza A virus activity.  3 . 雑誌名 PLoS One  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0244885.	有 国際共著 - 4 . 巻 16 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e0244885 査読の有無
10.1038/s42003-021-02001-8.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Shoji M, Sugimoto M, Matsuno K, Fujita Y, Mii T, Ayaki S, Takeuchi M, Yamaji S, Tanaka N, Takahashi E, Noda T, Kido H, Tokuyama T, Tokuyama T, Tokuyama T, Kuzuhara T.  2 . 論文標題 A novel aqueous extract from rice fermented with Aspergillus oryzae and Saccharomyces cerevisiae possesses an anti-influenza A virus activity.  3 . 雑誌名 PLoS One  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0244885.	有 国際共著 - 4 . 巻 16 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 e0244885 査読の有無

Simu Undu E, Kösshe K, Chambaro HM, Squarre D, Rei II P, PN, Chi tanga S, Changul a K, Wukubesa AN, Mokobe J, Kapata M, Bates M, Sinkala Y, Hangabe BM, Nalubanba KS, Kajihara M, Sasaki M, Orba Y, Takada A, Sawa H.  2. 論文機器   Simu Virus in Farmed Crocodiles, Zarbia, 2019   5. 第行年 2020年   20		
Rest Nile Virus in Farmed Crocodiles, Zarbia, 2019   2020年   2020年   3. 橋越名   6. 最初と最後の頁 811-814、   811-814    811-81	Simulundu E, Ndashe K, Chambaro HM, Squarre D, Reilly PM, Chitanga S, Changula K, Mukubesa AN, Ndebe J, Tembo J, Kapata N, Bates M, Sinkala Y, Hangmbe BM, Nalubamba KS, Kajihara M, Sasaki M,	4 . 巻 6(4)
#報論文の001 (デジタルオブジェクト週別子)		
1. 著名名 Sun, L., Kondo, H., Andika, I. B.  1. 著名名 Sun, L., Kondo, H., Andika, I. B.  2. 論文標題 Cross-Kingdom Virus Infection. 3. 婚誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  #軽點論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) 10.1073/pnas.1714316114  21. 著名名 Suzuki Y., Tanaka A., Maeda Y., Emi A., Fujioka Y., Sakaguchi S., SG Vasudevan, Kobayashi T., CK Lim, Islakaski T., H Nu, Nakano T 22. 論文程題 Construction and characterization of an infectious clone generated from Chikungunya virus St.117131 strain 3. 根話名 Virology  #R  ##   1. 著名名 Suzuki Y., Tanaka A., Maeda Y., Emi A., Fujioka Y., Sakaguchi S., SG Vasudevan, Kobayashi T., CK Lim, Islakaski T., H Nu, Nakano T 22. 論文程題 Construction and characterization of an infectious clone generated from Chikungunya virus St.117131 strain 3. 根話名 Virology  ##   1. 著名名 Suzuki N.  2. 論文傳題 An introduction to fungal viruses. 3. 能誌名 An introduction to fungal viruses. 3. 能誌名 An introduction to fungal viruses. 3. 能誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  ##   ##   ##   ##   ##   ##   ##   #		
1. 著名名   1. 表名名   1. 表别の   1. 表表   1.	掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3201/eid2604.190954.	
Sun, L., Kondo, H., Andika, I. B.  2 . 論文標題 Cross-Kingdom Virus Infection.  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  6 . 最初と最後の頁 443-449  15 . 報行年 2021年  2 . 語文標題 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著名名 Suzuki Y., Tanaka A, Maada Y, Emi A, Fujioka Y, Sakaguchi S, SG Vasudevan, Kobayashi T, CK Lim, Takasaki T, H Wu, Nakano T  2 . 論文課題 Construction and characterization of an infectious clone generated from Chikungunya virus SL11131 strain  3 . 解話名 Virology  1 . 著名名 Suzuki Y, Vanaka A, Wanda Y, Emi A, Fujioka Y, Sakaguchi S, SG Vasudevan, Kobayashi T, CK Lim, 552  5 . 銀行程 2021年  1 . 不知ないには、TH Wu, Nakano T  2 . 論文課意 Onstruction and characterization of an infectious clone generated from Chikungunya virus SL11131 strain 3 . 解話名 Virology  1 . 著名名 Suzuki, N.  2 . 論文課題 An introduction to fungal viruses.  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  4 . 巻		
Cross-Kingdom Virus Infection.   2021年   3 . 雑誌名		_
Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  443-449  書談論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1714916114  オーブンアクセス  国際共著  1 . 著者名 Suzuki Y, Tanaka A, Maeda Y, Emi A, Fujioka Y, Sakaguchi S, SG Vasudevan, Kobayashi T, CK Lim, Takasaki T, H Wu, Nakano T  2 . 論文標題 Construction and characterization of an infectious clone generated from Chikungunya virus 3 . 雑誌名 Virology  第数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2020.09.006  1 . 著者名 Suzuki, N.  2 . 論文標題 An introduction to fungal viruses.  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  4 . 巻 2 . 論文標題 An introduction to fungal viruses.  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  5 . 発行年 2021年  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  5 . 発行年 2021年  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).	······	
### オープンアクセス		
### ### ### ### #####################		
Suzuki Y, Tanaka A, Maeda Y, Emi A, Fujioka Y, Sakaguchi S, SG Vasudevan, Kobayashi T, CK Lim, Takasaki T, H W, Nakano T  2 . 論文標題 Construction and characterization of an infectious clone generated from Chikungunya virus SL11131 strain  3 . 雑誌名 Virology  信読の有無 10.1016/j.virol.2020.09.006  1. 蓋者名 Suzuki, N.  2 . 論文標題 An introduction to fungal viruses.  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  2 . 論文標題 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  2 . 意識の有無 10.1016/8978-0-12-814515-9.00045-X  有オープンアクセス  国際共著  意読の有無 有オープンアクセス  国際共著  意識の有無 有  オープンアクセス  国際共著		
Construction and characterization of an infectious clone generated from Chikungunya virus SL11131 strain   2021年   3 . 雑誌名	Suzuki Y, Tanaka A, Maeda Y, Emi A, Fujioka Y, Sakaguchi S, SG Vasudevan, Kobayashi T , CK Lim,	_
Virology       52-62         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2020.09.006       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 該当する         1.著者名 Suzuki, N.       4.巻 4         2.論文標題 An introduction to fungal viruses.       5.発行年 2021年         3.雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).       6.最初と最後の頁 431-442         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-814515-9.00045-X       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	Construction and characterization of an infectious clone generated from Chikungunya virus SL11131 strain	2021年
10.1016/j.virol.2020.09.006 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Suzuki, N.  2. 論文標題 An introduction to fungal viruses.  3. 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).  4. 巻 4. 巻 4. 巻 6. 最初と最後の頁 431-442  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-814515-9.00045-X 有  オープンアクセス  国際共著	** *** *	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難該当する1 . 著者名 Suzuki, N.4 . 巻 42 . 論文標題 An introduction to fungal viruses.5 . 発行年 2021年3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).6 . 最初と最後の頁 431-442掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-814515-9.00045-X査読の有無 有オープンアクセス国際共著		_
Suzuki, N.       4         2. 論文標題         An introduction to fungal viruses.        5. 発行年         2021年          3. 雑誌名         Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).        6. 最初と最後の頁         431-442          掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         10.1016/B978-0-12-814515-9.00045-X        査読の有無         オープンアクセス		
An introduction to fungal viruses. 2021年  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman). 6 . 最初と最後の頁 431-442  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-814515-9.00045-X 有  オープンアクセス 国際共著		
Encyclopedia of Virology 4th Edition (Ed. D. Bamford & M. Zuckerman).       431-442         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1016/B978-0-12-814515-9.00045-X       有         オープンアクセス       国際共著		
10.1016/B978-0-12-814515-9.00045-X       有         オープンアクセス       国際共著		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-814515-9.00045-X	
		国際共著

1.著者名 Suzuki, N., Aulia, A., Shahi, S., Hillman, B. I., Cornerjo, C., Rigling, D.  2.論文標題 In-tree behavior of diverse viruses harbored in the chestnut blight fungus, Cryphonectria parasitica.  3.雑誌名 Journal of Virology  「掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01962-20  有	
Suzuki, N., Aulia, A., Shahi, S., Hillman, B. I., Cornerjo, C., Rigling, D. 95  2.論文標題 In-tree behavior of diverse viruses harbored in the chestnut blight fungus, Cryphonectria parasitica.  3.雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  査読の有無	
2.論文標題 In-tree behavior of diverse viruses harbored in the chestnut blight fungus, Cryphonectria parasitica.5.発行年 2021年3.雑誌名 Journal of Virology6.最初と最後の頁 e01962-20掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)査読の有無	
In-tree behavior of diverse viruses harbored in the chestnut blight fungus, Cryphonectria 2021年 parasitica.  3.雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)  査読の有無	
In-tree behavior of diverse viruses harbored in the chestnut blight fungus, Cryphonectria 2021年 parasitica.  3.雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)  査読の有無	
parasitica.       6.最初と最後の頁         Journal of Virology       601962-20         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無	
parasitica.       6.最初と最後の頁         Journal of Virology       601962-20         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無	
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         Journal of Virology       e01962-20         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無	
Journal of Virology e01962-20 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
10.1128/JVI.01962-20 有	
The state of the s	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する	
1 . 著者名 4 . 巻	
T. Guo, Z. Qiu, K. Kitagawa, S. Iwami, L. Rong.	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
Modeling HIV multiple infection 2021年	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
Journal of Theoretical Biology 110502	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1016/j.jtbi.2020.110502 有	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する	
1 . 著者名 4 . 巻	
T. Inagaki, Y. Sato, J. Ito, M. Takaki, Y. Okuno, M. Yaguchi, H.M.A.A. Masud, T. Watanabe, K. 11	
Sato, S. Iwami, T. Murata, H. Kimura.	
2.論文標題 5.発行年	
latency during B-cell infection,	
3.雑誌名 📗 6.最初と最後の頁	
Frontiers in Microbiology 11:575255 (2021)	
Frontiers in Microbiology, 11:575255 (2021). 575255	
Frontiers in Microbiology, 11:575255 (2021). 575255	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.3389/fmicb.2020.575255 有	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.3389/fmicb.2020.575255 有	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する 1.著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有 オープンアクセス  コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2.論文標題  5.発行年	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2 . 論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host 2021年	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2.論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2.論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host  2. 論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2.論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response 3.雑誌名  在読の有無  有  国際共著  該当する  4.巻  509  5.発行年  2021年	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有  オープンアクセス  コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2.論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 is当する  1. 著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2. 論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response 3. 雑誌名  6. 最初と最後の頁	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有  コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2.論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response 3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  a 意読の有無 核当する  4. 巻 509  5. 発行年 2021年  6. 最初と最後の頁 110493	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有  コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2.論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response 3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  a 意読の有無 核当する  4.巻 509  5.発行年 2021年  6.最初と最後の頁 110493	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255 有  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2. 論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  a	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255  有 オープンアクセス  I 国際共著  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 T. Oda, K.S. Kim, Y. Fujita, Y. Ito, T. Miura, S. Iwami.  2. 論文標題 Quantifying antiviral effects against simian/human immunodeficiency virus induced by host immune response 3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2020.110493  査読の有無 有	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.575255	

1.著者名	4 . 巻
Tabara M, Koiwa H, Suzuki N, Fukuhara T.	-
2 * ^ + A + T = T	F 36/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous	2021年
fungus Neurospora crassa	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Fungal Genet Biology	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.fgb.2020.103488.	有
, ,	
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Tabara M, Nagashima Y, He K, Qian X, Crosby KM, Jifon J, Jayaprakasha G, Patil B, Koiwa H,	293
Takahashi H, Fukuhara T	
	F 38/-75
2 . 論文標題	5.発行年
Frequent asymptomatic infection with tobacco ringspot virus on melon fruit.	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Research	198266
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.virusres.2020.198266	有
10.1010/ j. VITustes.2020. 190200	
	□ 1/10 ±± ÷÷
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
· · 14 15 L	
Tabana M. Maina H. Ongali N. and Edubana T	440
Tabara, M., Koiwa, H., Suzuki, N., and Fukuhara, T.	146
Tabara, M., Koiwa, H., Suzuki, N., and Fukuhara, T.  2.論文標題	146 5 . 発行年
2 . 論文標題	5.発行年
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous	
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.	5.発行年 2021年
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa. 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.	5.発行年 2021年
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa. 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa. 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488
2. 論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3. 雑誌名 Fungal Genetics and Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W,	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.  3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.  3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.  3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.  3.雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 638
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.  3.雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 638
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.  3.雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 638
2. 論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3. 雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2. 論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.  3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 638
2 . 論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3 . 雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2 . 論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.  3 . 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 638
2.論文標題 Biochemical characterization of the dicing activity of Dicer-like 2 in the model filamentous fungus Neurospora crassa.  3.雑誌名 Fungal Genetics and Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.fgb.2020.103488  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Tada A, Islam MA, Kober AH, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H  2.論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF and serotonin.  3.雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 103488 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 21 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 638

Takahashi, N., Wada, K., Takano, Y., Matsuno, K., Masuda, Y., Arai, K., Murayama, N., Tonaru, Y., Rogasski, K. Rogasski, K. Sepasski, K. S., 1997年  3. 持続名 Sci Total Env	Takahashi, M, Nada, K, Takano, Y, Matsuno, K, Wasuda, Y, Arai, K, Murayama, M, Tomeru, Y, Nagasaki, K, Nagasaki, K, 18, Nagasaki, K, Na		1
Nogaski, K 2・	Nagasaki, K Chronological distribution of dine_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core.  5 発行年 2021年 Chronological distribution of dine_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core.  6 最初と厳後の頁 20 R製剤論文のDI (デジタルオプジェクト識別子) 1 著名名 Takaki Y, Takani Y, Watanabe T, Nakaya T, Wurakoshi F 2 論文機理 Nolecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri. 3 機器為 Vet Parasitol Reg Stud Reports  8 最初の有照 10.1016/j.vprsr.2020.100430  7 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回搬  1 著名名 Takasht V, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 2 論文機理 The Integrity of the YxaL Notif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis. 3 融話名 1 教育名 Takasht V, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 4 意 3 融話名 Tolatal V, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 5 . 発行年 2020年 10.1128/JVI.02170-19.  6 最初と最後の頁 602(770)	1.著者名	4.巻
Nagasaki, K 2 - 論文標照 Chronological distribution of dino_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core.  3. 雑誌名 Sci Total Env	Aggasaki, K   2   論文標語   Chronological distribution of dino_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core.   2021年	Takahashi, M. Wada, K. Takano, Y. Matsuno, K. Masuda, Y. Arai, K. Murayama, M. Tomaru, Y.	770
2 . 龍女福館 Chromological distribution of dino_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core. 3 . 神話名 Sci Total Env 6 . 最初と最後の育 20 18 記読の名無 有 17 - プンアクセス 18 記載	2. 請文權題 Chronological distribution of dino_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core. 3. 酬誌名 Sci Total Env		
Chronological distribution of dine_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core.  2021年 3 - 韓越名 Sci Total Enw 6 - 最初と最後の頁 20	Chronological distribution of dino_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core.  2021年  3. 練誌名 Sici Total Env  B		F 36%= A=
3 . 終証名 Sci Total Env	8 機能論文の001 (デジタルオブジェクト護例子)		
3 . 終証名 Sci Total Env	8 機能論文の001 (デジタルオブジェクト護例子)	Chronological distribution of dino_agellate-infecting RNA virus in marine sediment core.	2021年
接載論文の201 (デジタルオブジェクト議別子)   国際共著   有	20   日本語文の001 (デジタルオブジェクト識別子)   食読の有無 有	_ 0	
接載論文の201 (デジタルオブジェクト議別子)   国際共著   有	20   日本語文の001 (デジタルオブジェクト識別子)   食読の有無 有	2. 雄士夕	6 早初レ旱後の百
指数論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scitotenv.2021.145220	機動論文の201(デジタルオブジェクト識別子) 1、著名名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F 2、論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3. 純誠名 Vet Parasitol Reg Stud Reports Epub 2020  「デジタルオブジェクト識別子) 1、著名名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Beckar S.  2. 論文標題 The Integrity of the Yxxt Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 純誠名 1、著名名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Beckar S.  2. 論文標題 The Integrity of the Yxxt Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 純誠名 J Virol 1. 著名名 Takashita E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Norita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawacka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandenic.  1. 著名名 Takashita E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Norita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawacka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandenic.  3. 熱読名 Influenza Other Respir Viruses  ■ 最初と最後の頁 1. 1111/iru.12854.  4. 巻		
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	1. 差者名   1. 差者名   2. 論文標題   2.   2.   2.   2.   2.   2.   2.   2	Sci Total Env	20
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	1. 差者名   1. 差者名   2. 論文標題   2.   2.   2.   2.   2.   2.   2.   2		
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	1. 差者名   1. 差者名   2. 論文標題   2.   2.   2.   2.   2.   2.   2.   2		
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	1. 差者名   1. 差者名   2. 論文標題   2.   2.   2.   2.   2.   2.   2.   2		
オープンアクセス  1 . 著名名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2 . 論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 婚話名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  おープンアクセス (日本) (デジタルオプジェクト識別子) 10 .1016/j.vprsr.2020.100430  第載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 2 . 論文標題 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 解試名 J Virol  超離論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10 .1128/JVI.02170-19.  類難論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10 .1128/JVI.02170-19.  第載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 11 . 著名名 Takashi E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shinizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Outbo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandenic.  3 . 解試名 Influenza Other Respir Viruses  ##################################	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1、著名名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2、論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3、解話名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  局職論文のDO1 (デジタルオプジェクト識別子)  1、著名名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2、論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3、触話名 J Virol  高論の利無 有オープンアクセス  「1、著名名 Takamatia W, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  5、飛行年 2020年  「2020年  「2020年  「3、触話名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawabka Y  2、論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3、触話名 Influenza Other Respir Viruses  [編載論文のDO1 (デジタルオプジェクト識別子)  「2020年  「2	掲載論又のDUI(アンタルオフンエクト識別士)	宜読の有無
オープンアクセス  1 . 著名名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2 . 論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 婚話名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  おープンアクセス (日本) (デジタルオプジェクト識別子) 10 .1016/j.vprsr.2020.100430  第載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 2 . 論文標題 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 解試名 J Virol  超離論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10 .1128/JVI.02170-19.  類難論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10 .1128/JVI.02170-19.  第載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 11 . 著名名 Takashi E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shinizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Outbo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandenic.  3 . 解試名 Influenza Other Respir Viruses  ##################################	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1、著名名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2、論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3、解話名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  局職論文のDO1 (デジタルオプジェクト識別子)  1、著名名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2、論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3、触話名 J Virol  高論の利無 有オープンアクセス  「1、著名名 Takamatia W, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  5、飛行年 2020年  「2020年  「2020年  「3、触話名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawabka Y  2、論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3、触話名 Influenza Other Respir Viruses  [編載論文のDO1 (デジタルオプジェクト識別子)  「2020年  「2	10.1016/i.scitotenv.2021.145220	有
1 . 著名名 「Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2 . 論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 極謀名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  括数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vprsr.2020.100430  1 . 著名名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  超際共著 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著名名 Takashita E, Kawakami C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Magata S, Watanabe S, Hasagawa H, Kawaoka Y  2 . 論文程語 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 維誌名 Influenza Other Respir Viruses  日本ガンアクセス  国際共著  4 . 巻 5 . 発行年 2021年 20	1. 著者名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F 2. 論文課題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri. 3. 確認者 Vet Parasitol Reg Stud Reports	,,,,,,	
1 . 著名名 「Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2 . 論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 極謀名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  括数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vprsr.2020.100430  1 . 著名名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  超際共著 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著名名 Takashita E, Kawakami C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Magata S, Watanabe S, Hasagawa H, Kawaoka Y  2 . 論文程語 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 維誌名 Influenza Other Respir Viruses  日本ガンアクセス  国際共著  4 . 巻 5 . 発行年 2021年 20	1. 著者名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F 2. 論文課題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri. 3. 確認者 Vet Parasitol Reg Stud Reports		<b>园咖井</b> 茶
1 ・著名名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F 2 ・ 論文標題 Nolecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri. 3 ・ 秘語名 Net Farasitol Reg Stud Reports 6 ・ 最初と最後の頁 Epub 2020 日報論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1 ・著名名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 2 ・ 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocaysid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis. 5 ・ 発行年 2020年 日報論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1 ・著名名 Takashita E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka R) 1 ・ 著名名 Takashita E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka R) 1 ・ 著名名 Takashita E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka R) 2 ・ 論文標題 Increased risk of thinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 5 ・ 発行年 2021年 2 ・ 論文標題 Increased risk of thinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 6 ・ 最初と最後の頁 Influenza Other Respir Viruses  1 ・ 整義の名無	1 ・著名名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F 2 ・論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan Including a new subtype in Cryptosporidium fayeri. 3 ・練誌名 Wet Parasitol Reg Stud Reports  おおおと (中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	国际共者
1 ・著名名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F 2 ・ 論文標題 Nolecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri. 3 ・ 秘語名 Net Farasitol Reg Stud Reports 6 ・ 最初と最後の頁 Epub 2020 日報論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1 ・著名名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 2 ・ 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocaysid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis. 5 ・ 発行年 2020年 日報論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1 ・著名名 Takashita E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka R) 1 ・ 著名名 Takashita E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka R) 1 ・ 著名名 Takashita E, Kawakani C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka R) 2 ・ 論文標題 Increased risk of thinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 5 ・ 発行年 2021年 2 ・ 論文標題 Increased risk of thinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 6 ・ 最初と最後の頁 Influenza Other Respir Viruses  1 ・ 整義の名無	1 ・著名名 Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F 2 ・論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan Including a new subtype in Cryptosporidium fayeri. 3 ・練誌名 Wet Parasitol Reg Stud Reports  おおおと (中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2. 論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3. Amis	Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2. 論文標題 Nolecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3. 統語名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vprsr.2020.100430  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 Takanatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 辨話名 J Virol  最勤論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  最勤論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 2. 清文が標題 Takashi ta E, Kawakami C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka A ープンアクセス 国際共著  3. 辨話名 Takashi ta E, Kawakami C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka A ープンアクセス は応標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 辨話名 Influenza Other Respir Viruses  [編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 2 講の有無 Influenza Other Respir Viruses  [編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12884.		•
Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2. 論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3. A Mis	Takaki Y, Takami Y, Watanabe T, Nakaya T, Murakoshi F  2. 論文標題 Nolecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3. 統語名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vprsr.2020.100430  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 Takanatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 辨話名 J Virol  最勤論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  最勤論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 2. 清文が標題 Takashi ta E, Kawakami C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka A ープンアクセス 国際共著  3. 辨話名 Takashi ta E, Kawakami C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka A ープンアクセス は応標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 辨話名 Influenza Other Respir Viruses  [編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 2 講の有無 Influenza Other Respir Viruses  [編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12884.	4 ***	4 24
2 .論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 .雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  信託初と最後の頁 Epub 2020  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j. vprsr.2020.100430  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 .論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis. 3 . 独誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  第本語文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shinizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Norita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses	2 . 論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports		4 . 奁
2 .論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 .雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  6 . 最初と最後の頁 Epub 2020  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j. vprsr.2020.100430  7 ープンアクセス  1 . 著名名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 .論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis. 3 . 独誌名 J Virol  1 . 著名名 Takashita E, Kawakami C, Monoki T, Saikusa M, Shinizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hassegawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  1 . 雜名名 Takashita E, Kawakami C, Monoki T, Saikusa M, Shinizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hassegawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  1 . 雜別と最後の頁 Influenza Other Respir Viruses  1 . 雜別の有無	2 . 論文標題 Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports	Takaki Y. Takami Y. Watanabe T. Nakava T. Murakoshi F	Epub 2020
Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  信服	Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3. 雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports 6. 最初と職後の頁 Epub 2020		
Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  信服	Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3. 雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports 6. 最初と職後の頁 Epub 2020	2 <u>*</u>	F 364-7-
including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  6 . 最初と最後の頁 Epub 2020  掲数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vprsr.2020.100430  オープンアクセス  コアクセス  1 悪者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  おープンアクセス  国際共著  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  編集  オープンアクセス 国際共著	including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 ・雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  信 ・ 最初と最後の頁 Epub 2020  [掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yprsr.2020.100430  オープンアクセス  国際共著  1 ・著名名 Takanatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 ・論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 ・雑誌名 J Virol  「表述の有無 有		
including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 . 雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  6 . 最初と最後の頁 Epub 2020  掲数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vprsr.2020.100430  オープンアクセス  app 共著  1 . 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  掲数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  最勤論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  第 表者名 Takashita E, Kawakami C, Monoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka R, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandenic.  1 素義名 Influenza Other Respir Viruses  1 表表の有無 Influenza Other Respir Viruses  1 表表の有無 Influenza Other Respir Viruses  1 表表の有無 Influenza Other Respir Viruses  1 国際共著	including a new subtype in Cryptosporidium fayeri.  3 ・雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports  信 ・ 最初と最後の頁 Epub 2020  [掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yprsr.2020.100430  オープンアクセス  国際共著  1 ・著名名 Takanatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 ・論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 ・雑誌名 J Virol  「表述の有無 有	Molecular identification of Cryptosporidium isolates from ill exotic pet animals in Japan	2020年
3.雑誌名 Vet Parasitol Reg Stud Reports 「表達の有無 を	8 機能名 Vet Parasitol Reg Stud Reports 6 . 最初と最後の頁 Epub 2020    機能論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vprsr.2020.100430		
接載論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vprsr.2020.100430	Rating content   Epub 2020		c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 雑誌名 J Virol  おオープンアクセス  は 大ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j. vprsr. 2020. 100430  オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 Takanatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis. 3 . 維誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  電読の有無 1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文課題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  国際共著	3.雜誌名	6.最例と最後の貝
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j. vprsr. 2020. 100430  オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 Takanatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis. 3 . 維誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  虚読の有無 イーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Czawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawacka Y  2 . 論文課題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  国際共著	Vet Parasitol Reg Stud Reports	Epub 2020
### 10.1016/j.vprsr.2020.100430 有	### 10.1016/j.vprsr.2020.100430 有	The state of the s	, <del></del>
### 10.1016/j.vprsr.2020.100430 有	### 10.1016/j.vprsr.2020.100430 有		
### 10.1016/j.vprsr.2020.100430 有	### 10.1016/j.vprsr.2020.100430 有		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 94  1 . 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 94  2 . 論文標題 5 . 発行年 2020年	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 94  2 . 論文標題	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 94  1 . 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 94  2 . 論文標題 5 . 発行年 2020年	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 94  2 . 論文標題	10 1016/j vprsr 2020 100430	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 94  1 . 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 94  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	*** オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 *** ・ *** *** *** *** *** *** *** ***	10.1016/ ]. 1016/	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 94  1 . 著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 94  2 . 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	*** オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 *** ・ *** *** *** *** *** *** *** ***		
1.著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2.論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3.雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  本ープンアクセス  I 国際共著  Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  超談の有無 10.1111/irv.12854.  本ープンアクセス  国際共著	1.著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2.論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3.雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  本一ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  1. 素語の有無	· · · · · · =· ·	国際共者
1.著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2.論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3.雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  本ープンアクセス  I 国際共著  Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  超談の有無 10.1111/irv.12854.  本ープンアクセス  国際共著	1.著者名 Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2.論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3.雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  本一ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  1. 素語の有無	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  4. 巻  Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  4. 巻 - S#77年 - 2021年  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「直読の有無 10.1111/irv.12854.  加速後の頁 - 「最初と最後の頁 - 「最初と最後の頁 - 「最初と最後の頁 - 「開刊を表現的では、アンティン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 94  2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 雑誌名 J Virol 6. 最初と最後の頁 e02170-19  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.		
Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S.  2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  4. 巻  Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  4. 巻 - S#77年 - 2021年  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「直読の有無 10.1111/irv.12854.  加速後の頁 - 「最初と最後の頁 - 「最初と最後の頁 - 「最初と最後の頁 - 「開刊を表現的では、アンティン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Takamatsu Y, Kolesnikova L, Schauflinger M, Noda T, Becker S. 94  2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 雑誌名 J Virol 6. 最初と最後の頁 e02170-19  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.	4 *************************************	I 4 244
2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  名オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  集 オープンアクセス  国際共著	2.論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 雑誌名 J Virol  「「デジタルオブジェクト識別子」 10.1128/JVI.02170-19.  「「著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「「デジタルオブジェクト識別子」 10.1111/irv.12854.  「重読の有無 無 無 オープンアクセス 国際共著	I. 者看台	4. 夸
2. 論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  名オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  集 オープンアクセス  国際共著	2.論文標題 The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3. 雑誌名 J Virol  「「デジタルオブジェクト識別子」 10.1128/JVI.02170-19.  「「著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「「デジタルオブジェクト識別子」 10.1111/irv.12854.  「重読の有無 無 無 オープンアクセス 国際共著	Takamatsu Y. Kolesnikova L. Schauflinger M. Noda T. Becker S.	94
The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  着オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  6 . 最初と最後の頁 Influenza Other Respir Viruses  2020年  2020年  6 . 最初と最後の頁 - 電話の有無 第一プンアクセス  国際共著	The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  「おおれて、「デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  「お書名名 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  「お書名名 「Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「おおいて、「デジタルオブジェクト識別子」 10.1111/irv.12854.  本・プンアクセス  国際共著	, ,	
The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  着オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  6 . 最初と最後の頁 Influenza Other Respir Viruses  2020年  2020年  6 . 最初と最後の頁 - 電話の有無 第一プンアクセス  国際共著	The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  「おおれて、「デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  「お書名名 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  「お書名名 「Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「おおいて、「デジタルオブジェクト識別子」 10.1111/irv.12854.  本・プンアクセス  国際共著	2	r 翌年左
Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  カーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「最親論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  本ーブンアクセス  国際共著	Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  6 . 最初と最後の頁 - 相談論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .1111/irv.12854.  加藤共著		3. 発行中
Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  カーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  6 . 最初と最後の頁 Influenza Other Respir Viruses  6 . 最初と最後の頁 -   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  第 本ーブンアクセス	Nucleocapsid-Like Structures and for the Regulation of Viral RNA Synthesis.  3 . 雑誌名 J Virol 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 e02170-19  application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 application of Viral RNA Synthesis. 6 . 最初と最後の頁 1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  6 . 最初と最後の頁 - 相談論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 .1111/irv.12854.  加藤共著	The Integrity of the YxxL Motif of Ebola Virus VP24 Is Important for the Transport of	2020年
3 . 雑誌名 J Virol  信 . 最初と最後の頁 e02170-19  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  本ープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  国際共著	3 . 雑誌名 J Virol  「根載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  「本ープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  「本者名 「Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「最初と最後の頁」 「一方の関係では、「おおいまない」 「おおいまない」 「おおいまないまない」 「おおいまない」 「おおいまない」 「おおいまない」 「おおいまない」 「おおいまない」 「おおいまないまないまないまない。「おおいまない」 「おおいまない」 「おおいまないまない」 「おおいまない」 「おおいまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまない		
月載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  超標子 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  超載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  直読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  a		6 目知し目然の下
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  カーブンアクセス  本ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1. 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「最勤論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  「国際共著」  本. 一プンアクセス  「国際共著」	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  1 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 .論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  おしていることを表現します。 「表記の有無 を表現します。」 「表記の表現します。」 「表記の表記の表現します。」 「表記の表記の表現します。」 「表記の表記の表記の表現します。」 「表記の表記の表記の表記のます。」 「表記	3.維誌名	
10.1128/JVI.02170-19. 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する 1.著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 5.発行年 2021年 3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses 6.最初と最後の頁 10.1111/irv.12854. 無	10.1128/JVI.02170-19. 有  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「意読の有無 相対プンアクセス  国際共著	J Virol	e02170-19
10.1128/JVI.02170-19. 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する 1.著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 5.発行年 2021年 3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses 6.最初と最後の頁 10.1111/irv.12854. 無	10.1128/JVI.02170-19. 有  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「意読の有無 相対プンアクセス  国際共著		
10.1128/JVI.02170-19. 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する 基際共著 下る名の Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses 6 . 最初と最後の頁 Influenza Other Respir Viruses 5 . 最初と最後の頁 10.1111/irv.12854. 無	10.1128/JVI.02170-19. 有  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「意読の有無 相対プンアクセス  国際共著		i
10.1128/JVI.02170-19. 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 家当する コ・著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2・論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 5・発行年 2021年 3・雑誌名 Influenza Other Respir Viruses 6・最初と最後の頁 Influenza Other Respir Viruses 5・最初と最後の頁 10.1111/irv.12854. 無	10.1128/JVI.02170-19. 有  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「意読の有無 相対プンアクセス  国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オープンアクセス  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オープンアクセス  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1.著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題		_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1.著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題		_
1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  5 . 発行年 2021年  6 . 最初と最後の頁 -   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  車流の有無 無 オープンアクセス  国際共著	1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「意読の有無 10.1111/irv.12854.  本ープンアクセス  4 . 巻 -	10.1128/JVI.02170-19.	有
1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  4 . 巻 -	1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  「意読の有無 10.1111/irv.12854.  本ープンアクセス  4 . 巻 -	オープンアクセス	有 国際共著
Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  国際共著	Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題	10.1128/JVI.02170-19. オープンアクセス	有 国際共著
Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  国際共著	Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題	10.1128/JVI.02170-19. オープンアクセス	有 国際共著
N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  4 載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  「本読の有無 11.1111/irv.12854.  国際共著	N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses    本語の有無	10.1128/JVI.02170-19. オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有 国際共著 該当する
N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  本語の有無 無  オープンアクセス  国際共著	N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses    本語の有無	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名	有 国際共著 該当する
2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.5.発行年 2021年3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses6.最初と最後の頁 -掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.査読の有無 無オープンアクセス国際共著	2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.5.発行年 2021年3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses6.最初と最後の頁 -掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.査読の有無 無オープンアクセス国際共著	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名	有 国際共著 該当する
Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 2021年  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  国際共著	Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic. 2021年  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses 6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.1111/irv.12854. 無 オープンアクセス	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka	有 国際共著 該当する
3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  コープンアクセス  国際共著	3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  オープンアクセス  6 . 最初と最後の頁 -  査読の有無 無	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y	有 国際共著 該当する 4.巻 ・
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         Influenza Other Respir Viruses       -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1111/irv.12854.       無         オープンアクセス       国際共著	3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.  オープンアクセス  6 . 最初と最後の頁 -  査読の有無 無	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題	有 国際共著 該当する 4.巻 ・
Influenza Other Respir Viruses       -         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         10.1111/irv.12854.       無         オープンアクセス       国際共著	Influenza Other Respir Viruses - 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.1111/irv.12854. 無	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年
Influenza Other Respir Viruses       -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1111/irv.12854.       無         オープンアクセス       国際共著	Influenza Other Respir Viruses - 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.1111/irv.12854. 無	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y 2 . 論文標題	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年
Influenza Other Respir Viruses       -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1111/irv.12854.       無         オープンアクセス       国際共著	Influenza Other Respir Viruses - 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.1111/irv.12854. 無	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題     Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1111/i rv.12854. 無	掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.1111/irv.12854. 無	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題     Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
10.1111/irv.12854. 無 オープンアクセス 国際共著	10.1111/i rv.12854. 無 オープンアクセス 国際共著	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題     Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
10.1111/irv.12854. 無 オープンアクセス 国際共著	10.1111/i rv.12854. 無 オープンアクセス 国際共著	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題     Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
10.1111/irv.12854. 無 オープンアクセス 国際共著	10.1111/i rv.12854. 無 オープンアクセス 国際共著	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題     Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
10.1111/i rv.12854. 無 オープンアクセス 国際共著	10.1111/i rv.12854. 無 オープンアクセス 国際共著	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題     Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名     Influenza Other Respir Viruses	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス 国際共著 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
		10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題     Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名     Influenza Other Respir Viruses	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
		10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2.論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3.雑誌名 Influenza Other Respir Viruses	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 -
		オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3 . 雑誌名 Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/irv.12854.	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
	コーノファフ に へ に は ない 、 人 は コーフファフ に 人 が 四 共	10.1128/JVI.02170-19.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名     Takashita E, Kawakami C, Momoki T, Saikusa M, Shimizu K, Ozawa H, Kumazaki M, Usuku S, Tanaka N, Okubo I, Morita H, Nagata S, Watanabe S, Hasegawa H, Kawaoka Y  2. 論文標題     Increased risk of rhinovirus infection in children during the coronavirus disease-19 pandemic.  3. 雑誌名     Influenza Other Respir Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     10.1111/irv.12854.	有 国際共著 該当する 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無

1 . 著者名	4.巻
Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H	41
2.論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Curr Opin Virol	38-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.coviro.2020.03.005.	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Takeuchi Y, Narumi R, Akiyama R, Vitiello E, Shirai T, Tanimura N, Kuromiya K, Ishikawa S, Kajita M, Tada M, Haraoka Y, Akieda Y, Ishitani T, Fujioka Y, Ohba Y, Yamada S, Hosokawa Y, Toyama Y, Matsui T, Fujita Y	4.巻 30
2.論文標題	5 . 発行年
Calcium Wave Promotes Cell Extrusion	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Current Biology	670~681.e6
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.cub.2019.11.089	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4.巻
Tamada, T., Uchino, H., Kusume, T., Iketaniaito, M., Chiba, S., Andika, I. B., Kondo, H.	<sup>70</sup>
2.論文標題 Pathogenetic roles of beet necrotic yellow vein virus RNA5 in the exacerbation of symptoms and yield reduction, development of scab-like symptoms, and Rz-resistance breaking in sugar beet.	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Plant Pathology	219-232
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/ppa.13266	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名 Tatsuya Kurusu, Kwang Su Kim, Yoshiki Koizumi, Shinji Nakaoka, Keisuke Ejima, Naoko Misawa, Yoshio Koyanagi, Kei Sato, Shingo Iwami	4.巻 498
2.論文標題	5 . 発行年
Quantifying the antiviral effect of APOBEC3 on HIV-1 infection in humanized mouse model	2020年
3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6 . 最初と最後の頁 110295
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jtbi.2020.110295	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Telengech, P., Hisano, S., Micheni, C. M., Hyodo, K., Arjona-Lopez, J.M., Lopez-Herrera, C., Kanematsu, S., Kondo, H., and Suzuki, N.	11
2 . 論文標題	5.発行年
Diverse partitiviruses from the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Microbiology	1064
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2020.01064	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Tokiko Watanabe,Yoshihiro Kawaoka	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Villains or heroes? The raison d're of viruses	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Clinical and Translational Immunology	-
	*****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ct i 2.1114	査読の有無
10.1002/Ct12.1114	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
Tomaru Y, Kimura K	12
2 . 論文標題	5.発行年
Novel Protocol for Estimating Viruses Specifically Infecting the Marine Planktonic Diatoms.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Diversity	225
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/d12060225	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u>-</u>
1 . 著者名	4 . 巻
Tomaru Y, Toyoda K, Kimura K	68
2.論文標題	5 . 発行年
Previously unknown ssDNA molecules coccurring with CdebDNAV infecting the marine planktonic diatom Chaetoceros debilis	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Phycological Research	269-276
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
拘載im 又のDOT ( ナンタルオフシェクト誠別于 ) 10.1111/pre.12435	直読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
(&\(\alpha\)	

1.著者名	4 . 巻
Tomaru Y, Yamaguchi H, Miki T	36
2 . 論文標題	5 . 発行年
····	
Growth Rate-dependent Cell Death of Diatoms due to Viral Infection and Their Subsequent	2021年
Coexistence in a Semi-continuous Culture System.	て 目知し目後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microbes and Environments	ME20116
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>   査読の有無
10.1264/jsme2.ME20116	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	1 . "
1. 著者名	4 . 巻
Tominaga K, Morimoto D, Nishimura Y, Ogata H, Yoshida T	11
2.論文標題	5.発行年
In silico Prediction of Virus-Host Interactions for Marine Bacteroidetes With the Use of	2020年
Metagenome-Assembled Genomes.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Microbiol	738
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2020.00738	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 *************************************	4 <del>44</del>
1 . 著者名	4 . 巻
Tonetti FR, Arce L, Salva S, Alvarez S, Takahashi H, Kitazawa H, Vizoso-Pinto MG, Villena J	11
2 . 論文標題	5.発行年
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic	2020年
Lactobacilli: Prospects for their use as mucosal adjuvants.	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	O. 取がこ取扱の兵 Article 15
Frontiers in Immunology	ATTICLE 15
相影会さのDOL(デジカルナヴジュカー 禁団フン	本芸の左伽
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fimmu.2020.00015	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
	T
1.著者名	4 . 巻
Tonetti FR, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J	78
2 . 論文標題	5 . 発行年
Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against	2020年
influenza virus	2020-+
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Immunopharmacology	Article 106115
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	
10.1016/j.intimp.2019.106115	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

1.著者名	4 . 巻
Torii S, Orba Y, Sasaki M, Tabata K, Wada Y, Carr M, Hobson-Peters J, Hall RA, Takada A,	295(23)
Fukuhara T, Matsuura Y, Hall WW, Sawa H	
2.論文標題	5 . 発行年
Host ESCRT factors are recruited during chikungunya virus infection and are required for the	2020年
intracellular viral replication cycle.	2020—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
J Biol Chem	7941-7957
	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1074/jbc.RA119.012303.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Tsukiyama T et al.	11
2.論文標題	5 . 発行年
A phospho-switch controls RNF43-mediated degradation of Wnt receptors to suppress tumorigenesis	
, ,	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Communications	4586
Nature communications	4300
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41467-020-18257-3	有
10.1030/541407-020-10237-3	Ħ
オープンアクセス	国際共著
	該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当りる
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.	4.巻 11
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.	11
———————————————————————————————————————	_
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題	11
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code	5 . 発行年
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.	11 5.発行年 2020年
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2. 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3. 雑誌名	5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.	11 5.発行年 2020年
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2. 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3. 雑誌名	5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題    Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3 . 雑誌名    Mobile DNA	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2. 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3.雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題    Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3 . 雑誌名    Mobile DNA	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2. 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3. 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無 有
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2.論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3.雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2. 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3. 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w	5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無 有
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2.論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3.雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2.論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3.雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2. 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3. 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2.論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3.雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K	11 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 166
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2.論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3.雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 166 5 . 発行年
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2.論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3.雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K	11 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 166
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3 . 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K  2 . 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.	11 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 166 5.発行年 2021年
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2.論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3.雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 166 5 . 発行年
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3 . 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K  2 . 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.	11 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 166 5.発行年 2021年
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2. 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3. 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K  2. 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.  3. 雑誌名	11 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 166 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3 . 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K  2 . 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.  3 . 雑誌名	11 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 166 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2. 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3. 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K  2. 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.  3. 雑誌名	11 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 166 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3 . 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K  2 . 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.  3 . 雑誌名 Arch Virol	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 166 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 991-994 査読の有無
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3 . 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K  2 . 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.  3 . 雑誌名 Arch Virol	11 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 166 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 991-994
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3 . 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K  2 . 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.  3 . 雑誌名 Arch Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00705-020-04949-0	11 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 166 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 991-994 査読の有無 有
Ueda, M.T., Kryukov, K., Mitsuhash, S, Mitsuhash, H, Imanishi, T, Nakagawa, S.  2 . 論文標題 Comprehensive genomic analysis reveals dynamic evolution of endogenous retroviruses that code for retroviral-like protein domains.  3 . 雑誌名 Mobile DNA  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13100-020-00224-w  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Uehara-Ichiki T, Urayama S, Hirai M, Takaki Y, Nunoura T, Fujinaga M, Hanada K  2 . 論文標題 Complete genome sequence of Sikte (Sitke) waterborne virus, a member of the genus Tombusvirus.  3 . 雑誌名 Arch Virol	11 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 29 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 166 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 991-994

1 . 著者名 Ueki H, Furusawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kabata H, Nishimura H, Kawaoka Y	4.巻
2.論文標題 Effectiveness of Face Masks in Preventing Airborne Transmission of SARS-CoV-2.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 mSphere	6 . 最初と最後の頁 e00637-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mSphere.00637-20.	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Ueki H, Wang IH, Zhao D, Gunzer M, Kawaoka Y	4.巻 15
2.論文標題 Multicolor two-photon imaging of in vivo cellular pathophysiology upon influenza virus infection using the two-photon IMPRESS.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Nat Protoc	6.最初と最後の頁 1041-1065
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41596-019-0275-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Urayama S, Doi N, Kondo F, Chiba Y, Takaki Y, Hirai M, Minegishi Y, Hagiwara D, Nunoura T	4.巻
2. 論文標題 Diverged and active partitiviruses in lichen.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Front Microbiol	6.最初と最後の頁 561344
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2020.561344	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Uwamino Y, Nagata M, Aoki W, Fujimori Y, Nakagawa T, Yokota H, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki- Horimoto K, Shiraki T, Uchida S, Uno S, Kabata H, Ikemura S, Kamata H, Ishii M, Fukunaga K, Kawaoka Y, Hasegawa N, Murata M	4.巻 74(1)
2 . 論文標題 Accuracy and stability of saliva as a sample for reverse transcription PCR detection of SARS-CoV-2.	5.発行年 2021年
3.雑誌名 J Clin Pathol	6 . 最初と最後の頁 67-68
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jclinpath-2020-206972	   査読の有無   有
オープンアクセス	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Wang M, Fukuyama S, Kawaoka Y, Shoemaker JE	7
Tang m, Tanayama C, Tanasha T, Olomano. C	
2	F 36/- AT
2. 論文標題	5 . 発行年
Predicting Host Immune Cell Dynamics and Key Disease-Associated Genes Using Tissue	2020年
Transcriptional Profiles.	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Processes	301
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/pr7050301	有
	.,
オープンアクセス	国際共著
=	<b>国际八</b> 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Wastika CE, Harima H, Sasaki M, Hang'ombe BM, Eshita Y, Qiu Y, Hall WW, Wolfinger MT, Sawa H,	12(9)
Orba Y.	` '
2 . 論文標題	5
	5.発行年
Discoveries of Exoribonuclease-Resistant Structures of Insect-Specific Flaviviruses Isolated in	2020年
Zambia.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	1017
VIIdaes	1017
l l	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本誌の左伽
	査読の有無
10.3390/v12091017.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
3 7 7 7 2 1 2 2 2 3 3 2 2 3 3 2 2 3 3 7 2 3 3 7 2 3 3 7 2 3 3 3 3	W-1 / 2
4	4 <del>*</del>
1. 著者名	4 . 巻
Westmark CJ, Kiso M, Halfmann P, Westmark PR, Kawaoka Y	8
2 . 論文標題	5 . 発行年
Repurposing Fragile X Drugs to Inhibit SARS-CoV-2 Viral Reproduction.	2020年
Repurposing Tragitie X Brugs to Himbit OARO 000 2 VITAL Reproduction.	2020—
2 1824-67	C 目初し目後の下
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Cell Dev Biol	856
l l	
l l	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fcell.2020.00856	
10.3309/10611.2020.00030	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.	- 4.巻 18
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.	- 4.巻 18
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題	- 4.巻 18 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection	- 4.巻 18 5.発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection	- 4.巻 18 5.発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Mode	- 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Mode	- 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Mode  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	- 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Mode  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.01.09.899807	- 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Mode  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.01.09.899807  オープンアクセス	- 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Y. Kakizoe, Y. Koizumi, Y. Ikoma, H. Ohashi, T. Wakita, S. Iwami, K. Watashi.  2 . 論文標題 Required concentration index quantifies effective drug combinations against hepatitis C virus infection  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Mode  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.01.09.899807	- 4 . 巻 18 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 4 査読の有無

Yamaguchi I , Yoshimura SH, Kato H   26   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
2 . 論文標題 High cell density increases glioblastona cell viability under glucose deprivation via digradation of the cystine/glutanate transporter xCT (SLC7A11). 3 . 商話名	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 High cell density increases glioblastona cell viability under glucose deprivation via digradation of the cystine/glutanate transporter xCT (SLC7A11). 3 . 商話名	Yamaguchi I, Yoshimura SH, Kato H	295
# idjn cell density increases glioblastoma cell viability under glucose deprivation via degradation of the cystine/glutarnate transporter xCT (SLC7A11).  3. 創話名		
# idjn cell density increases glioblastoma cell viability under glucose deprivation via degradation of the cystine/glutarnate transporter xCT (SLC7A11).  3. 創話名	2. 論立種頭	5
金属		
3、熱社名		2020年
Bibl. Chem.   6936-6945   10.1074/jbc.R419.012213   音談の有無 有		
西裁論文の001 (デジタルオプジェクト週別子)	3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
西藤前文の001(デジタルオブジェクト国別子)	.I Riol Chem	
### 10-1074/jbc.RA119.012213	C. Brott. Glom.	0000 0010
### 10-1074/jbc.RA119.012213		
### 10-1074/jbc.RA119.012213		* +
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著音名 Yanaroto M, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Takeda M, Kinoshita N, Ohmagari N, Gohda J, Semba K, Watsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI 2. 論文標理 The Anticoagulant Nafaroostat Potently Inhibits SARS-Cov-2 S Protein-Mediated Fusion in a Cell Fusion Assay System and Viral Infection In Vitro in a Cell-Type-Dependent Manner.  3. 納該名 Viruses 5. 飛行年 2020年 2020年 2020年 2020年 10.3390/v12060629.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Yanaroto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M 2. 論文標理 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lysphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Disterper Virus.  3. 納該名 Molecules Molecules Molecules Molecules Molecules Molecules 1. 著書名 Yanayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Naeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikauchi K, Ogura T, Saha R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Nattori SI, Yanaroto K, Nakamoto T, Furusawa Y, vasuhara A, Ujie M, Yanada S, Ito M, Mitsuya H, Oragari N, Yotsuyanagi H, Ikauchi K, Ogura T, Saha R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Nattori SI, Yanaroto K, Nakamoto T, Furusawa Y, vasuhara A, Ujie M, Yanada S, Ito M, Mitsuya H, Oragari N, Yotsuyanagi H, Ikauchi K, Ogura T, Saha R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Nattori SI, Yanaroto K, Nakamoto T, Furusawa Y, vasuhara A, Ujie M, Yanada S, Ito M, Mitsuya H, Oragari N, Yotsuyanagi H, Ikauchi K, Ogura T, Saha R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Nattori SI, Yanaroto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Vasuhara A, Ujie M, Yanada S, Ito M, Mitsuya H, Oragari N, Yotsuyanagi H, 1420 2. Ana Mitsuya H, Oragari N, Yotsuyanagi H, 1420 3. 納該名 Yirusas		<b>宜読の有無</b>
- オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1、著名名 Yanamoto M, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Takeda M, Kinoshita N, Ohmagari N, Sohda J, Senba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI 1/(9) 1/(9) 1/(2) imaximation M, Kinoshita N, Ohmagari N, Sohda J, Senba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI 1/(9) 1/(2) imaximation M, Kinoshita N, Ohmagari N, Sohda J, Senba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI 1/(9) 1/(9	10.1074/jbc.RA119.012213	有
- オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1、著名名 Yanamoto M, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Takeda M, Kinoshita N, Ohmagari N, Sohda J, Senba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI 1/(9) 1/(9) 1/(2) imaximation M, Kinoshita N, Ohmagari N, Sohda J, Senba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI 1/(9) 1/(2) imaximation M, Kinoshita N, Ohmagari N, Sohda J, Senba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI 1/(9) 1/(9		
- ** *** *** *** *** *** *** *** *** *	オープンアクセス	国際共著
1 著名名 Yamanoto M, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Takeda M, Kinoshita N, Ohmagari N, Sohda J, Serba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI	· · · · · · = · ·	
Yamanoto M, Kiso M, Sakai-Tagana Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Takeda M, Kinoshita N, Omegari N, Sohda J, Semba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JJ (2) 論文推題	7 777 PENCOCKIO (&Z., CO) PECOS)	
Yamanoto M, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Takeda M, Kinoshita N, Onhagari N, Sohda J, Semba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JJ (2)		. "
Ohmagari N, Gonda J, Senba K, Matsuda Z, Kawaguchi Y, Kawaoka Y, Inoue JI 2. 論文程語 The Anticoagulant Natanostat Potentity Inhibits SARS-CoV-2 S Protein-Nediated Fusion in a Cell Fusion Assay System and Viral Infection In Vitro in a Cell-Type-Dependent Manner.  3. 解語名 Viruses  6. 最初と最後の頁 629  据義論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v1206629.  1. 著名名 Vananoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M  2. 論文構語 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3. 解語名 Notecules  8. 通初と最後の頁 10.3390/molecules26051262  オープンアクセス  1. 著名名 Yanayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yananoto K, Nakanoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yanada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2. 論文構語 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3. 雑誌名 Viruses  6. 最初と最後の頁 1420  6. 最初と最後の頁 1421  6. 最初と最後の頁 1422  6. 最初と最後の頁 1421  7. 神子ブンアクセス  8. 神子ブンアクセス	1.著者名	4 . 巻
2. 論文標題 The Anticoagulant Nafamostat Potently Inhibits SARS-CoV-2 S Protein-Mediated Fusion in a Cell Fusion Assay System and Viral Infection In Vitro in a Cell-Type-Dependent Manner.  3. MistS	Yamamoto M, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Takeda M, Kinoshita N,	12(6)
2. 論文標題 The Anticoagulant Nafamostat Potently Inhibits SARS-CoV-2 S Protein-Mediated Fusion in a Cell Fusion Assay System and Viral Infection In Vitro in a Cell-Type-Dependent Manner.  1. 4. 機能名 Viruses  B觀論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12060629.  1. 著名名 Compatible Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  2. 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3. 雑誌名 Molecules  3. 雑誌名 Vanayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagal H, Ikeuchi K, Qaura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yanawoto K, Nakamoto T, Natura M, Virusuya R, Omagari N, Yotsuyanagi H, Natura M, Yasuhara A, Ujie M, Yanada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Natura M, Natura M		
The Anticoagulant Nafamostal Potentity Inhibits SARS-CoV-2 S Protein-Mediated Fusion in a Cell Pusion Assay System and Viral Infection In Vitro in a Cell-Type-Dependent Manner.  3. 雑誌客 Viruses 6. 最初と最後の頁 629		5
Fusion Assay System and Viral Infection In Vitro in a Cell-Type-Dependent Manner.  3 雑誌名 Viruses  高報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vt2060629.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yamamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M  2. 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3. 雑誌名 Molecules  4. 巻 2021年  第載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/molecules26051262  有オープンアクセス  1. 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamanoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y 2. 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3. 雑誌名 Viruses  4. 巻 12(12) 5. 発行年 2020年 2020年 2030年 20		
8、輔託名 (Yiruses) 6、最初と最後の頁 629		2020年
日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   直読の有無   有   オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   上   名書名   子一プンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難   上   名書名   子一プンアクセスをいます。これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、	Fusion Assay System and Viral Infection In Vitro in a Cell-Type-Dependent Manner.	
接載論文のDDI(デジタルオプジェクト識別子)	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 3390/v12060629.  オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1. 著名名 Yamanoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M  2. 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3. 雑誌名 Molecules  4. 巻 2021年  3. 雑誌名 Molecules  4. 巻 2021年  3. 雑誌名 Molecules  4. 巻 2021年  5. 発行年 2021年  5. 発行年 2021年  5. 発行年 2021年  1262  1262  1262  1. 著名名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamanoto K, Nakaroto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yanada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Wastoki-Horinoto K, Imali M, Kawaoka C, Naka M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Wastoki-Horinoto K, Imali M, Kawaoka C, Naka M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Kawaoka C, Nakachi E, Saito M, Natsuka M, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Kawaoka C, Nakachi E, Saito M, Natsuka M, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Kawaoka C, Nakachi H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Masoka C, Nakachi H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Masoka C, Nakachi H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Masoka C, Nakachi H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Masoka C, Nakachi H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Vastoki-Horinoto K, Pala M, Masoka M, Mas	Viruses	
10.3390/v12060629. 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yamamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M  2. 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3. 雑誌名 Molecules  Molecules 26051262  掲載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/molecules26051262  11. 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2. 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3. 雑誌名 Viruses  4 . 巻 12(12) 5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 1420  18 製論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  19 原共著	VITUSCS	023
10.3390/v12060629. 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yanamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M  2. 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with 3. 雑誌名 Molecules  3. 雑誌名 Molecules  4. 巻 2021年  6. 最初と最後の頁 1262  周載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/molecules26051262  11. 著者名 Yanayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagal H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yanamoto K, Nakamoto T, Furuswawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y 2 : 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3. 雑誌名 Yiruses  4. 巻 22. 意文得量 6. 最初と最後の頁 1420  14. 巻 26. 最初と最後の頁 1420  15. 発行年 2020年 20		
10.3390/v12060629. 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Yamamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M  2. 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with 3. 雑誌名 Molecules  Makima Y, Yasuhara A, Ujie M, Yanada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Ikeuchi K, Imai M, Kawaoka Y  1. 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yanada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2. 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  4 . 巻 2. 強な標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  5 . 発行年 2020年  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 1420  14. 巻 15 . 発行年 2020年  15 . 発行年 2020年  16 . 最初と最後の頁 1420		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1、著者名 Yamanoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M 2. 論文標題 5. 発行年 2021年 5. 発行年 2021年 5. 飛行中 2021年 1262 1262 1262 1262 1262 1262 1262 1	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	10.3390/v12060629.	有
- オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 ・著者名 Yamamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M 26 26 26 26 27 論文標題 5・発行年 2021年		
- オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 ・著者名 Yamamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M 26 26 27 論文標題 5・競行年 2021年 2021年 2021年 2021年 3・雑誌名 Molecules Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus. 6・最初と最後の頁 1262 27 音談の有無 有 オープンアクセス 2 ・ 「大きなは、子の子定である) 2 ・ 「大きなは、子の子定である) 4・巻 12(12) 2 ・ 「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きないない」」 4・巻 12(12) 2 ・ 「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きなは、「大きないない」」 5・発行年 2020年 3・ 雑誌名 「大きなは、「大きなは、「大きないない」」 5・発行年 2020年 3・ 雑誌名 「大きなは、「大きないない」」 5・発行年 2020年 3・ 雑誌名 「大きないる」 5・発行年 2020年 5・ 最初にないる」 5・発行年 2020年 5・ 最初にないる」 5・発行年 2020年 5・ 最初と最後の頁 1420 18 雑論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10・3390/v12121420. 有	オープンアクセス	国際土菨
1.著者名 Yamamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M  2.論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signal ing Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3.雑誌名 Molecules  3.雑誌名 Molecules  4.巻 2021年  6.最初と最後の頁 1282  据載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26051262  第一プンアクセス  1.著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Ivatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2.論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3.雑誌名 Viruses  4.巻 25.発行年 2020年  5.発行年 2020年  3.雑誌名 Viruses  4.表 26 27 27ンアクセス  3 離読名 26 28 3 離読名 3 離読名 3 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	· · · · · · =· ·	自体八百
Yamamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M  2 . 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3 . 雑誌名 Molecules  6 . 最初と最後の頁 1262    ammin	オーノンアクセスとはない、文はオーノンアクセスが困難	-
Yamamoto Y, Nakano S, Seki F, Shigeta Y, Ito S, Tokiwa H, Takeda M  2 . 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3 . 雑誌名 Molecules  6 . 最初と最後の頁 1262    ammin		
2.論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3.雑誌名 Molecules  4.登 10.3390/molecules26051262  5.発行年 2021年  5. 最初と最後の頁 1262  6. 最初と最後の頁 1262  7. 基者名 7. Amayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y 2. 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3.雑誌名 Viruses  5. 発行年 2020年  5. 発行年 2020年  5. 銀記を最後の頁 1420  5. 最初と最後の頁 1420  5. 最初と最後の頁 1420  5. 最初と最後の頁 1420  5. 最初と最後の頁 1420	1 . 著者名	4 . 巻
2. 論文標題 Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3. 雑誌名 Molecules  4. 登初と最後の頁 1262  10.3390/molecules26051262  4. ブンアクセス  4. ブンアクセス  5. 系行年 2021年  5. 発行年 2021年  5. 飛初と最後の頁 1262  5. 最初と最後の頁 1262  5. 最初と最後の頁 1262  5. 最初と最後の頁 1262  6. 最初と最後の頁 1262  7. エーブンアクセスとしている(また、その予定である)  7. 基者名 7. Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2. 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3. 雑誌名 Viruses  6. 最初と最後の頁 1420  5. 発行年 2020年 2020年  6. 最初と最後の頁 1420  7. 最初の分別にデジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  7. 国際共著	Yamamoto Y. Nakano S. Seki F. Shigeta Y. Ito S. Tokiwa H. Takeda M	26
Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3 . 雑誌名 Molecules	Tallalle of Coll 1, Chigeta 1, 110 of Tellina 1, Talleda 11	
Computational Analysis Reveals a Critical Point Mutation in the N-Terminal Region of the Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3 . 雑誌名 Molecules	2	r 整仁左
Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with Canine Distemper Virus.  3 . 雑誌名 Molecules 6 . 最初と最後の頁 1262 周載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26051262	·····	
Canine Distemper Virus.  3 . 雑誌名 Molecules  6 . 最初と最後の頁 1262  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26051262  カーブンアクセス  1 . 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Ivatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3 . 雑誌名 Viruses  5 . 発行年 2020年  4 . 参 12(12)  5 . 発行年 2020年  3 . 雑誌名 Viruses  5 . 最初と最後の頁 1420  4 . 参 10(12)		2021年
3.雑誌名 Molecules  6.最初と最後の頁 1262  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26051262  オーブンアクセス  1. 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2. 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3. 雑誌名 Viruses  6. 最初と最後の頁 1262  4. 巻 12(12)  5. 発行年 2020年  6. 最初と最後の頁 1420  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  有  オープンアクセス  国際共著	Signaling Lymphocytic Activation Molecule Responsible for the Cross-Species Infection with	
3.雑誌名 Molecules  6.最初と最後の頁 1262  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/molecules26051262  オーブンアクセス  1. 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2. 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3. 雑誌名 Viruses  6. 最初と最後の頁 1420  4. 巻 12(12)  5. 発行年 2020年  6. 最初と最後の頁 1420  「新教論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  有	Canine Distemper Virus.	
Molecules		
Molecules		
Molecules   1262	3. 雑誌名	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
10.3390/molecules26051262 有  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2.論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3.雑誌名 Viruses  5.発行年 2020年  3.雑誌名 Viruses  6.最初と最後の頁 1420  「夢夢の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	Molecules	1202
10.3390/molecules26051262 有  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2.論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3.雑誌名 Viruses  5.発行年 2020年  4.巻 12(12)  4.巻 12(12)  5.発行年 2020年  3.雑誌名 Viruses  5.発行年 2020年  3.雑誌名 Viruses  5.発行年 2020年  3.雑誌名 Aープンアクセス  国際共著		
10.3390/molecules26051262 有  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2.論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3.雑誌名 Viruses  5.発行年 2020年  4.巻 12(12)  4.巻 12(12)  5.発行年 2020年  3.雑誌名 Viruses  5.発行年 2020年  3.雑誌名 Viruses  5.発行年 2020年  3.雑誌名 Aープンアクセス  国際共著		
10.3390/molecules26051262 有  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2.論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3.雑誌名 Viruses  5.発行年 2020年  3.雑誌名 Viruses  6.最初と最後の頁 1420  「夢夢の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	査読の有無 査読の有無
オープンアクセス 国際共著 - 1. 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2. 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3. 雑誌名 Viruses  5. 発行年 2020年  6. 最初と最後の頁 1420  7. 「表現の表現を表現します。 2. 最近の有無 有 10.3390/v12121420. 有  10.3990/v12121420. 国際共著		
コープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 1420  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  a 国際共著	1010000/1101000100010001200	13
コープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 1420  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  a 国際共著	ナープンフクセフ	
1 . 著者名 Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 1420  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  有  国際共著		国际共有
Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 1420  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  有  国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 1420  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  有  国際共著		
Yamayoshi S, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Akasaka O, Nakachi I, Koh H, Maeda K, Adachi E, Saito M, Nagai H, Ikeuchi K, Ogura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 1420  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  有  国際共著	1、著者名	4 . 巻
Nagai H, Ikeuchi K, Oğura T, Baba R, Fujita K, Fukui T, Ito F, Hattori SI, Yamamoto K, Nakamoto T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2.論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3.雑誌名 Viruses  6.最初と最後の頁 1420  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  12.論文で表現表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		
T, Furusawa Y, Yasuhara A, Ujie M, Yamada S, Ito M, Mitsuya H, Omagari N, Yotsuyanagi H, Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2.論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3.雑誌名 Viruses  「有類談ののDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  本ープンアクセス  国際共著	Tomayooni o, oarai rayama i, roya m, naasara o, rakadili i, roli il, macua n, nuadili E, Salto M,	12(12)
Iwatsuki-Horimoto K, Imai M, Kawaoka Y  2.論文標題 Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.  3.雑誌名 Viruses  相載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.  本プンアクセス  「国際共著		
2.論文標題 <ul> <li>Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.</li> </ul> 5.発行年 <ul> <li>2020年</li> </ul> 6.最初と最後の頁		
Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.       2020年         3.雑誌名 Viruses       6.最初と最後の頁 1420         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	·	
Comparison of Rapid Antigen Tests for COVID-19.       2020年         3.雑誌名 Viruses       6.最初と最後の頁 1420         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12121420.       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 Vi ruses  6 . 最初と最後の頁 1420  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .3390/v12121420.  オープンアクセス  国際共著		
Viruses       1420         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.3390/v12121420.       有         オープンアクセス       国際共著		
Viruses       1420         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.3390/v12121420.       有         オープンアクセス       国際共著	2. 地社々	6 早知と早後の声
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.3390/v12121420. 有 国際共著		
10.3390/v12121420. 有 オープンアクセス 国際共著	Viruses	1420
10.3390/v12121420. 有 オープンアクセス 国際共著		
10.3390/v12121420. 有 オープンアクセス 国際共著		
10.3390/v12121420. 有 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセス 国際共著	児載論立のDOL(デジタルオブジェクト辨別子)	本芸の右無
		有
		有
	10.3390/v12121420.	有

1.著者名	4.巻
Yamayoshi S, Yasuhara A, Ito M, Akasaka O, Nakamura M, Nakachi I et al.	32
2.論文標題	5 . 発行年
Antibody titers against SARS-CoV-2 decline, but do not disappear for several months.	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
EClinicalMedicine	100734
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.eclinm.2021.100734	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
Yanagi Y , Okuno Y , Narita Y, Masud MHAA, Watanabe T, Sato Y, Kanda T, Kimura H, Murata T	557
2.論文標題	5.発行年
RNAseq analysis identifies involvement of EBNA2 in PD-L1 induction during Epstein-Barr virus infection of primary B cells	2021年
3.雑誌名 Virology	6.最初と最後の頁 44-54
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2021.02.004	   査読の有無   有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名 Yoriyuki Konno, Izumi Kimura, Keiya Uriu, Masaya Fukushi, Takashi Irie, Yoshio Koyanagi, Daniel Sauter, Robert J. Gifford, USFQ-COVID19 consortium, So Nakagawa, Kei Sato	4.巻 32
2.論文標題 SARS-CoV-2 ORF3b is a potent interferon antagonist whose activity is further increased by a naturally occurring elongation variant	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Cell Reports	6.最初と最後の頁 108185
<u>(</u>	<u> </u>
掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.celrep.2020.108185	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1.著者名	4.巻
Yusuke Nakano, Keisuke Yamamoto, Mahoko Takahashi Ueda, Andrew Soper et al	16
2.論文標題	5 . 発行年
A role for gorilla APOBEC3G in shaping lentivirus evolution including transmission to humans	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
PLOS Pathogens	e1008812
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.ppat.1008812	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1 . 著者名 Zhang W, Watanabe R, Konishi HA, Fujiwara T, Yoshimura SH, Kumeta M.	
Zhang W, Watanabe R, Konishi HA, Fujiwara T, Yoshimura SH, Kumeta M.	4.巻
	33
2.論文標題	5 . 発行年
Redox-sensitive cysteines confer proximal control of the molecular crowding barrier in the	2020年
	2020-
nuclear pore.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cell Rep.	108484
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	☆ 査読の有無
10.1016/j.celrep.2020.108484	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
7 7777 EXCOCKIO (&Z., CO) (&Z.)	_
	1
1.著者名	4 . 巻
Zhong G, Fan S, Hatta M, Nakatsu S, Walters KB, Lopes TJS, Wang JI, Ozawa M, Karasin A, Li Y,	94
Tong S, Donis RO, Neumann G, Kawaoka Y	
	F 38/=/=
2 . 論文標題	5 . 発行年
Mutations in the NA-like protein of bat influenza H18N11 virus enhance virus replication in	2020年
mammalian cells, mice, and ferrets.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Virol	e01416-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01416-1	有
10.1120/371.01410-1	H H
1	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
———————————————————————————————————————	_
Sun, L., Suzuki, N., Jiang, D., Turina, M., and Xie, J.	9
2.論文標題	5.発行年
Frontiers in fungal virus research	2020年
Trontrers in rungar virus research	2020-
2. hh÷+ 47	て 目知し目然の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Frontiers in Cellular and Infection Microbiology	6.最初と最後の頁 456
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology	456
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	456 査読の有無
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology	456
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456.	456 査読の有無 有
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	456 査読の有無
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス	456 査読の有無 有 国際共著
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456.	456 査読の有無 有
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	456 査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス	456 査読の有無 有 国際共著
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	456 査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	456 査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 A. Hara, S. Iwanami, Y. Ito, T. Miura, S. Nakaoka and S. Iwami	本読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 A. Hara, S. Iwanami, Y. Ito, T. Miura, S. Nakaoka and S. Iwami 2 . 論文標題	本読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 A. Hara, S. Iwanami, Y. Ito, T. Miura, S. Nakaoka and S. Iwami  2.論文標題 Revealing uninfected and infected target cell dynamics from peripheral blood data in highly an	本読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス	本読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479 5 . 発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス	本読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479 5 . 発行年 2019年
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456.  オープンアクセス	本語の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス	本読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479 5 . 発行年 d 2019年
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456.  オープンアクセス	本語の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス	456  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 479  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 29-36
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456.  オープンアクセス	本語の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 A. Hara, S. Iwanami, Y. Ito, T. Miura, S. Nakaoka and S. Iwami  2.論文標題 Revealing uninfected and infected target cell dynamics from peripheral blood data in highly an less pathogenic simian/human immunodeficiency virus infected Rhesus macaque  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology	456  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 479  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 29-36  査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス	456  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 479  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 29-36
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456.  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 A. Hara, S. Iwanami, Y. Ito, T. Miura, S. Nakaoka and S. Iwami  2. 論文標題 Revealing uninfected and infected target cell dynamics from peripheral blood data in highly an less pathogenic simian/human immunodeficiency virus infected Rhesus macaque  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.07.005.	本語の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 479 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 29-36 査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2019.00456. オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 A. Hara, S. Iwanami, Y. Ito, T. Miura, S. Nakaoka and S. Iwami  2.論文標題 Revealing uninfected and infected target cell dynamics from peripheral blood data in highly an less pathogenic simian/human immunodeficiency virus infected Rhesus macaque  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology	456  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 479  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 29-36  査読の有無

1 . 著者名 Adenyo C, Ohya K, Qiu Y, Takashima Y, Ogawa H, Matsumoto T, Thu MJ, Sato K, Kawabata H, Katayama Y, Omatsu T, Mizutani T, Fukushi H, Nonaka N, Katakura K, Inoue-Murayama M, Kayang B,	4.巻 205
Nakao R	
2 . 論文標題 Bacterial and protozoan pathogens/symbionts in ticks infecting wild grasscutters (Thryonomys swinderianus) in Ghana	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Acta Trop	6 . 最初と最後の頁 105388
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.actatropica.2020.105388	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 英北々	4 <del>**</del>
1 . 著者名 Akter S, Nakao R, Imasato Y, Alam MZ, Katakura K	4.巻 111(4)
2.論文標題	5 . 発行年
Potential of cell-free DNA as a screening marker for parasite infections in dog.	2019年
3.雑誌名 Genomics	6.最初と最後の頁 906-912
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ygeno.2018.05.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Albarracin L, Garcia-Castillo V, Masumizu Y, Indo Y, Islam MA, Suda Y, Garcia-Cancino A, Aso H, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J	4.巻 11
2.論文標題 Efficient selection of new immunobiotic strains with antiviral effects in local and distal mucosal sites by using porcine intestinal epitheliocytes.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Frontiers in Immunology	6.最初と最後の頁 Article 543
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fimmu.2020.00543	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Anindita PD, Sasaki M, Gonzalez G, Phongphaew W, Carr M, Hang窶冩mbe BM, Mweene AS, Ito K, Orba	4.巻 9(1)
Y, Sawa H 2 . 論文標題 Discovery and genetic characterization of diverse smacoviruses in Zambian non-human primates	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Sci Rep	5045
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-019-41358-z	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
3 7777 CMCO CVIO ( GML, CW ) Æ CW 0 /	#> → > <b>○</b>

1.著者名	4 . 巻
Aoki K, Hagiwara R, Akashi M, Murata K, Ogata H, Takemura M	10
2 . 論文標題	5 . 発行年
Z . 論文标题 Fifteen Marseilleviruses Newly Isolated from Three Water Samples in Japan Reveal a Local	5 . 光11年 2019年
Diversity of Marseilleviridae	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Microbiol	1152
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2019.01152	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英字々	л <del>*</del>
1 . 著者名	4 . 巻
Arai Y, Kawashita N, Ibrahim MS, Elgendy EM, Daidoji T, Ono T, Takagi T, Kakaya T, Matsumoto K, Watanabe Y	15
2 . 論文標題	5 . 発行年
PB2 mutations arising during H9N2 influenza virus evolution in the Middle East confer enhanced replication and growth in mammals	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS Pathogens	e1007919
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左無
	査読の有無
10.1371/journal.ppat.1007919	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Aramaki T, Blanc-Mathieu R, Endo H, Ohkubo K, Kanehisa M, Goto S, Ogata H.	36
2 . 論文標題	5.発行年
KofamKOALA: KEGG Ortholog assignment based on profile HMM and adaptive score threshold	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Bioinformatics	2251-2252
Biotiniotilia (166	2201 2202
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/bioinformatics/btz859	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	. W
1.著者名	4.巻
Arii J, Takeshima K, Maruzuru Y, Koyanagi N, Kato A, Kawaguchi Y	93
2 . 論文標題	5 . 発行年
Roles of the Interhexamer Contact Site for Hexagonal Lattice Formation of the Herpes Simplex	2019年
Virus 1 Nuclear Egress Complex in Viral Primary Envelopment and Replication.	2010—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J. Virol.	e00498-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.00498-19	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

1. 著者名	4.巻
Aulia, A., Eusebio-Cope, A., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.	533
2.論文標題	5 . 発行年
A symptomless hypovirus, CHV4, facilitates stable infection of the chestnut blight fungus by a coinfecting reovirus likely through suppression of antiviral RNA silencing	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virology	99-107
	<del></del>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.virol.2019.05.004	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 Bando H, Pradipta A, Iwanaga S, Okamoto T, Okuzaki D, Tanaka S, Vega-Rodrīguez J, Lee Y, Ma JS, Sakaguchi N, Soga A, Fukumoto S, Sasai M, Matsuura Y, Yuda M, Jacobs-Lorena M, Yamamoto M.	4.巻 216
2.論文標題	5 . 発行年
CXCR4 regulates Plasmodium development in mouse and human hepatocytes.	2019年
3.雑誌名 Journal of Experimental Medicine	6.最初と最後の頁 1733-1748
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1084/jem.20182227	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名 Bian, R., Andika, I.B., Pang, T., Lian, Z., Wei, S., Niu, E., Wu, Y., Kondo, H., Liu, X. and Sun, L.	4.巻 <sup>117</sup>
2.論文標題 Facilitative and synergistic interactions between fungal and plant viruses.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proc Natl Acad Sci U S A.	3779-3788
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1073/pnas.1915996117.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1. 著者名	4.巻
Bochimoto H, Kondoh D, Ishihara Y, Kabir MHB, Kato K (corresponding author).	73
2 . 論文標題	5 . 発行年
Three-dimensional fine structure of feeder organelle in Cryptosporidium parvum.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Parasitol Int.	10195
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.parint.2019.101958	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

1. 著者名 Carr M, Gonzalez G, Martinelli A, Wastika CE, Ito K, Orba Y, Sasaki M, Hall WW, Sawa H	4.巻 55(5)
2.論文標題 Upregulated expression of the antioxidant sestrin 2 identified by transcriptomic analysis of	5.発行年 2019年
Japanese encephalitis virus-infected SH-SY5Y neuroblastoma cells.	·
3.雑誌名 Virus Genes	6.最初と最後の頁 630-642
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11262-019-01683-x	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Castillo YM, Mangot JF, Benites LF, Logares R, Kuronishi M, Ogata H, Jaillon O, Massana R, Sebastian M, Vaque D.	4 . 巻 28
2.論文標題 Assessing the viral content of uncultured picoeukaryotes in the global ocean by single cell genomics	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Molecular Ecology	6.最初と最後の頁 4272-4289
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左無
10.1111/mec.15210	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Daichi Yamasoba, Kei Sato, Takuya Ichinose, Tomoko Imamura, Lennart Koepke, Simone Joas, Elisabeth Reith, Dominik Hotter, Naoko Misawa, Kotaro Akaki, Takuya Uehata, Takashi Mino, Sho Miyamoto, Takeshi Noda, Akio Yamashita, Daron M. Standley, Frank Kirchhoff, Daniel Sauter, Yoshio Koyanagi, Osamu Takeuchi	4.巻 4
2. 論文標題 N4BP1 restricts HIV-1 and its inactivation by MALT1 promotes viral reactivation.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Nature Microbiology	6.最初と最後の頁 1532-1544
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41564-019-0460-3	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Daidoji, T., Kajikawa, J., Arai, Y., Watanabe, Y., Hirose, R., Nakaya, T.	4.巻 12
2.論文標題 Infection of human tracheal epithelial cells by H5 avian influenza virus is regulated by the acid stability of hemagglutinin and the pH of target cell endosomes.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Viruses	6.最初と最後の頁 82
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.3390/v12010082	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1.著者名	4 . 巻
De Corte D, Martinez JM, Cretoiu MS, Sintes E, Takaki Y, Nunoura T, Herndl GJ, Yokokawa T	10
2.論文標題	
Viral communities in the global deep ocean conveyor belt assessed by targeted viromics	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Microbiology	1801
Trontrets in wiclostology	1001
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2019.01801	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Deng L, Gan X, Ito M, Chen M, Aly HH, Matsui C, Abe T, Watashi K, Wakita T, Suzuki T, Okamoto	93
T, Matsuura Y, Mizokami M, Shoji I, Hotta H. 2 . 論文標題	5
2 . 論义信題 Peroxiredoxin 1, a Novel HBx-Interacting Protein, Interacts with Exosome Component 5 and	5.発行年 2019年
Negatively Regulates Hepatitis B Virus (HBV) Propagation through Degradation of HBV RNA.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	e02203-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1128/JVI.02203-18.	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	当际六有 -
1 . 著者名	4 . 巻
Eisfeld AJ, Gasper DJ, Suresh M, KawaokaY.	9
2.論文標題	5 . 発行年
C57BL/6J and C57BL/6NJ Mice Are Differentially Susceptible to Inflammation-Associated Disease	2019年
Caused by Influenza A Virus	て 目切し目後の方
3.雑誌名 Front Microbiol	6.最初と最後の頁 3307
FIGHT MICTORIOI	3307
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2018.03307	有
ナープンフクセフ	<b>同</b>
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著   該当する
1.著者名	4 . 巻
Feldmann F, Kobasa D, Embury-Hyatt C, Grolla A, Taylor T, Kiso M, Kakugawa S, Gren J, Jones SM, Kawaoka Y, Feldmann H.	10
2 . 論文標題	5.発行年
Oseltamivir is effective against 1918 influenza virus infection of macaques but vulnerable to	2019年
escape. 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
mBio	pii: e02059-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/mBio.02059-19	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

1.著者名	4 . 巻
Feng H, Nakajima N, Wu L, Yamashita M, Lopes TJS, Tsuji M, Hasegawa H, Watanabe T, Kawaoka Y.	10
2.論文標題	5 . 発行年
A Glycolipid adjuvant, 7DW8-5, enhances the protective immune response to the current split	2019年
influenza vaccine in mice.	20194
	6 PM   P// 6 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Microbio	2157
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2019.02157	有
10.3369/111111CD.2019.0213/	i i i
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4.巻
Feng H, Yamashita M, da Silva Lopes TJ, Watanabe T, Kawaoka Y	10
reng n, ramasinta w, da sirva Lopes 13, watanabe i, kawadka r	10
0 *A-r-1811X	F 36/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
Injectable Excipients as Novel Influenza Vaccine Adjuvants.	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Microbiol	-
Troft wrotostor	
48 ##*A-	*+**
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2019.00019.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
3 22 7 EXCIDION XION 227 EXRIBER	ma , e
4 节447	1 <del>*</del>
1 . 著者名	4 . 巻
Feng H, Yamashita M, Wu L, Jose da Silva Lopes T, Watanabe T, Kawaoka Y.	7
2.論文標題	5.発行年
·······	5 . 発行年 2019年
2. 論文標題 Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.	5 . 発行年 2019年
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.	2019年
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.	2019年
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines	2019年 6 . 最初と最後の頁 E127
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines	2019年 6 . 最初と最後の頁 E127
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6 . 最初と最後の頁 E127 査読の有無
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127	2019年 6.最初と最後の頁 E127 査読の有無 有
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127	2019年 6.最初と最後の頁 E127 査読の有無 有
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2.論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2.論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.	2019年  6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2.論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.  3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2.論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.	2019年  6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2.論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.  3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2.論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.  3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2.論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.  3.雑誌名 Archives of Virology	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 761-763
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2.論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.  3.雑誌名 Archives of Virology	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 761-763
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3.雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2.論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.  3.雑誌名 Archives of Virology	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 761-763
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2 . 論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.  3 . 雑誌名 Archives of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s00705-019-04510-8	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 761-763  査読の有無 有
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2 . 論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.  3 . 雑誌名 Archives of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00705-019-04510-8  オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 761-763  査読の有無 有
Food additives as novel Influenza vaccine adjuvants.  3 . 雑誌名 Vaccines  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/vaccines7040127  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Fukasawa F, Hirai M, Takaki Y, Shimane Y, Thomas CE, Urayama S, Nunoura T, Koyama S  2 . 論文標題 A new polycipivirus identified in Colobopsis shohki.  3 . 雑誌名 Archives of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s00705-019-04510-8	2019年 6.最初と最後の頁 E127  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 165  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 761-763  査読の有無 有

	1 . "
1 . 著者名 Fukuhara H, Ito Y, Sako M, Kajikawa M, Yoshida K, Seki F, Mwaba MH, Hashiguchi T, Higashibata MA, Ose T, Kuroki K, Takeda M, Maenaka K.	4.巻
2.論文標題 Specificity of Morbillivirus Hemagglutinins to Recognize SLAM of Different Species.	5.発行年 2019年
3.雑誌名 Viruses	6 . 最初と最後の頁 E761
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11080761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Fukuhara T	4 . 巻 55
2.論文標題 Endornaviruses: persistent dsRNA viruses with symbiotic properties in diverse eukaryotes.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Virus Genes	6.最初と最後の頁 165-173
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01635-5	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1. 著者名 Fukuhara T, Matsuura Y.	4 . 巻 63
2.論文標題 Roles of secretory glycoproteins in particle formation of Flaviviridae viruses.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Microbiology and Immunology	6.最初と最後の頁 401-406
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12733	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Fukuhara T, Tabara M, Koiwa H, Takahashi H	4. 巻 165
2.論文標題 Effect on tomato plants of asymptomatic infection with southern tomato virus.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Archives of Virology	6.最初と最後の頁 11-20
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s00705-019-04436-1	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1.著者名	4 . 巻
Fukushima K, Satoh T, Sugihara F, Sato Y, Okamoto T, Mitsui Y, Yoshio S, Li S, Nojima S,	52
Motooka D, Nakamura S, Kida H, Standley DM, Morii E, Kanto T, Yanagita M, Matsuura Y, Nagasawa	
T, Kumanogoh A, Akira S	
2.論文標題	5 . 発行年
Dysregulated Expression of the Nuclear Exosome Targeting Complex Component Rbm7 in	2020年
Nonhematopoietic Cells Licenses the Development of Fibrosis.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Immunity	542-556
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.immuni.2020.02.007	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Fumoto K, Takigawa-Imamura H, Sumiyama K, Yoshimura SH, Maehara N, Kikuchi A	132
	5 3V/= F
2.論文標題	5 . 発行年
Mark1 regulates distal airspace expansion through pneumocyte flattening in lung development	2019年
	C = 171 = 14 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J. Cell Sci.	j cs235556
相手込みのDOL / ごいた!! ナイヤート! 幼山フン	木井の左仰
掲載論文のD0 (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1242/jcs.235556	有
オープンアクセス	国際共著
=	国际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	4.含 10
Furusawa Y, Yamada S, da Silva Lopes TJ, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Kawaoka Y.	10
2.論文標題	5 . 発行年
াnfluenza virus polymerase mutation stabilizes a foreign gene inserted into the virus genome by	2019年
enhancing the transcription/replication efficiency of the modified segment.	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
MBio	pii:e01794-19
IIIII	p11.e01794-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/mBio.01794-19	有
16.11.25/11.01.161	1.3
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Furuse Y, Chaimongkol N, Okamoto M, Oshitani H	11
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2.論文標題	5 . 発行年
Evolutionary and Functional Diversity of the 5' Untranslated Region of Enterovirus D68:	2019年
, and and the first of the control of the cont	1
Increased Activity of the Internal Ribosome Entry Site of Viral Strains During the 2010s	
Increased Activity of the Internal Ribosome Entry Site of Viral Strains During the 2010s 3.雑誌名	6.最初と最後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	6.最初と最後の頁 -
3.雑誌名	6.最初と最後の頁 -
3.雑誌名 Viruses	-
3.雑誌名 Viruses 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 査読の有無
3.雑誌名 Viruses	-
3.雑誌名 Viruses 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11070626	- 査読の有無 有
3.雑誌名 Viruses 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 査読の有無

1 . 著者名   Garcia-Castillo V, Komatsu R, Clua P, Indo Y, Takagi M, Salva S, Islam MA, Alvarez S, Takahashi	4.巻 10
H, Garcia-Cancino A, Kitazawa H, Villena .	10
2.論文標題	5 . 発行年
Evaluation of the immunomodulatory activities of the probiotic strain Lactobacillus fermentum	2019年
UCO-979C. 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Immunology	Article 1376
J.	
10.3389/fimmu.2019.01376	有
オープンアクセス	国際共著 該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	談当りる
1.著者名	4 . 巻
Gee, P., Lung, M. S. Y., Okuzaki, Y., Sasakawa, N., Iguchi, T., Makita, Y., Hozumi, H., Miura,	11
Y., Yang, L. F., Iwasaki, M., Wang, X. H., Waller, M. A., Shirai, N., Abe, Y. O., Fujita, Y., Watanabe, K., Kagita, A., Iwabuchi, K. A., Yasuda, M., Xu, H., Noda, T., Komano, J., Sakurai,	
H., Inukai, N., Hotta, A.	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Extracellular nanovesicles for packaging of CRISPR-Cas9 protein and sgRNA to induce therapeutic	2020年
exon skipping 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nat. Commun.	1334
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1038/s41467-020-14957-y	有
オープンアクセス   オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
7 7777 EXCOCKIS (&R. CO) RECOS)	吹ヨする
1.著者名	4 . 巻
Halfmann PJ, Eisfeld AJ, Watanabe T, Maemura T, Yamashita M, Fukuyama S, Armbrust T, Rozich I,	13
N'jai A, Neumann G, Kawaoka Y, Sahr F. 2.論文標題	5 . 発行年
Serological analysis of Ebola virus survivors and close contacts in Sierra Leone: A cross-	2019年
sectional study.	
3.雑誌名 Black Nach Tana Bia	6.最初と最後の頁
PLoS Negl Trop Dis	e0007654
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.pntd.0007654.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Нагіма Н, Kajihara M, Simulundu E, Bwalya E, Qiu Y, Isono M, Okuya K, Gonzalez G, Yamagishi J,	Feb 5;12(2)
Hang'ombe BM, Sawa H, Mweene AS, Takada A	
2. 論文標題 Constituted Diversity of Paraina Constanting in Tempia	5 . 発行年
Genetic and Biological Diversity of Porcine Sapeloviruses Prevailing in Zambia.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/v12020180.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

1. 著者名 Harima H, Sasaki M, Kajihara M, Mori-Kajihara A, Hang'ombe BM, Changula K, Orba Y, Ogawa H,	4.巻 Feb 4;82(2)
Simuunza M, Yoshida R, Mweene A, Takada A, Sawa H  2 .論文標題  Detection of novel orthoreovirus genomes in shrew (Crocidura hirta) and fruit bat (Rousettus aegyptiacus).	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
J Vet Med Sci	162-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1292/jvms.19-0424.	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名	4.巻
Hashimoto-Gotoh Akira、Yoshikawa Rokusuke、Nakagawa So、Okamoto Munehiro、Miyazawa Takayuki	734
2.論文標題 Phylogenetic analyses reveal that simian foamy virus isolated from Japanese Yakushima macaques (Macaca fuscata yakui) is distinct from most of Japanese Hondo macaques (Macaca fuscata fuscata)	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Gene	144382~144382
掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.gene.2020.144382	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Hayashida K, Orba Y, Sequeira PC, Sugimoto C, Hall WW, Eshita Y, Suzuki Y, Runtuwene L, Brasil P, Calvet G, Rodrigues CDS, dos Santos CC, Mares-Guia MAM, Yamagshi J, de Filippis AMB, Sawa H	4.巻 13(6)
2.論文標題 Field diagnosis and genotyping of chikungunya 1 virus using a dried reverse transcription loop-mediated isothermal amplification (LAMP) assay and MinION sequencing.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 PLoS Neg Trop Dis	6 . 最初と最後の頁 e0007480
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.pntd.0007480	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4.巻
Hirai Y, Domae E, Yoshikawa Y, Okamura H, Makino A, Tomonaga K.	263
2 . 論文標題	5 . 発行年
Intracellular dynamics of actin affects Borna disease virus replication in the nucleus.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Res	179-183
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.virusres.2019.02.004.	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Hirai Y, Domae E, Yoshikawa Y, Tomonaga K.	167
2.論文標題	5.発行年
Differential roles of two DDX17 isoforms in the formation of membraneless organelles.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Biochem.	mvaa023
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/jb/mvaa023.	有
10.1093/ JD/IIIVaa023.	[F
オープンアクセス	<b>国際共</b> 芸
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Hirofumi Aso, Jumpei Ito, Yoshio Koyanagi, Kei Sato	10
THIOTAIN ASO, Samper 110, Toshio Royanagi, Rei Gato	
2.論文標題	5.発行年
Comparative description of the expression profile of interferon-stimulated genes in multiple	2019年
cell lineages targeted by HIV-1 infection.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Microbiology	429
3,	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2019.00429	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英名	4 . 巻
1.著者名 Horio M	
I. 省自石 Horie M	94
Horie M	94
Horie M 2 . 論文標題	94 5 . 発行年
Horie M	94
Horie M 2 . 論文標題	94 5.発行年 2020年
Horie M  2 .論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements	94 5.発行年 2020年
Horie M  2 .論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 .雑誌名	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Horie M  2 .論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.	94 5.発行年 2020年
Horie M  2 .論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 .雑誌名	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Horie M  2 .論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 .雑誌名 Genes Genet Syst.	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567
Horie M  2. 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3. 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567 査読の有無
Horie M  2 .論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 .雑誌名 Genes Genet Syst.	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567
Horie M  2. 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3. 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567 査読の有無
Horie M  2. 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3. 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567 査読の有無
Horie M  2. 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3. 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567 査読の有無
Horie M  2. 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3. 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567 査読の有無
Horie M  2. 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3. 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567 査読の有無 有 国際共著
Horie M  2.論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3.雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567 査読の有無 有 国際共著
Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567 査読の有無 有 国際共著
Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567 査読の有無 有 国際共著
Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.  2 . 論文標題	94 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 253-567 査読の有無 有 国際共著
Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567 査読の有無 有 国際共著
Horie M  2. 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3. 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.  2. 論文標題	94 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 253-567 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5. 発行年
Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.  2 . 論文標題 Identification of a novel hypovirulence-inducing hypovirus from Alternaria alternata.	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年
### Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  #### But	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.  2 . 論文標題 Identification of a novel hypovirulence-inducing hypovirus from Alternaria alternata.	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年
### Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  ###################################	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
## Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.  2 . 論文標題 Identification of a novel hypovirulence-inducing hypovirus from Alternaria alternata.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1076
### Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  #### ### ### ### ### ### ### ### ###	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1076
## Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.  2 . 論文標題 Identification of a novel hypovirulence-inducing hypovirus from Alternaria alternata.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1076
## Horie M  2 . 論文標題	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1076  査読の有無 有
### Horie M  2 . 論文標題 Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名 Genes Genet Syst.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Huan, L., Bian, R., Liu, Q., Yang, L., Pang, T., Salaipeth, L., Andika, I.B., Kondo, H., and Sun, L.  2 . 論文標題 Identification of a novel hypovirulence-inducing hypovirus from Alternaria alternata.  3 . 雑誌名 Frontiers in Microbiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1076
## Horie M  2 . 論文標題   Interactions among eukaryotes, retrotransposons and riboviruses: endogenous riboviral elements in eukaryotic genomes.  3 . 雑誌名   Genes Genet Syst.  ## 報論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)   10.1266/ggs.18-00049  オープンアクセス	94 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 253-567  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1076  査読の有無 有

1 . 著者名 Hyodo K, Suzuki N, Okuno T.  2 . 論文標題	4 . 巻
	221
2 論文煙題	
2 論文標題	
	5.発行年
Hijacking a host scaffold protein, RACK1, for replication of a plant RNA virus.	2019年
injusting a nost scarrota protein, Mont, for representation of a prant NW virus.	2013—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
New Phytol.	935-945
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
	旦祝の行無
10.1111/nph.15412	┃ 有
·	
ナープンファトフ	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
	T
1.著者名	4 . 巻
Ichikawa-Seki M, Motooka D, Kinami A, Murakoshi F, Takahashi Y, Aita J, Hayashi K, Tashibu A,	29
	23
Nakamura S, Iida T, Horii T, Nishikawa Y.	
2.論文標題	5 . 発行年
Specific increase of Fusobacterium in the faecal microbiota of neonatal calves infected with	2019年
Cryptosporidium parvum	
	6 早切し見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Sci Rep	12517
eer ver	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-019-48969-6	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
****	1 4 344
1.著者名	4 . 巻
Igata M, Islam MA, Tada A, Takagi M, Kober H, Albarracin L, Aso H, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K	10
Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Kitazawa H	
2 . 論文標題	5.発行年
Transcriptome modifications in porcine adipocytes via Toll-like receptors activation.	2019年
	6 最初と最後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Frontiers in Immunology	6.最初と最後の頁 Article 1180
Frontiers in Immunology	Article 1180
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	Article 1180 査読の有無
Frontiers in Immunology	Article 1180
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180	Article 1180 査読の有無 有
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	Article 1180 査読の有無
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180 オープンアクセス	Article 1180 査読の有無 有 国際共著
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180	Article 1180 査読の有無 有
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180 オープンアクセス	Article 1180 査読の有無 有 国際共著
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	Article 1180 査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A,	Article 1180 査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A,	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H,	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D,	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する
Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.	Article 1180  - 査読の有無 - 有 - 国際共著 - 該当する - 4 . 巻 - 5
Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y. 2 . 論文標題	Article 1180  - 査読の有無 - 有 - 国際共著 - 該当する - 4 . 巻 - 5 - 5 . 発行年
Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.	Article 1180  - 査読の有無 - 有 - 国際共著 - 該当する - 4 . 巻 - 5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス	Article 1180  - 査読の有無 - 有 - 国際共著 - 該当する - 4 . 巻 - 5 - 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets.	Article 1180  - 査読の有無 - 有 - 国際共著 - 該当する - 4 . 巻 - 5 - 5 . 発行年 - 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス	Article 1180  - 査読の有無 - 有 - 国際共著 - 該当する - 4 . 巻 - 5 - 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets. 3. 雑誌名	Article 1180       査読の有無       有       国際共著       該当する       4 . 巻       5       5 . 発行年       2019年       6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets.	Article 1180  - 査読の有無 - 有 - 国際共著 - 該当する - 4 . 巻 - 5 - 5 . 発行年 - 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets. 3. 雑誌名	Article 1180       査読の有無       有       国際共著       該当する       4 . 巻       5       5 . 発行年       2019年       6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets.  3. 雑誌名 Nat Microbiol	Article 1180       査読の有無       有       国際共著       該当する       4 . 巻       5       5 . 発行年       2019年       6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets.  3. 雑誌名 Nat Microbiol	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 5  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 27-33
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets.  3. 雑誌名 Nat Microbiol	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 5  5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 27-33
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets.  3. 雑誌名 Nat Microbiol	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 5  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 27-33
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets.  3. 雑誌名 Nat Microbiol	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 5  5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 27-33
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Article 1180       査読の有無       有       国際共著       該当する       4 . 巻       5       5 . 発行年       2019年       6 . 最初と最後の頁       27-33       査読の有無       有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2019.01180  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Imai M, Yamashita M, Sakai-Tagawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Kiso M, Murakami J, Yasuhara A, Takada K, Ito M, Nakajima N, Takahashi K, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Tokita A, Hagiwara H, Izumida N, Kuroki H, Nishino T, Wada N, Koga M, Adachi E, Jubishi D, Hasegawa H, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Influenza A variants with reduced susceptibility to baloxavir isolated from Japanese patients are fit and transmit through respiratory droplets.  3. 雑誌名 Nat Microbiol	Article 1180  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 5  5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 27-33

	1 . w
1.著者名	4 . 巻
Irie T, Sakai K, Sakaguchi T	2019
2 . 論文標題	5.発行年
Development of new concept viral vectors exerting both vaccine and adjuvant activirties	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Impact	9-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>
10.21820/23987073.2019.7.9	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1. 著者名	4 . 巻
Itakura Y, Matsuno K, Ito A, Gerber M, Liniger M, Fujimoto Y, Tamura T, Kameyama KI, Okamatsu M, Ruggli N, Kida H, Sakoda Y	15;276
2.論文標題	5 . 発行年
A cloned classical swine fever virus derived from the vaccine strain GPE- causes cytopathic effect in CPK-NS cells via type-I interferon-dependent necroptosis.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Res	197809
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
10.1016/j.virusres.2019.197809.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Ito M, Yamayoshi S, Murakami K, Saito K, Motojima A, Nakaishi K, Kawaoka Y.	4 · 문 11
2.論文標題	5.発行年
Characterization of Mouse Monoclonal Antibodies Against the HA of A(H7N9) Influenza Virus	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	E149
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	↑ 査読の有無
均製調果又のDOI(ナンタルオフシェクト減別士) 10.3390/v11020149	直硫の有無   有   有
	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Iwamoto M, Saso W, Nishioka K, Ohashi H, Sugiyama R, Ryo A, Ohki M, Yun JH, Park SY, Ohshima T,	該当する 4 . 巻
オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Iwamoto M, Saso W, Nishioka K, Ohashi H, Sugiyama R, Ryo A, Ohki M, Yun JH, Park SY, Ohshima T, Suzuki R, Aizaki H, Muramatsu M, Matano T, Iwami S, Sureau C, Wakita T, Watashi K  2 . 論文標題	該当する 4 . 巻 <sup>295</sup> 5 . 発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Iwamoto M, Saso W, Nishioka K, Ohashi H, Sugiyama R, Ryo A, Ohki M, Yun JH, Park SY, Ohshima T, Suzuki R, Aizaki H, Muramatsu M, Matano T, Iwami S, Sureau C, Wakita T, Watashi K	該当する 4 . 巻 , <sup>295</sup>
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Iwamoto M, Saso W, Nishioka K, Ohashi H, Sugiyama R, Ryo A, Ohki M, Yun JH, Park SY, Ohshima T, Suzuki R, Aizaki H, Muramatsu M, Matano T, Iwami S, Sureau C, Wakita T, Watashi K  2 . 論文標題 The machinery for endocytosis of epidermal growth factor receptor coordinates the transport of incoming hepatitis B virus to the endosomal network  3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 295 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Iwamoto M, Saso W, Nishioka K, Ohashi H, Sugiyama R, Ryo A, Ohki M, Yun JH, Park SY, Ohshima T, Suzuki R, Aizaki H, Muramatsu M, Matano T, Iwami S, Sureau C, Wakita T, Watashi K  2 . 論文標題 The machinery for endocytosis of epidermal growth factor receptor coordinates the transport of incoming hepatitis B virus to the endosomal network	該当する 4 . 巻 295 5 . 発行年 2020年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Iwamoto M, Saso W, Nishioka K, Ohashi H, Sugiyama R, Ryo A, Ohki M, Yun JH, Park SY, Ohshima T, Suzuki R, Aizaki H, Muramatsu M, Matano T, Iwami S, Sureau C, Wakita T, Watashi K  2 . 論文標題 The machinery for endocytosis of epidermal growth factor receptor coordinates the transport of incoming hepatitis B virus to the endosomal network  3 . 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	該当する  4 . 巻 295  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 800-807
オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Iwamoto M, Saso W, Nishioka K, Ohashi H, Sugiyama R, Ryo A, Ohki M, Yun JH, Park SY, Ohshima T, Suzuki R, Aizaki H, Muramatsu M, Matano T, Iwami S, Sureau C, Wakita T, Watashi K  2 . 論文標題 The machinery for endocytosis of epidermal growth factor receptor coordinates the transport of incoming hepatitis B virus to the endosomal network  3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 295 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Iwamoto M, Saso W, Nishioka K, Ohashi H, Sugiyama R, Ryo A, Ohki M, Yun JH, Park SY, Ohshima T, Suzuki R, Aizaki H, Muramatsu M, Matano T, Iwami S, Sureau C, Wakita T, Watashi K  2 . 論文標題 The machinery for endocytosis of epidermal growth factor receptor coordinates the transport of incoming hepatitis B virus to the endosomal network  3 . 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	該当する  4 . 巻 295  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 800-807

10.1038/s41385-019-0203-z 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  有 国際共著  4 . 巻 117  5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 610-618	1 莱老名	
Matsuria Y, Worl M, Fukuhara T, Yoshizuni T.   2. 前文標型   1.		_
2 - 第2 校標語		91
3 ・養話名 Journal of Medical Virology  3 ・養話名 Journal of Medical Virology  福龍議文のDOI (デジタルオプジェクト国別子)  1 ・蒸着名 Janal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 ・ 熱文程題 Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical translational stop/restart sequence signature  3 ・養話名 Viruses-Basel  1 ・著名 Viruses-Basel  1 ・ 著名 Viruses-Basel  2 ・ 美型行車 Viruses-Basel  3 ・ 発記名 Viruses-Basel  5 ・ 発行年 Viruses-Basel  1 ・ 著名 Viruses-Basel  1 ・ 著名 Viruses-Basel  5 ・ 発行年 Viruses-Basel  6 ・ 最初と最後の頁 Viruses-Basel  1 ・ 名名 Viruses-Basel  1 ・ 名名 Viruses-Basel  5 ・ 発行年 Viruses-Basel  6 ・ 最初と最後の頁 Viruses-Basel  7 ・ ブンアクセスとしている(また、その予定である)  1 ・ 名名 Viruses-Basel  6 ・ 最初の有無 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  6 ・ 最初と最後の頁 Viruses-Basel  7 ・ ブンアクセス  1		
3 ・ 機能名	2 . 論文標題	
Journal of Medical Virology	Characterization of human pegivirus infection in liver transplantation recipients.	2019年
Journal of Medical Virology		
指数論文の201(デジタルオブジェクト語別子) 10.1002/j mv.25555  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Jamal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.  2. 論文理題 Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical translational stop/restart sequence signature 3. 結証名 Viruses-Basel	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
接動法のDOI(デジタルオブジェクト機別子)  1. 著名名 1. 著名名 1. 新北 Sato, Y., Shahi, S. Shansi, W., Kondo, H., and Suzuki, N. 1.	Journal of Medical Virology	2093-2100
10.1002/jev.25555 有		
10.1002/jev.25555 有		
10.1002/jev.25555 有	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著名名 Jamal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N. 2 . 論文標題 Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical translational stop/restart sequence signature 3 . 解廷名 Viruses-Baseel  「表名名 Viruses-Baseel  「本プンアクセス  「本プンアクセス  「本プンアクセスとしている(また、その予定である)  「表名名 Viruses-Baseel  「表別の表別になる。  「表別になる。  「表別にな		有
1 . 著名名 Janal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.  1 . 著名名 Janal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical Itranslational stop/restart sequence signature 3 . 極話名 Viruses-Basel 6 . 最初と最後の頁 E577    一方の方で表現の方式	.0.10027, j	F
1 . 著名名 Janal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.  1 . 著名名 Janal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical Itranslational stop/restart sequence signature 3 . 極話名 Viruses-Basel 6 . 最初と最後の頁 E577    一方の方で表現の方式	オープンアクセス	国際共著
1. 著名名 Jamal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical translational stop/restart sequence signature  3. 練話名 Viruses-Basel  6. 最初と最後の頁 E577  古歌の内無 有 オープンアクセス  1. 著名名 Jos S. Swanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H  2. 論文標題 A role for the CR5-CCL5 interaction in the preferential migration of HSV-2-specific effector cells to the vaginal mucosa upon nasal immunization.  3. 解話名 Mucosal Immunol.  おープンアクセス  1. 著名名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  1. 著名名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  3. 練話名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  おもうとは、その予定である。  1. 著名名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  1. 著名名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  1. 著名名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  1. 著名名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2. 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APO88EC3 genes.  3. 練話名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  おもうと表表を表現されることを表現されるこ	· · · · · · - · ·	
Jamal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.   11	13 DODD CALLWOYN NO. 1 DODD CAN EXE	
Jamal, A., Sato, Y., Shahi, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.   11	1 英老名	/
2 . 論文標題 Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical translational stop/restart sequence signature  3 . 雑誌名 Viruses-Basel  日本		_
Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical translational stop/restart sequence signature   2019年   14	Jamai, A., Sato, Y., Shani, S. Shamsi, W., Kondo, H., and Suzuki, N.	11
Novel Victorivirus from a Pakistani isolate of Alternaria alternata lacking a typical translational stop/restart sequence signature   2019年   14	2	F 整仁左
translational stop/restart sequence signature 3 . 雑誌名 3 . 雑誌名 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 E577  据戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11060577  オープンアクセス  コープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著名名 Joo S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H 2 . 論文標題 A role for the CCR5-CCL5 interaction in the preferential migration of HSV-2-specific effector cells to the vaginal mucosa upon nasal immunization. 3 . 雑誌名 Mucosal Immunol.  指戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-019-0203-2  オープンアクセス  1 . 著名名 Jumpel Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  1 . 著名名 Jumpel Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  4 . 登 117  2 . 論文標題 Retroviruses drive the National Academy of Sciences of the United States of America  6 . 最初と最後の頁 610-618  和前数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有 オープンアクセス		
3 . 雑誌名 Viruses-Basel Viruses-Basel (6 . 最初と最後の頁 E577 (7		2019年
Truses-Base    E577		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 Joo S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H 2 ニ論文種語 A role for the CR5-CCL5 interaction in the preferential migration of HSV-2-specific effector cells to the vaginal mucosa upon nasal immunization. 3. 雑誌名 Mucosal Immunol.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-019-0203-z  1. 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  1. 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2. 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2. 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有 オープンアクセス		
### 10.3390/v11060577    オープンアクセス	Viruses-Base I	E577
### 10.3390/v11060577    オープンアクセス		
### 10.3390/v11060577    オープンアクセス		
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  I 著者名 Joo S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H 2	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1. 著者名 Joo S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H 2	10.3390/v11060577	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  i 養者名  Joo S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H  2 i 論文標題 A role for the CCR5-CCL5 interaction in the preferential migration of HSV-2-specific effector cells to the vaginal mucosa upon nasal immunization.  3 i 雜誌名 Mucosal Immunol.  描載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-019-0203-z  オープンアクセス  1 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  i 監読の有無 10.1073/pnas.1914183116  有 オープンアクセス  国際共著		
1.著者名 Jos S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H 2.論文標題	オープンアクセス	国際共著
1.著者名 Jos S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H 2.論文標題	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Joo S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H  2		
Joo S, Suwanto A, Sato A, Nakahashi-Ouchida R, Mori H, Uchida Y, Sato S, Kurashima Y, Yuki Y, Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H  2	1 苯老名	4
Fujihashi K, Kawaguchi Y & Kiyono H  2 . 論文標題 A role for the CCR5-CCL5 interaction in the preferential migration of HSV-2-specific effector cells to the vaginal mucosa upon nasal immunization.  3 . 雑誌名 Mucosal Immunol.  [掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41385-019-0203-z  オープンアクセス  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  1 . 禁討な標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  [掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  オープンアクセス  国際共著		_
2 . 論文標題 A role for the CCR5-CCL5 interaction in the preferential migration of HSV-2-specific effector cells to the vaginal mucosa upon nasal immunization.  3 . 雑誌名 Mucosal Immunol.  4 . 最初と最後の頁 1391-1403  「本ープンアクセス 国際共著 カープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  「表現の有無 177  「表現の目標では、表現の目標では、表現の目標では、表現の目標では、表現の目標では、表現の目標では、表現の目標では、表現の目標では、表現の目標では、表現の目標の目標では、表現の目標の目標では、表現の目標の目標の目標の目標では、表現の目標の目標の目標の目標の目標の目標の目標の目標の目標の目標の目標の目標の目標の	Full bashi K. Kawanichi V.& Kiyono H.	12
A role for the CCR5-CCL5 interaction in the preferential migration of HSV-2-specific effector cells to the vaginal mucosa upon nasal immunization.  3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 1391-1403  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)		C 彩行在
cells to the vaginal mucosa upon nasal immunization.  3 . 雑誌名 Mucosal Immunol.  信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-019-0203-z  オーブンアクセス  オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  6 . 最初と最後の頁 610-618  指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  カーブンアクセス  国際共著		
3 . 雑誌名 Mucosal Immunol .  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-019-0203-z  オープンアクセス  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  お . 表 で表 では、 この を に で で で で で で で で で で で で で で で で で で		2019#
Mucosal Immunol. 1391-1403		こ 目知し目然の声
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41385-019-0203-z 有 オープンアクセス  1. 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2. 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  お表現のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  カープンアクセス  直読の有無 有 オープンアクセス  国際共著		
10.1038/s41385-019-0203-z 有  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2.論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3.雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  国際共著	Mucosal Immunol.	1391-1403
10.1038/s41385-019-0203-z 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 国際共著 - 1. 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato 4. 巻 117		
10.1038/s41385-019-0203-z 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 国際共著 - 1. 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato 4. 巻 117		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  [根載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  [オープンアクセス  [国際共著]  4 . 巻 117  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 610-618		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  お動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  国際共著	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  お動論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  国際共著		査読の有無
1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  お載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  本ープンアクセス  国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z	査読の有無 有
Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato1172.論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.5.発行年 2020年3.雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America6.最初と最後の頁 610-618掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116査読の有無 有オープンアクセス国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z	査読の有無 有
Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato1172.論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.5.発行年 2020年3.雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America6.最初と最後の頁 610-618掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116査読の有無 有オープンアクセス国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス	査読の有無 有
Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2. 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  4 動動 でのDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  117  5. 発行年 2020年  6. 最初と最後の頁 610-618	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス	査読の有無 有
2. 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  1 国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著 -
Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3.雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  4 動動 でのDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  本ープンアクセス  国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3.雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  4 動動 でのDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  本一プンアクセス  国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
3.雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  有  コープンアクセス  国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名     Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 117
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America 610-618 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1073/pnas.1914183116 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名     Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 117 5.発行年
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America 610-618 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1073/pnas.1914183116 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名     Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 117 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1073/pnas.1914183116 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.	直読の有無 有 国際共著 - 4.巻 117 5.発行年 2020年
10.1073/pnas.1914183116 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 117 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
10.1073/pnas.1914183116 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 117 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
10.1073/pnas.1914183116 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 117 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 117 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 610-618
	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 117 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 610-618
	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 117 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 610-618
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	10.1038/s41385-019-0203-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 117 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 610-618 査読の有無 有
	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Jumpei Ito, Robert J. Gifford, Kei Sato  2 . 論文標題 Retroviruses drive the rapid evolution of mammalian APOBEC3 genes.  3 . 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1073/pnas.1914183116  オープンアクセス	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 117 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 610-618

1.著者名	4 . 巻
Kabir MHB, Han Y, Lee S-H, Nugrahaa AB, Recuenco FC, Murakoshi F, Xuan X, Kato K (corresponding	9
author).	
2.論文標題	5.発行年
Prevalence and molecular characterization of Cryptosporidium species in poultry in Bangladesh.	2019年
revarence and morecular characterization of cryptosporturum species in pourtry in bangradesii.	20194
2 4644-67	C 目知 L目後の百
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
One Health.	100122
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.onehlt.2020.100122	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
	+ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Kadoya S, Urayama S, Nunoura T, Hirai M, Takaki Y, Kitajima M, Nakagomi T, Nakagomi O, Okabe S,	-
Nishi-mura O, Sano D	F 361-7-
2.論文標題	5.発行年
Bottleneck Size-Dependent Changes in the Genetic Diversity and Specific Growth Rate of a	2020年
Rotavirus A Strain	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	-
-	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.02083-19	有
10.1120/341.02003-19	Ħ
オープンアクセス	国際共著
	国际共 <b>有</b>
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4.巻
Kakiyama S, Tabara M, Nishibori Y, Moriyama H, Fukuhara T	9
2 . 論文標題	5 . 発行年
Long DCL4-substrate dsRNAs efficiently induce RNA interference in plant cells	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	6920
ocientific Reports	0920
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1038/s41598-019-43443-9	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Kanai Yuta、Kawagishi Takahiro、Matsuura Yoshiharu、Kobayashi Takeshi	93
2 . 論文標題	5.発行年
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in	2019年
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice	2019年
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice 3.雑誌名	
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice	2019年
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice 3.雑誌名	2019年
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice 3.雑誌名 Journal of Virology	2019年 6.最初と最後の頁 -
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice 3.雑誌名 Journal of Virology	2019年 6.最初と最後の頁 -
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice  3.雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00401-19	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice 3.雑誌名 Journal of Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in Tumor Xenograft Mice  3.雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00401-19	2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無

. #44	A 211
1. 著者名	4 . 巻
Kanai Y, Kawagishi T, Matsuura Y, Kobayashi T.	93
2.論文標題	
In Vivo Live Imaging of Oncolytic Mammalian Orthoreovirus Expressing NanoLuc Luciferase in	2019年
Tumor Xenograft Mice.	
B.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	e00401-19
oddinar or rivology	500TO 1 10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1128/JVI.00401-19	有
10.1120/011.00401 10	F
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
女之々	л <del>*</del>
. 著者名   Karasi V. Karasishi T. Narda D. Osishi N. Darasaha D. Nardia M. Narasa K. Natarasa V. Kalasashi	4 . 巻
Kanai Y, Kawagishi T, Nouda R, Onishi M, Pannacha P, Nurdin JA, Nomura K, Matsuura Y, Kobayashi T.	93
	5.発行年
Development of Stable Rotavirus Reporter Expression Systems.	2019年
5.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	e01774-18.
載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01774-18.	無
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
A SECTION OF THE PROPERTY OF T	
. 著者名	4 . 巻
Kanai Y, Kawagishi T, Sakai Y, Nouda R, Shimojima M, Saijo M, Matsuura Y, Kobayashi T.	15
	•
2.論文標題	5.発行年
Cell-cell fusion induced by reovirus FAST proteins enhances replication and pathogenicity of	2019年
non-enveloped dsRNA viruses.	•
. 雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS Pthogens	e1007675
-	
載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.ppat.1007675	有
	.,
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
***	. 111
. 著者名	4 . 巻
Kashiwagi Sayaka, Fujioka Yoichiro, Kondo Takeshi, Satoh Aya O., Yoshida Aiko, Fujioka Mari,	44
Sasajima Hitoshi, Amano Maho, Teshima Takanori, Ohba Yusuke	- 7V./- 6-
. 論文標題	5 . 発行年
Localization of BCR-ABL to Stress Granules Contributes to Its Oncogenic Function	2019年
·	6 早知と早後の百
	6.最初と最後の頁
Cell Structure and Function	195 ~ 204
	査読の有無
  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	旦祝の行無
  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.1247/csf.19033	重読の有 <del>無</del> 有
10.1247/csf.19033	有
   調載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.1247/csf.19033     オープンアクセス   オープンアクセスとしている(また、その予定である)	

1.著者名 Kashiwagi Sayaka、Fujioka Yoichiro、Satoh Aya O.、Yoshida Aiko、Fujioka Mari、Nepal Prabha、 Tanihiri Mari、Nepal Prabha、	4.巻 44
Tsuzuki Atsushi、Aoki Ozora、Paudel Sarad、Sasajima Hitoshi、Ohba Yusuke  2 . 論文標題 Folding Latency of Fluorescent Proteins Affects the Mitochondrial Localization of Fusion Proteins	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Cell Structure and Function	6 . 最初と最後の頁 183~194
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1247/csf.19028	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Kawagishi T, Nurdin J, Onishi M, Nouda R, Kanai Y, Tajima T, Ushijima H, Kobayashi T	4.巻 94
2.論文標題 Reverse Genetics System for a Human Group A Rotavirus.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 J Virol	6.最初と最後の頁 e00963-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00963-19	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Kawakami C, Yamayoshi S, Akimoto M, Nakamura K, Miura H, Fujisaki S, Pattinson DJ, Shimizu K, Ozawa H, Momoki T, Saikusa M, Yasuhara A, Usuku S, Okubo I, Toyozawa T, Sugita S, Smith DJ, Watanabe S, Kawaoka Y.	4.巻 24
2.論文標題 Genetic and antigenic characterisation of influenza A(H3N2) viruses isolated in Yokohama during the 2016/17 and 2017/18 influenza seasons	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Euro Surveill	6.最初と最後の頁 1800467
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.2807/1560-7917.ES.2019.24.6.1800467.	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名 Kiso M, Yamayoshi S, Furusawa Y, Imai M, Kawaoka Y.	4.巻 11
2.論文標題 Treatment of highly pathogenic H7N9 virus-infected mice with baloxavir marboxil.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Viruses	6.最初と最後の頁 pii: E1066
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11111066	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

. ***	. "
1. 著者名	4 . 巻
Kiso M, Yamayoshi S, Murakami J, Kawaoka Y.	-
2.論文標題	5 . 発行年
Baloxavir marboxil treatment of nude mice infected with influenza A virus.	2020年
Datokavit marboxit treatment of hude mile infected with infludiza A vilus.	2020-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
J Infect Dis	-
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/infdis/jiz665	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Kobayashi S, Yoshii K, Phongphaew W, Muto M, Hirano M, Orba Y, Sawa H, Kariwa H	Jan 23;16(1)
2 . 論文標題	5 . 発行年
West Nile virus capsid protein inhibits autophagy by AMP-activated protein kinase degradation	2020年
in neurological disease development.	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS Pathog	e1008238
	査読の有無
10.1371/journal.ppat.1008238.	有
,	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
4 +th-ty/2	1 4 344
1.著者名	4 . 巻
Yahara Koji、Lehours Philippe、Vale Filipa F.	5
2 . 論文標題	5.発行年
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage	
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species	5.発行年
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species	5 . 発行年 2019年
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics  曷載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Komatsu Y, Takeuchi D, Tokunaga T, Sakurai H, Makino A, Honda T, Ikeda Y, Tomonaga K.	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics  B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Komatsu Y, Takeuchi D, Tokunaga T, Sakurai H, Makino A, Honda T, Ikeda Y, Tomonaga K.  2.論文標題 RNA virus-based episomal vector with a fail-safe switch facilitating efficient genetic modification and induced differentiation of iPSCs. 3.雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics  B載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Komatsu Y, Takeuchi D, Tokunaga T, Sakurai H, Makino A, Honda T, Ikeda Y, Tomonaga K.  2.論文標題 RNA virus-based episomal vector with a fail-safe switch facilitating efficient genetic modification and induced differentiation of iPSCs. 3.雑誌名 Mol Ther Methods Clin Dev	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Komatsu Y, Takeuchi D, Tokunaga T, Sakurai H, Makino A, Honda T, Ikeda Y, Tomonaga K.  2.論文標題 RNA virus-based episomal vector with a fail-safe switch facilitating efficient genetic modification and induced differentiation of iPSCs.  3.雑誌名 Mol Ther Methods Clin Dev	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Komatsu Y, Takeuchi D, Tokunaga T, Sakurai H, Makino A, Honda T, Ikeda Y, Tomonaga K.  2.論文標題 RNA virus-based episomal vector with a fail-safe switch facilitating efficient genetic modification and induced differentiation of iPSCs.  3.雑誌名 Mol Ther Methods Clin Dev	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 47-55
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics    最報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Komatsu Y, Takeuchi D, Tokunaga T, Sakurai H, Makino A, Honda T, Ikeda Y, Tomonaga K.  2.論文標題 RNA virus-based episomal vector with a fail-safe switch facilitating efficient genetic modification and induced differentiation of iPSCs. 3.雑誌名 Mol Ther Methods Clin Dev    最報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.omtm.2019.05.010.	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 47-55 査読の有無 有
2.論文標題 Analysis of genetic recombination and the pan-genome of a highly recombinogenic bacteriophage species 3.雑誌名 Microbial Genomics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000282  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Komatsu Y, Takeuchi D, Tokunaga T, Sakurai H, Makino A, Honda T, Ikeda Y, Tomonaga K.  2.論文標題 RNA virus-based episomal vector with a fail-safe switch facilitating efficient genetic modification and induced differentiation of iPSCs. 3.雑誌名 Mol Ther Methods Clin Dev	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 14 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 47-55

1.著者名	4 . 巻
Komorizono R, Tomonaga K, Makino A.	4 · 공 275
Rollott Zotto K, Tollottaga K, Waktho A.	210
2.論文標題	5 . 発行年
Development of a reverse transcription-loop-mediated isothermal amplification assay for the	2020年
detection of parrot bornavirus 4.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Virol Methods	113749
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jviromet.2019.113749.	有
10.1010/j.jv110iiiet.2019.113/49.	H H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オーノファクセスではない、又はオーノファクセスが困難	-
. ***	T . 24
1.著者名	4 . 巻
Konishi HA, Yoshimura SH	34
2 . 論文標題	5 . 発行年
Interactions between non-structured domains of FG- and non FG-nucleoporins coordinate the	2019年
	2013-
ordered assembly of the nuclear pore complex in mitosis.	C 目知に目然の声
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
FASEB J.	1532-1545
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1096/fj.201901669R	有
,	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
3 7777 ENCOCKIA (&K. CO) (&K.	
1	4 <del>*</del>
1. 著者名	4.巻
Kotta-Loizou, I., Caston J. R., Coutts, R. H. A., Hillman, B. I., Jiang, D., Kim, DH.,	101
Moriyama, H., Suzuki, N., and ICTV Report Consortium	
2.論文標題	5.発行年
	2020年
ICTV Virus Taxonomy Profile: Chrysoviridae	1 2020—
ICTV Virus Taxonomy Profile: Chrysoviridae	20204
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of General Virology	6 . 最初と最後の頁 143-144
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無
3.雑誌名 Journal of General Virology	6 . 最初と最後の頁 143-144
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383 オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有
3.雑誌名     Journal of General Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     10.1099/jgv.0.001383  オープンアクセス     オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 Journal of General Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T	6.最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 Journal of General Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題	6.最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 101 5.発行年
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir	6.最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 101 5.発行年
3.雑誌名 Journal of General Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants.	6.最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 101 5.発行年 2020年
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants.	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 101 5 . 発行年
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants. 3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 101 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants.	6.最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 101 5.発行年 2020年
3.雑誌名 Journal of General Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants.  3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 101 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 Journal of General Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants.  3.雑誌名 Plant Journal	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 101 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 in press
3.雑誌名 Journal of General Virology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants.  3.雑誌名 Plant Journal	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 101 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 in press
3.雑誌名 Journal of General Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants.  3.雑誌名 Plant Journal	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 101 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 in press
3.雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants. 3.雑誌名 Plant Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tpj.14728	6 . 最初と最後の頁 143-144
3.雑誌名 Journal of General Virology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001383  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Kuriyama K, Tabara M, Moriyama H, Kanazawa A, Koiwa H, Takahashi H, Fukuhara T  2.論文標題 Disturbance of floral color pattern by activation of an endogenous pararetrovirus, petunia veir clearing virus in aged petunia plants.  3.雑誌名 Plant Journal	6 . 最初と最後の頁 143-144 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 101 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 in press

1.著者名	4 244
	4.巻
Kuwahara, T., Yamayoshi, S., Noda, T., Kawaoka, Y.	10
2 . 論文標題	5 . 発行年
G Protein Pathway Suppressor 1 Promotes Influenza Virus Polymerase Activity by Activating the	2019年
NF-kB Signaling Pathway.	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
mBio	e02867-19
	002007 10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1128/mBio.02867-19	有
	E She II de
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Kyle JE, Burnum-Johnson KE, Wendler JP, Eisfeld AJ, Halfmann PJ, Watanabe T, Sahr F, Smith RD,	116
Kawaoka Y, Waters KM, Metz TO	110
	F 整件
2 . 論文標題	5.発行年
Plasma lipidome reveals critical illness and recovery from human Ebola virus disease.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proc Natl Acad Sci U S A	3919-3928
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1073/pnas.1815356116	有
10.10/3/pilas.1013330110	1
	<b>同脚井</b> 菜
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Li Yanze、Endo Hisashi、Gotoh Yasuhiro、Watai Hiroyasu、Ogawa Nana、Blanc-Mathieu Romain、	34
Yoshida Takashi, Ogata Hiroyuki	-
	5 発行任
2. 論文標題	5 . 発行年
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic	5 . 発行年 2019年
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments	2019年
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments	2019年
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
2 . 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3 . 雑誌名 Microbes and Environments	2019年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3.雑誌名 Microbes and Environments 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 334~339 査読の有無
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3. 雑誌名 Microbes and Environments	2019年 6 . 最初と最後の頁 334~339
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments  3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037	2019年 6.最初と最後の頁 334~339 査読の有無 無
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3. 雑誌名 Microbes and Environments 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037	2019年 6.最初と最後の頁 334~339 査読の有無
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments  3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037	2019年 6.最初と最後の頁 334~339 査読の有無 無
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments  3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 334~339 査読の有無 無
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3.雑誌名 Microbes and Environments 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037	2019年 6.最初と最後の頁 334~339 査読の有無 無
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments  3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3.雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 -
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments  3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments  3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2. 論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2. 論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2. 論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes).	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533  5.発行年 2019年
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2. 論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes). 3. 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2. 論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes).	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533  5.発行年 2019年
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2. 論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes). 3. 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2. 論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes). 3. 雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments  3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2. 論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes).  3. 雑誌名 Virology	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 125-136
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2.論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes). 3.雑誌名 Virology	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 125-136
2. 論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments  3. 雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2. 論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes).  3. 雑誌名 Virology	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 125-136
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3.雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2.論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes).  3.雑誌名 Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2019.05.008	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 125-136  査読の有無 有
2.論文標題 The Earth Is Small for "Leviathans": Long Distance Dispersal of Giant Viruses across Aquatic Environments 3.雑誌名 Microbes and Environments  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME19037  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Lin YH, Fujita M, Chiba S, Hyodo K, Andika IB, Suzuki N, Kondo H.  2.論文標題 Two novel fungal negative-strand RNA viruses related to mymonaviruses and phenuiviruses in the shiitake mushroom (Lentinula edodes). 3.雑誌名 Virology	2019年 6.最初と最後の頁 334~339  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 533  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 125-136

. ***	1 4 24
1 . 著者名	4 . 巻
Mano Y, Yoshio S, Shoji H, Tomonari S, Aoki Y, Aoyanagi N, Okamoto T, Matsuura Y, Osawa Y,	54
Kimura K, Yugawa K, Wang H, Oda Y, Yoshizumi T, Maehara Y, Kanto T.	_ 7/
2 . 論文標題	5.発行年
Bone morphogenetic protein 4 provides cancer-supportive phenotypes to liver fibroblasts in	2019年
patients with hepatocellular carcinoma.	6 840 8 8 7
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Gastroenterology	1007-1018
周華於上 0.00 / デントリュデント   MRIIフン	****
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00535-019-01579-5	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	1
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1	A **
1.著者名	4 . 巻
Masud HMAA, Watanabe T, Sato Y, Goshima F, Kimura H, Murata T	531
2	F 発行生
2. 論文標題 The POLEA game is processed for effective French Pour virel infectivity	5.発行年
The BOLF1 gene is necessary for effective Epstein-Barr viral infectivity	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virology	114-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.virol.2019.02.015	有
10.1010/j.v1101.2019.02.013	H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
13 22 7 CIN GWA ( XIO.3 22 7 7 CIN EIGH	
1 . 著者名	4 . 巻
Masud HMAA, Yanagi Y, Watanabe T, Sato Y, Kimura H, Murata T	7
masta immir, idingri, natarabe i, care i, kimara ii, marata i	·
2.論文標題	5.発行年
Epstein-Barr Virus BBRF2 Is Required for Maximum Infectivity	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Microorganisms	E705
	2.00
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/microorganisms7120705	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Matsuzawa Y, Iwatsuki-Horimoto K, Nishimoto Y, Abe Y, Fukuyama S, Hamabata T, Okuda M, Go Y,	11
Watanabe T, Imai M, Arai Y, Fouchier RAM, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Antigenic change in human influenza A(H2N2) viruses detected by using human plasma from aged	2019年
and younger adult individuals.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	pii: E978
	'
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

1.著者名	4 . 巻
Michelle Jane Genoveso, Miharu Hisaoka, Tetsuro Komatsu, Harald Wodrich, Kyosuke Nagata,	287
	201
Mitsuru Okuwaki	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Formation of adenovirus DNA replication compartments and viral DNA accumulation sites by host	2020年
chromatin regulatory proteins including NPM1.	2020—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
FEBS J	205-217
1250 0	200 217
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/febs.15027	有
10.1111/1635.16021	-
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
4 ******	4 **
1.著者名	4 . 巻
Mitake H, Yasuhara A, Lopes TJS, Tagawa-Sakai Y, Shimizu K, Ozawa H, Kawakami C, Morikawa S,	12
Sugaya N, Watanabe T, Kawaoka Y.	
2.論文標題	F 発行在
	5 . 発行年
Comparison of the Pathogenicity in Mice of A(H1N1)pdm09 Viruses Isolated between 2009 and 2015	2020年
in Japan	
	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
Viruses	pii: E155
	本芸の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/v12020155	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
———————————————————————————————————————	_
Miyamoto Sho, Noda Takeshi	64
2.論文標題	5 . 発行年
In vitro vRNA-vRNA interactions in the H1N1 influenza A virus genome	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microbiology and Immunology	202 ~ 209
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/1348-0421.12766	
20 222 (220 00 00 1 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	有
10.1111/1346-0421.12/00	Ħ
10.1111/1540-0421.12/00	Ľ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y,	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M	国際共著 - 4.巻 55
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M	国際共著 - 4.巻 55
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題	国際共著 - 4.巻 55 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M	国際共著 - 4.巻 55
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.	国際共著 - 4.巻 55 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.	国際共著 - 4.巻 55 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.	国際共著 - 4.巻 55 5.発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名 Virus Genes	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名 Virus Genes	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 815-824
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名 Virus Genes	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 815-824 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名 Virus Genes	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 815-824
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名 Virus Genes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01703-w	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 815-824  査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名 Virus Genes	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 815-824  査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名 Virus Genes  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01703-w  オープンアクセス	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 815-824  査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mukai Y, Tomita Y, Kryukov K, Nakagawa S, Ozawa M, Matsui T, Tomonaga K, Imanishi T, Kawaoka Y, Watanabe T, Horie M  2 . 論文標題 Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.  3 . 雑誌名 Virus Genes  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11262-019-01703-w	国際共著 - 4 . 巻 55 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 815-824  査読の有無 有

1.著者名 Mukai, Y., Tomita, Y., Kryukov, K., Nakagawa, S., Ozawa, M., Matsui, T., Tomonaga, K., Imanishi, T., Kawaoka, Y., Watanabe, T., Horie, M.  2.論文標題	
Mukai, Y., Tomita, Y., Kryukov, K., Nakagawa, S., Ozawa, M., Matsui, T., Tomonaga, K., Imanishi, T., Kawaoka, Y., Watanabe, T., Horie, M.	4.巻
	55
	5.発行年
Identification of a distinct lineage of aviadenovirus from crane feces.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Genes	815-824
<u> </u>   掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	
10.1007/s11262-019-01703-w	有
	F
<b>「オープンアクセス</b>	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Muleya W, Chambaro HM, Sasaki M, Gwenhure LF, Mwenechanya R, Kajihara M, Saasa N, Mupila Z,	55(5)
Mori-Kajihara A, Qiu Y, Kangwa E, Mweene A, Namangala B, Takada A, Sawa H	33(3)
2. 論文標題	5 . 発行年
Genetic diversity of rabies virus in different host species and geographic regions of Zambia and Zimbabwe.	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Genes	713-719
 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	 │ 査読の有無
10.1007/s11262-019-01682-y	有
10.11001/011202 010 01002 y	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Murata T, Okuno Y, Sato Y, Watanabe T, Kimura H	
Murata T, Okuno Y, Sato Y, Watanabe T, Kimura H 2.論文標題	5.発行年
2.論文標題	
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression o	
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression clytic genes	f 2020年
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名	f 2020年 6.最初と最後の頁
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095 査読の有無
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095 査読の有無
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著 -
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 10
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M 2.論文標題	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著 -
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 10  5.発行年
2. 論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3. 雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M  2. 論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains cortical tension during metaphase, which regulates inactivation of the spindle assembly checkpoint at anaphase onset 3. 雑誌名	f 2020年  6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 10  5.発行年 2019年  6.最初と最後の頁
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M  2.論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains cortical tension during metaphase, which regulates inactivation of the spindle assembly checkpoint at anaphase onset	f 2020年  6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著  4.巻 10  5.発行年 2019年
2. 論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3. 雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M  2. 論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains cortical tension during metaphase, which regulates inactivation of the spindle assembly checkpoint at anaphase onset 3. 雑誌名	f 2020年  6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 10  5.発行年 2019年  6.最初と最後の頁
2. 論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3. 雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M  2. 論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains cortical tension during metaphase, which regulates inactivation of the spindle assembly checkpoint at anaphase onset 3. 雑誌名	f 2020年  6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 10  5.発行年 2019年  6.最初と最後の頁
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M 2.論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains cortical tension during metaphase, which regulates inactivation of the spindle assembly checkpoint at anaphase onset 3.雑誌名 Nat. Commun.	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著  4.巻 10  5.発行年 2019年  6.最初と最後の頁 981
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M 2.論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains cortical tension during metaphase, which regulates inactivation of the spindle assembly checkpoint at anaphase onset 3.雑誌名 Nat. Commun.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-08957-w	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著  4.巻 10  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 981  査読の有無 有
2.論文標題 Oncogenesis of CAEBV revealed: Intragenic deletions in the viral genome and leaky expression of lytic genes 3.雑誌名 Reviews in Medical Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rmv.2095  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Nishimura K, Johmura Y, Deguchi K, Jiang Z, Uchida KSK, Suzuki N, Shimada M, Chiba Y, Hirota T, Yoshimura SH, Kono K, Nakanishi M  2.論文標題 Cdk1-mediated DIAPH1 phosphorylation maintains cortical tension during metaphase, which regulates inactivation of the spindle assembly checkpoint at anaphase onset 3.雑誌名 Nat. Commun.	f 2020年 6.最初と最後の頁 e2095  査読の有無 有  国際共著  4.巻 10  5.発行年 2019年  6.最初と最後の頁 981

1.著者名	4 . 巻
Nomura T, Fukushi M, Oda K, Higashiura A, Irie T, Sakaguchi T	2019
2.論文標題	5 . 発行年
	2019年
Effects of Traditional Kampo Drugs and Their Constituent Crude Drugs on Influenza Virus	2019年
Replication In Vitro: Suppression of Viral Protein Synthesis by Glycyrrhizae Radix.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
First December of Attended Med	
Evid Based Complement Alternat Med	-
掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	且のの行無
10.1155/2019/3230906	有
10.1133/2019/3230900	Ħ
オープンアクセス	国際共著
* * * * * = * *	当际六百
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
(diel estimates)	
1	4 <del>**</del>
1.著者名	4 . 巻
Ohishi K, Maruyama T, Seki F, Takeda M.	11
onioni n, maiuyama i, oeni i, ianeua m.	''
2 44	r 翌年二年
2.論文標題	5.発行年
Marine Morbilliviruses: Diversity and Interaction with Signaling Lymphocyte Activation	2019年
Marine Morbilliviruses: Diversity and Interaction with Signaling Lymphocyte Activation	4013 <del>11</del>
Molecules.	
	て 目切り目後の子
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	E606
Viruses	E000
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/v11070606	有
10.00007 111010000	-
オープンアクセス	国際共著
オープンデッセス	<b>国际共</b> 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
3 2277 EXCOCKIO (& & & & & & )	
4 #26	4 . 巻
1.著者名	7 • 0
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H,	3
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H,	
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga	
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H,	
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga	
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F	3
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F	3
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F	5 . 発行年
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F	3
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F	5 . 発行年
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.	3 5.発行年 2020年
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.	3 5.発行年 2020年
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.	3 5.発行年 2020年
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 .論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 .雑誌名 Commun Biol	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題     Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名     Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     10.1038/s42003-020-0882-8	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題     Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名     Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     10.1038/s42003-020-0882-8	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 .論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 .雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 .著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2. 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3. 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity 3. 雑誌名	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2. 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3. 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity 3. 雑誌名	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Oikawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, lio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2. 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3. 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2. 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity 3. 雑誌名	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Olkawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity 3 . 雑誌名 Front Microbiol	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 432
Olkawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity  3 . 雑誌名 Front Microbiol	3 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 432
Olkawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity 3 . 雑誌名 Front Microbiol	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 国際共著 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 432
Olkawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity 3 . 雑誌名 Front Microbiol	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 432
Olkawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity 3 . 雑誌名 Front Microbiol	3 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 Article No. 163 査読の有無 国際共著 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 432
Olkawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.00432	3   5.発行年 2020年   6.最初と最後の頁 Article No. 163   査読の有無 有   国際共著 - 4.巻 10   5.発行年 2019年   6.最初と最後の頁 432   査読の有無 有
Olkawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.00432	3   5.発行年 2020年   6.最初と最後の頁 Article No. 163   査読の有無 有   国際共著 - 4.巻 10   5.発行年 2019年   6.最初と最後の頁 432   査読の有無 有
Olkawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity 3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.00432  オープンアクセス	3   5.発行年 2020年   6.最初と最後の頁 Article No. 163   査読の有無 有   国際共著
Olkawa D, Sato Y, Ohtake F, Komakura K, Hanada K, Sugawara K, Terawaki S, Mizukami Y, Phuong H, Iio K, Obika S, Fukushi M, Irie T, Tsuruta D, Sakamoto S, Tanaka K, Saeki Y, Fukai S, Tokunaga F  2 . 論文標題 Molecular basis for HOIPINs-mediated inhibition of LUBAC and innate immune responses.  3 . 雑誌名 Commun Biol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-0882-8  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Identification of Amino Acid Residues in Influenza A Virus PA-X That Contribute to Enhanced Shutoff Activity  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.00432	3         5.発行年 2020年         6.最初と最後の頁 Article No. 163         査読の有無 10         5.発行年 2019年         6.最初と最後の頁 432         査読の有無 有

1	
1.著者名	4 . 巻
Okazaki Yusuke、Nishimura Yosuke、Yoshida Takashi、Ogata Hiroyuki、Nakano Shin ichi	21
2. 論文標題	5 . 発行年
Genome resolved viral and cellular metagenomes revealed potential key virus host interactions	2019年
in a deep freshwater lake	2010
	6 見切り見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Environmental Microbiology	4740-4754
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/1462-2920.14816	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カープンプラと外にはない、人はカープンプラとスが四級	
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Okuda M, Yamayoshi S, Uraki R, Ito M, Hamabata T, Kawaoka Y.	11
2 . 論文標題	5 . 発行年
Subclade 2.2.1-Specific Human Monoclonal Antibodies That Recognize an Epitope in Antigenic Site	
A of Influenza	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	E321
In which is a second of the se	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/v11040321	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
13 DODY CINCING VIV. XIO.3 DODY CINCING	100
	4 . 巻
—····	
Raya F, Arce L, Salva S, Alvarez S, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J, Vizoso-Pinto, MG	11
2 . 論文標題	5.発行年
	5 . 発行年 2020年
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic	
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.	2020年
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.	2020年
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3. 雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology	2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 15
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 15 査読の有無
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology	2020年 6 . 最初と最後の頁 Article 15
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15 査読の有無 有
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015 オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15 査読の有無 有
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015 オープンアクセス	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2.論文標題	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2.論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3. 雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2. 論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against influenza virus.	2020年  6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 78  5.発行年 2020年
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2.論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2.論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against influenza virus.  3.雑誌名	2020年  6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 78  5.発行年 2020年
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2.論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against influenza virus.	2020年  6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 78  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3.雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2.論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against influenza virus.  3.雑誌名	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3 . 雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2 . 論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against influenza virus.  3 . 雑誌名 International Immunopharmacology	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 Article 106115
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3 . 雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス	2020年  6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 Article 106115
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3 . 雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2 . 論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against influenza virus.  3 . 雑誌名 International Immunopharmacology	2020年 6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78  5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 Article 106115
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3 . 雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Raya F, Islam MA, Vizoso-Pinto MG, Takahashi H, Kitazawa H, Villena J  2 . 論文標題 Nasal priming with immunobiotic lactobacilli improves the adaptive immune response against influenza virus.  3 . 雑誌名 International Immunopharmacology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.intimp.2019.106115	2020年  6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 Article 106115  査読の有無 有
Immunomodulatory properties of bacterium-like particles obtained from immunobiotic lactobacilli: prospects for their use as mucosal adjuvants.  3 . 雑誌名 Frontiers in Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .3389/fimmu.2020.00015  オープンアクセス	2020年  6.最初と最後の頁 Article 15  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 78  5.発行年 2020年  6.最初と最後の頁 Article 106115

1.著者名	4 . 巻
Sakaguchi, S., Nakagawa, S., Mitsuhashi, S., Ogawa, M., Sugiyama, K., Tamukai, K., Koide, R.,	165
Katayama, Y., Nakano, T., Makino, S., Imanishi, T., Miyazawa, T., and Mizutani, T.	
2.論文標題	5.発行年
	I
Molecular characterization of feline paramyxovirus in Japanese cat populations.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Archives of Virology	413-418
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00705-019-04480-x	有
10.1007/\$00705-019-04460-X	19
オープンアクセス	<b>园咖井芸</b>
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Sakai-Tagawa Y, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	10
2.論文標題	5.発行年
Sensitivity of commercially available influenza rapid diagnostic tests in the 2018-2019	2019年
influenza season.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Microbiol	2342
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2019.02342	有
10.33337 1111103.2013.02042	l B
オープンアクセス	国際共著
=	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Salim B, Alanazi AD, Omori R, Alyousif MS, Alanazi IO, Katakura K, Nakao R	193
2.論文標題	5 . 発行年
Potential role of dogs as sentinels and reservoirs for piroplasms infecting equine and cattle	2019年
in Riyadh City, Saudi Arabia	2013—
	て 目知し目後の声
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Acta Trop	78-83
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.actatropica.2019.02.029	有
オープンアクセス	国際共著
	該当する
オープンアクセフとしている(キャーその予定である)	以 コッシー
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
1 . 著者名	4 . 巻
	4.巻 33(12)
1 . 著者名	33(12)
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A	_
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A 2 . 論文標題	33(12)
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in	33(12)
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.	33(12) 5.発行年 2019年
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.  3 . 雑誌名	33(12) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.	33(12) 5.発行年 2019年
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.  3 . 雑誌名	33(12) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.  3 . 雑誌名 FASEB J	33(12) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 13866-13881
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.  3 . 雑誌名	33(12) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.  3 . 雑誌名 FASEB J 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	33(12) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 13866-13881
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.  3 . 雑誌名 FASEB J	33(12) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 13866-13881
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.  3 . 雑誌名 FASEB J  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901095RR.	33(12) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 13866-13881  査読の有無
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.  3 . 雑誌名 FASEB J  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901095RR.	33(12) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 13866-13881  査読の有無 有
1 . 著者名 Sanaki T, Wakabayashi M, Yoshioka T, Yoshida R, Shishido T, Hall WW, Sawa H, Sato A  2 . 論文標題 Inhibition of dengue virus infection by 1-stearoyl-2-arachidonoyl-phosphatidylinositol in vitro.  3 . 雑誌名 FASEB J  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1096/fj.201901095RR.	33(12) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 13866-13881  査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Sato A, Ono C, Tamura T, Mori H, Izumi T, Torii S, Fauzyah Y, Yamamoto T, Morioka Y, Okuzaki D Fukuhara T, Matsuura Y.	,   -
2.論文標題	5.発行年
Rimonabant suppresses RNA transcription of hepatitis B virus by inhibiting hepatocyte nuclear	2020年
factor 4a.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microbiology and Immunology	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.1111/1348-0421.12777	有
10.1111/1540-5421.12111	H
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1. 著者名	4.巻
Sato, Y., Miyazaki, N., Kanematsu, S., Ghabrial, S. A., Hillman, B. I., Suzuki, N., and ICTV Report Consortium	100
2 . 論文標題	5 . 発行年
ICTV Virus Taxonomy Profile: Megabirnavirus	2019年
TOTA TITUS TUNOTION TOTTIC. MOGUNITHAVITUS	2010—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of General Virology	1269-1270
相撃をかったしてできなりませい。ちしか回フン	本註の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1099/jgv.0.001297	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·
1 . 著者名	4 . 巻
Seki F, Ohishi K, Maruyama T, Takeda M.	-
0 AA	- 3v./= h-
2.論文標題	5.発行年
Phocine distemper virus uses phocine and other animal SLAMs as a receptor but not human SLAM.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microbiol Immunol.	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/1348-0421.12788	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 国际六有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	4 . 巻
	-
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.	- 4.巻 48
1.著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S. 2.論文標題	- 4 . 巻 48 5 . 発行年
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.	- 4.巻 48
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.  2 . 論文標題 Bayesian generalized fused lasso modeling via NEG distribution.	- 4.巻 48 5.発行年 2019年
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.  2 . 論文標題 Bayesian generalized fused lasso modeling via NEG distribution.  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 48 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.  2 . 論文標題 Bayesian generalized fused lasso modeling via NEG distribution.	- 4.巻 48 5.発行年 2019年
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.  2 . 論文標題 Bayesian generalized fused lasso modeling via NEG distribution.  3 . 雑誌名 Communications in Statistics - Theory and Methods	- 4 . 巻 48 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 4132-4153
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.  2 . 論文標題 Bayesian generalized fused lasso modeling via NEG distribution.  3 . 雑誌名	- 4 . 巻 48 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.  2 . 論文標題 Bayesian generalized fused lasso modeling via NEG distribution.  3 . 雑誌名 Communications in Statistics - Theory and Methods	- 4 . 巻 48 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 4132-4153
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.  2 . 論文標題 Bayesian generalized fused lasso modeling via NEG distribution.  3 . 雑誌名 Communications in Statistics - Theory and Methods  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610926.2018.1489056	- 4 . 巻 48 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 4132-4153  査読の有無 有
1 . 著者名 Shimamura, K., Ueki, M., Kawano, S., Konishi, S.  2 . 論文標題 Bayesian generalized fused lasso modeling via NEG distribution.  3 . 雑誌名 Communications in Statistics - Theory and Methods 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 48 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 4132-4153

1 . 著者名 Simulundu E, Ndashe K, Chambaro HM, Squarre D, Reilly PM, Chitanga S, Changula K, Mukubesa AN, Ndebe J, Tembo J, Kapata N, Bates M, Sinkala Y, Hangombe BM, Nalubamba KS, Kajihara M, Sasaki M, Orba Y, Takada A, Sawa H.	4.巻 6(4):
2. 論文標題	5 . 発行年
West Nile Virus in Farmed Crocodiles, Zambia, 2019	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Emerg Infect Dis.	811-814
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3201/eid2604.190954.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名 Tada A, Islam MA, Kober HA, Fukuyama K, Takagi M, Igata M, Albarracin L, Ikeda-Ohtsubo W, Miyazawa K, Yoda K, He F, Takahashi H, Villena J, Aso H, Kitazawa H	4.巻 21
2. 論文標題 Transcriptome modifications in the porcine intramuscular adipocytes during differentiation and exogenous stimulation with TNF-訳 and serotonin.	5.発行年 2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Molecular Sciences	Article 638
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/ijms21020638	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名 Takada K, Kawakami C, Fan S, Chiba S, Zhong G, Gu C, Shimizu K, Takasaki S, Sakai-Tagawa Y, Lopes TJS, Dutta J, Khan Z, Kriti D, van Bakel H, Yamada S, Watanabe T, Imai M, Kawaoka Y.	4.巻
2.論文標題 A humanized MDCK cell line for the efficient isolation and propagation of human influenza viruses	5.発行年 2019年
3.雑誌名 Nat Microbiol	6 . 最初と最後の頁 1268-1273
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41564-019-0433-6	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名	4.巻
Takahashi H, Fukuhara T, Kitazawa H, Kormelink R	10
2. 論文標題	5 . 発行年
Virus latency and the impact on plants.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Microbiology	Article 2764
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2019.02764	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

Takamatsu Y, Dolnik O, Noda T, Becker S.   16   16   16   16   16   16   16   1		. "
2 . 節文標題 A live-cell inaging system for visualizing the transport of Marburg virus nucleocapsid-like structures. 3 . 副私名 virol J.  最勤的公司(デジタルオブジェクト機別子) 10 .1186/s12985-019-1287-9  1 . 著名名 Takanatsu, Y., Kajikana, J., Muramoto, Y., Nakano, M., Noda, T. 2 . 節文標題 Microtubule-dependent transport of arenavirus matrix protein demonstrated using live-cell inaging aicroscopy. 3 . 副私名 Microscopy (Oxf)  第数論文の01 (デジタルオブジェクト識別子) 10 .1083/jnicro/df2034  1 . 著名名 Takanatsu, Y., Kri, hling, W., Kolesnikova, L., Palae, H., Lier, C., Bauneister, S., Noda, T., Slodenkopf, N., Becker, S. 2 . 高文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  1 . 著名名 Takanatsu, Y., Kri, hling, W., Kolesnikova, L., Palae, H., Lier, C., Bauneister, S., Noda, T., Slodenkopf, N., Becker, S. 2 . 高文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 献話名 millo	Takamatsu Y, Dolnik O, Noda T, Becker S.	4 . 巻
A live-call imaging system for visualizing the transport of Marburg virus nucleocapsid-like structures.  3. 終註名 Virol J.    日本語名		16
A live-call imaging system for visualizing the transport of Marburg virus nucleocapsid-like structures.  3. 終註名 Virol J.    日本語名		
Structures	2.論文標題	5.発行年
Structures	A live-cell imaging system for visualizing the transport of Marburg virus nucleocapsid-like	2019年
3 . 雑誌名 (1.159 に 1.159 に 1.		
159		6 是知と是後の百
抽転論文の001(デジタルオブジェクト識別子)		
1. 186/s12985-019-1267-9   有	Virol J.	159
1. 186/s12985-019-1267-9   有		
1. 186/s12985-019-1267-9   有		
1 著名名   Takanatsu, Y., Kajikana, J., Muramoto, Y., Nakano, M., Noda, T.   4 . 巻   88   88   88   88   88   88   88	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である)   該当する   4 . 巻 68   68   68   68   68   68   68   68	10.1186/s12985-019-1267-9	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)   該当する   4 . 巻 68   68   68   68   68   68   68   68		
1 . 著者名 Takamatsu, Y., Kajikawa, J., Muramoto, Y., Nakano, M., Noda, T. 2 . 論文標題 Microtubule-dependent transport of arenavirus matrix protein demonstrated using live-cell imaging microscopy. 3 . 議議者 Microscopy (Oxf) 6 . 最初と最後の頁 450-456  掲数論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/dz2034 7 ープンアクセス	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Takamatsu, Y., Kajikawa, J., Muramoto, Y., Nakano, M., Noda, T. 2 . 論文標題 Microtubule-dependent transport of arenavirus matrix protein demonstrated using live-cell imaging microscopy. 3 . 議議者 Microscopy (Oxf) 6 . 最初と最後の頁 450-456  掲数論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/dz2034 7 ープンアクセス	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Takamatsu, Y., Kajikawa, J., Muramoto, Y., Nakano, M., Noda, T.   8		
Takamatsu, Y., Kajikawa, J., Muramoto, Y., Nakano, M., Noda, T.   8	1 芙老名	4
2.論文標題 Microtubule-dependent transport of arenavirus matrix protein demonstrated using live-cell inaging alcroscopy.  3. 雑誌名 Microscopy (Oxf)  #報論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/dfz034  1. 著名名 Takamatsu, Y., Krō, hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S. 2. 論文程題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3. 雑誌名 mBio  ### ### ### ### ### ### ### ### ### #		_
Microscopy.  2019年 inaging microscopy.  3 . 雑誌名 Microscopy (Oxf)  450-496  6 . 最初と最後の頁 450-496  8 整論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/dtz034  7 ー ブンアクセス オー ブンアクセスではない、又はオー ブンアクセスが困難  1 . 著者名 Takamatsu, Y., Krī, hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., 118 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 mBio  1 . 著者名 Takamatsu, Y., Krī, hling protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 Takamatsu, Y., Krī, hling protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 Takamatsu protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  5 . 発行年 2020年  3 . 雑誌名 Takamatsu protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  6 . 最初と最後の頁 e02565-19  2 遺跡の有無 有 オープンアクセス  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yanamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  5 . 発行年 2020年  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  5 . 最初と最後の頁 curr Opin Virol  5 . 最初と最後の頁 curr Opin Virol  5 . 最初と最後の頁 curr Opin Virol  6 . 最初と最後の頁 curr Opin Virol  7 . 母	Takamatsu, f., kajikawa, J., muramoto, f., nakano, m., noda, f.	00
Microscopy.  2019年 inaging microscopy.  3 . 雑誌名 Microscopy (Oxf)  450-496  6 . 最初と最後の頁 450-496  8 整論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/dtz034  7 ー ブンアクセス オー ブンアクセスではない、又はオー ブンアクセスが困難  1 . 著者名 Takamatsu, Y., Krī, hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., 118 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 mBio  1 . 著者名 Takamatsu, Y., Krī, hling protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 Takamatsu, Y., Krī, hling protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 Takamatsu protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  5 . 発行年 2020年  3 . 雑誌名 Takamatsu protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  6 . 最初と最後の頁 e02565-19  2 遺跡の有無 有 オープンアクセス  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yanamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  5 . 発行年 2020年  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  5 . 最初と最後の頁 curr Opin Virol  5 . 最初と最後の頁 curr Opin Virol  5 . 最初と最後の頁 curr Opin Virol  6 . 最初と最後の頁 curr Opin Virol  7 . 母	2 *************************************	F 38/-/-
inaging microscopy.  3 . 雑誌名 Microscopy (Oxf)  超動流文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/df2034  オープンアクセス  1 . 著者名 Takamatsu, Y., Krf.hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopt, N., Becker, S. 2 . 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 mBio  1 . 著者名 Takamatsu, Y., Krf.hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopt, N., Becker, S. 2 . 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  5 . 発行年 2020年  3 . 雑誌名 Takada M, Seki F, Yamanoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Takeda M, Seki F, Yamanoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  西談和   西談の有無 なし オープンアクセス  西談共著  音読の有無 なし オープンアクセス  西談共著  日際共著		
3 . 雑誌名 Microscopy (Oxf) Microscopy (Oxf)  信敬論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/dfz034 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Takamatsu, Y., Krf.hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S. 2 . 論文程題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 mBio  6 . 最初と最後の頁 e02565-19  2 . 論文程記 オープンアクセス  1 . 著者名 Takamatsu, Y., Krf.hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S. 2 . 論文程記 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  5 . 発行年 2020年  3 . 雑誌名 mBio  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yanamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  5 . 発行年 2020年  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  「最初と最後の頁 ・ 相談論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  4 . 巻  1 . 章 語の有無 有 オープンアクセス  国際共著		2019年
Microscopy (0xf) 450-456  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/df2034  オーブンアクセス  オーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Takamatsu、Y., Krf,hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S. 2. 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3. 雑誌名 mBio  1. 著者名 Takada M, Seki F, Yamanoto Y, Nao N, Tokiwa H  2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  4. 巻 Takada M, Seki F, Yamanoto Y, Nao N, Tokiwa H  2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3. 雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  4. 巻 Takada M, Seki F, Yamanoto Y, Nao N, Tokiwa H  2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3. 雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オーブンアクセス  国際共著	imaging microscopy.	
Microscopy (0xf) 450-456  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jmicro/df2034  オーブンアクセス  オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Takamatsu、Y., Krf, hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S. 2.論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3.雑誌名 mBio  ### 11  ### 2020年  ### 3  ### 4  ### 3  ### 3  #### 3  #### 3  #### 3  #### 3  #### 4  ### 3  #### 3  #### 4  #### 3  #### 3  #### 4  ### 3  #### 4  #### 4  #### 4  #### 4  #### 4  #### 4  ##### 4  ##### 4  ########	3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Microscopy (Oxf)	
10.1093/jmicro/dfz034 有		100 100
10.1093/jmicro/dfz034 有		
10.1093/jmicro/dfz034 有	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	杏誌の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1. 著者名 Takamatsu, Y., Krō,hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Bledenkopf, N., Becker, S. 2. 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3. 雑誌名 mBio  4. 巻 10.1128/mBio.02565-19  指載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  1. 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3. 雑誌名 Curr Opin Virol  指載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  4. 巻 - 2020年  4. 巻 - 3. 雑誌名 - 6. 最初と最後の頁 2020年  4. 巻 - 7. ※発行年 - 2020年  3. 雑誌名 - 2020年  4. 巻 - 3. 雑誌名 - 3. 雑誌名 - 4. 巻 - 4. 巻 - 5. 発行年 - 2020年  3. 雑誌名 - 4. 巻 - 5. 発行年 - 2020年  3. 雑誌名 - 4. 巻 - 5. 発行年 - 2020年  3. 雑誌名 - 6. 最初と最後の頁 - 7. ※表記の有無 - 4. グンアクセス		
### Total Residual Action (Application) Action (A	10.1093/ jiii1C10/ 012034	†
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1. 著者名 Takamatsu, Y., Krō,hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S. 2. 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3. 雑誌名 mBio  描載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  在オープンアクセス  1. 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3. 雑誌名 Curr Opin Virol  描載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	+ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	<b>同</b> 吻 +
1 . 著者名	· · · · · · =· ·	
Takamatsu, Y., Krī, hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S.  2 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 mBio  4 . 意 Takamatsu, Y., Krī, hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S.  5 . 発行年 2020年  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 e02565-19  ation 1.1128/mBio.02565-19  ation 7.	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Takamatsu, Y., Krī, hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S.  2 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  3 . 雑誌名 mBio  4 . 意 Takamatsu, Y., Krī, hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T., Biedenkopf, N., Becker, S.  5 . 発行年 2020年  5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 e02565-19  ation 1.1128/mBio.02565-19  ation 7.		
Biedenkopf, N., Becker, S.       5. 発行年 2020年         2. 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.       6. 最初と最後の頁 e02565-19         3. 雑誌名 mBio       6. 最初と最後の頁 e02565-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著         1. 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H       4. 巻 -         2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Curr Opin Virol       6. 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	1.著者名	4 . 巻
Biedenkopf, N., Becker, S.       5. 発行年 2020年         2. 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.       6. 最初と最後の頁 e02565-19         3. 雑誌名 mBio       6. 最初と最後の頁 e02565-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著         1. 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H       4. 巻 -         2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Curr Opin Virol       6. 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	Takamatsu, Y., Krī, hling, V., Kolesnikova, L., Halwe, H., Lier, C., Baumeister, S., Noda, T.,	11
2 . 論文標題 Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 mBio       6 . 最初と最後の頁 e02565-19         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19       査読の有無 有         オープンアクセス コープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著 該当する         1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H       4 . 巻 -         2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 Curr Opin Virol       6 . 最初と最後の頁 -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola virus transcription.  2020年  3 . 雑誌名 mBio 6 . 最初と最後の頁 e02565-19  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  相 オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オーブンアクセス  国際共著		5
3 . 雑誌名 mBio 6 . 最初と最後の頁 e02565-19  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  本 - ブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス 国際共著 有  オーブンアクセス 国際共著 有		
Batimix のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Serine-arginine protein kinase 1 regulates Ebola Virus transcription.	2020年
Batimix のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19 有 オープンアクセス	0 +44+47	
10.1128/mBio.02565-19 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2.論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3.雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  10.1128/mBio.02565-19		
10.1128/mBio.02565-19 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2.論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3.雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  10.1128/mBio.02565-19		
10.1128/mBio.02565-19 有 オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2.論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3.雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  10.1128/mBio.02565-19		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  国際共著	mBio	e02565-19
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1.著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2.論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3.雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  有  オープンアクセス  国際共著		e02565-19
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1.著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2.論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3.雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  有  オープンアクセス  国際共著	mBio 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	e02565-19 査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1.著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2.論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3.雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  有  オープンアクセス  国際共著	mBio 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	e02565-19 査読の有無 有
1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  有  オープンアクセス  国際共著	mBio 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19	e02565-19 査読の有無 有
Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  有  オープンアクセス  国際共著	mBio 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19 オープンアクセス	e02565-19 査読の有無 有 国際共著
Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  有  オープンアクセス  国際共著	mBio 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19 オープンアクセス	e02565-19 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential5.発行年 2020年3.雑誌名 Curr Opin Virol6.最初と最後の頁 -掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	mBio 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	e02565-19 査読の有無 有 国際共著 該当する
Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential 2020年  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol 6 . 最初と最後の頁 -  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 有  オープンアクセス 国際共著	MBio 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	e02565-19 査読の有無 有 国際共著 該当する
Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential 2020年  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol 6 . 最初と最後の頁 -  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 有  オープンアクセス 国際共著	MBio 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	e02565-19 査読の有無 有 国際共著 該当する
Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential 2020年  3 . 雑誌名 Curr Opin Virol 6 . 最初と最後の頁 -  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 有  オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H	e02565-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 -
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         Curr Opin Virol       -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H	e02565-19 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 -
Curr Opin Virol       -         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス	e02565-19  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年
Curr Opin Virol         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし       査読の有無         オープンアクセス       国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス	e02565-19  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス	e02565-19  査読の有無 有  国際共著  該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年
なし     有       オープンアクセス     国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名	e02565-19  査読の有無 有  国際共著  該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年
なし     有       オープンアクセス     国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2 . 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3 . 雑誌名	e02565-19  査読の有無 有  国際共著  該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年
なし 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス	e02565-19  査読の有無 有  国際共著  該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年
オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス	e02565-19  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 -
	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス	e02565-19  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年  6 . 最初と最後の頁 -
	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス	e02565-19  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3. 雑誌名 Curr Opin Virol	e02565-19  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02565-19  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Takeda M, Seki F, Yamamoto Y, Nao N, Tokiwa H  2. 論文標題 Animal morbilliviruses and their cross-species transmission potential  3. 雑誌名 Curr Opin Virol	e02565-19  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 - 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
	93
Takeshima K, Arii J, Maruzuru Y, Koyanagi N, Kato A, Kawaguchi Y	93
2 . 論文標題	5.発行年
Identification of the Capsid Binding Site in the Herpes Simplex Virus 1 Nuclear Egress Complex	2019年
	20194
and Its Role in Viral Primary Envelopment and Replication.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J. Virol.	e01290-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01290-19	┃
オープンアクセス	国際共著
	当际六有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 52.7	4 **
1.著者名	4 . 巻
Tamura T, Igarashi M, Enkhbold B, Suzuki T, Okamatsu M, Ono C, Mori H, Izumi T, Sato A, Fauzyah	93
Y, Okamoto T, Sakoda Y, Fukuhara T, Matsuura Y.	
	F 76/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
In Vivo Dynamics of Reporter Flaviviridae Viruses.	2019年
2	
0. 1844.0	c = +n   = # = =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	e01191-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01191-19	有
10.1120/301.01191-19	19
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名	_
	4.巻 93
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.	93
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.	93
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W. 2 . 論文標題	93 5 . 発行年
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.	93
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W. 2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.	93 5.発行年 2019年
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W. 2 . 論文標題	93 5 . 発行年
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W. 2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663. 3 . 雑誌名	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W. 2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.	93 5.発行年 2019年
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W. 2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663. 3 . 雑誌名	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1. 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2. 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3. 雑誌名 Journal of Virology	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19  査読の有無 有 国際共著 -
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19  査読の有無 有 国際共著 -
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.	93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses	93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.	93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag. 3 . 雑誌名	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.	93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag. 3 . 雑誌名	93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag. 3 . 雑誌名	93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.  3 . 雑誌名 Pathogens	93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.  3 . 雑誌名 Pathogens	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.  3 . 雑誌名 Pathogens	93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 -
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.  3 . 雑誌名 Pathogens	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.  3 . 雑誌名 Pathogens  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/pathogens9030188	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.  3 . 雑誌名 Pathogens  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens9030188  オープンアクセス	93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e01208-19  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Terada Y, Kuroda Y, Morikawa S, Matsuura Y, Maeda K, Kamitani W.  2 . 論文標題 Establishment of a Virulent Full-Length cDNA Clone for Type I Feline Coronavirus Strain C3663.  3 . 雑誌名 Journal of Virology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01208-19  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Tetsuo M, Matsuno K, Tamura T, Fukuhara T, Kim T, Okamatsu M, Tautz N, Matsuura Y, Sakoda Y.  2 . 論文標題 Development of a High-Throughput Serum Neutralization Test Using Recombinant Pestiviruses Possessing a Small Reporter Tag.  3 . 雑誌名 Pathogens  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/pathogens9030188	93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e01208-19  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁

1 . 著者名 Thu MJ, Qiu Y, Kataoka-Nakamura C, Sugimoto C, Katakura K, Isoda N, Nakao R	4.巻 19(7)
2.論文標題 Isolation of Rickettsia, Rickettsiella, and Spiroplasma from questing ticks in Japan using arthropod cells.	5 . 発行年 2019年
3 . 雑誌名 Vector Borne Zoonotic Dis	6.最初と最後の頁 474-485
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/vbz.2018.2373.	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Thu MJ, Qiu Y, Yamagishi J, Kusakisako K, Ogata S, Moustafa MAM, Isoda N, Sugimoto C, Katakura K, Nonaka N, Nakao R	4.巻 8(37)
2. 論文標題 Complete Genome Sequence of Rickettsia asiatica Strain Maytaro1284, a Member of Spotted Fever Group Rickettsiae Isolated from an Ixodes ovatus Tick in Japan.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Microbiol Resour Announc	6.最初と最後の頁 e00886-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/MRA.00886-19	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Tian A, Miyashita S, Ando S, Takahashi H	4.巻
2. 論文標題 Single amino acid substitutions in the cucumber mosaic virus 1a protein induce necrotic cell death in virus-inoculated leaves without affecting virus multiplication.	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Viruses	6.最初と最後の頁-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v12010091	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Tokunaga Makoto、Miyamoto Yoichi、Suzuki Tatsuya、Otani Mayumi、Inuki Shinsuke、Esaki Tsuyoshi、Nagao Chioko、Mizuguchi Kenji、Ohno Hiroaki、Yoneda Yoshihiro、Okamoto Toru、Oka Masahiro、Matsuura Yoshiharu	4.巻 541
2.論文標題 Novel anti-flavivirus drugs targeting the nucleolar distribution of core protein	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Virology	6.最初と最後の頁 41-51
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2019.11.015	   査読の有無   無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Tomaru Y, Matsubara T, Mine T, Shikata T, Nagasaki K, Kimura K, Yamaguchi H	53
Tomata 1, matousata 1, mino 1, ormata 1, magasata 1, mina 1, magasata 1, mino 1, ormata 1, magasata 1, mino 1,	
A A A TOTAL	_ 70 /= -
2.論文標題	5.発行年
Preliminary Analysis of Diatom-infecting Viruses in Ariake Sound, Japan.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japan Agricultural Research Quarterly	223-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.6090/jarq.53.223	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Toyoda K, Kimura K, Osada K, Williams DM, Adachi T, Yamada K, Tomaru Y	152
2.論文標題	5.発行年
Novel marine diatom ssRNA virus NitRevRNAV infecting Nitzschia reversa.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Ecology and Evolution	178-187
Train Looredy and Evolution	110 101
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5091/plecevo.2019.1615	有
·	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Ueki H, Wang IH, Zhao D, Gunzer M, Kawaoka Y	-
5000 m, many m, 2100 5, 50125 m, manadra	
2 - 5公立+西西	F 整仁左
2.論文標題	5 . 発行年
Multicolor two-photon imaging of in vivo cellular pathophysiology upon influenza virus	2020年
infection using the two-photon	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nat Protoc	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41596-019-0275-y	
10.1000/341050-015-0270-y	有
+ -f\.75-L7	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	_
1 . 著者名	4 . 巻
—	. —
Ujie M, Takada K, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Ito M, Nakamura K, Watanabe S, Imai M, Kawaoka Y.	100
2.論文標題	5 . 発行年
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human	2019年
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.	2019年
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human	
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.	2019年
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.  3 . 雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.  3 . 雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.  3 . 雑誌名 J Gen Virol	2019年 6 . 最初と最後の頁 1345-1349
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.  3.雑誌名 J Gen Virol 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 1345-1349 査読の有無
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.  3 . 雑誌名 J Gen Virol	2019年 6 . 最初と最後の頁 1345-1349
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.  3.雑誌名 J Gen Virol 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 1345-1349 査読の有無
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.  3.雑誌名 J Gen Virol  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001314	2019年 6.最初と最後の頁 1345-1349 査読の有無 有
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.  3.雑誌名 J Gen Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001314  オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 1345-1349 査読の有無 有
Long-term culture of human lung adenocarcinoma A549 cells enhances the replication of human influenza A viruses.  3.雑誌名 J Gen Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001314	2019年 6.最初と最後の頁 1345-1349 査読の有無 有

	1
1.著者名	4 . 巻
Urayama S, Takaki Y, Hagiwara D, Nunoura T	35
orayama o, rakaki i, haginara b, kanoara i	
A A A TOTAL	_ 7/ /- /-
2.論文標題	5 . 発行年
dsRNA-seq revealed novel RNA virus and virus-like complete genome sequences from Hymeniacidon	2020年
sp.sponge.	
	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microbes and Environments	ME19132
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1264/jsme2.ME19132	有
オープンアクセス	国際共著
	国际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	_
1 . 著者名	4 . 巻
Wastika CE, Sasaki M, Yoshii K, Anindita PD, Hang'ombe BM, Mweene AS, Kobayashi S, Kariwa H,	164(8)
Carr MJ, Hall WW, Eshita Y, Orba Y, Sawa H	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Serological evidence of Zika virus infection in non-human primates in Zambia	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	2165-2170
Arch Virol	2165-2170
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00705-019-04302-0	
10.1007/\$00705-019-04302-0	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 John Excochia (ar. come cos)	以コッジ
1. 著者名	4.巻
1 . 著者名 Watanabe T, Kawaoka Y	4.巻 9
Watanabe T, Kawaoka Y	9
Watanabe T, Kawaoka Y	9 5 . 発行年
Watanabe T, Kawaoka Y 2 . 論文標題	9
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.	9 5.発行年 2020年
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名	9 5 . 発行年
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.	9 5.発行年 2020年
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Watanabe T, Kawaoka Y  2. 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3. 雑誌名 Clin Transl Immunology	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e01114
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Watanabe T, Kawaoka Y  2.論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3.雑誌名 Clin Transl Immunology	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e01114
Watanabe T, Kawaoka Y  2. 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3. 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e01114
Watanabe T, Kawaoka Y  2. 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3. 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有
Watanabe T, Kawaoka Y  2.論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3.雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有
Watanabe T, Kawaoka Y  2. 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3. 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有
Watanabe T, Kawaoka Y  2.論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3.雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する
Watanabe T, Kawaoka Y  2. 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3. 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F,	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 111
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 111 5.発行年
Watanabe T, Kawaoka Y  2.論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3.雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2.論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 111 5.発行年
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 111 5.発行年 2020年
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 111 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorders	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 111 5.発行年 2020年
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 111 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 111 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorders  3 . 雑誌名 Cancer Science	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 111 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 279-287
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorders  3 . 雑誌名 Cancer Science	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 111 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 279-287
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorders  3 . 雑誌名 Cancer Science	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 111 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 279-287
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorders  3 . 雑誌名 Cancer Science	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e011114  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 111 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 279-287
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorders  3 . 雑誌名 Cancer Science  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11111/cas.14241	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e011114  査読の有無 有  国際共著 該当する  4 . 巻 111  5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 279-287  査読の有無 有
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorders  3 . 雑誌名 Cancer Science  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14241	9 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 e011114  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 111 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 279-287
Watanabe T, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Villains or heroes? The raison detre of viruses.  3 . 雑誌名 Clin Transl Immunology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cti2.1114  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Watanabe T, Sato Y, Masud HMAA, Takayama M, Matsuda H, Hara Y, Yanagi Y, Yoshida M, Goshima F, Murata T, Kimura H  2 . 論文標題 Antitumor activity of cyclin-dependent kinase inhibitor alsterpaullone in Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disorders  3 . 雑誌名 Cancer Science	9 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 e01114  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 111 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁 279-287  査読の有無 有

	<del>_</del>
1 . 著者名   Watanabe T, Suzuki N, Tomonaga K, Sawa H, Matsuura Y, Kawaguchi Y, Takahashi H, Nagasaki K,	4.巻 274
Kawaoka Y.	214
2 . 論文標題	5 . 発行年
Neo-virology: The raison d'etre of viruses.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Res	197751
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.virusres.2019.197751.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Pirage Pian R., Andika, I.B., Niu, E., Liu, Q., Kondo, H., Yang, L., Zhou, H., Pang, T.,	116
Lian, Q., Wu, Y., Liu, X. and Sun, L.	
2. 論文標題	5 . 発行年
Symptomatic plant viroid infections in phytopathogenic fungi.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proc Natl Acad Sci U S A.	13042-13050
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1073/pnas.1900762116	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Wu L, Mitake H, Kiso M, Ito M, Iwatsuki-Hirimoto K, Yamayoshi S, Lopes TJS, Feng H, Sumiyoshi R, Shibata A, Osaka H, Imai M, Watanabe T, Kawaoka Y.	67
2.論文標題	5.発行年
Characterization of H7N9 avian influenza viruses isolated from duck meat products.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Transbound Emerg Dis	1-7
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/tbed.13398	有
   オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	4 . 巻
I. 省百石   Yamada S, Yasuhara A, Kawaoka Y.	4. 登 10
	- 77/
2.論文標題 Soluble recombinant homographic in protein of H1M1ndm00 influenza viruse elicits cross	5 . 発行年
Soluble recombinant hemagglutinin protein of H1N1pdm09 influenza viruse elicits cross- protection against a lethal H5N1 challenge in mice	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
	2031
Front Microbiol	2001
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無

1 . 著者名 Yamagata, Y., Muramoto, Y., Miyamoto, S., Shindo, K., Nakano, M., Noda, T.	4.巻 63
2 . 論文標題 Generation of a purely clonal defective interfering influenza virus	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Microbiol. and Immunol.	6.最初と最後の頁 164-171
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/1348-0421.12681	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Yamamoto Y, Tomonaga K, Honda T.	4.巻 10
2 . 論文標題 Development of an RNA Virus-Based Episomal Vector Capable of Switching Transgene Expression.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Front Microbiol	6.最初と最後の頁 2485
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.02485.	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Yamasoba, D., Sato, K., Ichinose, T., Imamura, T., Koepke, L., Joas, S., Reith, E., Hotter, D., Misawa, N., Akaki, K., Uehata, T., Mino, T., Miyamoto, S., Noda, T., Yamashita, A., Standley, D.M., Kirchhoff, F., Sauter, D., Koyanagi, Y., Takeuchi, O.	4.巻 4
2. 論文標題 N4BP1 restricts HIV-1 and its inactivation by MALT1 promotes viral reactivation.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Nat. Microbiol.	6.最初と最後の頁 1532-1544
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41564-019-0460-3	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Yamazaki H, Kosako H, Yoshimura SH	4.巻 1868
2. 論文標題 Quantitative proteomics indicate a strong correlation of mitotic phospho-/dephosphorylation with non-structured regions of substrates	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Biochim. Biophys. Acta. Proteins Proteom.	6.最初と最後の頁 140295
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbapap.2019.140295	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 . 巻
Yanai M, Kojima S, Sakai M, Komorizono R, Tomonaga K, Makino A.	94
2 . 論文標題	5 . 発行年
ADAR2 Is Involved in Self and Nonself Recognition of Borna Disease Virus Genomic RNA in the Nucleus.	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Virol.	e01513-19.
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01513-19	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
コープンプラビスでは、人間のコープンプラビスが国際	
1 . 著者名	4 . 巻
Yariyama S, Ando S, Seo S, Nakaho K, Miyashita S, Kanayama Y, Takahashi H	68
2 . 論文標題	5 . 発行年
Exogenous application of L-histidine suppresses bacterial diseases and enhances ethylene production in rice seedlings.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Pathology	1072-1078
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1111/ppa.13037	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Yasuhara A, Yamayoshi S, Kiso M, Sakai-Tagawa Y, Koga M, Adachi E, Kikuchi T, Wang IH, Yamada S, Kawaoka Y.	4 · 5 4
2.論文標題	5 . 発行年
Antigenic drift originating from changes to the lateral surface of the neuraminidase head of influenza A virus	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Nat Microbiol	1024-1034
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
10.1038/s41564-019-0401-1	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Yoshikawa Genki, Blanc-Mathieu Romain, Song Chihong, Kayama Yoko, Mochizuki Tomohiro, Murata Kazuyoshi, Ogata Hiroyuki, Takemura Masaharu	93
2 . 論文標題	5.発行年
Medusavirus, a Novel Large DNA Virus Discovered from Hot Spring Water	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Virology	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18	査読の有無 有

1. 書名名 2. 論文標題 N- terminal HCV core protein fragment decreases 20S proteasome activity in the presence of PA28-2019年 2. 論文標題 N- terminal HCV core protein fragment decreases 20S proteasome activity in the presence of PA28-2019年 3. 接続の		
2 . 論文権題 N-terninal HCV core protein fragment decreases 20S proteasome activity in the presence of PA22-2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3 . 創証名 6 . 最初と最後の頁 505-259 505-	1 . 著者名	4 . 巻
2 . 論文権題 N-terninal HCV core protein fragment decreases 20S proteasome activity in the presence of PA22-2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3 . 創証名 6 . 最初と最後の頁 505-259 505-		509
N-terminal MCV core protein fragment decreases 20S proteaseme activity in the presence of PA28- 2019年 3gamma.  3 - 雑誌音 Blochen Blophys Res Commun  8 - 最初と最後の頁 590-595		
N-terminal MCV core protein fragment decreases 20S proteaseme activity in the presence of PA28- 2019年 3gamma.  3 - 雑誌音 Blochen Blophys Res Commun  8 - 最初と最後の頁 590-595	그 실수 振時	r 整仁左
gamea   3   利益を   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   500-595   600-		
8	N-terminal HCV core protein fragment decreases 20S proteasome activity in the presence of PA28-	2019年
8	gamma.	
日報論文の001(デジタルオプジェクト識別子)	v	6 是知と是後の百
担義論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 1. 百名名 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 百名名 プンのの G、Fan S、 Hatta W、 Nakatsu S、 Walters KB、 Lopes TJS、 Wang JI、 Dzawa M、 Karasin A、Li Y、 Tong S、 Donis RO、 Neumann G、 Kawaoka Y、 2、 論文理器 Watations in the Nat-like protein of bat influenza Hi8M11 virus enhance virus replication in mammalian cells, mice, and ferrets  3. 解誌名 J Virol  日本語名 プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 プンのの G、Fan S、 Lopes TJS、 Le MD、 van Bakel H、 Dutta J、 Snith GJD、 Jayakumar J、 Nguyen HLK、 Hong PWM、 Halfmann P、 Hatta M、 Su YCF、 Neumann G、 Kawaoka Y 2・ 論文程器 Isolation of Highly Pathogenic HSM1 Influenza Viruses in 2009-2013 in Vietnan  3. 雑誌名 Front Microbiol  4. 巻 プープンアクセス  国際共著 第当する  4. 巻 1. 著名名 スープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  5. 飛行年 2019年  1. 著名名 スープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  第当する  4. 巻 京内ののDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10、3389/ Fried、2019-01411  オープンアクセス  国際共著 第当する  4. 巻 第当する  4. 巻 第3当する  4. 巻 第2019年  第3当する  1. 著名名 ストといのPVの J、 Watanabe S、 Tonita Y、 Lopes TJ、 Matsuoka Y、 Kitano H、 Shoenaker JE、 Katoh M、 Watanabe S、 Tonita Y、 Lopes TJ、 Matsuoka Y、 Kitano H、 Shoenaker JE、 Katoh M、 Watanabe S、 Tonita Y、 Lopes TJ、 Matsuoka Y、 Kitano H、 Shoenaker JE、 Kasokan Y 2・ 1 論文を MB Dを MB De	** *** *	
1. 高名名	Biochem Biophys Res Commun	590-595
1. 高名名		
1. 高名名		
1. 高名名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 - 著名名		
1. 著名名   2. 元のの	10.1016/j.bbrc.2018.12.16/.	1月
1. 著名名   2. 元のの		
1 . 著者名	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Zhong G, Fan S, Hatta M, Nakatsu S, Walters KB, Lopes TJS, Wang JI, Ozawa M, Karasin A, Li Y, Tong S, Donis RO, Neumann G, Kawaoka Y.   2. 論文標題   Natations in the NA-Ilike protein of bat influenza H18M11 virus enhance virus replication in mammal lan cells, mice, and ferrets   5. 発行年   2020年   2020	3 John Charles A. Alan John Charles	W = 1,0
Zhong G, Fan S, Hatta M, Nakatsu S, Walters KB, Lopes TJS, Wang JI, Ozawa M, Karasin A, Li Y, Tong S, Donis RO, Neumann G, Kawaoka Y.   2. 論文標題   Natations in the NA-Ilike protein of bat influenza H18M11 virus enhance virus replication in mammal lan cells, mice, and ferrets   5. 発行年   2020年   2020		. "
Tong S. Donis RO, Neumann G, Kawaoka Y. 2. 論文標題 Mutations in the NA-like protein of bat influenza H18N11 virus enhance virus replication in mammal ian cells, mice, and ferrets 3. 雑誌名 J Virol  お歌論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01416-19  1. 著者名 Zhong G, Fan S, Lopes TJS, Le MD, van Bakel H, Dutta J, Smith GJD, Jayakumar J, Nguyen HLK, Hoang PVM, Halfmann P, Hatta M, Su YDF, Neumann G, Kawaoka Y. 2. 論文規題 Isolation of Highly Pathogenic H5N1 Influenza Viruses in 2009-2013 in Vietnam  3. 雑誌名 Front Microbiol  お歌語文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01411  和	1.者者名	4.惷
Tong S, Donis RO, Neumann G, Kawaoka Y. 2	Zhong G. Fan S. Hatta M. Nakatsu S. Walters KB. Lopes TJS. Wang Jl. Ozawa M. Karasin A. Li Y.	-
2 . 論文標題 Mutations in the NA-like protein of bat influenza H18N11 virus enhance virus replication in mammalian cells, mice, and ferrets 3 . 雑誌名 3 . 雑誌名 J Virol 6 . 最初と最後の頁 10.1128/JVI.01416-19		
Mutations in the NA-like protein of bat influenza H18N11 virus enhance virus replication in mammal in acells, mice, and ferrets  3 . 雑誌名 J Virol  お 一		F 整仁在
Tamanal ian cells, mice, and ferrets   1		
mammalian cells, mice, and ferrets	Mutations in the NA-like protein of bat influenza H18N11 virus enhance virus replication in	2020年
3. 雑誌名		
日報		6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
### 10.1128/JVI.01416-19 有	J VIrol	-
### 10.1128/JVI.01416-19 有		
### 10.1128/JVI.01416-19 有		
### 10.1128/JVI.01416-19 有	掲載論文のDOL(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  ISPRITE INTERPRETATION TO THE PROPERTY OF THE PROPERTY		
### Table ###	10.1128/JV1.01416-19	1月
### Table ###		
1. 著者名   Zhong G, Fan S, Lopes TJS, Le MQ, van Bakel H, Dutta J, Smith GJD, Jayakumar J, Nguyen HLK, Hoang PVM, Halfmann P, Hatta M, Su YCF, Neumann G, Kawaoka Y.   10   5 . 発行年   2019年   3 . 雑誌名   Front Microbiol   5 . 銀行性   2019年   1411   1	オーブンアクセス	国際共著
1. 著者名   Zhong G, Fan S, Lopes TJS, Le MQ, van Bakel H, Dutta J, Smith GJD, Jayakumar J, Nguyen HLK, Hoang PVM, Halfmann P, Hatta M, Su YCF, Neumann G, Kawaoka Y.   10   5 . 発行年   2019年   3 . 雑誌名   Front Microbiol   5 . 銀行性   2019年   1411   1	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが闲難	該当する
Zhong G, Fan S, Lopes TJS, Le MQ, van Bakel H, Dutta J, Smith GJD, Jayakumar J, Nguyen HLK, Hoang PVM, Halfmann P, Hatta M, Su YCF, Neumann G, Kawaoka Y.  2 h 論文標題	3 John Charles A. Alan John Charles	1270
Zhong G, Fan S, Lopes TJS, Le MQ, van Bakel H, Dutta J, Smith GJD, Jayakumar J, Nguyen HLK, Hoang PVM, Halfmann P, Hatta M, Su YCF, Neumann G, Kawaoka Y.  2 h 論文標題		
Hoang PVM、Halfmann P、Hatta M、Su YCF、Neumann G、Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Isolation of Highly Pathogenic H5N1 Influenza Viruses in 2009-2013 in Vietnam  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01411  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ackerman EE、Kawakami E、Katoh M、Watanabe T、Watanabe S、Tomita Y、Lopes TJ、Matsuoka Y、Kitano H、Shoemaker JE、Kawaoka Y 2 . 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3 . 雑誌名 MBio  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18  カーブンアクセス  国際共著	1.者者名	4 . 巻
Hoang PVM、Halfmann P、Hatta M、Su YCF、Neumann G、Kawaoka Y.  2 . 論文標題 Isolation of Highly Pathogenic H5N1 Influenza Viruses in 2009-2013 in Vietnam  3 . 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01411  本ープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ackerman EE、Kawakami E、Katoh M、Watanabe T、Watanabe S、Tomita Y、Lopes TJ、Matsuoka Y、Kitano H、Shoemaker JE、Kawaoka Y 2 . 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3 . 雑誌名 MBio  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18  カープンアクセス  国際共著 有 オープンアクセス  国際共著	Zhong G. Fan S. Lopes TJS. Le MQ. van Bakel H. Dutta J. Smith GJD. Javakumar J. Nguyen HLK.	10
2. 論文標題 Isolation of Highly Pathogenic H5M1 Influenza Viruses in 2009-2013 in Vietnam  3. 雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01411  1. 著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y  2. 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3. 雑誌名 MBio  1. 重議会 MBio  3. 雑誌名 MBio  4. 巻 9 5. 発行年 2019年  5. 発行年 2019年  6. 最初と最後の頁 e02002-18  月本プンアクセス  10.1128/mBio.02002-18		
Isolation of Highly Pathogenic H5N1 Influenza Viruses in 2009-2013 in Vietnam 2019年   2019年   3. 雑誌名 Front Microbiol   1411   信託の有無		r 翌/二/元
3.雑誌名 Front Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01411  オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y  2.論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3.雑誌名 MBio  6.最初と最後の頁 e02002-18  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18  東京の有無 有 オーブンアクセス 国際共著		
### Front Microbiol 1411 1411 1411 1411 1411 1411 1411 14	Isolation of Highly Pathogenic H5N1 Influenza Viruses in 2009–2013 in Vietnam	2019年
### Front Microbiol 1411 1411 1411 1411 1411 1411 1411 14		
### Front Microbiol 1411 1411 1411 1411 1411 1411 1411 14	3. 雑註 <i>名</i>	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2019.01411		
10.3389/fmicb.2019.01411 有 国際共著 国際共著 法当する コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する 1.著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y 9 5.発行年 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors. 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e02002-18 日本記録を表現して、「デジタルオブジェクト識別子」 10.1128/mBio.02002-18 有 10.1128/mBio.02002-18	Front Microbiol	1411
10.3389/fmicb.2019.01411 有 国際共著 国際共著 is当する コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 is当する is当する コ・著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors. 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 MBio 6 . 最初と最後の頁 e02002-18 すっプンアクセス 国際共著		
10.3389/fmicb.2019.01411 有 国際共著 国際共著 is当する コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 is当する is当する コ・著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors. 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 MBio 6 . 最初と最後の頁 e02002-18 すっプンアクセス 国際共著		
10.3389/fmicb.2019.01411 有 国際共著 国際共著 is当する コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 is当する is当する コ・著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y 2 . 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors. 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 MBio 6 . 最初と最後の頁 e02002-18 すっプンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1.著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y  2.論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3.雑誌名 MBio  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18  直読の有無 有 オープンアクセス  国際共著	10.3303/11  100.2013.01411	月
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1.著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y  2.論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3.雑誌名 MBio  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18  直読の有無 有 オープンアクセス  国際共著		
1 . 著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3 . 雑誌名 MBio  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .1128/mBio .02002-18  直読の有無 イープンアクセス  国際共著	オーフンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3 . 雑誌名 MBio  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .1128/mBio .02002-18  直読の有無 イープンアクセス  国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3 . 雑誌名 MBio  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18  国際共著		
Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y, Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.  3 . 雑誌名 MBio  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18  国際共著	4 *****	A 344
Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka Y2. 論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.5. 発行年 2019年3. 雑誌名 MBio6.最初と最後の頁 e02002-18掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
Kitano H, Shoemaker JE, Kawaoka YLine State S	Ackerman EE, Kawakami E, Katoh M, Watanabe T, Watanabe S, Tomita Y, Lopes TJ, Matsuoka Y.	9
2.論文標題 Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.       5.発行年 2019年         3.雑誌名 MBio       6.最初と最後の頁 e02002-18         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.       2019年         3.雑誌名 MBio       6.最初と最後の頁 e02002-18         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		c
3 . 雑誌名 MBio  6 . 最初と最後の頁 e02002-18  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mBio.02002-18  有 オープンアクセス  国際共著		
MBio       e02002-18         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1128/mBio.02002-18       有         オープンアクセス       国際共著	Network-Guided Discovery of Influenza Virus Replication Host Factors.	2019年
MBio       e02002-18         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1128/mBio.02002-18       有         オープンアクセス       国際共著		
MBio       e02002-18         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1128/mBio.02002-18       有         オープンアクセス       国際共著	3. 雑誌名	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
10.1128/mBio.02002-18 有 オープンアクセス 国際共著	MBIO	e02002-18
10.1128/mBio.02002-18 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1128/mBio.02002-18 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1128/mBio.02002-18 有 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
		_
	10.1128/mBio.02002-18	
コープンティア (マル・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	10.1128/mBio.02002-18	有
	10.1128/mBio.02002-18 オープンアクセス	有 国際共著

1.著者名	4 . 巻
Feng H, Yamashita M, da Silva Lopes TJ, Watanabe T, Kawaoka Y.	10
2.論文標題	5 . 発行年
Injectable Excipients as Novel Influenza Vaccine Adjuvants	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front. Microbiol	1-9
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2019.00019	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. ***	A 244
1. 著者名 Kyle JE, Burnum-Johnson KE, Wendler JP, Eisfeld AJ, Halfmann PJ, Watanabe T, Sahr F, Smith RD, Kawaoka Y, Waters KM, Metz TO.	4.巻
2 . 論文標題	5.発行年
Plasma lipidome reveals critical illness and recovery from human Ebola virus disease.	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Proc Natl Acad Sci U S A	3919-3928
	****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2017.10.011	査読の有無 有
,	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 Hatta M, Zhong G, Gao Y, Nakajima N, Fan S, Chiba S, Deering KM, Ito M, Imai M, Kiso M, Nakatsu S, Lopes TJ, Thompson AJ, McBride R, Suarez DL, Macken CA, Sugita S, Neumann G, Hasegawa H, Paulson JC, Toohey-Kurth KL, Kawaoka Y.	4 . 巻 24
2 . 論文標題 Characterization of a Feline Influenza A(H7N2) Virus.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Emerg Infect Dis	75-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	且のの行無
10.3201/eid2401.171240	有
10.3201/eid2401.171240 オープンアクセス	有国際共著
10.3201/eid2401.171240	有
10.3201/eid2401.171240 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有 国際共著 該当する
10.3201/eid2401.171240 オープンアクセス	有国際共著
10.3201/eid2401.171240 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kiso M, Lopes TJS, Yamayoshi S, Ito M, Yamashita M, Nakajima N, Hasegawa H, Neumann G, Kawaoka Y 2 . 論文標題	有 国際共著 該当する 4.巻 217 5.発行年
10.3201/eid2401.171240 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kiso M, Lopes TJS, Yamayoshi S, Ito M, Yamashita M, Nakajima N, Hasegawa H, Neumann G, Kawaoka Y	有 国際共著 該当する 4.巻 217
10.3201/eid2401.171240  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名   Kiso M, Lopes TJS, Yamayoshi S, Ito M, Yamashita M, Nakajima N, Hasegawa H, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題   Combination Therapy with Neuraminidase and Polymerase Inhibitors in Nude Mice Infected with Influenza Virus  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 217 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.3201/eid2401.171240  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名   Kiso M, Lopes TJS, Yamayoshi S, Ito M, Yamashita M, Nakajima N, Hasegawa H, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題   Combination Therapy with Neuraminidase and Polymerase Inhibitors in Nude Mice Infected with Influenza Virus	有 国際共著 該当する 4 . 巻 217 5 . 発行年 2018年
10.3201/eid2401.171240  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     Kiso M, Lopes TJS, Yamayoshi S, Ito M, Yamashita M, Nakajima N, Hasegawa H, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題     Combination Therapy with Neuraminidase and Polymerase Inhibitors in Nude Mice Infected with Influenza Virus  3 . 雑誌名     J Infect Dis	有 国際共著 該当する 4 . 巻 217 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 887-896
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kiso M, Lopes TJS, Yamayoshi S, Ito M, Yamashita M, Nakajima N, Hasegawa H, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題 Combination Therapy with Neuraminidase and Polymerase Inhibitors in Nude Mice Infected with Influenza Virus  3 . 雑誌名 J Infect Dis	有 国際共著 該当する 4 . 巻 217 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.3201/eid2401.171240  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名   Kiso M, Lopes TJS, Yamayoshi S, Ito M, Yamashita M, Nakajima N, Hasegawa H, Neumann G, Kawaoka Y  2 . 論文標題   Combination Therapy with Neuraminidase and Polymerase Inhibitors in Nude Mice Infected with Influenza Virus  3 . 雑誌名   J Infect Dis	有 国際共著 該当する 4 . 巻 217 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 887-896

1.著者名	4 . 巻
Iwatsuki-Horimoto K, Nakajima N, Ichiko Y, Sakai-Tagawa Y, Noda T, Hasegawa H, Kawaoka Y	92
2 . 論文標題	5 . 発行年
2 · 論及有表題 Syrian hamster as an animal model for the study of human influenza virus infection.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Virol	e01693-17
3 11101	601093-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
10.1128/JVI.01693-17	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Oishi K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	516
2.論文標題	5 . 発行年
Identification of novel amino acid residues of influenza virus PA-X that are important for PA-X shutoff activity by using yeast.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virology	71-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
均載研文のDOT (デンタルオフシェクト融加士) 10.1016/j.virol.2018.01.004	直硫の行無 有
*	, 2
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンデクセスとはない、又はオープンデクセスが困難	
1.著者名	4 . 巻
Nakatsu S, Murakami S, Shindo K, Horimoto T, Sagara H, Noda T, Kawaoka Y.	92
2 . 論文標題	5 . 発行年
Influenza C and D viruses package eight organized ribonucleoprotein complexes.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Virol	e02084-17
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論又のDUI ( ナンダルオフシェクト識別士 ) 10.1128/JVI .02084-17	単元の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
コンファントにはない、人はコンファントには 日本	
1 . 著者名	4 . 巻
Noda T, Murakami S, Nakatsu S, Imai H, Muramoto Y, Shindo K, Sagara H, Kawaoka Y.	9
2 . 論文標題	5 . 発行年
Importance of the 1+7 configuration of ribonucleoprotein complexes for influenza A virus genome packaging.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nat Commun	54
担割やかのロノゴジカリナブジーカト沖回フン	木柱の左無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-017-02517-w	査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 . 著者名 Yamayoshi S, Ito M, Uraki R, Sasaki T, Ikuta K, Kawaoka Y.	4.巻 76
2.論文標題 Human protective monoclonal antibodies against the HA stem of group 2 HAs derived from H3N2 virus-infected humans.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 J Infect	6.最初と最後の頁 177-185
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jinf.2017.12.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	T.
1 . 著者名 Nanbo A, Maruyama J, Imai M, Ujie M, Fujioka Y, Nishide S, Takada A, Ohba Y, Kawaoka Y.	4.巻 14
2.論文標題 Ebola virus requires a host scramblase for externalization of phosphatidylserine on the surface of viral particles	
3.雑誌名 PLoS Pathog	6 . 最初と最後の頁 e1006848
担撃込みのロノニッジカルナゴッシュカトが叫フッ	木井の左伽
掲載論文のD0I(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1006848	査読の有無   有 
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 英名女	4 . 巻
1. 著者名 Maemura T, Fukuyama S, Sugita Y, Lopes TJS, Nakao T, Noda T, Kawaoka Y.	4 · 당 217
2.論文標題 Lung-derived exosomal miR-483-3p regulates the innate immune response to influenza virus infection.	5.発行年 2018年
3.雑誌名 J Infect Dis	6.最初と最後の頁 1372-1382
担禁給かの2017でジャルナインデーカーが叫フン	本誌の左伽
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jiy035	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Yamayoshi S, Kiso M, Yasuhara A, Ito M, Shu Y, Kawaoka Y.	4.巻 24
2 . 論文標題 Enhanced Replication of Highly Pathogenic Influenza A(H7N9) Virus in Humans.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Emerg Infect Dis	6.最初と最後の頁 746-750
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2404.171509	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名 Matsui K, Ozawa M, Kiso M, Yamashita M, Maekawa T, Kubota M, Sugano S, Kawaoka Y.	4.巻 8
2.論文標題 Stimulation of alpha2-adrenergic receptors impairs influenza virus infection.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Sci Rep	6.最初と最後の頁 4631
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22927-0	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Soni P, Yasuhara A, Takenaga T, Iwatsuki-Horimoto K, Uraki R, Ito M, Sasaki T, Ikuta K, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	4.巻 80
2 . 論文標題 Evaluation of the fusion partner cell line SPYMEG for obtaining human monoclonal antibodies against influenza B virus.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 J Vet Med Sci	6.最初と最後の頁 1020-1024
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0146	   査読の有無   有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名 Iwatsuki-Horimoto K, Nakajima N, Kiso M, Takahashi K, Ito M, Inoue T, Horiuchi M, Okahara N, Sasaki E, Hasegawa H, Kawaoka Y.	4.巻
2.論文標題 The marmoset as an animal model of influenza: infection with A(H1N1)pdm09 and highly pathogenic A(H5N1) viruses via the conventional or tracheal spray route.	5.発行年 2018年
3.雑誌名 Front Microbiol	6.最初と最後の頁 844
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2018.00844	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Imai H, Dinis JM, Zhong G, Moncla LH, Lopes TJS, McBride R, Thompson AJ, Peng W, Le MTQ, Hanson A, Lauck M, Sakai-Tagawa Y, Yamada S, Eggenberger J, O'Connor DH, Suzuki Y, Hatta M, Paulson JC, Neumann G, Friedrich TC, Kawaoka Y.	4 . 巻 24
2.論文標題 Diversity of influenza A(H5N1) Viruses in infected humans, Northern Vietnam, 2004-2010.	5.発行年 2018年
3.雑誌名 Emerg Infect Dis	6.最初と最後の頁 1128-1238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3201/eid2407.171441	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

<ol> <li>著者名         Ueki H, Wang IH, Fukuyama S, Katsura H, da Silva Lopes TJ, Neumann G, Kawaoka Y.</li> <li>論文標題         In vivo imaging of the pathophysiological changes and neutrophil dynamics in influenza virus-infected mouse lungs.</li> <li>雑誌名         Proc Natl Acad Sci U S A</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</li> </ol>	4.巻 115 5.発行年 2018年
2 . 論文標題 In vivo imaging of the pathophysiological changes and neutrophil dynamics in influenza virus- infected mouse lungs.  3 . 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	5 . 発行年 2018年
In vivo imaging of the pathophysiological changes and neutrophil dynamics in influenza virus- infected mouse lungs.  3 . 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	2018年
In vivo imaging of the pathophysiological changes and neutrophil dynamics in influenza virus- infected mouse lungs.  3 . 雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	2018年
infected mouse lungs.  3.雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	
3.雑誌名 Proc Natl Acad Sci U S A	
Proc Natl Acad Sci U S A	
Proc Natl Acad Sci U S A	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	E6622-E6629
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
なし	有
	H
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 並业々	4 . 巻
1 . 著者名	
Iwatsuki-Horimoto K, Shi J, Wang X, Sakai-Tagawa Y, Ito M, Murakami K, da Silva Lopes TJ,	9
Nakaishi K, Yamayoshi S, Watanabe S, Chen H, Kawaoka Y.	5 38/- 6-
2.論文標題	5 . 発行年
Development of an influenza rapid diagnostic kit specific for the H7 subtype.	2018年
- ADAL	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Microbiol	1346
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2018.01346	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
—	
Sammaibashi S, Yamayoshi S, Kawaoka Y.	9
2.論文標題	5.発行年
·····	
Strain-specific contribution of eukaryotic elongation factor 1 gamma to the translation of	2018年
influenza A virus proteins.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Front Microbiol	1446
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2018.01446	有
10.00007 HHTGD.2010.01 <del>111</del> 0	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- -
TO THE THEORY OF THE TAXABLE PARTY	-1
	4 . 巻
	<u> </u>
—	24
1 . 著者名 Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.	•
	1
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y. 2 . 論文標題	5 . 発行年
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.	5 . 発行年 2018年
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.	2018年
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.  3 . 雑誌名	
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y. 2 . 論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.	2018年
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.  2 . 論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.  3 . 雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.  2.論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.  3.雑誌名 Cell Rep	2018年 6 . 最初と最後の頁 851-860
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.  2. 論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.  3. 雑誌名 Cell Rep	2018年 6.最初と最後の頁 851-860 査読の有無
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.  2.論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.  3.雑誌名 Cell Rep	2018年 6 . 最初と最後の頁 851-860
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.  2. 論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.  3. 雑誌名 Cell Rep  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2018.06.078	2018年 6.最初と最後の頁 851-860 査読の有無 有
Oishi K, Yamayoshi S, Kozuka-Hata H, Oyama M, Kawaoka Y.  2. 論文標題 N-terminal acetylation by NatB is required for the shutoff activity of influenza A virus PA-X.  3. 雑誌名 Cell Rep	2018年 6.最初と最後の頁 851-860 査読の有無

1.著者名 Furusawa Y, Yamada S, Kawaoka Y.	4.巻 9
2 . 論文標題	5.発行年
Host Factor Nucleoporin 93 Is Involved in the Nuclear Export of Influenza Virus RNA.	2018年
3.雑誌名 Front Microbiol	6.最初と最後の頁 1675
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2018.01675	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
Yamayoshi S, Yasuhara A, Ito M, Uraki R, Kawaoka Y.	4 · 당 108
2.論文標題 Differences in the ease with which mutant viruses escape from human monoclonal antibodies against the HA stem of influenza A virus.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 J Clin Virol	6.最初と最後の頁 105-111
   掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)   10.1016/j.jcv.2018.09.016	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1 . 著者名	4 . 巻
Sugita Y, Matsunami H, Kawaoka Y, Noda T, Wolf M.	563
2.論文標題 Cryo-EM structure of the Ebola virus nucleoprotein-RNA complex at 3.6 A resolution.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Nature	6 . 最初と最後の頁 137-140
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.1038/s41586-018-0630-0	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	. 14
1.著者名 Yasuhara A, Yamayoshi S, Ito M, Kiso M, Yamada S, Kawaoka Y.	4.巻
2. 論文標題 Isolation and Characterization of Human Monoclonal Antibodies That Recognize the Influenza A(H1N1)pdm09 Virus Hemagglutinin Receptor-Binding Site and Rarely Yield Escape Mutant Viruses.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Front Microbiol	2660
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fmicb.2018.02660	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名 Ito M, Yamayoshi S, Murakami K, Saito K, Motojima A, Nakaishi K, Kawaoka Y.	4 . 巻 11
2.論文標題 Characterization of Mouse Monoclonal Antibodies Against the HA of A(H7N9) Influenza Virus.	5.発行年 2019年
3.雑誌名 Viruses	6 . 最初と最後の頁 pii: E149
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v11020149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 今井正樹、河岡義裕	4.巻 95
2.論文標題 高病原性H7N9鳥インフルエンザウイルスはヒトの間で大流行を起こすのか	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 臨牀と研究	6.最初と最後の頁 1245-1248
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 渡辺登喜子	4 . 巻 19
2 . 論文標題 スペインかぜ その 1 100年前に起こった疫学史上最悪の出来事	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 インフルエンザ その他の呼吸器感染症	6.最初と最後の頁 49-52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 渡辺登喜子、河岡義裕	4 . 巻 32
2.論文標題 新興再興感染症に対するワクチン開発~エボラワクチン開発における最近の進展~.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 BIO Clinica	6.最初と最後の頁 25-29
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名 渡辺登喜子.	
渡辺登喜子.	4 . 巻
	20
2. 给小师店	F 整件压
2.論文標題	5 . 発行年
スペイン・インフルエンザ その2 スペイン・インフルエンザの病原性の謎	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
** *** *	
インフルエンザーその他の呼吸器感染症	37-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	本共の大何
拘戦論文のDOI (デンタルオフシェクトinkの)ナ)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	当际共有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
渡辺登喜子、河岡義裕	49
2	F 発仁在
2.論文標題	5 . 発行年
エボラ出血熱の重症かメカニズムならびに予後を予測するためのバイオマーカーの同定	2019年
	•
2 hF±1-d7	6 見知に見後の五
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
感染・炎症・免疫	65-67
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	, m
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ***	A 244
1.著者名	4 . 巻
渡辺登喜子、河岡義裕	74
	F 78/= F
2.論文標題	5 . 発行年
エボラ出血熱について - エボラウイルス感染者の宿主応答解析から得られた知見 -	2019年
エホノ山血系にフィーマース・ファールへぶ木目の旧工ル日時刊が、5月510に加光・	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
	6.最初と最後の頁 51-57
3 . 雑誌名	
3 . 雑誌名	
3.雑誌名 最新医学	51-57
3 . 雑誌名	
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	51-57 査読の有無
3.雑誌名 最新医学	51-57
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	51-57 査読の有無 無
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	51-57 査読の有無
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	51-57 査読の有無 無
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	51-57 査読の有無 無
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	51-57 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	51-57 査読の有無 無
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	51-57 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y,	51-57 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K.	51-57 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 99(5)
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y,	51-57 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題	51-57 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 99(5) 5 . 発行年
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two	51-57 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 99(5)
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues.	<ul><li>51-57</li><li>査読の有無 無</li><li>国際共著 -</li><li>4 . 巻 99(5)</li><li>5 . 発行年 2018年</li></ul>
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues.	<ul><li>51-57</li><li>査読の有無 無</li><li>国際共著 -</li><li>4 . 巻 99(5)</li><li>5 . 発行年 2018年</li></ul>
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues. 3.雑誌名	51-57査読の有無 無国際共著 -4.巻 99(5)5.発行年 2018年6.最初と最後の頁
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues.	<ul><li>51-57</li><li>査読の有無 無</li><li>国際共著 -</li><li>4 . 巻 99(5)</li><li>5 . 発行年 2018年</li></ul>
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues. 3.雑誌名	51-57査読の有無 無国際共著 -4.巻 99(5)5.発行年 2018年6.最初と最後の頁
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues. 3.雑誌名	51-57査読の有無 無国際共著 -4.巻 99(5)5.発行年 2018年6.最初と最後の頁
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues. 3.雑誌名 Journal of General Virology	51-57       査読の有無       無       国際共著       -       4 . 巻       99(5)       5 . 発行年       2018年       6 . 最初と最後の頁       704-709
3 . 雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2 . 論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues. 3 . 雑誌名 Journal of General Virology	51-57査読の有無 無無国際共著 4 . 巻 99(5)-5 . 発行年 2018年6 . 最初と最後の頁 704-709査読の有無
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues. 3.雑誌名 Journal of General Virology	51-57       査読の有無       無       国際共著       -       4 . 巻       99(5)       5 . 発行年       2018年       6 . 最初と最後の頁       704-709
3 . 雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2 . 論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues. 3 . 雑誌名 Journal of General Virology	51-57査読の有無 無無国際共著 4 . 巻 99(5)-5 . 発行年 2018年6 . 最初と最後の頁 704-709査読の有無
3 . 雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K. 2 . 論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues. 3 . 雑誌名 Journal of General Virology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/jgv.0.001046	直読の有無     無       国際共著     -       4 . 巻 99(5)     -       5 . 発行年 2018年     6 . 最初と最後の頁 704-709       査読の有無     有
3.雑誌名 最新医学 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Konno Y, Nagaoka S, Kimura I, Ueda MT, Kumata R, Ito J, Nakagawa S, Kobayashi T, Koyanagi Y, Sato K.  2.論文標題 A naturally occurring feline APOBEC3 variant that loses anti-lentiviral activity by lacking two amino acid residues.  3.雑誌名 Journal of General Virology	51-57査読の有無 無無国際共著 4 . 巻 99(5)-5 . 発行年 2018年6 . 最初と最後の頁 704-709査読の有無

4. 巻
262
5.発行年
eukaryotic genomes. 2019年
6.最初と最後の頁
30-36
査読の有無
有
国際共著
セスが困難
4 . 巻
moto, Yumiko Kagawa, Ryuichi Kumata, 15
bayashi, Yoshio Koyanagi & Kei Sato
5 . 発行年
iviral transmission 2018年
6.最初と最後の頁
31
査読の有無
有
国際共著
<u>-</u>
4 . 巻
10
5.発行年
eron-stimulated genes in multiple 2019年
6.最初と最後の頁
429
有
である)
4 . 巻
4 · 동 221
F 3%/- F-
faplant RNA virus. 5.発行年 2019年
935-945
木生のナ畑
国際共著
6.最初と最後の頁 935-945 査読の有無 有 国際共著 セスが困難

1.著者名	4 . 巻
Shinya T, Yasuda S, Hyodo K, Tani R, Hojo Y, Fujiwara Y, Hiruma K, Ishizaki T, Fujita Y, Saijo	94
Y, Galis I.	
2.論文標題	5 . 発行年
Integration of danger peptide signals with herbivore-associated molecular pattern signaling	2018年
amplifies anti-herbivore defense responses in rice.	20104
	c = 47   = 1/2 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant J.	626-637
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/tpj.13883	有
10.1111/16).13000	H
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · =· ·	当际六 <b>有</b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Sakai M, Ueda S, Daito T, Asada-Utsugi M, Komatsu Y, Kinoshita A, Maki T, Kuzuya A, Takahashi	62
R, Makino A, Tomonaga K.	
2 . 論文標題	5.発行年
Degradation of amyloid _ peptide by neprilysin expressed from Borna disease virus vector.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microbiol Immunol.	467-472
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/1348-0421.12602.	
10.1111/1346-0421.12002.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Modes: V. Hania M. Tananana M.	80
MUKAL Y. HOLLE M. LOMONAGA K.	1 80
Mukai Y, Horie M, Tomonaga K.	80
2.論文標題	5.発行年
	5.発行年
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.	5 . 発行年 2018年
2.論文標題	5.発行年
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.	5 . 発行年 2018年
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363.
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363.
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363.
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363.
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著
2. 論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3. 雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著
2. 論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3. 雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93
2. 論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3. 雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2. 論文標題	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93
2. 論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3. 雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93
2. 論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3. 雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2. 論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2.論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3. 雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2. 論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2.論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2.論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.  3.雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2.論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.  3.雑誌名 J Virol	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 e01621-18.
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2.論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.  3.雑誌名 J Virol	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 e01621-18.
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2.論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.  3.雑誌名 J Virol	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 e01621-18.
2 . 論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3 . 雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2 . 論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01621-18.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 e01621-18.
2 . 論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3 . 雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2 . 論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01621-18.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 e01621-18.
2.論文標題 Systematic estimation of insertion dates of endogenous bornavirus-like elements in vesper bats.  3.雑誌名 J Vet Med Sci.  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1292/jvms.18-0211.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Kojima S, Sato R, Yanai M, Komatsu Y, Horie M, Igarashi M, Tomonaga K.  2.論文標題 Splicing-Dependent Subcellular Targeting of Borna Disease Virus Nucleoprotein Isoforms.  3.雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.01621-18.	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1356-1363. 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 e01621-18.

1 . 著者名 Tomonaga K, Suzuki N, Berkhout B.	***
	4 . 巻
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	262
, and the second se	
2 . 論文標題	5 . 発行年
······	
"Integration of viral sequences into eukaryotic host genomes: legacy of ancient infections".	2019年
2 h#±+ 47	て 目知に目後で去
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Res.	1
l l	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.virusres.2018.12.012.	<b>無</b>
	777
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	政当りる
* ***	4 24
1.著者名	4 . 巻
Horie M, Tomonaga K.	262
-	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Paleovirology of bornaviruses: What can be learned from molecular fossils of bornaviruses.	2019年
rated from the format transfer and the feather from more curat rossins of bulliaviruses.	2013 <del>4</del>
) hbtt-47	6 見知と見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Virus Res.	002-009
l l	
<b>曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b>	査読の有無
10.1016/j.virusres.2018.04.006.	有
	13
t − プンアクセス	国際共著
	四际六白
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<del>-</del>
1 . 著者名	4 . 巻
Horie M	印刷中
l l	
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2019年
Interactions among eukaryotes, retrotransposons, and riboviruses: Endogenous riboviral elements	2013+
in eukaryotic genomes	C 目初1.目後で王
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	印刷中
Genes Genet Syst	디메막
	ᄓᄳᆟᅮ
Genes Genet Syst	[기세] 뉴
Genes Genet Syst	査読の有無
Genes Genet Syst 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
Genes Genet Syst	
Genes Genet Syst <b>B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b> なし	査読の有無有
Genes Genet Syst  引載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	査読の有無
Genes Genet Syst <b>B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)</b> なし	査読の有無有
Genes Genet Syst  引載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	査読の有無有
Genes Genet Syst  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無有
Genes Genet Syst  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	査読の有無 有 国際共著
Genes Genet Syst  引載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Genes Genet Syst  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10
Genes Genet Syst  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk 2 . 論文標題	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年
Genes Genet Syst  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10
Genes Genet Syst  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk  2 . 論文標題 Molecular Aspects of Varicella-Zoster Virus Latency.	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年
Genes Genet Syst  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk  2 . 論文標題 Molecular Aspects of Varicella-Zoster Virus Latency.	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年
Genes Genet Syst  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk  2 . 論文標題 Molecular Aspects of Varicella-Zoster Virus Latency.  3 . 雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Genes Genet Syst  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk  2 . 論文標題 Molecular Aspects of Varicella-Zoster Virus Latency.	直読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年
Genes Genet Syst  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk  2 . 論文標題 Molecular Aspects of Varicella-Zoster Virus Latency.  3 . 雑誌名	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Romes Genet Syst  Romes Gene	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 349-360
Genes Genet Syst	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 349-360
Romes Genet Syst  Romes Gene	査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 349-360
同載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Daniel P. Depledge, Tomohiko Sadaoka, Werner J. D. Ouwendijk  2 . 論文標題 Molecular Aspects of Varicella-Zoster Virus Latency.  3 . 雑誌名 Viruses  同載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10070349	直読の有無 有 国際共著 - 4.巻 10 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 349-360
Genes Genet Syst	査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 349-360

1.著者名 Daniel P. Depledge, Kalanghad Puthankalam Srinivas, Tomohiko Sadaoka, Devin Bready, Yasuko	4. 巻 10
Mori, Dimitris G. Placantonakis, Ian Mohr, Angus C. Wilson	
2.論文標題 Direct RNA sequencing on nanopore arrays redefines the transcriptional complexity of a viral	5 . 発行年 2019年
pathogen.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Communications	754-767
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.1038/s41467-019-08734-9	有
	,-
オープンアクセス   オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著   該当する
1.著者名	4.巻
Okada T, Ogura T	13
2 . 論文標題	5.発行年
Nanoscale imaging of the adhesion core including integrin beta-1 on intact living cells using scanning electron-assisted dielectric-impedance microscopy	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
PLOS ONE	e0204133
	本芸の左毎
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0204133	査読の有無   有
, .	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4.巻
Senga Y, Imamura H, Ogura T, Honda S	91
2 . 論文標題	5.発行年
In-Solution Microscopic Imaging of Fractal Aggregates of a Stressed Therapeutic Antibody	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Analytical Chemistry	4640-4648
	**************************************
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.8b05979	査読の有無   有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1. 著者名	4 . 巻
R. Sato, A. Kato, T. Chimura, SI. Saitoh, T. Shibata, Y. Murakami, R. Fukui, K. Liu, Y. Zhang, J. Arii, GH. Sun-Wada, Y. Wada, T. Ikenoue, G. N. Barber, T. Manabe, Y. Kawaguchi, and K. Miyake.	19
2. 論文標題	5.発行年
Combating herpesvirus encephalitis by potentiating a TLR3-mTORC2 axis.	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Immunology	1071-1082
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無   ち
10.1038/s41590-018-0203-2	<b>有</b> 
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

4. Kato, S. Oda, M. Watanabe, M. Oyana, H. Kozuka-Hata, N. Koyanagi, Y. Maruzuru, J. Arii, and Y. Kawaguchi 2. 諸政権題 Roles of the Phosphorylation of Herpes Simplex Virus 1 UL51 at a Specific Site in Viral Replication and Pathogenicity 3. Altika 3. Altika 3. Altika 4. 意 3. Altika 7. プンアクセス 8. Kayanagi, A. Kato, K. Takeshina, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyana, J. Arii, and Y. Kawaguchi 2. 諸政権題 Requisition of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3. Miska 3. Miska 3. Miska 4. 意 7. プンアクセス 8. Arii M. Ratanabe, F. Meata, N. Tokai-Nishizuni, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Soyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 諸政権題 5. 発行年 2018年 7. プンアクセス 8. Arii M. Ratanabe, F. Meata, N. Tokai-Nishizuni, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Soyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 諸政権題 5. 発行年 2018年 3. Miska 3. Miska 4 意 4		T
Y. Kavaguchi Soles of the Phosphorylation of Herpes Simplex Virus 1 UL51 at a Specific Site in Viral Replication and Pathogenicity 3. 書話名 Journal of Virology  環報論文の(5)(デジタルオプジェクト機例子) 1. 著名名 N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshina, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyana, J. Arii, and Y. Kawanguchi 2. 語文機類 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3. 書話名 Journal of Virology  「最初と最後の頁」 2. 語文機類 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3. 書話名 Journal of Virology  「最初と最後の頁」 「表名名 Journal of Virology  「大きないののできる」  「本づンアクセスとしている(また、その予定である)  「本づンアクセスとしている(また、その予定である)  「本づンアクセス Redda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 語文機算 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  「大らいの表別・名は467-018-05889-9  「大きないののは、デジタルオブジェクト機例子) 10. 1038/s41467-018-05889-9  「大きないの目にないる。 Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 4. 章 3. 書話名 Yoshikawa G. Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 4. 章 3. 書話名 Yoshikawa G. Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 4. 章 3. 書話名 Yoshikawa G. Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 4. 章 3. 書話名 Yoshikawa G. Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 5. 飛行年 2019年 3. 雑誌名 J. Wirodoul (デジタルオブジェクト機例子) 10. 1128/JVII. 02130-18  有オープンアクセス  国際共著	1.著者名	4 . 巻
Y. Kavaguchi Soles of the Phosphorylation of Herpes Simplex Virus 1 UL51 at a Specific Site in Viral Replication and Pathogenicity 3. 書話名 Journal of Virology  環報論文の(5)(デジタルオプジェクト機例子) 1. 著名名 N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshina, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyana, J. Arii, and Y. Kawanguchi 2. 語文機類 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3. 書話名 Journal of Virology  「最初と最後の頁」 2. 語文機類 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3. 書話名 Journal of Virology  「最初と最後の頁」 「表名名 Journal of Virology  「大きないののできる」  「本づンアクセスとしている(また、その予定である)  「本づンアクセスとしている(また、その予定である)  「本づンアクセス Redda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 語文機算 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  「大らいの表別・名は467-018-05889-9  「大きないののは、デジタルオブジェクト機例子) 10. 1038/s41467-018-05889-9  「大きないの目にないる。 Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 4. 章 3. 書話名 Yoshikawa G. Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 4. 章 3. 書話名 Yoshikawa G. Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 4. 章 3. 書話名 Yoshikawa G. Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 4. 章 3. 書話名 Yoshikawa G. Blanc-Mathieu R. Song C. Kayana Y. Mochizuki T. Murata K. Ogata H. Takemura M. 5. 飛行年 2019年 3. 雑誌名 J. Wirodoul (デジタルオブジェクト機例子) 10. 1128/JVII. 02130-18  有オープンアクセス  国際共著	A. Kato, S. Oda, M. Watanabe, M. Ovama, H. Kozuka-Hata, N. Kovanagi, Y. Maruzuru, J. Arii, and	92
2 - 第文標題 Rogication and Pathogenicity 3 - 4 - 2 - 3 - 4 - 3 - 3		
Roles of the Phosphorylation of Herpes Simplex Virus 1 UL51 at a Specific Site in Viral Peplication and Pathogenicity Peplication and Pathogenicity Pathog		F 36/-/-
Replication and Pathogenicity 3 . 静誌を 3 . 静誌を 6 . 最初と最後の頁		
Replication and Pathogenicity 3 . 静誌を 3 . 静誌を 6 . 最初と最後の頁	Roles of the Phosphorylation of Herpes Simplex Virus 1 UL51 at a Specific Site in Viral	2018年
3 . 雑誌名	Replication and Pathogenicity	
投資論文の001(デジタルオブジェクト識別子)		6 早知し早後の百
指数論文の201 (デジタルオブジェクト講別子) 10.1128/JVI.01035-18 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyana, J. Arii, and Y. Kanaguchi 2. 論文程題 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3. 検証を Journal of Virology  指数論文のOOI (デジタルオブジェクト講別子) 10.1128/JVI.00807-18 カープンアクセス オープンアクセス カープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 J. Arii, M. Matnabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論文程題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 3. 練話名 Nature Communications 5. 発行年 2019年 2019年 3. 練話名 Nature Communications 5. 発行年 2019年 3. 神話名 7ープンアクセス カープンアクセス カープンアクセス カープンアクセス カープンアクセス		0.取例と取扱の貝
指数論文の201 (デジタルオブジェクト講別子) 10.1128/JVI.01035-18 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyana, J. Arii, and Y. Kanaguchi 2. 論文程題 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3. 検証を Journal of Virology  指数論文のOOI (デジタルオブジェクト講別子) 10.1128/JVI.00807-18 カープンアクセス オープンアクセス カープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 J. Arii, M. Matnabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論文程題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 3. 練話名 Nature Communications 5. 発行年 2019年 2019年 3. 練話名 Nature Communications 5. 発行年 2019年 3. 神話名 7ープンアクセス カープンアクセス カープンアクセス カープンアクセス カープンアクセス	Journal of Virology	-
1. 128/JVI.01035-18   有	•	
1. 128/JVI.01035-18   有		
1. 128/JVI.01035-18   有	担禁やさのDOL/ごごクリナブご - クレ禁リフト	木芸の左無
1. 著名名 N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshira, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Cyama, J. Arii, and Y. Kanaguchi (Anaguchi Pathogenesis) 2. 南文郡園 (Anaguchi Pathogenesis) 3. 和記名 Journal of Virology (B觀論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1128/JVI.00807-18  1. 著名名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi (SESCRT-IIII mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  1. 著名名 Nature Communications  1. 著名名 Nature Communications  1. 著名名 Nature Communications  2. 論文權證 (SESCRT-IIII M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi (Anaguchi Pathogenesis)  3. 雑誌名 Nature Communications  4. 巻 7 - プンアクセス  1. 著名名 (Nature Communications  3. 雑誌名 Nature Communications  4. 巻 7 - プンアクセス  1. 著名名 (Nature Communications  4. 巻 82  2. 論文權題 (Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 (Natura Cyanaguchi Pathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  4. 巻 82  2. 論文權題 (Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 (Natura Cyanaguchi Pathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  4. 巻 82  2. 論文權題 (Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 (Natura Cyanaguchi Pathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  4. 巻 85  5. 発行年 2019年 2019日 2019		_
1 . 著名名 N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyama, J. Arii, and Y. 然のanagukhi 2 . 論文標題 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3 . 桶誌名 Journal of Virology    日本	10.1128/JVI.01035-18	有 [
1 . 著名名 N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyama, J. Arii, and Y. 然のanagukhi 2 . 論文標題 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3 . 桶誌名 Journal of Virology    日本		
1 . 著名名 N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyama, J. Arii, and Y. 然のanagukhi 2 . 論文標題 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3 . 桶誌名 Journal of Virology    日本	オープンアクセス	<b>国際</b> 共著
1 . 著名名 N. Koyangaj, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyama, J. Arii, and Y. Kawaquchi 2 . 論文標題 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3 . 種語名 Journal of Virology 6 . 最初と最後の頁 Journal of Virology 6 . 最初と最後の頁 10.1128/JVI.00807-18		
N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyama, J. Arii, and Y. Kawaguchi Pirat Pathogenesis 2018年 2018年 2018年 2018年 2018年 3. 練誌名 Journal of Virology	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyama, J. Arii, and Y. Kawaguchi Pirat Pathogenesis 2018年 2018年 2018年 2018年 2018年 3. 練誌名 Journal of Virology		
N. Koyanagi, A. Kato, K. Takeshima, Y. Maruzuru, H. Kozuka-Hata, M. Oyama, J. Arii, and Y. Kawaguchi Pirat Pathogenesis 2018年 2018年 2018年 2018年 2018年 3. 練誌名 Journal of Virology	1 至去夕	/
Kawaguchi 2 1 論文標題 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3 . 類話名 Journal of Virology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1 . 著名名 J. Aril, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2 . 論文程題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3 . 雑誌名 Nature Communications  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05899-9  1 . 著名名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文程題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文程題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  図際共著  和 プンアクセス  国際共著		_
2 . 論文標題 Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3 . 練誌名 Journal of Virology  超 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00807-18  1 . 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2 . 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3 . 雜誌名 Rature Communications  お (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05898-9  オーブンアクセス  和 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05898-9  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 辨誌名 J Virol  和 (デジタルオブジェクト識別子) 2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 辨誌名 J Virol  和 (デジタルオブジェクト識別子) 2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 辨誌名 J Virol  和 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  和 (東親論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18		92
Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3. 雑誌名 Journal of Virology  福戦論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00807-18  1. 著書名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論文標題 SSCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  1. 著書名 Yoshikawa G, Blanc-Wathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  1. 著書名 Yoshikawa G, Blanc-Wathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  第数論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著書名 J Virol  第数論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 1. 書語の有無 10.1128/JVI.02130-18  第3  第4  第7  第7  第7  第7  第7  第7  第7  第7  第7	Kawaguchi	
Regulation of Herpes Simplex Virus 2 Protein Kinase UL13 by Phosphorylation and Its Role in Viral Pathogenesis 3. 雑誌名 Journal of Virology  福戦論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.00807-18  1. 著書名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論文標題 SSCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  1. 著書名 Yoshikawa G, Blanc-Wathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  1. 著書名 Yoshikawa G, Blanc-Wathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  第数論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著書名 J Virol  第数論文のD01(デジタルオブジェクト識別子) 1. 書語の有無 10.1128/JVI.02130-18  第3  第4  第7  第7  第7  第7  第7  第7  第7  第7  第7		5 発行年
Viral Pathogenesis   3 . 雑誌名   3 . 雑誌名   5 . 最初と最後の頁		
3 . 雑誌名		2018年
3 . 雑誌名	Viral Pathogenesis	
Journal of Virology		6 . 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著名名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. imax 標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 3. 雑誌名 Nature Communications  おープンアクセス  1. 著名名 オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著名名 オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著名名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  おもの有無 もの有無 ものものは、その予定である)  4. 巻 93  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  西読の有無 有 オープンアクセス  国際共著		- 4000000000000000000000000000000000000
10.1128/JVI.00807-18 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2 . 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 3 . 雑誌名 Nature Communications  「表彰の有無 イープンアクセス カープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M 2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  「表彰の有無 何 10.1128/JVI.02130-18  「表読の有無 何 10.1128/JVI.02130-18  「表読の有無 何 10.1128/JVI.02130-18	Journal of Vilotogy	<del>-</del>
10.1128/JVI.00807-18 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2 . 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 3 . 雑誌名 Nature Communications  「表彰の有無 イープンアクセス カープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M 2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  「表彰の有無 何 10.1128/JVI.02130-18  「表読の有無 何 10.1128/JVI.02130-18  「表読の有無 何 10.1128/JVI.02130-18		
10.1128/JVI.00807-18 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2 . 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 3 . 雑誌名 Nature Communications  「表彰の有無 イープンアクセス カープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M 2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  「表彰の有無 何 10.1128/JVI.02130-18  「表読の有無 何 10.1128/JVI.02130-18  「表読の有無 何 10.1128/JVI.02130-18		
10.1128/JVI.00807-18 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2 . 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 3 . 雑誌名 Nature Communications  「表彰の有無 イープンアクセス カープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M 2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  「表彰の有無 何 10.1128/JVI.02130-18  「表読の有無 何 10.1128/JVI.02130-18  「表読の有無 何 10.1128/JVI.02130-18	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	杏詰の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  4. 巻 3. 雑誌名 Nature Communications  5. 発行年 2018年  4. 巻 3. 雑誌名 Nature Communications  6. 最初と最後の頁 - ・  おープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  6. 最初と最後の頁 e02130-18  4. 巻 33  4. 巻 34  5. 発行年 2019年 2019年  6. 最初と最後の頁 e02130-18		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論な標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  4. 巻 3. 雑誌名 Nature Communications  4. 巻 10.1038/s41467-018-05889-9  有  オープンアクセス  1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M 93  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  超読の有無 10.1128/JVI.02130-18  在オープンアクセス  国際共著	10.1128/JVI.00807-18	1
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論な標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  4. 巻 3. 雑誌名 Nature Communications  4. 巻 10.1038/s41467-018-05889-9  有  オープンアクセス  1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M 93  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  超読の有無 10.1128/JVI.02130-18  在オープンアクセス  国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論な標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  4. 巻 3. 雑誌名 Nature Communications  4. 巻 10.1038/s41467-018-05889-9  有  オープンアクセス  1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M 93  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  超読の有無 10.1128/JVI.02130-18  在オープンアクセス  国際共著	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論文標題	· · · · · · -· ·	
J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi  Z. 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  信職論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05889-9  1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  「表読の有無 10.1128/JVI.02130-18  在オープンアクセス  国際共著  を記述の有無 10.1128/JVI.02130-18  「意読の有無 10.1128/JVI.02130-18  「国際共著	オープンデッセスとしている(また、この子をこのる)	-
J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi  Z. 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  信職論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05889-9  1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  「表読の有無 10.1128/JVI.02130-18  在オープンアクセス  国際共著  を記述の有無 10.1128/JVI.02130-18  「意読の有無 10.1128/JVI.02130-18  「国際共著		
J. Arii, M. Watanabe, F. Maeda, N. Tokai-Nishizumi, T. Chihara, M. Miura, Y. Maruzuru, N. Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi  Z. 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3. 雑誌名 Nature Communications  信職論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05889-9  1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  「表読の有無 10.1128/JVI.02130-18  在オープンアクセス  国際共著  を記述の有無 10.1128/JVI.02130-18  「意読の有無 10.1128/JVI.02130-18  「国際共著	1 . 著者名	4 . 巻
Koyanagi, A. Kato and Y. Kawaguchi 2. 論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 3. 雑誌名 Nature Communications  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05889-9  有 オープンアクセス  1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2. 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3. 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  香読の有無 有 オープンアクセス  国際共著		
2.論文標題 ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity  3.雑誌名 Nature Communications  4.最初と最後の頁 10.1038/s41467-018-05889-9  1.著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2.論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3.雑誌名 J Virol  4.登 93  5.発行年 2019年  6.最初と最後の頁 e02130-18  福載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  在読の有無 10.1128/JVI.02130-18		9
ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 2018年  3 . 雑誌名 Nature Communications 6 . 最初と最後の頁 - 10.1038/s41467-018-05889-9 7		
ESCRT-III mediates budding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity 2018年  3 . 雑誌名 Nature Communications 6 . 最初と最後の頁	2.論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名 Nature Communications  信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05889-9  オーブンアクセス  オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  信載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  在読の有無 有 オーブンアクセス  国際共著	FSCRT-III mediates hudding across the inner nuclear membrane and regulates its integrity	2018年
Nature Communications -	250K TTT modules baseling delegation that modern monotone and regulates the integrity	2010—
Nature Communications -	- 101	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05889-9 有 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M 93	3.雑誌名	6.最初と最後の負
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05889-9 有 有 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M 93	Nature Communications	-
10.1038/s41467-018-05889-9 有  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2.論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3.雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  有  オープンアクセス  国際共著		
10.1038/s41467-018-05889-9 有  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2.論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3.雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  有  オープンアクセス  国際共著		
10.1038/s41467-018-05889-9 有  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2.論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3.雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  有  オープンアクセス  国際共著		· I
オープンアクセス		
オープンアクセス	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
コ・著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 .論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 .雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  有  国際共著		
コ・著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 .論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 .雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  有  国際共著		
1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  4 . 巻 93  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 e02130-18  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9	有
1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  4 . 巻 93  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 e02130-18  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス	有
Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  有  国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス	有
Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  有  国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス	有
Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18  有  国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
2 . 論文標題 <ul> <li>Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water</li> </ul> 5 . 発行年 <ul> <li>2019年</li> </ul> 6 . 最初と最後の頁 <ul> <li>e02130-18</li> </ul> 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) <ul> <li>n0.1128/JVI.02130-18</li> </ul> 査読の有無 <ul> <li>すープンアクセス</li> <li>国際共著</li> </ul>	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water       2019年         3.雑誌名 J Virol       6.最初と最後の頁 e02130-18         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	国際共著 -
Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water       2019年         3.雑誌名 J Virol       6.最初と最後の頁 e02130-18         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	国際共著 -
3 . 雑誌名	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M	有 国際共著 - 4.巻 93
3 . 雑誌名	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M	有 国際共著 - 4.巻 93
J Virol       e02130-18         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1128/JVI.02130-18       有         オープンアクセス       国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年
J Virol       e02130-18         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1128/JVI.02130-18       有         オープンアクセス       国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1128/JVI.02130-18 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名     Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題     Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water	有 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1128/JVI.02130-18 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名     Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題     Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water	有 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年 2019年
10.1128/JVI.02130-18 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名     Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題     Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1128/JVI.02130-18 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名     Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題     Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1128/JVI.02130-18 有 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41467-018-05889-9  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名     Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題     Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1128/JVI.02130-18 有 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol	有 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e02130-18
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol	有 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e02130-18
	10.1038/s41467-018-05889-9  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名     Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題     Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名     J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e02130-18
	10.1038/s41467-018-05889-9  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名     Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題     Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名     J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 93 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 e02130-18
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	10.1038/s41467-018-05889-9  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18	有 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e02130-18
(with contraction)	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18	有 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e02130-18
	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M  2 . 論文標題 Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water  3 . 雑誌名 J Virol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/JVI.02130-18	有 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 e02130-18

1 . 著者名 Okamoto K, Miyazaki N, Reddy HKN., Hantke MF, Maia FRNC., Larsson DSD, Abergel C, Claverie JM,	4.巻 516
Hajdu J, Murata K, Svenda M	
2.論文標題 Cryo-EM structure of a Marseilleviridae virus particle reveals a large internal microassembly	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Virology	6.最初と最後の頁 239-245
	<del></del>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virol.2018.01.021	査読の有無 有
オープンアクセス	<b>京欧</b> 井莱
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
	4 <del>44</del>
1 . 著者名 Meier-Kolthoff JP, Uchiyama J, Yahara H, Paez-Espino D, Yahara K	4.巻 8
2.論文標題	5.発行年
Investigation of recombination-intense viral groups and their genes in the Earth's virome	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	-
	本芸の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-29272-2	査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
	W1/0
1. 著者名	4 . 巻
Fukuda T, Eitsuka T, Donai K, Kurita M, Saito T, Okamoto H, Kinoshita K, Katayama M, Nitto H, Uchida T, Onuma M, Sone H, Inoue-Murayama M, Kiyono T	8
2.論文標題	5.発行年
Expression of human mutant cyclin dependent kinase 4, Cyclin D and telomerase extends the life span but does not immortalize fibroblasts derived from loggerhead sea turtle (Caretta caretta).	2018年
3.雑誌名 Scientific Reports	6.最初と最後の頁 9229
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-27271-x	査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国际共者 -
4 英北々	4 <del>**</del>
1 . 著者名 Yoshida A, Kawabata R, Honda T, Sakai K, Ami Y, Sakaguchi T, Irie T.	4.巻 92
2.論文標題	
	5 発行任
A Single Amino Acid Substitution within the Paramyxovirus Sendai Virus Nucleoprotein Is a Critical Determinant for Production of Interferon-Beta-Inducing Copyback-Type Defective Interfering Genomes.	5 . 発行年 2018年
A Single Amino Acid Substitution within the Paramyxovirus Sendai Virus Nucleoprotein Is a Critical Determinant for Production of Interferon-Beta-Inducing Copyback-Type Defective Interfering Genomes.	2018年
A Single Amino Acid Substitution within the Paramyxovirus Sendai Virus Nucleoprotein Is a Critical Determinant for Production of Interferon-Beta-Inducing Copyback-Type Defective	
A Single Amino Acid Substitution within the Paramyxovirus Sendai Virus Nucleoprotein Is a Critical Determinant for Production of Interferon-Beta-Inducing Copyback-Type Defective Interfering Genomes.  3 . 雑誌名 J Virol	2018年 6.最初と最後の頁 e02094-17.
A Single Amino Acid Substitution within the Paramyxovirus Sendai Virus Nucleoprotein Is a Critical Determinant for Production of Interferon-Beta-Inducing Copyback-Type Defective Interfering Genomes.  3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
A Single Amino Acid Substitution within the Paramyxovirus Sendai Virus Nucleoprotein Is a Critical Determinant for Production of Interferon-Beta-Inducing Copyback-Type Defective Interfering Genomes.  3 . 雑誌名 J Virol 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 e02094-17. 査読の有無

***	
1 . 著者名	4 . 巻
Tabara M, Ohtani M, Kanekatsu M, Moriyama H, Fukuhara T	59
2.論文標題	5 . 発行年
·····	
Size distribution of small interfering RNAs in various organs at different developmental stages	2018年
is primarily determined by the dicing activity of Dicer-like proteins in plants	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Cell Physiol	2228-2238
·	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/pcp/pcy144	有
10.1000/ μορ/ μος 144	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 英字々	л <del>*</del>
1 . 著者名	4 . 巻
Fukuhara T	55
2 . 論文標題	5 . 発行年
Endornaviruses: persistent dsRNA viruses with symbiotic properties in diverse eukaryotes.	2019年
Lindomaviruses. Persistent uskirk viruses with symbiotic properties in diverse editaryotes.	2013 <del>11</del>
3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁
VIRUS GENES	165-173
	.000
担郵給立のDOL(ごごね川ナブご・カト地門フト	本芸の右無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11262-019-01635-5	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- -
ファンテー Andrew Andrew ファンテー Andrew Hatel	
1.著者名	4 . 巻
	_
Kakiyama S, Tabara M, Nishibori Y, Moriyama H, Fukuhara T.	印刷中
2.論文標題	5.発行年
Long DCL4-substrate dsRNAs efficiently induce RNA interference in plant cells.	2019年
Long Dol4-Substrate usknas efficiently induce him interference in prant certs.	20194
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Sci Rep	-
担撃公立の2017ではリナヴミーカー2017〜	木はの左伽
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Endo A, Nishiura H.	2018
2.	F 384-7-
2 . 論文標題	5 . 発行年
The role of migration in maintaining the transmission of avian influenza in waterfowl: a multi-	2018年
site multi-species transmission model along East Asian-Australian Flyway.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Canadian Journal of Infectious Diseases and Medical Microbiology	3420535(1-8).
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1155/2018/3420535	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

. ***	. 14
1.著者名	4 . 巻
Lee H, Kayano T, Nishiura H.	82
2.論文標題	5 . 発行年
	2019年
Predicting congenital rubella syndrome in Japan, 2018–2019.	2019#
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Infectious Diseases	1-5.
International ocument of infootings produces	
	* +
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ijid.2019.02.021	有
, ,	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
オープンデッと人としている(また、との予定である)	改当する
1.著者名	4 . 巻
Shimizu K, Kinoshita R, Yoshii K, Akhmetzhanov AR, Jung SM, Lee H, Nishiura H.	9
	c
	5 . 発行年
An investigation of a measles outbreak in Japan and Taiwan, China, March-May 2018.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Western Pacific Surveillance and Response Journal	1-8.
western ractific surveillance and kesponse Journal	1-0.
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5365/wpsar.2018.9.2.00	有
10.0000/ iipaa 1.2010.0.2.00	F
オープンアクセス	国際共著
1	該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	R71 7 0
カープラブラビスとしている(また、この子だとのな)	
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.	4.巻 471
1 . 著者名	4 . 巻
1.著者名 Lee H, Nishiura H. 2.論文標題	4.巻 471
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.	4.巻 471 5.発行年
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.	4.巻 471 5.発行年 2019年
1.著者名 Lee H, Nishiura H.  2.論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3.雑誌名	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.	4.巻 471 5.発行年 2019年
1.著者名 Lee H, Nishiura H.  2.論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3.雑誌名	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12.
1.著者名 Lee H, Nishiura H.  2.論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3.雑誌名	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12.
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12.
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.  3 . 雑誌名	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.  3 . 雑誌名	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.  3 . 雑誌名	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Modelling	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6-14.
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Modelling  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6-14.
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Modelling	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6-14.
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Modelling  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12976-019-0102-8.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6-14.
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Modelling  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12976-019-0102-8.  オープンアクセス	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6-14. 査読の有無 有
1 . 著者名 Lee H, Nishiura H.  2 . 論文標題 Sexual transmission and the probability of an end of the Ebola virus disease epidemic.  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.03.022.  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Munasinghe L, Asai Y, Nishiura H.  2 . 論文標題 Quantifying heterogeneous contact patterns in Japan: A social contact survey.  3 . 雑誌名 Theoretical Biology and Medical Modelling  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12976-019-0102-8.	4 . 巻 471 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-12. 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 16 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 6-14.

10.1111/1462-2920.14065 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する 1.著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S. 10 5.発行年 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3.雑誌名 Viruses 6.最初と最後の頁 E584 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5		
2 : 論文博器 Estimating the force of infection with Helicobacter pylori in Japan. 2019年 2019年 2019年 3 : 練話名 6 : 競別と最後の頁 1451490 (1-7)	1.著者名	4.巻
2 : 論文博器 Estimating the force of infection with Helicobacter pylori in Japan. 2019年 2019年 2019年 3 : 練話名 6 : 競別と最後の頁 1451490 (1-7)		2019
2019年  3. 報話名 Canadian Journal of Infectious Diseases and Medical Microbiology	V - V - V - V - V - V - V - V - V - V -	
2019年  3. 報話名 Canadian Journal of Infectious Diseases and Medical Microbiology	2 经分额的	C 彩行在
3 : 熱語名 Canadian Journal of Infectious Diseases and Medical Microbiology		
1451490 (1-7).   14	Estimating the force of infection with Helicobacter pylori in Japan.	2019年
1451490 (1-7).   14		
超数分の001(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著名名 Kobayashi V, Shinazu T, Hurata K, Itou T, Suzuki Y. 2. 論文標題 An endogenous adeno-associated virus element in elephants 3. 雑誌名 Virus Res 4. 巻 2019年 3. 雑誌名 Virus Res 4. 巻 10.1016/j.virusres.2018.04.015. 4. 巻 2019年 4. 一 2019年 5. 飛行年 2019年 6. 最初と最後の頁 10.14  1. 著名名 Ar ブンアクセス 7 ー ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 7 ー ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 7 ー ズーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 8 ー 名 7 ー ズーグン・ス・1、Kanematau、S.、Lopez-Herrera、C.、and Suzuki、N. 2. 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus. Rosel Inian neartrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses. 3. 維結名 Emviron Microbiol 6. 最初と最後の頁 10.1111/1462-2820.14065 7 ー ブンアクセス 7 ー ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 7 ー ブンアクセス 8 世際共著 8 当する 7 ー ブンアクセス 8 世際共著 8 当する 7 ー ブンアクセス 8 世際共著 8 当する 8 ・ 発行年 2018年 8 と述の有無 7 セーブンアクセス 8 日間語 Novel mitoviruses and a unique type-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Pusarium Head Bilght fungus, Fusarium Head Bilght fungus, Fusarium Bed Bilght fungus	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
超数分の001(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著名名 Kobayashi V, Shinazu T, Hurata K, Itou T, Suzuki Y. 2. 論文標題 An endogenous adeno-associated virus element in elephants 3. 雑誌名 Virus Res 4. 巻 2019年 3. 雑誌名 Virus Res 4. 巻 10.1016/j.virusres.2018.04.015. 4. 巻 2019年 4. 一 2019年 5. 飛行年 2019年 6. 最初と最後の頁 10.14  1. 著名名 Ar ブンアクセス 7 ー ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 7 ー ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 7 ー ズーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 8 ー 名 7 ー ズーグン・ス・1、Kanematau、S.、Lopez-Herrera、C.、and Suzuki、N. 2. 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus. Rosel Inian neartrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses. 3. 維結名 Emviron Microbiol 6. 最初と最後の頁 10.1111/1462-2820.14065 7 ー ブンアクセス 7 ー ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 7 ー ブンアクセス 8 世際共著 8 当する 7 ー ブンアクセス 8 世際共著 8 当する 7 ー ブンアクセス 8 世際共著 8 当する 8 ・ 発行年 2018年 8 と述の有無 7 セーブンアクセス 8 日間語 Novel mitoviruses and a unique type-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Pusarium Head Bilght fungus, Fusarium Head Bilght fungus, Fusarium Bed Bilght fungus	Canadian Journal of Infectious Diseases and Medical Microbiology	1451490 (1-7)
1. 計SF/2019/1451490   有		( , , , ,
1. 計SF/2019/1451490   有		
1. 計SF/2019/1451490   有	担耕会さのDOL/ごごカルナブごテクト独列フト	本芸の方無
コープンアクセス コープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 談当する オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 談当する 1 著名名 Kobayashi Y, Shimazu T, Murata K, Itou T, Suzuki Y. 2 : 論文標題 A : 巻 262 2019年 2019年 2019年 2019年 2019年 3 : 雑誌名 Virus Res 6 : 最初と最後の頁 10-14 第載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) 6 : 最初と最後の頁 10-14 3 : 著名名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kaemastus, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 論文標題 8 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 論文標題 8 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 8 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 8 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 8 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 8 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 8 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 9 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 9 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 9 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 9 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機器 9 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機能 9 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機能 9 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機能 9 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : 記述機能 9 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 3 : Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 3 : Lopez-Herrera, C. 3 : Lopez-Herrera,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
大き名名   大き名名   大き   大き   大き   大き   大き	10.1155/2019/1451490	有
大き名名   大き名名   大き   大き   大き   大き   大き		
1 ・ 著名名 Kobayashi Y, Shimazu T, Murata K, Itou T, Suzuki Y. 2. 論文標題	<b> オープンアクセス</b>	国際共著
1 ・ 著名名 Kobayashi Y, Shimazu T, Murata K, Itou T, Suzuki Y. 2. 論文標題	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Kobayashi Y, Shimazu T, Murata K, Itou T, Suzuki Y.   282	3 3 3 3 5 5 6 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	1,70
Kobayashi Y, Shimazu T, Murata K, Itou T, Suzuki Y.   282	. ***	1 4 244
2. 論文標題 An endogenous adeno-associated virus element in elephants  3. 雑誌名 Virus Res 6. 最初と最後の頁 10-14  据戦論文の001(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j, virusres.2018.04.015.		_
An endogenous adeno-associated virus element in elephants  3. 雑誌名 Virus Res 6. 最初と最後の頁 10-14  掲載論文のの01(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.04.015.	Kobayashi Y, Shimazu T, Murata K, Itou T, Suzuki Y.	262
An endogenous adeno-associated virus element in elephants  3. 雑誌名 Virus Res 6. 最初と最後の頁 10-14  掲載論文のの01(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.04.015.		
An endogenous adeno-associated virus element in elephants  3. 雑誌名 Virus Res 6. 最初と最後の頁 10-14  掲載論文のの01(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.04.015.	2 論文標題	5、発行年
3 ・雑誌名 Virus Res  6 ・最初と最後の頁 10-14  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.04.015.  オープンアクセス  オープンアクセス  1 ・著名名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanenatsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 ・論文標題 Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  8 ・ 競打を展現している。 1 ・ 著名名 Environ Microbiol  お ・ ガンアクセス  「表著名 Environ Microbiol  お ・ ガンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  お ・ ガープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 ・ 著名名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  1 ・ 著名名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  1 ・ 著名名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  1 ・ 著名名 Viruses  1 ・ 著名名 Viruses  1 ・ 第初と最後の頁 E584  オープンアクセス  国際共著  4 ・ 巻 10  4 ・ 巻 10  11  12  13  13  13  13  14  15  15  16  17  17  17  18  18  18  18  18  18  18		
Virus Res	An endogenous adeno-associated virus element in elephants	20194
Virus Res		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.04.015.	3.雜誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2018.04.015.	Virus Res	10-14
### 10.1016/j.virusres.2018.04.015. 有   ### 20		
### 10.1016/j.virusres.2018.04.015. 有   ### 20		
### 10.1016/j.virusres.2018.04.015. 有   ### 20	<sup>セ</sup> サンカル (プンカルオブン・カト沖別ス)	─────────────────────────────────────
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 巻 20		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4・巻 20	10.1016/j.virusres.2018.04.015.	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4・巻 20		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4・巻 20		国際共著
1. 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2. 論文標題 Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses. 3. 雑誌名 Environ Microbiol  福朝論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  1. 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  1. 養者名 Movel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3. 雑誌名 Viruses  福動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  4. 巻 10.3390/v10110584  「重勝大著  4. 巻 10.3390/v10110584  「重勝大著		1
Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 him 大標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 非誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  1 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  和オープンアクセス  国際共著	オープンアクセスではない ▽はオープンアクセスが闲難	_
Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 him 大標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 非誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  1 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  和オープンアクセス  国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2. 論文標題 Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses. 3. 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  1. 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  1. 素者名 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  周文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  加速は表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		-
Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Rosell inia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3. 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  1. 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2. 論文標題 Rovel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3. 雑誌名 Viruses  場職論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  相談の有無 有 オープンアクセス  国際共著  を持て 2018年 201	1 . 著者名	
2.論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3. 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  1. 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2. 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  お・一プンアクセス  1. 養養名 Viruses  3. 発行年 2018年  5. 発行年 2018年  6. 最初と最後の頁 E584  4. 巻 10  5. 発行年 2018年  10  3. 3390/v10110584  6. 最初と最後の頁 E584	1 . 著者名	
Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 1464-1483  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065 有	1.著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-	
Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 10  5 . 発行年 2018年  5 . 発行年 2018年  5 . 発行年 2018年  5 . 発行年 2018年  5 . 最初と最後の頁 E584	1.著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona- Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.	20
3 . 雑誌名 Environ Microbiol Environ Microbiol Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス  本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3 . 雑誌名 Viruses  5 . 発行年 2018年  4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 E584  5 . 発行年 2018年  「10.3390/v10110584  「6 . 最初と最後の頁 E584  本ープンアクセス  国際共著	1.著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2.論文標題	5 . 発行年
Environ Microbiol 1464-1483 1464-1	1.著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2.論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus,	5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065	1.著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2.論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.	20 5.発行年 2018年
10.1111/1462-2920.14065 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する 1.著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S. 10 5.発行年 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3.雑誌名 Viruses 6.最初と最後の頁 E584 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5	1. 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.	20 5.発行年 2018年
10.1111/1462-2920.14065 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する 1.著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S. 10 5.発行年 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3.雑誌名 Viruses 6.最初と最後の頁 E584 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5	1. 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3. 雑誌名	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1111/1462-2920.14065 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する 1.著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S. 10 5.発行年 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3.雑誌名 Viruses 6.最初と最後の頁 E584 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5	1. 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3. 雑誌名	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1111/1462-2920.14065 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 該当する 1.著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S. 10 5.発行年 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3.雑誌名 Viruses 6.最初と最後の頁 E584 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5.84 5	1.著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2.論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3.雑誌名	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 E584  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  有  国際共著	1.著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2.論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3.雑誌名 Environ Microbiol	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1.著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2.論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3.雑誌名 Viruses  おも  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1.著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2.論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3.雑誌名 Viruses  おも  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 該当する  1.著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2.論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3.雑誌名 Viruses  おも  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は  は	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483
1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 10  5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 E584  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  有  10  11  12  13  14  15  16  16  17  17  18  18  18  18  18  18  18  18	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有
Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2. 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3. 雑誌名 Viruses  4 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  10  5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 E584	1.著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2.論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3.雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有
Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2. 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3. 雑誌名 Viruses  4 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  10  5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 E584	1.著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2.論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3.雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有
2.論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3.雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有 国際共著 該当する
Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3.雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	20 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有 国際共著 該当する
Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3.雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	20 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有 国際共著 該当する
Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3.雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	20 5. 発行年 2018年 6. 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有 国際共著 該当する
Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii         3.雑誌名 Viruses       6.最初と最後の頁 E584         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著  該当する  4 . 巻 10
3.雑誌名 Viruses6.最初と最後の頁 E584掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584査読の有無 有オープンアクセス国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著  国際共著  4 . 巻 10 5 . 発行年
Viruses       E584         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.3390/v10110584       有         オープンアクセス       国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著  国際共著  4 . 巻 10 5 . 発行年
Viruses       E584         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.3390/v10110584       有         オープンアクセス       国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii	20 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 10  5.発行年 2018年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii	20 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 10  5.発行年 2018年
10.3390/v10110584 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3 . 雑誌名	20 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 10  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
10.3390/v10110584 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3 . 雑誌名	20 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 10  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
10.3390/v10110584 有 オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3 . 雑誌名	20 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 10  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 E584
	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雜誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 E584
	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雜誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 E584
	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雜誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 E584
	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N. 2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses. 3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S. 2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii 3 . 雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 E584  査読の有無 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	1 . 著者名 Arjona-Lopez, J. M., Telengech, P., Jamal, A., Hisano, S., Kondo, H., Yelin, M. D., Arjona-Girona, I., Kanematsu, S., Lopez-Herrera, C., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 Novel, diverse RNA viruses from Mediterranean isolates of the phytopathogenic fungus, Rosellinia necatrix: insights into evolutionary biology of fungal viruses.  3 . 雑誌名 Environ Microbiol  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1462-2920.14065  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Mizutani, Y., Abraham, A., Uesaka, K., Kondo, H., Suga, H., Suzuki, N., Chiba, S.  2 . 論文標題 Novel mitoviruses and a unique tymo-like virus in hypovirulent and virulent strains of the Fusarium Head Blight fungus, Fusarium boothii  3 . 雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10110584  オープンアクセス	20 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1464-1483  査読の有無 有 国際共著 該当する  4 . 巻 10 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 E584  査読の有無 有

1. 書名名 Shahi, S., Eusebio-Cope, A., I. B., Hillman, B. I., and Suzuki, N.  2. 論文標題 Investigation of host range of and host defense against a mitochondrially replicating S. 発行年 2019年 3. 諸語名 J. Virol G. 最初と最後の真 e01503-18  西院共著 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著名名 Modika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N. S. 発行年 2019年 2. 前文標題 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense. S. 発行年 2019年 3. 諸話名 PNAS  R機論文の001 (デジタルオプジェクト識別子) 10.1073/pnas.181240/116  1. 著名名 Kondo, H., Hirota, K., Maruyana, K., Andika, I. B., and Suzuki, N. 2. 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect penomes. 3. 挑話名 Virus Research  1. 著名名 Virus Research  1. 著名名 Virus Research  2. 指文符题 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが国難  1. 著名名 Virus Research  2. 新文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect penomes. 3. 非話名 Virus Research  3. 非話名 Virus Research  4. 巻 1. 茶名名 Virus Research  3. 非話名 Virus Research  4. 巻 1. 茶名名 Virus Research  4. 巻 1. 茶名名 Virus Research  5. 発行年 2019年 2. 論文標題 Capsid structure of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 3. 非話名 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 4. 巻 Viruses A novel insection of deRNA fungal viruses. 5. 発行年 2019年		
2. 論文標題 Investigation of host range of and host defense against a mitochondrially replicating intovirus. 2019年 2	1.著者名	4 . 巻
2. 論文標題 Investigation of host range of and host defense against a mitochondrially replicating intovirus. 2019年 2		
Investigation of host range of and host defense against a mitochondrially replicating mitovirus.	Grant, C., Lacobre Cope, A., T. B., Hirman, B. T., and Cazaki, A.	
Investigation of host range of and host defense against a mitochondrially replicating mitovirus.	A A A TOTAL	_ 70 /= /-
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	2 . 論文標題	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	Investigation of host range of and host defense against a mitochondrially replicating	2019年
3 . 献証名		20.01
日報論文の001(デジタルオブジェクト識別子)   五読の有無 有		c = 12   2 / 2 / 2
指数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   1. 著名名	3.雜誌名	6.最初と最後の負
指数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   1. 著名名	J. Virol	e01503-18
10.1128/JVI.01503-18.   有	- · · · · · ·	30.000 .0
10.1128/JVI.01503-18.   有		
10.1128/JVI.01503-18.   有		
1 著名名 Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N. 1 著名名 Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N. 2 . 論文標題 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense. 3 . 機誌名 PMS 6 . 最初と最後の頁 2274-2281  掲載論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812407116 2 . 論文標題 Kondo, H., Hirota, K., Waruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N. 2 . 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes. 3 . 機誌名 Virus Research 4 . 巻 7-ブンアクセス  現職論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020 第 オープンアクセス	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 著名名 Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N. 1 著名名 Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N. 2 . 論文標題 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense. 3 . 機誌名 PMS 6 . 最初と最後の頁 2274-2281  掲載論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812407116 2 . 論文標題 Kondo, H., Hirota, K., Waruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N. 2 . 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes. 3 . 機誌名 Virus Research 4 . 巻 7-ブンアクセス  現職論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020 第 オープンアクセス	10 1128/ IVL 01503-18	右
3 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   3 - 2019年   1 - 著名名   2 - 高文標題   1 - 第名名   2 - 高文標題   2 - 高文標題   2 - 2019年   201	10.1125/011.01000 10.	F
3 - オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   3 - 2019年   1 - 著名名   2 - 高文標題   1 - 第名名   2 - 高文標題   2 - 高文標題   2 - 2019年   201		ranger 11 ++
1 ・著書名 Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N. 4 ・巻 116		
1 ・著書名 Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N. 4 ・巻 116	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N.  2. 油液状態 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense.  5. 発行年 2019年 PMAS PMAS 6. 最初と最後の頁 2274-2281  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas. 1812407116 2 1. 著名名 Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N. 2 2. 油液状態 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes. 3. 雑誌名 Virus Research Virus Research  1. 著名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2. 論文様態 Capstid structure of dsRNA fungal viruses. 3. 雑誌名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  3. 雑誌名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  4. 卷 2019年 2. 論文様態 Capstid structure of dsRNA fungal viruses. 3. 雑誌名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  4. 卷 2019年 3. 雑誌名 1. 表名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  1. 表名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2. 論文様態 Capstid structure of dsRNA fungal viruses. 3. 雑誌名 1. 表名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  1. 表名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2. 論文様態 Capstid structure of dsRNA fungal viruses. 3. 雑誌名 1. 元子ンアクセス 日際共著		W
Andika, I. B., Kondo, H., and Suzuki, N.  2. 油液状態 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense.  5. 発行年 2019年 PMAS PMAS 6. 最初と最後の頁 2274-2281  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas. 1812407116 2 1. 著名名 Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N. 2 2. 油液状態 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes. 3. 雑誌名 Virus Research Virus Research  1. 著名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2. 論文様態 Capstid structure of dsRNA fungal viruses. 3. 雑誌名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  3. 雑誌名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  4. 卷 2019年 2. 論文様態 Capstid structure of dsRNA fungal viruses. 3. 雑誌名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  4. 卷 2019年 3. 雑誌名 1. 表名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  1. 表名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2. 論文様態 Capstid structure of dsRNA fungal viruses. 3. 雑誌名 1. 表名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  1. 表名名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2. 論文様態 Capstid structure of dsRNA fungal viruses. 3. 雑誌名 1. 元子ンアクセス 日際共著	. ***	
2 . 論文標題 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense.  3 . 雑誌名 PNAS  4 . 最初と最後の頁 2274-2281  掲載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812407116  1 . 著者名 Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes. 3 . 雑誌名 Virus Research  4 . 巻 2019年  5 . 発行年 2019年  5 . 発行年 2019年  5 . 発行年 2019年  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  1 . 養行年 2019年  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  1 . 建設名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  1 . 建設名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  4 . 巻 10 . 銀砂と最後の頁 EASI  10 . 銀砂と最後の頁 EASI  10 . 3390/virus900/virus900481	1.者者名	4. 巻
2 . 論文標題 Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense.  3 . 雑誌名 PMAS  6 . 最初と最後の頁 2274-2281  掲載論文の201 (デジタルオプジェクト識別子) 10.1073/pnas. 1812407116  1 . 著者名 Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.  2 . 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect processes and processes are processed by virus Research  8 . 報誌名 Virus Research  8 . 差者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  1 . 差者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 A . 差 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  1 . 差者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  1 . 建設名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  4 . 差 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  4 . 差 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  4 . 差 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  4 . 差 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  5 . 発行年 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  6 . 最初と最後の頁 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.	Andika, L. B., Kondo, H., and Suzuki, N.	116
Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense.  3 . 雑誌名 PNAS  - 2274-2281  掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812407116  - 本ーブンアクセス  - 1 . 著者名 Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.  - 282  2 . 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes. 3 . 雑誌名 Virus Research  - 37-47  - 37-27アクセス  - 4 . 巻 - 37-27アクセス  - 4 . 巻 - 37-27アクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  - 5 . 発行年 - 2019年  - 3 . 雑誌名 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 - 2019年  - 4 . ブンアクセス  - 5 . 発行年 - 2019年  - 6 . 最初と最後の頁 - 37-47  - 37-47  - 37-47  - 4 . 巻 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 - 2019年  - 5 . 発行年 - 2019年  - 6 . 最初と最後の頁 - 5 . 発行年 - 2019年  - 7 . 328-48日  - 8 . 巻 - 9 . 日間際共著  - 9 . 日間による - 9		
Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense.  3 . 雑誌名 PNAS  - 2274-2281  掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812407116  - 本ーブンアクセス  - 1 . 著者名 Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.  - 282  2 . 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes. 3 . 雑誌名 Virus Research  - 37-47  - 37-27アクセス  - 4 . 巻 - 37-27アクセス  - 4 . 巻 - 37-27アクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  - 5 . 発行年 - 2019年  - 3 . 雑誌名 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 - 2019年  - 4 . ブンアクセス  - 5 . 発行年 - 2019年  - 6 . 最初と最後の頁 - 37-47  - 37-47  - 37-47  - 4 . 巻 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 - 2019年  - 5 . 発行年 - 2019年  - 6 . 最初と最後の頁 - 5 . 発行年 - 2019年  - 7 . 328-48日  - 8 . 巻 - 9 . 日間際共著  - 9 . 日間による - 9	2 *A-LIE DI	5 7×7- 6-
8 論論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	~	
8 論論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Dicer functions transcriptionally and post-transcriptionally in a multilayer antiviral defense	2019年
PNAS   2274-2281   2274-22	and the state of t	
PNAS   2274-2281   2274-22	0. 1844.0	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
掲載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812407116	3.雜誌名	6.最例と最後の貝
掲載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1812407116	PNAS	2274-2281
10.1073/pnas.1812407116 有		[
10.1073/pnas.1812407116 有		
10.1073/pnas.1812407116 有		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 262 2 . 論文標題 5 . 発行年 2019年 insect genomes. 3 . 雑誌名 Virus Research 4 . 巻 267 2 . 論文標題 6 . 最初と最後の頁 37-47 3 . 本 プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R. 4 . 巻 10 . 3390/v10090481 6 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2019年 insect genomes. 5 . 兼行年 2019年 insect genomes. 6 . 最初と最後の頁 37-47 3 . 種誌名 2 . 論文標題 6 . 最初と最後の頁 37-47 5 . 最初と最後の頁 37-47 5 . 最初と最後の頁 5 . 兼行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5 . 兼行年 2019年 7 . 第書名 2 . 論文標題 6 . 最初と最後の頁 5 . 第一プンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 . 第一プンアクセスではない。文はオープンアクセスが困難 7 . 第一プンアクセスではない。文はオープンアクセスが困難 8 . 第一プンアクセスが困難 9 . 第一プンアクセスを表示します。 5 . 第一行年 2019年 201	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 262 2 . 論文標題 5 . 発行年 2019年 insect genomes. 3 . 雑誌名 Virus Research 4 . 巻 267 2 . 論文標題 6 . 最初と最後の頁 37-47 3 . 本 プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R. 4 . 巻 10 . 3390/v10090481 6 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2019年 insect genomes. 5 . 兼行年 2019年 insect genomes. 6 . 最初と最後の頁 37-47 3 . 種誌名 2 . 論文標題 6 . 最初と最後の頁 37-47 5 . 最初と最後の頁 37-47 5 . 最初と最後の頁 5 . 兼行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 5 . 兼行年 2019年 7 . 第書名 2 . 論文標題 6 . 最初と最後の頁 5 . 第一プンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 7 . 第一プンアクセスではない。文はオープンアクセスが困難 7 . 第一プンアクセスではない。文はオープンアクセスが困難 8 . 第一プンアクセスが困難 9 . 第一プンアクセスを表示します。 5 . 第一行年 2019年 201	10 1073/pnas 1812407116	右
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   -	10.1073/pilas.101240/110	H
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   -		
1. 著者名   Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.   262   22   26	オープンアクセス	国際共者
1. 著者名   Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.   262   22   26	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが闲難	_
Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.       262         2. 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 Virus Research       6. 最初と最後の頁 37-47         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020       重際共著 4. 巻 10         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       4. 巻 10         2. 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 Viruses       6. 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	S S S S C S C C C C C C C C C C C C C C	
Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.       262         2. 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 Virus Research       6. 最初と最後の頁 37-47         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020       重際共著 4. 巻 10         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       4. 巻 10         2. 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 Viruses       6. 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	#15	
2. 論文標題	1.著者名	4.巻
2. 論文標題		
A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3 . 雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  有  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 10  5 . 発行年 2019年  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 E481  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481  有  オープンアクセス  国際共著	Kondo H. Hirota K. Maruyama K. Andika I. B. and Suzuki N	262
A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3 . 雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  有  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 10  5 . 発行年 2019年  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 E481  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481  有  オープンアクセス  国際共著	Kondo, H., Hirota, K., Maruyama, K., Andika, I. B., and Suzuki, N.	262
insect genomes.  3 . 雑誌名 Virus Research  信. 最初と最後の頁 37-47  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オーブンアクセス  オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  5 . 発行年 2019年  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 E481  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481  カーブンアクセス  国際共著		
insect genomes.  3 . 雑誌名 Virus Research  信. 最初と最後の頁 37-47  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オーブンアクセス  オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  5 . 発行年 2019年  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 E481  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481  カーブンアクセス  国際共著		
3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁 37-47         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 -         1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       4 . 巻 10         2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 Viruses       6 . 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題	5.発行年
Virus Research   37-47   37-47     37-47	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into	5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.	5.発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.	5.発行年 2019年
10.1016/j.virusres.2017.11.020 有	<ul> <li>2.論文標題</li> <li>A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.</li> <li>3.雑誌名</li> </ul>	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1016/j.virusres.2017.11.020 有	<ul> <li>2.論文標題</li> <li>A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.</li> <li>3.雑誌名</li> </ul>	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1016/j.virusres.2017.11.020 有	<ul> <li>2.論文標題</li> <li>A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.</li> <li>3.雑誌名</li> </ul>	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.1016/j.virusres.2017.11.020 有	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47
オープンアクセス	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       4 . 巻 10         2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 Viruses       6 . 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	<ul> <li>2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.</li> <li>3.雑誌名 Virus Research</li> </ul>	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       4 . 巻 10         2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 Viruses       6 . 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	<ul> <li>2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.</li> <li>3.雑誌名 Virus Research</li> </ul>	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無
1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       4 . 巻 10         2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 Viruses       6 . 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有
1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       4 . 巻 10         2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 Viruses       6 . 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有
Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       10         2. 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 Viruses       6. 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有
Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       10         2. 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 Viruses       6. 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有
Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.       10         2. 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 Viruses       6. 最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著
2.論文標題 <ul> <li>Capsid structure of dsRNA fungal viruses.</li> <li>3.雑誌名</li></ul>	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著
Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       2019年         3.雑誌名 Viruses       6.最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著
Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       2019年         3.雑誌名 Viruses       6.最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著
Capsid structure of dsRNA fungal viruses.       2019年         3.雑誌名 Viruses       6.最初と最後の頁 E481         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v10090481       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         どiruses       E481         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         10.3390/v10090481       有         オープンアクセス       国際共著	2. 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3. 雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10
Viruses       E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.3390/v10090481       有         オープンアクセス       国際共著	2. 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3. 雑誌名 Virus Research  掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10
Viruses       E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.3390/v10090481       有         オープンアクセス       国際共著	2. 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3. 雑誌名 Virus Research  掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10
Viruses       E481         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.3390/v10090481       有         オープンアクセス       国際共著	2. 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3. 雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2. 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2.論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年
10.3390/v10090481 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2.論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3.雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.3390/v10090481 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2.論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3.雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.3390/v10090481 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2.論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3.雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
10.3390/v10090481 有 オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2.論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3.雑誌名 Viruses	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 E481
オープンアクセス 国際共著	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2.論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3.雑誌名 Viruses	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 E481
	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2.論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3.雑誌名 Viruses	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 E481
	2.論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3.雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2.論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3.雑誌名 Viruses	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 E481
	2 . 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3 . 雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 E481
カーノファン にんこしている (おた、ての)たてのる)   試当りる	2 . 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3 . 雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 E481
	2 . 論文標題 A novel insect-infecting virga/nege-like virus group and its pervasive endogenization into insect genomes.  3 . 雑誌名 Virus Research  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.virusres.2017.11.020  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Luque, D., Mata, C. P., Ghabrial, S. A., Suzuki, N., and Caston, J. R.  2 . 論文標題 Capsid structure of dsRNA fungal viruses.  3 . 雑誌名 Viruses  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10090481  オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 37-47 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 10 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 E481 査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
Sato, Y., Caston, J., and Suzuki, N.	33
2 . 論文標題	5.発行年
The biological attributes, genome architecture and packaging of diverse multi-component fungal	2019年
viruses.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Current Opinion in Virology	55-65
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1016/j.coviro.2018.07.009	有
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンアクセスにはない、又はオープンアクセスが困無	成当りる
	4 . 巻
—	_
Dietzgen, R, Freitas-Ast, J., Chabi-Jesus, C., Ramos-Gonzalez, P.L., Goodin, M., Kondo, H., Tassi, A.D., Kitajima, E.W.	102
2.論文標題	5 . 発行年
Dichorhaviruses in their host plants and mite vectors.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Advances in Virus Research	119-148
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/bs.aivir.2018.06.001	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
カープンティアとはない。 人はカープンティとスカ 四衆	N = 9 &
1 . 著者名	4 . 巻
—	_
Kanai Y, Kawagishi T, Nouda R, Onishi M, Pannacha P, Nurdin J, Nomura K, Matsuura Y, Kobayashi T.	93
2.論文標題	5 . 発行年
Development of stable rotavirus reporter expression	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	e01774-18
J Virol	e01774-18
担制会やのPOL(ごごクリナイン・カー神叫フ)	本芸の左伽
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01774-18	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Kanai Y, Kawagishi T, Sakai Y, Nouda R, Shimojima M, Saijo M, Matsuura Y, Kobayashi T.	印刷中
2.論文標題	5 . 発行年
Cell-cell fusion induced by reovirus FAST proteins enhances replication and pathogenicity of non-enveloped dsRNA viruses	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plos Pathogens	印刷中
担新会立のDOL / ニングカルナインジェカトがロフト	木芸の左毎
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1007675	査読の有無 有
10.1371/journal.ppat.1007675	有

1 . 著者名 Kusakabe S, Suzuki T, Sugiyama Y, Haga S, Horike K, Tokunaga M, Hirano J, He Z, Chen D, Ishiga H, Komoda Y, Ono C, Fukuhara T, Yamamoto M, Ikawa M, Satoh T, Akira S, Tanaka T, Moriishi K, Fukai M, Taketomi A, Yoshio S, Kanto T, Suzuki T, Okamoto T and Matsuura Y	4.巻 93
2.論文標題 USP15 participates in HCV propagation through the regulation of viral RNA translation and lipid droplet formation.	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
JVirol	e01708-18
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01708-18	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 Mori H, Fukuhara T, Ono C, Tamura T, Sato A, Fauzyah Y, Wada M, Okamoto T, Noda T, Yoshimori T, Matsuura Y	4.巻 99
2.論文標題	5 . 発行年
Induction of selective autophagy in cells replicating hepatitis C virus genome.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Gen Virol	1643-57
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1099/jgv.0.001161	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Suzuki T, Okamoto T, Katoh H, Sugiyama Y, Kusakabe S, Tokunaga M, Hirano J, Miyata Y, Fukuhara T, Ikawa M, Satoh T, Yoshio S, Suzuki R, Saijo M, Huang DCS, Kanto T, Akira S Matsuura Y	4.巻 14
2.論文標題	5 . 発行年
Infection with flaviviruses requires BCLXL for cell survival.	2018年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
PLoS Pathog	e1007299
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.ppat.1007299	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名 Tamura T, Fukuhara T, Uchida T, Ono C, Mori H, Sato A, Fauzyah Y, Okamoto T, Kurosu T, Setoh YX, Imamura M, Tautz N, Sakoda Y, Khromykh AA, Chayama K Matsuura Y	<b>4</b> .巻 92
2.論文標題	5 . 発行年
Characterization of recombinant Flaviviridae viruses possessing a small reporter tag.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Virol	e01582-17
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1128/JVI.01582-17	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1.著者名   Torii S, Orba Y, Hang'ombe BM, Mweene AS, Wada Y, Anindita PD, Phongphaew W, Qiu Y, Kajihara M,   Mori-Kajihara A, Eto Y, Harima H, Sasaki M, Carr M, Hall WW, Eshita Y, Abe T, Sawa H.	4.巻 250
2. 論文標題 Discovery of Mwinilunga alphavirus: A novel alphavirus in Culex mosquitoes in Zambia.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Virus Res	6.最初と最後の頁 31-36
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.virusres.2018.04.005.	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Qiu Y, Kaneko C, Kajihara M, Ngonda S, Simulundu E, Muleya W, Thu MJ, Hang'ombe MB, Katakura K, Takada A, Sawa H, Simuunza M, Nakao R	4.巻 9(4)
2. 論文標題 Tick-borne haemoparasites and Anaplasmataceae in domestic dogs in Zambia.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Ticks and Tick-borne Diseases	6.最初と最後の頁 988-995
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ttbdis.2018.03.025	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1.著者名 Anindita PD, Sasaki M, Okada K, Ito N, Sugiyama M, Saito-Tarashima N, Minakawa N, Shuto S, Otsuguro S, Ichikawa S, Matsuda A, Maenaka K, Orba Y, Sawa H	4.巻 154
2.論文標題 Ribavirin-related compounds exert in vitro inhibitory effects toward rabies virus.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Antiviral Research	6.最初と最後の頁 1-9
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.1016/j.antiviral.2018.03.011	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Matsuno K, Kajihara M, Nakao R, Nao N, Mori-Kajihara A, Muramatsu M, Qiu Y, Torii S, Igarashi M, Kasajima N, Mizuma K, Yoshii K, Sawa H, Sugimoto C, Takada A, Ebihara H	4.巻 3(3)
2.論文標題 The unique phylogenetic 1 position of a novel tick-borne phlebovirus ensures an ixodid origin of the genus Phlebovirus.	5.発行年 2018年
3.雑誌名 mSphere	6.最初と最後の頁 pii: e00239-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/mSphere.00239-18	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1 #44	4 <del>Y</del>
1 . 著者名 Orba Y, Hangombe BM, Mweene AS, Wada Y, Anindita PD, Phongphaew W, Qiu Y, Kajihara M, Mori-	4.巻   65(4)
Kajihara A, Eto Y, Sasaki M, Hall WW, Eshita Y, Sawa H.	,
2.論文標題	5 . 発行年
First isolation of West Nile virus in Zambia from mosquitoes.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	933-938
Transboundry Emerging Disease	953-956
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/tbed.12888	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
	4·술   63
Sasaki M, Kajihara M, Changula K, Mori-Kajihara A, Ogawa H, Hang'ombe BM, Mweene AS, Simuunza M, Yoshida R, Carr M, Orba Y, Takada A, Sawa H.	63
2 . 論文標題	5.発行年
Identification of group A rotaviruses from Zambian fruit bats provides evidence for long-	2018年
distance dispersal events in Africa.  3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Infect Genet Evol	104-109
THIOST COMOT LYON	104 100
担熱公立のDOL/ごごクリナブご。 カト逆叩フト	本柱の左無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.meegid.2018.05.016.	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
***	T w
1 . 著者名	4 . 巻
Matsuno K, Nonoue N, Noda A, Kasajima N, Noguchi K, Takano A, Shimoda H, Orba Y, Muramatsu M, Sakoda Y, Takada A, Minami S, Une Y, Morikawa S, Maeda K.	24(9)
2.論文標題	5.発行年
Fatal tickborne phlebovirus infection in captive cheetahs, Japan.	2018年
2 hbtt 47	て 目知に目後の百
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Emerg Infect Dis	1726-1729
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3201/eid2409.171667	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	l 4 <del>**</del>
	4.巻
Fujiki J, Nobori H, Sato A, Sasaki M, Carr M, Hall WW, Orba Y, Sawa H	71(6)
2.論文標題	5.発行年
Single amino acid mutation in dengue virus NS4B protein has opposing effects on viral	2018年
proliferation in mammalian and mosquito cells.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Journal of Infectious Diseases	448-454
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	<u> </u>
10.7883/yoken.JJID.2018.107	有
ナーゴンマクセフ	国際共革
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著   該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	談出りる

1 . 著者名 Torii S, Matsuno K, Qiu Y, Mori-Kajihara A, Kajihara M, Nakao R, Nao N, Okazaki K, Sashika M,	<b>4</b> .巻 10(2)
Hiono T, Okamatsu M, Sakoda Y, Ebihara H, Takada A, Sawa H 2.論文標題	5 . 発行年
Infection of newly identified phleboviruses in ticks and wild animals in Hokkaido, Japan indicating tick-borne life cycles.	2019年
3.雑誌名 Ticks and Tick-borne Diseases	6 . 最初と最後の頁 328-335
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.ttbdis.2018.11.012	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1 . 著者名 Salim B, Amin M, Igarashi M, Ito K, Jongejan F, Katakura K, Sugimoto C, Nakao R.	4 . 巻 683
2 . 論文標題	5 . 発行年
Recombination and purifying and balancing selection determine the evolution of major antigenic protein 1 (map 1) family genes in Ehrlichia ruminantium.	2019年
3.雑誌名 Gene	6.最初と最後の頁 216-224
Gene	210-224
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.gene.2018.10.028	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4.巻
Thu MJ, Qiu Y, Matsuno K, Kajihara M, Mori-Kajihara A, Omori R, Monma N, Chiba K, Seto J, Gokuden M, Andoh M, Oosako H, Katakura K, Takada A, Sugimoto C, Isoda N, Nakao R	9(1)
2.論文標題 Diversity of spotted fever group rickettsiae and their association with host ticks in Japan	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	1500
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1038/s41598-018-37836-5	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1. 著者名 M. Iwamoto, W. Saso, R. Sugiyama, K. Ishii, M. Ohki, S. Nagamori, R. Suzuki, H. Aizaki, A. Ryo, J-H Yun, S-Y Park, N. Ohtani, M. Muramatsu, S. Iwami, Y. Tanaka, C. Sureau, T. Wakita and K. Watashi	4.巻 116
2 . 論文標題 Epidermal growth factor receptor is a host entry cofactor triggering hepatitis B virus internalization	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proc. Natl. Acad. Sci. USA	8487-8492
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1073/pnas.1811064116	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

1.著者名	4 . 巻
K. Kitagawa, T. Kuniya, S. Nakaoka, Y. Asai, K. Watashi and S. Iwami	81
N. Mitagana, T. Marrya, G. Maradha, T. Marrya, M. Matagin and G. Maini	· .
A A NEWS	_ 70 /
2.論文標題	5.発行年
Mathematical analysis of a transformed ODE from a PDE multiscale model of hepatitis C virus	2019年
infection	
	て 目知し目然の声
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Bulletin of Mathematical Biology	1427-1441
•	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左仰
	査読の有無
10.1007/s11538-018-00564-y	有
オープンアクヤス	国際共著
	国际六省
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
SK. Behera, Y. Morioka, T. Ikeda, T. Doi, JV. Ratnam, M. Nonaka, A. Tsuzuki, C. Imai, Y. Kim,	27
M. Hashizume, S. Iwami, P. Kruger, R. Maharaj, N. Sweijd and N. Minakawa	
2.論文標題	5 . 発行年
·····	2018年
Malaria incidences in South Africa linked to a climate mode in southwestern Indian Ocean	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Environmental Development	47-57
Environmental beveropment	41-01
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.envdev.2018.07.002	有
10.1016/j.envdev.2016.07.002	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	#A 7 0
. ##.6	. 24
1.著者名	4.巻
Y. Ito, A. Tauzin, A. Remion, K. Ejima, F. Mammano and S. Iwami	455
2. 经分换明	c
2 . 論文標題	5 . 発行年
2.論文標題 Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free	
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free	
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection	2018年
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection 3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection	2018年
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection 3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection 3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology	2018年 6 . 最初と最後の頁 39-46
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection 3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 39-46 査読の有無
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	2018年 6 . 最初と最後の頁 39-46
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection 3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 39-46 査読の有無
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025	2018年 6.最初と最後の頁 39-46 査読の有無 有
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025	2018年 6.最初と最後の頁 39-46 査読の有無 有
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025	2018年 6.最初と最後の頁 39-46 査読の有無 有
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025	2018年 6.最初と最後の頁 39-46 査読の有無 有
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Iwanami and S. Iwami	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. Iwanami and S. Iwami	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2. 論文標題	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Iwanami and S. Iwami	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2. 論文標題 Quantitative immunology by data analysis using mathematical models	2018年 6.最初と最後の頁 39-46 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 2 5.発行年 2019年
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2.論文標題	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2.論文標題 Quantitative immunology by data analysis using mathematical models  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2.論文標題 Quantitative immunology by data analysis using mathematical models	2018年 6.最初と最後の頁 39-46 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 2 5.発行年 2019年
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2.論文標題 Quantitative immunology by data analysis using mathematical models  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 984-992
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 984-992
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2 . 論文標題 Quantitative immunology by data analysis using mathematical models  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Bioinformatics and Computational Biology	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 984-992  査読の有無
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 984-992
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2 . 論文標題 Quantitative immunology by data analysis using mathematical models  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Bioinformatics and Computational Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-809633-8.20250-1	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 984-992  査読の有無 有
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3 . 雑誌名     Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     S. Iwanami and S. Iwami  2 . 論文標題     Quantitative immunology by data analysis using mathematical models  3 . 雑誌名     Encyclopedia of Bioinformatics and Computational Biology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 984-992  査読の有無
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection  3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2 . 論文標題 Quantitative immunology by data analysis using mathematical models  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Bioinformatics and Computational Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-809633-8.20250-1  オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 984-992  査読の有無 有
Dynamics of HIV-1 coinfection in different susceptible target cell populations during cell-free infection 3 . 雑誌名 Journal of Theoretical Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.06.025  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 S. Iwanami and S. Iwami  2 . 論文標題 Quantitative immunology by data analysis using mathematical models  3 . 雑誌名 Encyclopedia of Bioinformatics and Computational Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/B978-0-12-809633-8.20250-1	2018年 6.最初と最後の頁 39-46  査読の有無 有  国際共著 該当する  4.巻 2  5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 984-992  査読の有無 有

1.著者名	4.巻
K. Kitagawa, S. Nakaoka, Y. Asai, K. Watashi, and S. Iwami	448
2 . 論文標題 A PDE multiscale model of hepatitis C virus infection can be transformed to a system of ODEs	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6.最初と最後の頁 80-85
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2018.04.006	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 ++++	1 4 24
1 . 著者名 Urayama S, Takaki Y, Nunoura T, Miyamoto N	4.巻 33
2.論文標題 Complete genome sequence of a novel RNA virus identified from a deep-sea animal, Osedax japonicus	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Microbes and Environments	6 . 最初と最後の頁 446-449
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1264/jsme2.ME18089	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
4 *** D	T 4 344
1 . 著者名 Urayama S, Takaki Y, Nishi S, Yoshida-Takashima Y, Deguchi S, Takai K, Nunoura T.	4 . 巻
2 . 論文標題 Unveiling the RNA virosphere associated with marine microorganisms	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Molecular Ecology Resources	6.最初と最後の頁 1444-1455
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/1755-0998.12936	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 木村圭,外丸裕司.	4 . 巻 66
2. 論文標題 藻類ウイルスの多様性と珪藻ウイルス研究の現状.	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 藻類	6.最初と最後の頁 118-124
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1. 音音名 Younghat N, Towaru Y, Fukuda H, Nagata T. 2. 前大神理 2018年 3. 総証名 Front War Sci	1 <del>**</del>	4 . 巻
2 . 論文理題 Aggregate formation during the viral lysis of a marine diaton. 2018年 2018年 2018年 2018年 3 . 旭起名	1. 著者名	_
Aggregate formation during the viral lysis of a marine diaton.  3 . 雑誌名 Front War Sci  超額音文のCOI(デジタルオプジェクト識別子)	tamada t, Tomatu t, Fukuda n, Nagata T.	5
Aggregate formation during the viral lysis of a marine diaton.  3 . 雑誌名 Front War Sci  超額音文のCOI(デジタルオプジェクト識別子)	2 - 50-4-1-161日	F 35/=/=
3. 雑誌名   6. 最初と最後の頁   167-173		
Front Mar Sci	Aggregate formation during the viral lysis of a marine diatom.	2018年
Front Mar Sci	C. ABAL G.	c =
機能論文のDDI(デジタルオプジェクト機別子) 10.3389/fmars.2018.00167 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K. 2. 論文機體 Visualization of a dinof lagel late-infecting virus HcDNAV and its infection process. 3. 練誌名 Viruses 5. 飛行年 2018年 2018年 3. 練誌名 Viruses 10.3390/v10100554 4. 巻 10.3390/v10100554 5. 第行年 2018年 4. 巻 10.3390/v10100554 5. 第行年 2018年 5. 飛行年 2018年 5. 飛行年 2018年 4. 巻 10.3390/v10100554 5. 第行年 2018年 6. 最初と最後の頁 554-560 5. 第行年 2018年 7. 第名名 Viruses 2. 論文程體 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-onics analysis in a coastal region of Japan. 3. 解誌名 1. 著名名 1. 第4名 2. 論文程體 Xanthoronas citri jumbo phage XacXI exhibits a wide host range and high complement of tRNA 2. 論文體證 Xanthoronas citri jumbo phage XacXI exhibits a wide host range and high complement of tRNA 2. 第4名 2. 論文體證 Xanthoronas citri jumbo phage XacXI exhibits a wide host range and high complement of tRNA 3. 就誌名 3. 就誌名 5. 発行年 2018年 2018		
1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2. 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3. 機誌名 Viruses  4. 巻 10  5. 発行年 2018年 2018年 3. 機誌名 Viruses  4. 巻 10  1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2. 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  5. 発行年 2018年 2018年 2018年 4. 巻 10.3390/v10100554  7 ープンアクセス  1 . 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamanoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ggata H. 2. 論文程題 Locality and Giel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3. 被話器 1. 著者名 10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  1. 著者名 Yoshikama G, Askora A, Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3. 機誌名 Sci Rep 4. 巻 5. 発行年 2018年 2018年 2018年 6. 最初と最後の頁 4. 巻 8 1. 著者名 Yoshikama G, Askora A, Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. 3. 機誌名 Sci Rep 4. 月 日本の子屋 2018年 20	Front Mar Sci	167-173
1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2. 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3. 機誌名 Viruses  4. 巻 10  5. 発行年 2018年 2018年 3. 機誌名 Viruses  4. 巻 10  1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2. 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  5. 発行年 2018年 2018年 2018年 4. 巻 10.3390/v10100554  7 ープンアクセス  1 . 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamanoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ggata H. 2. 論文程題 Locality and Giel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3. 被話器 1. 著者名 10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  1. 著者名 Yoshikama G, Askora A, Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3. 機誌名 Sci Rep 4. 巻 5. 発行年 2018年 2018年 2018年 6. 最初と最後の頁 4. 巻 8 1. 著者名 Yoshikama G, Askora A, Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. 3. 機誌名 Sci Rep 4. 月 日本の子屋 2018年 20		
1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2. 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3. 機誌名 Viruses  4. 巻 10  5. 発行年 2018年 2018年 3. 機誌名 Viruses  4. 巻 10  1. 著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2. 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  5. 発行年 2018年 2018年 2018年 4. 巻 10.3390/v10100554  7 ープンアクセス  1 . 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamanoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ggata H. 2. 論文程題 Locality and Giel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3. 被話器 1. 著者名 10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  1. 著者名 Yoshikama G, Askora A, Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3. 機誌名 Sci Rep 4. 巻 5. 発行年 2018年 2018年 2018年 6. 最初と最後の頁 4. 巻 8 1. 著者名 Yoshikama G, Askora A, Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. 3. 機誌名 Sci Rep 4. 月 日本の子屋 2018年 20		
### ### ### ### #####################	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 . 著名名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2 . 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3 . 雑誌名 Viruses  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 10 5. 発行年 2018年 2018年 3 . 雑誌名 Viruses  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 7 - ブンアクセス  1 . 著名名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2 . 論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3 . 雑誌名 ISBE J  1 . 著名名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2 . 論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  5 . 発行年 2018年 2018年 2018年 3 . 雑誌名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Wathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. 3 . 雑誌名 Sci fiep  4 . 巻 8 . 発行年 2018年 2018年 2018年 2018年 3 . 雑誌名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Wathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  4 . 巻 8 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 8 9 .	10.3389/fmars.2018.00167	有
1 . 著名名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2 . 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3 . 雑誌名 Viruses  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 10 5. 発行年 2018年 2018年 3 . 雑誌名 Viruses  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 巻 7 - ブンアクセス  1 . 著名名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2 . 論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3 . 雑誌名 ISBE J  1 . 著名名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2 . 論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  5 . 発行年 2018年 2018年 2018年 3 . 雑誌名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Wathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. 3 . 雑誌名 Sci fiep  4 . 巻 8 . 発行年 2018年 2018年 2018年 2018年 3 . 雑誌名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Wathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  4 . 巻 8 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 条 9 . 8 9 .		
1 ・著者名 Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2 ・論文標題 Visualization of a dinof lagel late-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3 ・雑誌名 Viruses  6 ・最初と最後の頁 554-560  18觀論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10100554  オープンアクセス  1 ・著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2 ・論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-onics analysis in a coastal region of Japan.  3 ・雑誌名 ISME J  1 ・著者名 ISME J  1 ・著者名 Yoshida T, Aksora A., Blanc-Nathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yanada T.  2 ・論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA Sci Rep  4 ・登 5 ・発行年 2016年 2016年 2016年 2016年 2164 2 ・ 意文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA Sci Rep  4 ・登 5 ・発行年 2016年 2016	オープンアクセス	国際共著
Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2 . 論文様題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3 . 雑誌名 Viruses  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 最初と最後の頁 554-560    描載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v10100554	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2 . 論文様題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3 . 雑誌名 Viruses  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 最初と最後の頁 554-560    描載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v10100554		
Takano Y, Tomaru Y, Nagasaki K.  2 . 論文様題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3 . 雑誌名 Viruses  3 . 雑誌名 Viruses  4 . 最初と最後の頁 554-560    描載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/v10100554	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 Visualization of a dinoflagellate-infecting virus HcDNAV and its infection process.  3 . 雑誌名 Viruses  6 . 最初と最後の頁 554-560  18觀論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10100554  1 . 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Cogata H.  2 . 論文構題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3 . 雑誌名 ISME J  8 表現の有無 10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  1 . 著者名 Yoshikawa G, Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文構題 Aフンアクセス  1 . 著者名 Yoshikawa G, Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文構理 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名 Sci Rep  1 . 是初と最後の頁 4486-4495  2 . 語の有無 10.1038/s41598-018-22239-3  2 . 語の有無 10.1038/s41598-018-22239-3		10
Visualization of a dinoflage late-infecting virus HcDNAV and its infection process.   2018年   2018年   3. 職誌名   Viruses   6. 最初と最後の頁   554-560	Tanare 1, Tomare 1, Tagacan 1	
Visualization of a dinoflage late-infecting virus HcDNAV and its infection process.   2018年   2018年   3. 職誌名   Viruses   6. 最初と最後の頁   554-560	2. 論文標題	5、発行年
3 . 雑誌名 Viruses 6 . 最初と最後の頁 554-560	· may 4 1000-	
#報酬論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10100554	visualization of a uniority effacting virus hobban and its infection process.	2010-1
#報酬論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10100554	3、 雑誌名	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/v10100554		
1 . 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H. 2 . 論文標題 5 . 発行年 2018年 1287-1295 1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. 3 . 雜誌名 Sci Rep 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1287-1295 1 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1287-1295 1 . 養養名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 3 . 雜誌名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 4 . 養 8	VIIUSES	334-300
1 . 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H. 2 . 論文標題 5 . 発行年 2018年 1287-1295 1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. 3 . 雜誌名 Sci Rep 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1287-1295 1 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1287-1295 1 . 養養名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 3 . 雜誌名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 4 . 養 8		
1 . 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H. 2 . 論文標題 5 . 発行年 2018年 1287-1295 1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. 3 . 雜誌名 Sci Rep 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1287-1295 1 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1287-1295 1 . 養養名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 3 . 雜誌名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. 4 . 養 8	掲載絵立のDOL(デジタルオブジェクト辨別ス)	本芸の右無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H. 2 . 論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3 . 雑誌名 ISME J  指載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. 3 . 雑誌名 Sci Rep  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3  有 オープンアクセス		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2. 論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3. 雑誌名 ISME J  4. 巻 2018年  10.1038/s41396-018-0052-x  有  1. 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3. 雑誌名 Sci Rep  超載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 6. 最初と最後の頁 4486-4495  超載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 1. 音話の有無 2018年 20	10.3390/V10100554	月
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2. 論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3. 雑誌名 ISME J  4. 巻 2018年  10.1038/s41396-018-0052-x  有  1. 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3. 雑誌名 Sci Rep  超載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 6. 最初と最後の頁 4486-4495  超載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 1. 音話の有無 2018年 20	+ -f\.74+17	<b>国際共</b> 茶
1. 著者名 Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2. 論文標題 Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3. 雑誌名 ISME J  編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA geness. 3. 雑誌名 Sci Rep  編載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3  有  オープンアクセス  国際共著	=	国際共者 
Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp P, Sako Y, Goto S, Ogata H.  2		T
P, Sako Y, Goto S, Ogata H.       2 . 論文標題		
2 . 論文標題       5 . 発行年         Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.       6 . 最初と最後の頁         3 . 雑誌名 ISME J       6 . 最初と最後の頁         10.1038/s41396-018-0052-x       査読の有無         オープンアクセス       国際共著         オープンアクセスとしている(また、その予定である)       基         1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.       4 . 巻         2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 Sci Rep       6 . 最初と最後の頁 4486-4495         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	Yoshida T, Nishimura Y, Watai H, Haruki N, Morimoto D, Kaneko H, Honda T, Yamamoto K, Hingamp	12
Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics analysis in a coastal region of Japan.  3 . 雑誌名 ISME J 6 . 最初と最後の頁 1287-1295  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41396-018-0052-x 有	P, Sako Y, Goto S, Ogata H.	
analysis in a coastal region of Japan.  3 . 雑誌名 ISME J 6 . 最初と最後の頁 1287-1295  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2.論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 ISME J 6 . 最初と最後の頁 1287-1295	Locality and diel cycling of viral production revealed by a 24 h time course cross-omics	2018年
3 . 雑誌名 ISME J 6 . 最初と最後の頁 1287-1295	analysis in a coastal region of Japan.	
ISME J   1287-1295   1287-		6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名 Sci Rep  お . 最初と最後の頁 4486-4495  本 . 表示の有無 10.1038/s41598-018-22239-3  本 . オープンアクセス  国際共著		
10.1038/s41396-018-0052-x 有	1300	
10.1038/s41396-018-0052-x 有		İ
10.1038/s41396-018-0052-x 有		
オープンアクセス 国際共著 おープンアクセスとしている(また、その予定である) 接当する は、著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T. は 発 8 と 1. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. は 2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes. は 2018年	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1.著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2.論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3.雑誌名 Sci Rep  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3  有  オープンアクセス  国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1.著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2.論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3.雑誌名 Sci Rep  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3  有  オープンアクセス  国際共著		
1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名 Sci Rep  「日本記録を表現している。」 「おいましては、「おいましては、「おいましては、「おいましては、「おいましては、「おいましては、」」 「おいましては、「おいましては、「おいましては、」」 「おいましては、「おいましては、「おいましては、「おいましては、」」 「おいましては、「おいましては、「おいましては、」」 「おいましては、「おいましては、「おいましては、「おいましては、「おいましては、「ないましては、」」 「ないましては、これでは、「ないましては、「ないましては、これでは、「ないましては、「ないましては、「ないましては、これでは	10.1038/s41396-018-0052-x	有
Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2.論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3.雑誌名 Sci Rep  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3  有  オープンアクセス  Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  8  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 4486-4495	10.1038/s41396-018-0052-x オープンアクセス	有 国際共著
Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2.論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3.雑誌名 Sci Rep  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3  有  オープンアクセス  Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  8  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 4486-4495	10.1038/s41396-018-0052-x オープンアクセス	有 国際共著
2. 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.       5.発行年 2018年         3. 雑誌名 Sci Rep       6.最初と最後の頁 4486-4495         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 該当する
Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.       2018年         3.雑誌名 Sci Rep       6.最初と最後の頁 4486-4495         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 該当する 4.巻
Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.       2018年         3.雑誌名 Sci Rep       6.最初と最後の頁 4486-4495         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 該当する 4.巻
genes.信息3.雑誌名 Sci Rep6.最初と最後の頁 4486-4495掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3査読の有無 有オープンアクセス国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8
3.雑誌名 Sci Rep6.最初と最後の頁 4486-4495掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3査読の有無 有オープンアクセス国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名   Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年
Sci Rep       4486-4495         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1038/s41598-018-22239-3       有         オープンアクセス       国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3 オープンアクセス 国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名   Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題   Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年 2018年
10.1038/s41598-018-22239-3     有       オープンアクセス     国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名   Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題   Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1038/s41598-018-22239-3     有       オープンアクセス     国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名   Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題   Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1038/s41598-018-22239-3     有       オープンアクセス     国際共著	10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名   Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題   Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名 Sci Rep	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 4486-4495
	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名 Sci Rep	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 4486-4495
	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名 Sci Rep	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 4486-4495
	オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2 . 論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3 . 雑誌名 Sci Rep	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 4486-4495
	10.1038/s41396-018-0052-x  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Yoshikawa G., Askora A., Blanc-Mathieu R, Kawasaki T, Li Y, Nakano M, Ogata H, Yamada T.  2.論文標題 Xanthomonas citri jumbo phage XacN1 exhibits a wide host range and high complement of tRNA genes.  3.雑誌名 Sci Rep  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-22239-3	有 国際共著 該当する 4 . 巻 8 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 4486-4495 査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
Mihara T, Koyano H, Hingamp P, Grimsley N, Goto S , Ogata H.	33
2.論文標題	5.発行年
Taxon richness of Megaviridae exceeds those of Bacteria and Archaea in the ocean.	2018年
2	C 877 874 0 E
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microbes Environ	162-171
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 │ 査読の有無
10.1038/s41598-018-22239-3	有
10.1030/541390-010-22239-3	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
	T
1.著者名	4 . 巻
Ogata H.	33
2.論文標題	5.発行年
Habitat Alterations by Viruses: Strategies by Tupanviruses and Others.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Microbes Environ	117-119
WIGIODGS ENVIRON	117-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1264/jsme2.ME3302rh	有
オープンアクセス	(字)(数 + + 苯
· · · · · · = · ·	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
—	10
Li Y, Hingamp P, Watai H, Endo H, Yoshida T, Ogata H.	10
2.論文標題	5.発行年
Degenerate PCR primers to reveal the diversity of giant viruses in coastal waters.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Viruses	496-511
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
均取3m20001(デンタルオフシェクト減加于) 10.3390/v10090496	
10.3390/710090496	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
Roux S, Adriaenssens EM, Dutilh BE, Koonin EV, et al	37
2	F 発行生
2 . 論文標題	5.発行年
Minimum Information about Uncultivated Virus Genomes (MIUViG): a community consensus on	2019年
standards and best practices for describing genome sequences from uncultivated viruses.  3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nat Biotechnol	29-37
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/nbt.4306	有
ナーナンフトトフ	
オープンアクセス オープンアクセストーズいる (また) そのそまでもる )	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する

1. 著者名 Yoshikawa G, Blanc-Mathieu R, Song C, Kayama Y, Mochizuki T, Murata K, Ogata H, Takemura M.	4.巻 93
2.論文標題	5 . 発行年
Medusavirus, a novel large DNA virus discovered from hot spring water.	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Virol	e02130-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u>   査読の有無
10.1128/JVI.02130-18	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	<u> </u>
学会発表〕 計0件	
図書〕 計3件	
1. 著者名	4.発行年
高橋英樹(真山 滋志・土佐 幸雄 (編集)	2020年
2.出版社	5.総ページ数

1 . 著者名 高橋英樹 ( 真山 滋志・土佐 幸雄 (編集)	4 . 発行年 2020年
2.出版社 文英堂	5.総ページ数 360
3 . 書名 植物病理学 第2版:「抵抗性発現に関わる遺伝子制御」	

1 . 著者名 河岡 義裕 (編), 岩見 真吾, 大場 靖子, 川口 寧, 佐藤 佳, 澤 洋文, 鈴木 信弘, 高橋 英樹, 朝長 啓造, 中川 草, 長崎 慶三, 西浦 博, 野田 岳志, 古瀬 祐気, 堀江 真行, 牧野 晶子, 松浦 善治, 松野 啓太, 村田 和義, 望月 智弘, 渡辺 登喜子	4 . 発行年 2021年
2. 出版社 集英社	5 . 総ページ数 320
3 . 書名 ネオウイルス学	

1.著者名 近藤秀樹	4 . 発行年 2020年
2.出版社農文協	5.総ページ数 219
3.書名 ラン:病害虫対策-ウイルス病(井上成信著・改訂版). 最新農業技術 花卉 vol. 12	

〔出願〕 計4件

産業財産権の名称	発明者	権利者
有機資材からのファージの分離方法とジャンボファージを用いた植物病害防除法	高橋英樹、佐々木稜	東北大学
「	太、安藤杉尋、宮下	X40X-
	所	
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、特願2020-151404 (T20-032)	2020年	国内国的加
1分前、 1分解2020-131404 (120-032)	20204	四四
産業財産権の名称	発明者	権利者
クラス   ウイルスモニタリング方法、ウイルス濃縮装置、及び、ウイルス検出システム	- 元明日   長﨑慶三	同左
ライルスモニタリング方法、ライルス原組表直、及び、ライルス快山システム		四年
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、特願2020-104738	2020年	国内国的加
1011/10/09/2020 1047/00	2020-	国内
産業財産権の名称	発明者	権利者
新規ウイルス増殖阻害剤	川口 寧,有井 潤	東京大学
が		未示八子
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、特願2020-158247	2020年	国内
1941( 1980(4920 1002 II	2020	l Hr.
産業財産権の名称	発明者	権利者
検出方法、検出基板、及び検出キット	長崎慶三、竹岡敬	同左
Maria Maria Maria	和、入江崇、和田啓	1,32
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、特願2021-16505	2020年	国内
13817 1388 1		ш.,

#### 〔取得〕 計0件

#### 〔その他〕

Neo Virology http://neo-virology.org/en/ http://neo-virology.org/en/
Neo Virology
http://neo-virology.org/en/
Neo Virology
http://neo-virology.org/en/
Research Center for Zoonosis Control
http://www.czc.hokudai.ac.jp/pathobiol/en/
Neo Virology
http://neo-virology.org/en/
Hokkaido University
http://www.czc.hokudai.ac.jp/pathobiol/en/
Neo Virology
http://neo-virology.org/en/
Hokkaido University
Http://neo-virology.org/en/
Hokkaido University

Hokkaido University

http://www.czc.hokudai.ac.jp/pathobiol/en/ Neo Virology

http://neo-virology.org/en/ Hokkaido University Research Center http://www.czc.hokudai.ac.jp/pathobiol/en/

## 6 . 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	朝長 啓造	京都大学・ウイルス・再生医科学研究所・教授	
研究分担者	(Tomonaga Keizo)		
	(10301920)	(14301)	
	澤 洋文	北海道大学・人獣共通感染症国際共同研究所・教授	
研究分担者	(Sawa Hirofumi)		
	(30292006)	(10101)	

6.研究組織(つづき)

6	. 研究組織 ( つづき )			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考	
研究分担者	高橋 英樹 (Takahashi Hediki)	東北大学・農学研究科・教授		
	(20197164)	(11301)		
研究分担者	川口 寧 (Kwaguchi Yasushi)	東京大学・医科学研究所・教授		
	(60292984)	(12601)		
	渡辺 登喜子	大阪大学・微生物病研究所・教授		
研究分担者	(Watanabe Tokiko)			
	(60557479)	(14401)		
研究	松浦 善治 (Matsuura Yoshiharu)	大阪大学・微生物病研究所・特任教授(常勤)		
	(50157252)	(14401)		
	鈴木 信弘	岡山大学・資源植物科学研究所・教授		
研究分担者	(Suzuki Nobuhiro)			
	(70206514)	(15301)		
研究分担者	長崎 慶三 (Nagasaki Keizo)	高知大学・教育研究部自然科学系理工学部門・教授		
1				
		I		

# 7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計14件

国際研究集会 The 19th Awaji International Forum on Infection and Immunity	開催年 2021年 ~ 2021年
国際研究集会 The Neo-Virology Symposium	開催年 2021年~2021年
国際研究集会 Thermophiles 2019 (Thermophiles国際学会)	開催年 2019年~2019年

国際研究集会	開催年
The 18th Awaji International Forum on Infection and Immunity	2019年~2019年
国際研究集会	開催年
The 67th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology	2019年~2019年
国際研究集会	開催年
Asian Mycological Congress (AMC) 2019	2019年~2019年
ASTAIL MYCOTOGICAL CONGLESS (AMC) 2019	20194 ~ 20194
国際研究集会	開催年
The 17th Awaji International Forum on Infection and Immunity	2018年~2018年
The Trill Away Titternational Foram on Titteetron and Timinativy	2010
国際研究集会	開催年
The 66th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology	2018年~2018年
	88 W F
国際研究集会	開催年
IMSUT-CAS Workshop on Infectious Diseases 2018	2018年~2018年
·	
国際研究集会	開催年
Environmental Virology Workshop	2018年~2018年
国際研究集会	開催年
The 16th Awaji International Forum on Infection and Immunity	2017年~2017年
国際研究集会	開催年
The 65th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology	2017年~2017年
The optimal meeting of the Japanese Society for Vitology	2011+ 2011+
国際研究集会	開催年
第8回グローバルウイルスネットワーク会議	2016年~2016年
	2010-
国際研究集会	開催年
The Sixth China-Japan Bilateral Symposium on All Influenza Viruses	2017年~2017年
5,	

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
オーストラリア	University of Queensland			
米国	ウイスコンシン大学	ミネソタ大学	ペンシルベニア大学	他16機関
英国	グラスゴー大学	Imperial College London		
ドイツ	ウルム大学	フライブルク大学	マックスプランク研究所	他3機関
中国	中国科学院微生物研究所	武漢大学	Northwest A&F University	他1機関
ザンビア	ザンビア大学	ZNPHI	UTH	
フランス	パスツール研究所	INSERM	ボルドー大	他1機関

共同研究相手国	相手方研究機関			
インドネシア	ソロ大学			
ミャンマー	ミャンマー獣医科学大学			
フィジー	サウスパシフィック大学			